




 **KOMPLETE KONTROL S-SERIES**

 **NATIVE INSTRUMENTS**

THE FUTURE OF SOUND

この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Ableton is a trademark of Ableton AG.

Mac, macOS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trademarks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Jan Ola Korte, Nicolas Sidi, Gustav Sto. Tomas, David Gover

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 1.8.2 (06/2017)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

NATIVE INSTRUMENTS GmbH

Schlesische Str. 29-30 29-30

D-10997 Berlin

Germany

www.native-instruments.de

NATIVE INSTRUMENTS North America, Inc.

6725 Sunset Boulevard

5th Floor

Los Angeles, CA 90028

USA

www.native-instruments.com

NATIVE INSTRUMENTS K.K.

YO Building 3F

Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,

Tokyo 150-0001

日本

www.native-instruments.co.jp

NATIVE INSTRUMENTS UK Limited

18 Phipp Street

London EC2A 4NU

UK

www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2016. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	KOMPLETE KONTROL へようこそ	12
1.1	インストールと Getting Started	12
1.2	マニュアルの注釈について	14
1.3	動作環境	16
1.4	ユーザー補助機能 (Accessibility)	16
1.4.1	ユーザー補助機能概要	17
1.4.2	ハードウェア概観	19
1.4.3	トレーニングモード (Training Mode)	20
1.5	KOMPLETE KONTROL 1.8 の新機能	21
2	基本コンセプト	23
2.1	KOMPLETE KONTROL と KOMPLETE KONTROL S-SERIES	23
2.1.1	Browser と Navigate セクション	24
2.1.2	パフォーマンスパネルと PERFORM セクション (Smart Play)	25
2.1.3	Light Guide (ライトガイド)	26
2.1.4	コントロールセクションとインストゥルメントパラメーター	27
2.1.5	Transport Section とホストアプリケーション	28
2.2	KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定	29
2.2.1	ブラウザの表示と最小化	30
2.2.2	パフォーマンスパネルの表示と最小化	30
2.2.3	プラグインパネルの表示、非表示	31
2.2.4	Instrument Views の選択	31
2.3	インストゥルメントのロード	32

2.4	スタンドアローンとプラグインモード	34
2.4.1	Transport と Navigate コントロール	35
2.4.2	オーディオと MIDI のやり取り	36
2.4.3	複数のプラグインインスタンス	37
2.4.4	インスタンスの切り替え	37
2.4.5	ホストアプリケーションの設定	38
2.5	KOMPLETE KONTROL S-SERIES で MASCHINE をコントロールする	39
2.6	MIDI モード	42
2.7	環境設定 (Preferences)	43
2.7.1	Preferences – Audio ページ	43
2.7.2	Preferences – MIDI ページ	45
2.7.3	Preferences – Library ページ	47
2.7.4	Preferences – Plug-ins ページ	51
2.7.5	Preferences – Hardware ページ	56
2.8	外部 MIDI 機器と KOMPLETE KONTROL S-SERIES を接続する	57
2.9	MIDI 入出力	58
2.9.1	入力 MIDI とホストオートメーション	58
2.9.2	MIDI 出力とホストコントロール	59
2.9.3	MIDI モードとスタンドアローン操作	59
2.10	Native Map	60
2.11	MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール	60
2.11.1	オートメーションの録音	61
2.11.2	オートメーション ID	63

2.12	KOMLETE KONTROL S-SERIES とペダルを使用する	65
3	クイックスタート	67
3.1	最初のステップ	67
3.1.1	ブラウザを開く	68
3.1.2	インストゥルメントプリセットの検索とロード	70
3.2	インストゥルメントのコントロール	78
3.2.1	インストゥルメントパラメーターの操作	78
3.2.2	8 以上のパラメーター: パラメーターページの切り替え	78
3.3	Smart Play の使用: Scale、Arp、Light Guide	79
3.3.1	スケールの設定	79
3.3.2	コードの演奏	80
3.3.3	アルペジオコードの演奏	81
3.4	次は?	82
4	KOMLETE KONTROL ソフトウェア概要	84
4.1	ソフトウェアインターフェイス概観	85
4.2	ヘッダ (Header)	86
4.3	プラグインパネル	87
4.4	インストゥルメントエリア	90
4.4.1	Default View	91
4.4.2	Additional View	92
4.4.3	Edit View	94
5	KOMLETE KONTROL S-SERIES 概要	96
5.1	キーボードインターフェイス概要	96

5.2	MIDI モード	99
5.2.1	コントローラーモードの切り替え	99
5.2.2	MIDI モードによるホストコントロール	100
5.2.3	スタンドアローン操作	100
5.3	ホストコントロールとトランスポートセクション	100
5.3.1	トランスポートコントロール	102
5.3.2	自動トラックフォーカスとナビゲートセクション	104
5.3.3	KOMLETE KONTROL インスタンスの切り替え	107
5.4	コントロールセクション	108
5.4.1	コントロールセクションの各コントロール部	109
5.4.2	Native Map	110
5.4.3	コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターの コントロール方法	111
5.4.4	コントロールセクションによる Smart Play のコントロール	116
5.4.5	コントロールセクションでのタッチストリップセッティングのコント ロール	116
5.5	タッチストリップ	117
5.5.1	ピッチストリップ	120
5.5.2	モジュレーションストリップ	123
5.6	Light Guide (ライトガイド)	127
5.6.1	インストゥルメントマッピング	128
5.6.2	Smart Play マッピング	129
6	KOMLETE KONTROL ブラウザ	130

6.1	ブラウザの基本	131
6.1.1	ライブラリ	131
6.1.2	Native Kontrol Standard	132
6.1.3	ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧	135
6.2	ライブラリからファイルを検索、ロードする	136
6.2.1	Library ペインの概観	136
6.2.2	ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択	139
6.2.3	インストールメントの選択とロード、バンクの選択	139
6.2.4	TYPES と MODES による検索	148
6.2.5	テキスト検索の方法	155
6.2.6	ライブラリペイン内でリザルトリストを使用する	155
6.2.7	ライブラリペイン内で Favorites を使用する	158
6.3	ファイルシステムからファイルをロード、インポートする	162
6.3.1	Files ペインの概観	163
6.3.2	Favorites (お気に入り) の使用	164
6.3.3	ロケーションバーの使用	165
6.3.4	最近使った場所への移動	166
6.3.5	Files ペイン内でリザルトリストを使用する	167
6.3.6	KOMPLETE KONTROL ライブラリにファイルをインポートする	169
6.4	ユーザーライブラリにファイルを保存する	170
6.5	ファイル情報の表示と編集	176
6.5.1	ファイル情報の表示	177
6.5.2	ファイルタグとプロパティの編集	178

6.5.2.1	アトリビュートエディターの基本的な使用方法	178
6.5.2.2	BANK ページ	180
6.5.2.3	TYPES と MODES ページ	180
6.5.2.4	PROPERTIES ページ	183
6.6	KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする	184
6.6.1	ブラウズモードとハードウェアブラウジング	186
6.6.2	ハードウェアブラウジング	187
6.6.3	ブラウザ概観	189
6.6.4	オンスクリーンオーバーレイでファクトリー、ユーザーコンテンツを 選択する	191
6.6.5	オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する	192
6.6.6	オンスクリーンオーバーレイでバンクを選択する	196
6.6.7	オンスクリーンオーバーレイでタイプによる絞り込み検索を行う	198
6.6.8	オンスクリーンオーバーレイでモードによる絞り込み検索を行う	203
6.6.9	オンスクリーンオーバーレイでリザルトリストを使用する	205
6.6.10	オンスクリーンオーバーレイでフェイバリット (Favorites) による絞 り込み検索を行う	206
6.6.11	Favorites の追加と削除	207
7	KOMLETE KONTROL Smart Play	209
7.1	ソフトウェアのパフォームパネル概観	210
7.2	キーボードの PERFORM セクション概要	214
7.2.1	SCALE ボタンの機能	215
7.2.2	ARP ボタンの機能	216

7.3	音楽理論について	216
7.3.1	スケール	216
7.3.2	コード	217
7.3.3	アルペジオ	217
7.4	スケールエンジン	217
7.5	スケールパラメーター	219
7.5.1	スケール	220
7.5.2	Key Mode	227
7.5.3	Chord Mode	231
7.5.4	Chord Type	233
7.5.5	Chord Position	237
7.6	Arpeggiator(アルペジエーター)	238
7.7	Arp パラメーター	240
7.7.1	Main	241
7.7.2	Rhythm	242
7.7.3	Other	245
7.7.4	Advanced	247
7.7.5	Range	249
7.7.6	Hold(ホールド)	250
7.8	サステインペダルによる ARP の使用	251
7.9	Scale と Arp の MIDI アウトプット	252
7.9.1	KOMLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーションによる MIDI アウトプット	252

7.9.2	KOMLETE KONTROL スタンドアローンプラグインの MIDI アウト トット	252
8	トラブルシューティング-ヘルプ	254
8.1	トラブルシューティング	254
8.1.1	KOMLETE KONTROL ソフトウェアが起動しない	254
8.1.2	KOMLETE インストゥルメントが発音しない	254
8.1.3	レイテンシーの問題	254
8.1.4	KOMLETE KONTROL ソフトウェアがクラッシュする	255
8.1.5	アップデート	255
8.2	ヘルプ	255
8.2.1	ナレッジベース	256
8.2.2	ユーザーフォーラム	256
8.2.3	テクニカルサポート	256
8.2.4	レジストレーションサポート	257
	索引	258

1 KOMLETE KONTROL へようこそ

KOMLETE KONTROL をお選びいただき、ありがとうございます。

KOMLETE KONTROL とその専用キーボードである KOMLETE KONTROL S-SERIES は音楽制作/パフォーマンスシステムで、これら両方は密接に連動し、ソフトウェアインストゥルメンツ演奏時や、KOMLETE インストゥルメント使用時にその機能を存分に発揮、また Native Kontrol Standard (NKS) をサポートするインストゥルメントの使用も可能です。

KOMLETE KONTROL で直感的にインストゥルメントをブラウズすることができ、また独自の Smart Play 機能を用いた演奏ができます。またホストソフトウェアを KOMLETE KONTROL S-SERIES コントローラーで制御することが可能で、タッチストリップやノブ、ボタンの機能を Controller Editor アプリケーションを用いて他のソフト用での使用にカスタマイズ可能です。この製品を存分に楽しんでいただけることを願います。それでは早速はじめてみましょう!

NATIVE INSTRUMENTS チームより

1.1 インストールと Getting Started

KOMLETE KONTROL は Native Access から簡単にインストールできます。Native Access は認証ツールで、Native Instruments 全製品の製品起動、インストールとアップデートを実行します。Native Access はこちらからダウンロードできます。

<https://www.native-instruments.com/specials/native-access>



Native Access の詳細は以下のナレッジベース記事を参照してください。

<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210314365-What-is-Native-Access->

- ▶ KOMLETE KONTROL をインストールするには、コンピューターで Native Access を起動し、有効なソフトウェアのリストのエントリーに用に **INSTALL** をクリックします。リストに KOMLETE KONTROL がない場合は、Native Access の左上隅にある **Add a serial** をクリックし、KOMLETE KONTROL のシリアルナンバーを入力します。

KOMLETE KONTROL の設定や各機能を理解するために、以下の資料を参照してください。

- KOMLETE KONTROL マニュアル (本資料です)
- Controller Editor マニュアル
- KOMLETE KONTROL S-SERIES Ableton Live Setup 資料
- Native Instruments ウェブサイトのサポートセクション

ここからは各資料について手短かに紹介します。

KOMLETE KONTROL マニュアル

KOMLETE KONTROL マニュアル（本資料です）では KOMLETE KONTROL ソフトウェアと KOMLETE KONTROL S-SERIES ハードウェアの全機能内容について包括的に紹介しています。



本資料の最新バージョンは Native Instruments ウェブサイトからダウンロード可能です。
<https://www.native-instruments.com/kompletekontroldownloads>

Controller Editor マニュアル

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードコントローラーで専用 KOMLETE KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、本ハードウェアを非常に強力な MIDI コントローラーとして使用し、MIDI の使用が可能なソフトウェア、ハードウェアを操作することが可能です。KOMLETE KONTROL とともにインストールされるコントローラーエディター (Controller Editor) ソフトウェアを使用して、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの正確な MIDI アサインを全て行うことができます。詳細は、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual を参照してください。

Installat

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを他のホストソフトウェアで使用する。

KOMLETE KONTROL S-SERIES は Apple Logic Pro X / GarageBand、Steinberg Cubase Pro / Cubase Artist / Nuendo、Ableton Live 上で密接に連動します。

Ableton Live で KOMLETE KONTROL S-SERIES を使用する際は、インストール作業中追加設定を行う必要があります。Ableton Live と KOMLETE KONTROL S-SERIES を使用する際の設定内容詳細に関しては、ハードディスク内の KOMLETE KONTROL インストールフォルダ内にある Host Integration Files サブフォルダ内の PDF ファイルを参照してください。ファイルはこちらにもあります。 <https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557689>

Apple Logic Pro X / GarageBand、Steinberg Cubase Pro / Cubase Artist / Nuendo を使用する場合、追加設定を行う必要はありません。これらのホストと KOMLETE KONTROL S-SERIES を使用する場合は各情報はこちらのリンク先を参照してください。 <https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>

その他のオンライン情報

NATIVE INSTRUMENTS 製品に問題が生じ、既存の資料で問題が解決できない場合は、次のヘルプを有効利用してください。

- ナレッジベース
- ユーザーフォーラム
- テクニカルサポート
- レジストレーションサポート

詳細はセクション↑8, [トラブルシューティング-ヘルプ](#)を参照してください。

1.2 マニュアルの注釈について

このセクションでは、本マニュアルで使用しているテキストと表記内容について解説します。本マニュアルでは、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容の大きな分類を見分けます。



スピーチバブルアイコンはヒントや、効率よく作業を進めるためのヘルプを表示します。



感嘆符 (!) は内容の本質となる重要な情報を示します。



赤い十字のアイコンは特に注意しなければならない問題や危険事項について表記しています。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- 各メニューで表示される内容 (*Open...*、*Save as...* 等) 及び、ハードディスク、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
- その他の場所で表示されるテキスト (ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は青色で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはずですが。
- キーボード画面表示内容は薄い灰色で明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをキーボード画面上で確認できるはずですが。
- キーボードコントローラーに関する表示内容はオレンジで明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをキーボード上で確認できるはずですが。

- 重要な名称とコンセプトは**ボールド体**で表示しています。
 - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、[Shift] + [Enter])。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。
- 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

資料内での各呼称について

本資料では **KOMLETE KONTROL S-SERIES** はキーボード、**KOMLETE KONTROL** はコンピュータにインストールしてあるソフトウェアのことを指します。

キーボードのボタンのコンビネーションとショートカット

殆どの場面で“+”サインは組み合わせて**同時に**使うボタンを表現するために用いられます。例えば以下の解説で用います。

「**SHIFT + PLAY** を押します」 は次を意味します。

1. **SHIFT** を押したままにします。
2. **SHIFT** を押したまま、**PLAY** を押して放します。
3. **SHIFT** を放します。

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード上の機能表記がないノブについて

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのディスプレイの上にあるノブには機能の記載がありません。



KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの記載がないノブです。

これらはこの資料に頻出するのでその表記法を記載しておきます。これらの部分は、ディスプレイの上のノブはノブ 1 からノブ 8 と表記します。例えば「ノブ 2 を回して値を大きくする」といった解説がある場合、ディスプレイの上の左から 2 番目のノブを回します。

1.3 動作環境

KOMPLETE KONTROL と KOMPLETE KONTROL S-SERIES が正常に機能するための動作環境は、以下の必要条件を満たすことが必須となります。

第三者製ソフトウェアと KOMPLETE KONTROL の動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

www.native-instruments.com/products/komplete/keyboards/komplete-kontrol-s-series/specifications/

KOMPLETE

KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE 11 SELECT、KOMPLETE 11、KOMPLETE 11 ULTIMATE の使用時に最適な仕様に設計されています。

KOMPLETE の動作環境の最新情報を確認するには、以下を参照してください。

www.native-instruments.com/products/komplete/bundles/komplete-11/specifications/

サポートホストアプリケーション

KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能が円滑に機能するためには、ホストアプリケーションに相応の互換性が必要となります。以下のナレッジベースには一般的に使用されている DAW の概要を記載しています。

<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>

1.4 ユーザー補助機能 (Accessibility)

KOMPLETE KONTROL では以下の機能に対して音声補助を含んだ視覚障害者用機能を備えています。これらの機能は KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード使用時に特化したもので、以下機能の音声補助も利用できます。

- 全 Perform と Transpose ボタン、左右パラメーターページボタンとキーナビゲーションボタン
- ブラウザ用全機能
- インスタンスセレクション (詳細は ↑ 5.3.3, KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替え を参照してください。)

- プラグインパネル、Scale、Arp、Touch Strip 機能を含む現在使用しているエディットモード (詳細は [↑4.3, プラグインパネル](#)、[↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play](#)、[↑5.5, タッチストリップ](#)を参照してください)。
 - パラメーター名称と全エディットモードを含んだノブに触れている際のパラメーターセクション
- ▶ KOMLETE KONTROL ソフトウェアを起動している状態で、ユーザー補助機能の起動、起動解除を KOMLETE KONTROL S-SERIES 上で行うには、キーボード左上の **SHIFT** ボタンを押したままにし、キーボード右上の **PRESET Up** ボタンを押します。

→ 音声補助がユーザー補助機能の起動、起動解除を伝えます。

ユーザー補助機能を起動すると、KOMLETE KONTROL のブラウズモードがハードウェアに切り替わります。詳細は [↑6.6.1, ブラウズモードとハードウェアブラウジング](#) を参照してください。

ユーザー補助機能は、KOMLETE KONTROL プラグインを使用する際に最適な状態となるよう設計されています。KOMLETE KONTROL スタンドアロンアプリケーション使用時は、初期インストール時、および追加インストールメントをインストールした後、アプリケーションを起動した状態にしておく必要があります。これによって KOMLETE KONTROL ブラウザに、全インストールメントが正しく表示されるようになります。



ユーザー補助機能は Apple Logic Pro X または GarageBand 内でホスト統合機能と VoiceOver を併用することで特に有効に機能します。KOMLETE KONTROL のホスト統合機能に関しては [↑5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

関連項目

- 📖 キーボードインターフェイス概要 [[→ 96](#)]
- 📖 キーボードの PERFORM セクション概要 [[→ 214](#)]
- 📖 コントロールセクション [[→ 108](#)]
- 📖 KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする [[→ 184](#)]

1.4.1 ユーザー補助機能概要

以下の表では KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードと KOMLETE KONTROL ソフトウェア各の KOMLETE KONTROL 用ユーザー補助機能を記載しています。

	機能	キーボードから使用できる機能	ソフトウェアから使用できる機能	ノート
ユーザー補助機能 (Accessibility)	ユーザー補助機能モードの起動と起動解除	はい	いいえ	
ブラウザ	Native Instruments、NKS、ユーザー各プリセットブラウズ時の使用	はい	いいえ	
	お気に入り (Favourite) による設定または整理	はい	いいえ	
	ユーザープリセットの保存と編集	いいえ	いいえ	
	他のベンダーからの NKS プラグインのブラウズ	いいえ	いいえ	
Native Map	キーインストゥルメントパラメーターの設定	はい	いいえ	
	インストゥルメントパラメーターのカスタムマッピング	いいえ	いいえ	
Smart Play	Scale と Chord パラメーターの調整	はい	いいえ	
	ARP パラメーターの調整	はい	いいえ	
タッチストリップ	タッチストリップパラメーターの調整	はい	いいえ	
DAW コントロール	トラックナビゲート	はい	いいえ	Logic Pro X、GarageBand、Cubase Pro、Cubase Artist、Nuendo、Live では、音声フィードバックはホスト環境によって異なります。

	機能	キーボードから使用できる機能	ソフトウェアから使用できる機能	ノート
	コントロールトランスポート	はい	いいえ	Logic Pro X、GarageBand、Cubase Pro、Cubase Artist、Nuendo、Live では、音声フィードバックはホスト環境によって異なります。 その他の DAW でトランスポートは MCU を介して手動で行います。
	メトロノームとカウントインの起動、起動解除	はい	いいえ	Logic Pro X、GarageBand、Cubase Pro、Cubase Artist、Nuendo、Live では、音声フィードバックはホスト環境によって異なります。
	ループの位置変更	はい	いいえ	Logic Pro X、GarageBand、Cubase Pro、Cubase Artist、Nuendo、Live では、音声フィードバックはホスト環境によって異なります。
	Undo/Redo	はい	いいえ	Logic Pro X、GarageBand、Cubase Pro、Cubase Artist、Nuendo、Live では、音声フィードバックはホスト環境によって異なります。
トレーニングモード	意図しない機能を起動しないでコントロールを見つける	はい	いいえ	
環境設定 (Preferences)	ソフトウェアとハードウェアの環境設定内容を設定します。	いいえ	いいえ	

1.4.2 ハードウェア概観

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは 5 つのメインセクションに分けられており、それらは Transpose、Perform、Transport、Control セクションと Navigate となります。

Transpose セクション(↑5.1, キーボードインターフェイス概要) はキーボードのとなり、鍵盤の一番左端にあり、2 つの Touch Strips の真上にあります。ここには以下の 2 つのボタンがあります。

OCT -	OCT +
-------	-------

Perform セクションは (↑7.2, キーボードの PERFORM セクション概要) 鍵盤の左上にあり、以下の 3 つのボタンがあります。

SHIFT	SCALE	ARP
-------	-------	-----

Transport セクションは (↑5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション) Perform セクションの真下にあり、以下の 6 つのボタンがあります。

LOOP	RWD	FFW
PLAY	REC	STOP

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの中央には 8 個のロータリーエンコーダーがあり、ここを Control セクション(↑5.4, コントロールセクション) と呼びます。これらのすぐ左には小さなボタンが 2 つあり、ここでパラメーターページを左右に切り替えます。

Navigate セクション(↑6.6, KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする) KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの右上部分にあり、10 個のボタンと大きなクリックエンコーダーを備えています。以下がその概要となります。

BROWSE	コントロールエンコーダー	PRESET Up
INSTANCE		PRESET Down
BACK	Up	Enter
Left	Down	Right

1.4.3 トレーニングモード (Training Mode)

KOMLETE KONTROL S-SERIES Training Mode は間違った操作をすることなく簡単に特定のボタンやパラメーターを操作することができる機能です。トレーニングモードを起動すると、ボタンとパラメーター操作時に音声ガイドが再生されます。この時、該当する操作内容は機能しません。

- ▶ KOMLETE KONTROL ソフトウェアを起動した状態で KOMLETE KONTROL S-SERIES 上でトレーニングモードを起動、起動解除するには、キーボードの左上にある **SHIFT** ボタンを 2 度押します。



トレーニングモードはユーザー補助機能起動時にのみ使用することができます。

1.5 KOMPLETE KONTROL 1.8 の新機能

KOMPLETE KONTROL 1.8 では、Smart Play の Scale & Chord エンジンと、スタンドアロン使用時にクロックを用いたインストゥルメントを扱う場合の Transport に対して強固なアップデートが施されました。全新機能は KOMPLETE KONTROL S-シリーズを用いて使用することが可能です。

Smart Play Scale & Chord

- Smart Play Scale エンジンには本バージョンから 100 以上のスケールを搭載、素早く簡単にメロディーやハーモニーを新境地へと導くことができます。
- Smart Play Chord Position パラメーターはコードの個々のノート位置を制御できるようになりました。Auto にすると、KOMPLETE KONTROL は自動的にコードのノート配置を最も自然なタイミングで発音するようになります。

詳細は [↑ 7.5, スケールパラメーター](#) を参照してください。

スタンドアロントランスポート

- KOMPLETE KONTROL のスタンドアロントランスポートには KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントに対して使用できる内部クロックを設置しました。
- ソフトウェアではツールバーの Play と Restart ボタンを介してトランスポートをコントロールします。
- KOMPLETE KONTROL S-シリーズキーボードでは以下を用いてトランスポートをコントロールします。
 - **PLAY**: 内部クロックを起動します。
 - **STOP**: 内部クロックを停止、リセットします。
 - **SHIFT + PLAY**: 内部クロックをリスタートします。
 - **SHIFT + PUSH + コントロールエンコーダー (回す)**: 内部クロックのテンポを調節します。

詳細は [↑ 2.4.1, Transport と Navigate コントロール](#) を参照してください。

その他の機能向上

- KOMPLETE KONTROL S-Series の **REC** を押すことでホストソフトウェアの対応するトラックではなく、フォーカスしている MASCHINE プラグインの録音を開始、停止します。詳細は [↑ 2.5, KOMPLETE KONTROL S-SERIES で MASCHINE をコントロールする](#) を参照してください。

- NKS コンテンツプロダクトのサポート

2 基本コンセプト

この章では COMPLETE KONTROL の主な機能と各部の関係について解説します。また、オーディオインターフェイスの設定方法と MIDI 機器の接続方法についても解説します。

2.1 COMPLETE KONTROL と COMPLETE KONTROL S-SERIES

KOMPLETE KONTROL は COMPLETE KONTROL ソフトウェアと共に使用することで素早いブラウズ力と強力な演奏性を発揮、COMPLETE KONTROL S-SERIES 鍵盤の操作性も抜群です。各製品は Native Instruments の COMPLETE インストゥルメント COMPLETE KONTROL に完全対応、また Native Kontrol Standard (↑6.1.2, [Native Kontrol Standard](#) 参照) サポートインストゥルメントに対応します。

KOMPLETE KONTROL とソフトウェアインターフェイスの各エリアは、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのハードウェアセクションと直結しています。キーボードのノブでインストゥルメントの各パラメーターを制御することで、ソフトウェアの対応するコントロール部が反応します。ハードウェアのノブを回す、タッチストリップをスワイプ、ボタンを押す動作で、ソフトウェアの対応する各コントロール部が連動します。

KOMPLETE KONTROL のブラウザで COMPLETE KONTROL ライブラリから “soundscapes” や “percussion” といった特定のインストゥルメントをロードすることができます。また自身で作成したユーザープリセットを保存、管理、タグ付けし、COMPLETE KONTROL ライブラリに追加することも可能です。COMPLETE KONTROL 内で インストゥルメントをロードすると、即座に COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントの各コントロールにアクセスできるようになります。キーボードのノブとタッチストリップ、ボタンはロードした インストゥルメントの内容に従って (Native Instruments 独自の Native Map プロトコルにより) 各パラメーターの自動マッピングが施されます。

KOMPLETE KONTROL の Smart Play で各スケール、コード、アルペジオを生成、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの鍵盤の一つを押さえるだけで、演奏内容に変化をつけることができます。キーボードの鍵盤にスケールをマッピングすることにより、斬新な表現力を手に入れることができます。

Light Guide の LED により、リアルタイムでどのキーを演奏しているか視認することもできます。ホストで MIDI ノートパターンを再生している状態でも Light Guide を使用することができます。

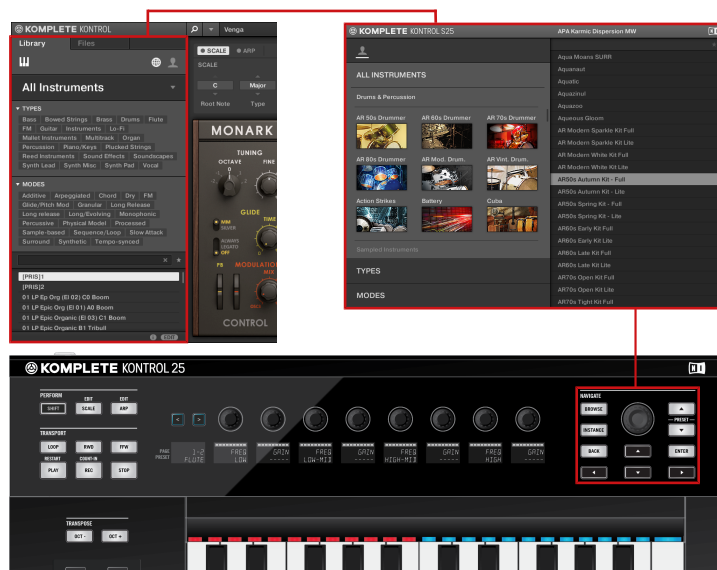
- COMPLETE KONTROL と COMPLETE KONTROL S-SERIES の連動性の概要を知るには以下の概観を参照してください。
- COMPLETE KONTROL S-SERIES にまず触れるのであれば [↑3, クイックスタート](#) 章のクイックスタートを参照してください。
- COMPLETE KONTROL ソフトウェアの詳細は [↑4, COMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#) 章以降を読み進めてください。
- COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの詳細は [↑5, COMPLETE KONTROL S-SERIES 概要](#) 章以降を読み進めてください。
- COMPLETE KONTROL ブラウザの詳細は [↑6, COMPLETE KONTROL ブラウザ](#) 章以降を読み進めてください。
- COMPLETE KONTROL Smart Play 機能の詳細は [↑7, COMPLETE KONTROL Smart Play](#) 章以降を読み進めてください。

各機能

以下のセクションでは COMPLETE KONTROL ソフトウェアと COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの概要に触れ、各部の関係性について大きく紹介していきます。

2.1.1 Browser と Navigate セクション

COMPLETE KONTROL ブラウザはインストールメントとファイルを検索、ロード、管理するためのインターフェイスです。COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションからハードウェアコントローラーを用いて COMPLETE KONTROL ライブラリにアクセスします。ブラウズ操作は COMPLETE KONTROL S-SERIES とコンピューター画面の両方の使用して行う、または COMPLETE KONTROL S-SERIES のみを使用して行うことができます。詳細は [↑6, COMPLETE KONTROL ブラウザ](#) を参照してください。



COMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの左側にあるブラウザと、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの NAVIGATE セクションのブラウザです (S25 を表示しています)。

2.1.2 パフォーマンスパネルと PERFORM セクション (Smart Play)

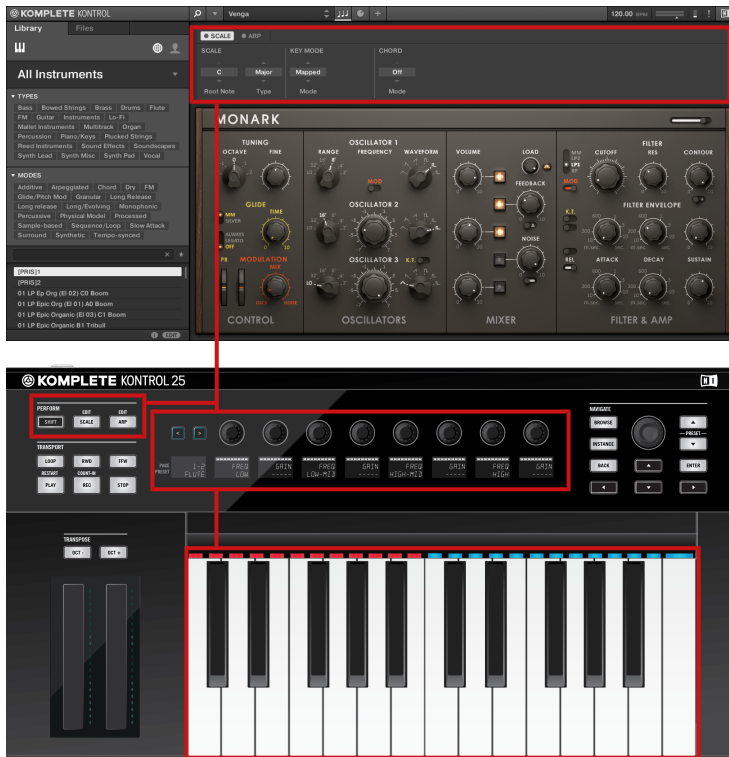
Smart Play を使用することで、スケール、コード、アルペジオを生成、COMPLETE KONTROL ライブラリとその外の MIDI インストゥルメントを演奏することができます。各パラメーターには COMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイス上部付近の Perform Panel、または COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード左上隅にある PERFORM セクションからアクセスします。Smart Play パラメーターはキーボードのノブとディスプレイにマッピングされ、ハードウェアコントロール部を用いてスケールとアルペジオの内容を編集することができます。



COMPLETE KONTROL S-SERIES の **PERFORM** セクションにマッピングされた対応する各ノブとディスプレイを備えた COMPLETE KONTROL ソフトウェアのパフォームパネルです。

2.1.3 Light Guide (ライトガイド)

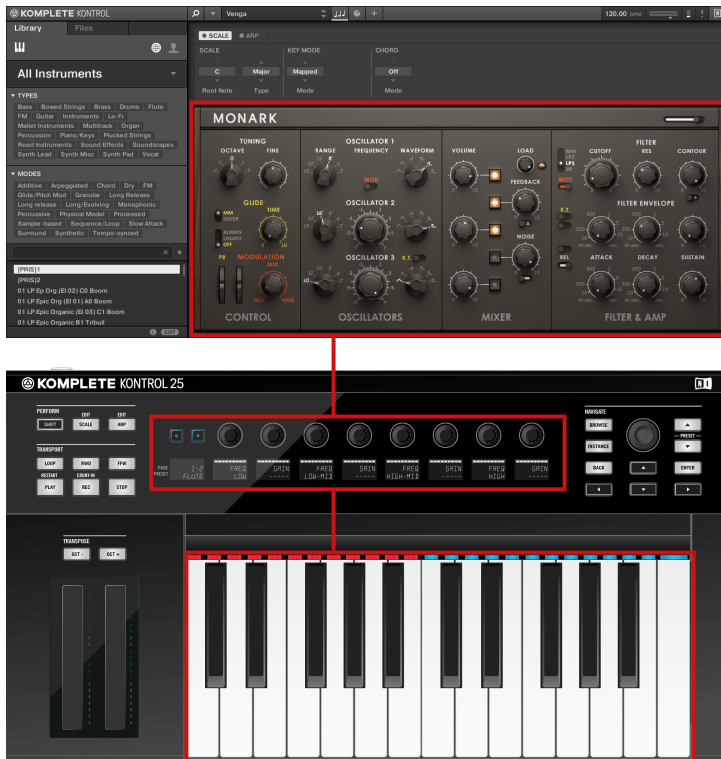
Smart Play パラメーターの各設定内容は瞬時に Light Guide の LED (鍵盤のすぐ上にあります) に反映されます。この機能で Perform Panel (software)、または **PERFORM** セクション (keyboard) で選択したスケールに対応する鍵盤を、LED のオンオフ表示で確認することができます。Light Guide はホストで MIDI ノートを再生する際も、演奏キーを表示します。



パフォーマンスパラメーターでの設定内容により、Light Guide が対応、LED の点灯で選択したスケールを表示します (C major を選択しています)。

2.1.4 コントロールセクションとインストゥルメントパラメーター

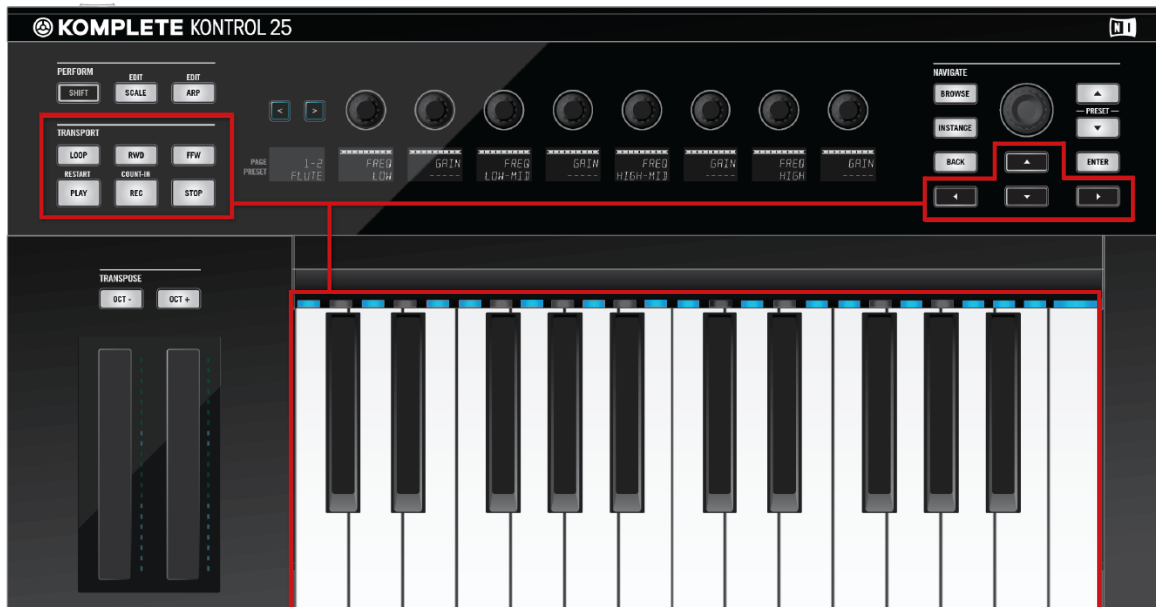
COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブとタッチストリップ、ボタンはロードしたインストゥルメントの内容に従って (Native Instruments 独自の Native Map プロトコルにより) 各コントロール部とパラメーターの自動マッピングが施されます。追加 MIDI アサインは必要ありません。ブラウザからインストゥルメントをロードすることで、直ちに演奏可能な状態となります。



KOMPLETE KONTROL で MONARK をロードし、COMPLETE KONTROL S-SERIES のタッチストリップとノブ、ディスプレイにインストゥルメントのコントロール部が自動アサインされた状態です。

2.1.5 Transport Section とホストアプリケーション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでホストアプリケーションを直接制御することで、ライブ演奏時等でのコンピューターのマウス操作から開放されます。左端にある **TRANSPORT** セクションと右の **NAVIGATE** セクションの左右矢印ボタンは各自 DAW での録音トラックを選択する際に使用します。その流れでキーボードによる録音を開始します。COMPLETE KONTROL S-SERIES からホストを制御する際の詳細はセクション [↑ 5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。



TRANSPORT セクションと NAVIGATE ボタンで COMPLETE KONTROL S-SERIES からホストアプリケーションを制御します。



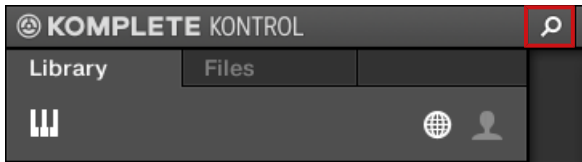
外部 MIDI ハードウェアを用いる際のホストアプリケーションの設定方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

2.2 COMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定

COMPLETE KONTROL ソフトウェアユーザーインターフェイスは非常に柔軟です。表示する内容を設定することで、作業を効率よく進めることができます。このセクションでは COMPLETE KONTROL GUI を作業用途に合わせて表示する方法を解説します。

2.2.1 ブラウザの表示と最小化

- ▶ ヘッダのブラウザボタン (虫眼鏡) をクリックしてブラウザを表示、非表示します。Application Menu Bar の **View** メニュー、または COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューから **Browser** を選択することができます。



ヘッダのブラウザボタンです。

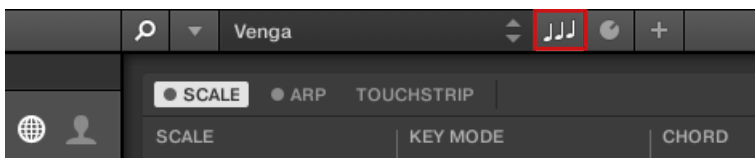
COMPLETE KONTROL ブラウザの詳細は [↑ 6, COMPLETE KONTROL ブラウザ](#) を参照してください。



スタンドアローンモードでは、[B] キーを使用して、コンピューターのキーボードからブラウザを表示/非表示することができます。

2.2.2 パフォーマンスパネルの表示と最小化

- ▶ ヘッダのパフォーマンスパネルボタン (3つのノートのシンボル) をクリックしてパフォーマンスパネルを表示、最小化します。Application Menu Bar の **View** メニュー、または COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューから **Perform Panel** を選択することができます。



ヘッダのパフォーマンスパネルボタンです。

Perform Panel パネルの詳細は [↑ 7, COMPLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。



スタンドアローンモードでは、[P] キーを使用して、コンピューターのキーボードからパフォーマンスパネルを表示/非表示することができます。

2.2.3 プラグインパネルの表示、非表示

- ▶ ヘッダのプラグインボタンをクリックしてプラグインパネルを表示、最小化します。Application Menu Bar の **View** メニュー、または COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューから **プラグインパネル**を選択することができます。



ヘッダのプラグインパネルボタンです。

プラグインパネルの詳細は [↑ 4.3, プラグインパネル](#) を参照してください。

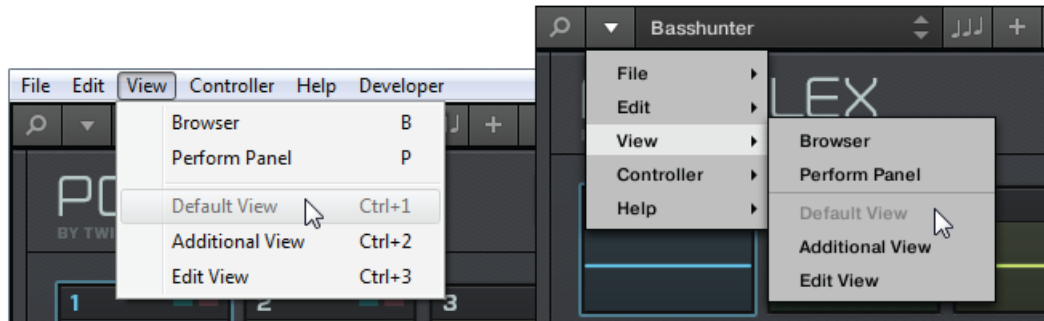


スタンドアロンモードでは、**[I]** キーを使用して、コンピューターのキーボードからプラグインパネルを表示/非表示することができます。

2.2.4 Instrument Views の選択

ブラウザからインストゥルメントをロードすると、COMPLETE KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。以下は 3 種のインストゥルメントビューの内容です。

- ▶ インストゥルメントビューを切り替えるには、アプリケーションメニューバーの **View**、または submenu of the COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューをクリックして *Default View*、*Additional View*、*Edit View* のどれかを選択します。



アプリケーションメニューバーのインストールメントビューの View メニュー (図は Windows)

と、KOMplete KONTROL メニューの View サブメニューです。

インストールメントビューの詳細は [↑4.4, インストールメントエリア](#) を参照してください。



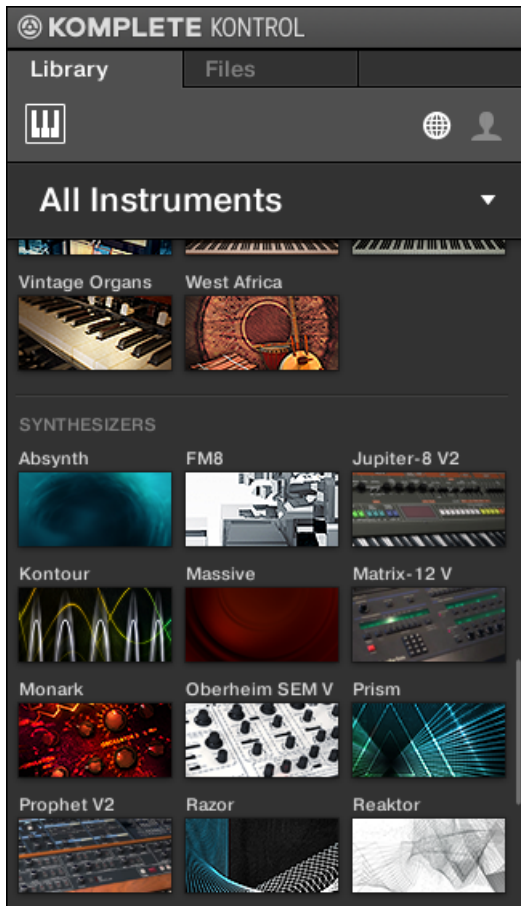
ロードしたインストールメントによってビューの総数が異なります。



KOMplete KONTROL ソフトウェアでインストールメントビューを選択した状態であっても、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードでインストールメントの全パラメーターを常に制御することができます。

2.3 インストールメントのロード

KOMplete インストールメントと Native Kontrol Standard (NKS) をサポートする VST プラグイン は KOMplete KONTROL ライブラリからプリセットを選択することで自動的にロードされます。ブラウザではこれら全てのインストールメントとプラグインのプリセットを検索できるので、まずプラグインをロードした後プリセットを選択する手間が省けます。KOMplete KONTROL ブラウザではタグと絞り込み検索を活用でき、また KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードからも各操作が行えます。



KOMPLETE KONTROL ブラウザの KOMPLETE インストゥルメントと NKS インストゥルメントです。

プラグインを直接ロードすることも可能で、各 VST プラグインを KOMPLETE KONTROL で活用することができます。VST プラグインには Smart Play 機能と Touch Strips を使用することが可能で、各パラメーターを KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードにマッピングし、KOMPLETE KONTROL ユーザーライブラリにプリセット保存することができます。

- Smart Play の詳細はセクション [↑7, KOMPLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。
- パラメーターマッピングのカスタマイズ方法はセクション [↑4.3, プラグインパネル](#) を参照してください。

- ユーザーライブラリにプリセットを保存する方法は [↑ 6.4, ユーザーライブラリにファイルを保存する](#)にあります。
- ▶ KOMplete KONTROL で VST プラグインをロードするには、KOMplete KONTROL メニューの *Plug-in* サブメニューに進み、ロードしたいプラグインをクリックします。



Plug-ins サブメニューに使用したい VST プラグインが表示されない場合は、ハードドライブの VST プラグインフォルダが Preferences の *Plug-ins* ページの *Locations* に追加されているか確認してください。詳細は [↑ 2.7.4, Preferences – Plug-ins ページ](#)を参照してください。

2.4 スタンドアローンとプラグインモード

KOMplete KONTROL ソフトウェアをスタンドアローン、または使用している DAW 上でプラグインとして使用することも可能です。KOMplete KONTROL ソフトウェアは VST、Audio Unit、AAX プラグインの形式に対応しています。プラグインの互換性に関する詳細とホスト上でのプラグインの取り扱いに関する詳細は、ホストソフトウェアのマニュアルを参照してください。



スタンドアローンモードで MIDI 録音を行うことはできません。オーディオと MIDI ルーティングに関しては [↑ 2.7, 環境設定 \(Preferences\)](#) を参照してください。



KOMplete KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

2.4.1 Transport と Navigate コントロール

KOMLETE KONTROL をホストシーケンサーソフトウェア上でプラグインとして使用する場合、KOMLETE KONTROL は自動的にホストのトランスポートとテンポ設定に同期します。KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのトランスポートとナビゲート機能はホストアプリケーションのコントロール用に使用できます。例えば DAW 上のトラックの切り替えや、録音開始、録音内容の再生をキーボードで操作することができます (↑5.3, [ホストコントロールとトランスポートセクション](#))。



MIDI モードで KOMLETE KONTROL S-SERIES を使用することで、KOMLETE KONTROL を起動しなくてもこれらの操作を行うことができます。

スタンドアローンモード時のトランスポートとテンポ

KOMLETE KONTROL をスタンドアローンモードで使用している場合は独自のトランスポートとテンポ設定を使用します。これらはシーケンスを用いた KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントやアルペジエーターに反映されます。更にテンポの値は音楽テンポを使用したパラメーターを扱う全インストゥルメントやエフェクトに反映されます (例、リズム的なモジュレーションやディレイエフェクト)。トランスポートとテンポ設定はヘッダーにあります。



KOMLETE KONTROL のトランスポートとテンポです。

プレイボタン (1) で内部クロックを起動、停止します。これらの値はシーケンスを含む KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントに適用されます。

- ▶ KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで内部クロックを起動するには **PLAY** を押します。
- ▶ KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで内部クロックを停止するには **STOP** を押します。

リセットボタン (2) で内部クロックをスタート位置にリセットします。KONTAKT と REAKTOR インストゥルメントのシーケンサーも最初から再生されるようになります。アルペジエーターも同じように反応します。

内部クロックが停止している時にリセットすると、プレイボタンを押すことで再生内容が最初から再生されます。内部クロックが起動している場合は、リセットで再生内容が最初の位置に戻り、再生を続けます。

- ▶ 内部クロックが停止している状態で KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで内部クロックをリセットするには **STOP** を押します。
- ▶ 内部クロックが停止している状態で KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで内部クロックをリセット、クロックを開始するには、**SHIFT + PLAY** を押します。
- ▶ 内部クロックが起動している状態で KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで内部クロックをリセット、クロックを開始するには、**SHIFT + PLAY** を押します。

テンポは (3) BPM (beats per minute) でグローバルに設定されます。クリックドラッグ、または店舗値をダブルクリックすることで数値を入力することでテンポを変更することもできます。

- ▶ KOMplete KONTROL S-SERIES でテンポを設定するには、**SHIFT** を押しながらコントロールエンコーダーを押しながら回します。



プラグインモードでは KOMplete KONTROL はホストと同期します。これにより KOMplete KONTROL ヘッダーのトランスポートとテンポ機能は使用できない状態となります。

2.4.2 オーディオと MIDI のやり取り

KOMplete KONTROL をスタンドアローンモードで使用すると、オーディオ、MIDI インターフェイスと直接信号のやり取りを行います。オーディオインターフェイスで使用する物理オーディオ/MIDI ポートを選択することができ、サンプルレートなどの必要不可欠な設定を行います。これらの設定はすべて [Preferences](#) の [Audio](#) と [MIDI](#) ページで行います (↑2.7, [環境設定 \(Preferences\)](#) 参照)。

- KOMplete KONTROL をホストアプリケーション上でプラグインとして使用する場合オーディオ、MIDI インターフェイスとのやり取りはホストを介され、KOMplete KONTROL プラグインはホストのみとやり取りを行います。



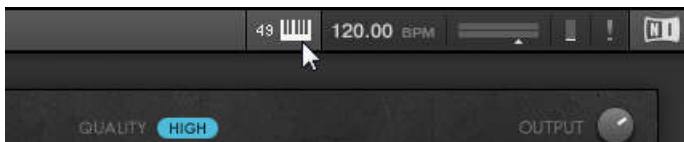
使用しているホストアプリケーションの各資料を参照し、オーディオと MIDI の設定を行ってください。

2.4.3 複数のプラグインインスタンス

ホストアプリケーションでプラグインバージョンの KOMplete KONTROL を使用している場合、複数の KOMplete KONTROL を使用することが可能です。使用しているコンピューターの CPU の許容能力に合わせて際限なく KOMplete KONTROL を起動させることが可能です。スタンドアローンバージョンとは違い、常にホストテンポに同期します。プラグインモードで、KOMplete KONTROL またはインストールメントパラメーターのオートメーションの録音を行うことができます。詳細は [↑ 5.3.3, KOMplete KONTROL インスタンスの切り替え](#)と [↑ 2.11, MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール](#)を参照してください。

2.4.4 インスタンスの切り替え

複数の KOMplete KONTROL ソフトウェアインスタンスを起動している場合（DAW 上の異なるトラックでプラグインとして複数起動している場合）、KOMplete KONTROL キーボードで制御するインスタンスをどれかに絞る必要があります。インスタンスの選択はキーボード、またはソフトウェアからの両方で行うことができます。



コネクトボタンをクリックしてインスタンスとキーボードを接続します。

ソフトウェアでインスタンスを切り替える

- ▶ 特定の KOMplete KONTROL インスタンスからキーボードを選択するには、使用するインスタンスの KOMplete KONTROL ヘッダで Connect ボタン（キーボードアイコン）をクリックします。

キーボードでインスタンスを切り替える

キーボードで特定の KOMplete KONTROL インスタンスを選択する方法は以下となります。



ホストアプリケーションの互換性とバージョンによって、KOMplete KONTROL インスタンスの切り替えが機能しない場合があります。



Ableton Live と KOMplete KONTROL S-SERIES を使用する際の設定内容詳細に関しては、ハードディスク内の KOMplete KONTROL インストールフォルダ内にある資料 KOMplete KONTROL S-SERIES Ableton Live Setup PDF ファイルを参照してください。

- ▶ キーボードで KOMplete KONTROL インスタンスを選択するには、KOMplete KONTROL S-SERIES の上下 **NAVIGATE** ボタンを使用して DAW 内でインスタンスを含んでいるトラックを選択してください。トラックにロードしてある KOMplete KONTROL インスタンスは自動的に選択されます。

トラックの選択方法、キーボードで KOMplete KONTROL インスタンスを選択する方法に関する詳細は ↑ [5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。

2.4.5 ホストアプリケーションの設定

KOMplete KONTROL はスタンドアローンで使用できますが、ホストアプリケーション内でプラグインとして活用する場合があります。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを使用してホストアプリケーションを操作するには、事前の設定が必要です。必要な設定は以下に記載してあります。



DAW と KOMplete KONTROL、KOMplete KONTROL S-SERIES を完全連動させるために、ホストアプリケーションの資料を確認して必要な設定を行ってください。

KOMplete KONTROL S-SERIES 用にホストを設定する

KOMplete KONTROL のホスト統合機能が円滑に機能するためには、ホストアプリケーションが以下の機能に対応している必要があります。以下のナレッジベースの記事を参照して、各ホストアプリケーションが対応する連動用各機能について確認してください。 <https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>



外部 MIDI ハードウェアを用いる際のホストアプリケーションの設定方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

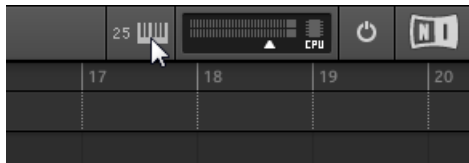
KOMPLETE KONTROL S-SERIES を使用するためにホストアプリケーションを設定する方法に関しては以下のナレッジベース記事を参照してください。

- KOMPLETE KONTROL 用 Ableton Live 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557689>
- KOMPLETE KONTROL 用 Apple Logic 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210279905>
- KOMPLETE KONTROL 用 GarageBand 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210844489>
- KOMPLETE KONTROL 用 Steinberg Cubase / Nuendo 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557849>

2.5 KOMPLETE KONTROL S-SERIES で MASCHINE をコントロールする

MASCHINE を使用する際、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで MASCHINE の基本機能をハードウェアから操作することができます。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードにマッピングされる機能は以下となります。

- ▶ 接続している KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのフォーカスを MASCHINE に切り替えるには、ヘッダーのキーボードアイコンをクリックします。



KOMPLETE KONTROL を使用する際の詳細は MASCHINE マニュアルを参照してください。

PERFORM セクション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
SCALE	選択したグループの SCALE を起動、起動解除します。
ARP	選択したグループの ARP を起動、起動解除します。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
SHIFT + SCALE	選択したグループの SCALE を編集します。
SHIFT + ARP	選択したグループの ARP を編集します。

TRANSPORT セクション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
基本トランスポート	
PLAY	再生を開始、停止します。
SHIFT + PLAY (RESTART)	ループレンジの最初から再生を開始します。
REC	録音を開始、停止します。
SHIFT + REC (COUNT-IN)	カウントしてから録音を開始します。
STOP	停止
SHIFT + STOP	メトロノームを起動/起動解除します。
ループレンジ	
LOOP + コントロールエンコーダー	全ループレンジの移動
LOOP + 左ナビゲート + コントロールエンコーダー	ループレンジの起点を移動します。
LOOP + 右ナビゲート + コントロールエンコーダー	ループレンジの終点を移動します。
SHIFT + LOOP	ループレンジの全シーンを含みます。
再生ヘッドのジャンプ	
RWD	パターングリッド単位で再生ヘッドを巻き戻します。
FFW	パターングリッド単位で再生ヘッドを早送りします。
SHIFT + RWD	ステップグリッド単位で再生ヘッドを巻き戻します。
SHIFT + FFW	ステップグリッド単位で再生ヘッドを早送りします。

TRANSPOSE セクション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
SHIFT + OCT-	Pitch Strip 用 Touch Strip 設定を編集します。
SHIFT + OCT+	Modulation Strip 用 Touch Strip 設定を編集します。

コントロールセクション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
ページ左	プラグインページを左に移動します。
ページ右	プラグインページを右に移動します。

NAVIGATE セクション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
コントロールエンコーダー	
コントロールエンコーダー (回す)	パターングリッド単位で再生ヘッドを移動します。
SHIFT + コントロールエンコーダー (回す)	スロットのボリュームを調整します。
SHIFT + コントロールエンコーダー (押す)	ブラウズ時にプリセットをお気に入り登録します。
ナビゲート矢印	
左ナビゲート矢印	選択したサウンドスロットで前のプラグインスロットを選択します。
右ナビゲート矢印	選択したサウンドスロットで次のプラグインスロットを選択します。
上ナビゲート矢印	選択したグループスロットで前のサウンドスロットを選択します。
下ナビゲート矢印	選択したグループスロットで次のサウンドスロットを選択します。
SHIFT + 上ナビゲート矢印	前のグループを選択します。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES で使用するボタン	MASCHINE に対する操作内容
SHIFT + 下ナビゲート矢印	次のグループを選択します。
Other	
BROWSE	オンスクリーンオーバーレイを用いてブラウズします。
INSTANCE	MASCHINE と KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替えを行います。
SHIFT + INSTANCE	MIDI モードへの切り替え
PRESET 上	前のプリセットを選択します。
PRESET 下	次のプリセットを選択します。
BACK	オンスクリーンオーバーレイでその前の段階に戻ります。
ENTER	オンスクリーンオーバーレイでその後の段階に移動します。

2.6 MIDI モード

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで専用 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、本ハードウェアを USB や他の MIDI 対応するハードウェアを介してコンピュータに接続し、非常に強力で万能な MIDI コントローラーとして MIDI 使用が可能なソフトウェア、ハードウェア機器を USB、または MIDI を介して操作することが可能です。

MIDI モードへの切り替え

キーボードの KOMPLETE KONTROL モードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。

- ▶ KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで **SHIFT + INSTANCE** を押します。
- ▶ MIDI モードに関してはセクション [↑5.2, MIDI モード](#) を参照してください。

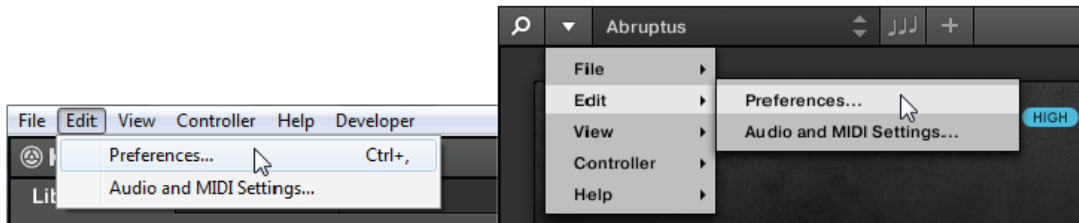
Controller Editor

MIDI モードの多彩な威力はコントローラーエディター (Controller Editor) ソフトウェアによるものです。このソフトウェアによって KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの正確な MIDI アサインが設定できます。コントローラーエディターは KOMPLETE KONTROL インストールの過程でインストールされます。詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

2.7 環境設定 (Preferences)

Preferences で COMPLETE KONTROL の各設定を行います。

- ▶ Preferences パネルを開くには、Complete Kontrol メニューの *Preferences…*(Mac OS X) をクリック、またはアプリケーションメニューバーの *Edit* メニューをクリック(Windows)、COMPLETE KONTROL メニューの *Edit* サブメニューをクリックします。



環境設定 (Preferences) パネルには以下のページがあります。

- **Audio:** ↑ 2.7.1, Preferences – Audio ページ
- **MIDI:** ↑ 2.7.2, Preferences – MIDI ページ
- **Library:** ↑ 2.7.3, Preferences – Library ページ
- **Plug-ins:** ↑ 2.7.4, Preferences – Plug-ins ページ
- **Hardware:** ↑ 2.7.5, Preferences – Hardware ページ

2.7.1 Preferences – Audio ページ

COMPLETE KONTROL をスタンドアロンアプリケーションとして起動している場合、Audio ページでオーディオインターフェイスに関する各設定項目を使用できます。



KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーション内のプラグインとして起動している場合、各音声用設定はホストアプリケーションで行い、Audio ページは使用できない状態となります。ホスト上で COMPLETE KONTROL を使用方法の詳細は ↑ 2.4, スタンドアロンとプラグインモード を参照してください。

Routings セクションで COMPLETE KONTROL のバーチャルアウトプットと、オーディオインターフェイスの物理アウトプットの接続を設定します。



Preferences パネル— Audio ページ

セッティング	内容
Driver	ここで オーディオドライバを選択します。
Device	複数のオーディオインターフェイスを接続している場合は、ここで使用する機器を指定します。
Status	ここでオーディオインターフェイスが正常に機能しているか確認します。

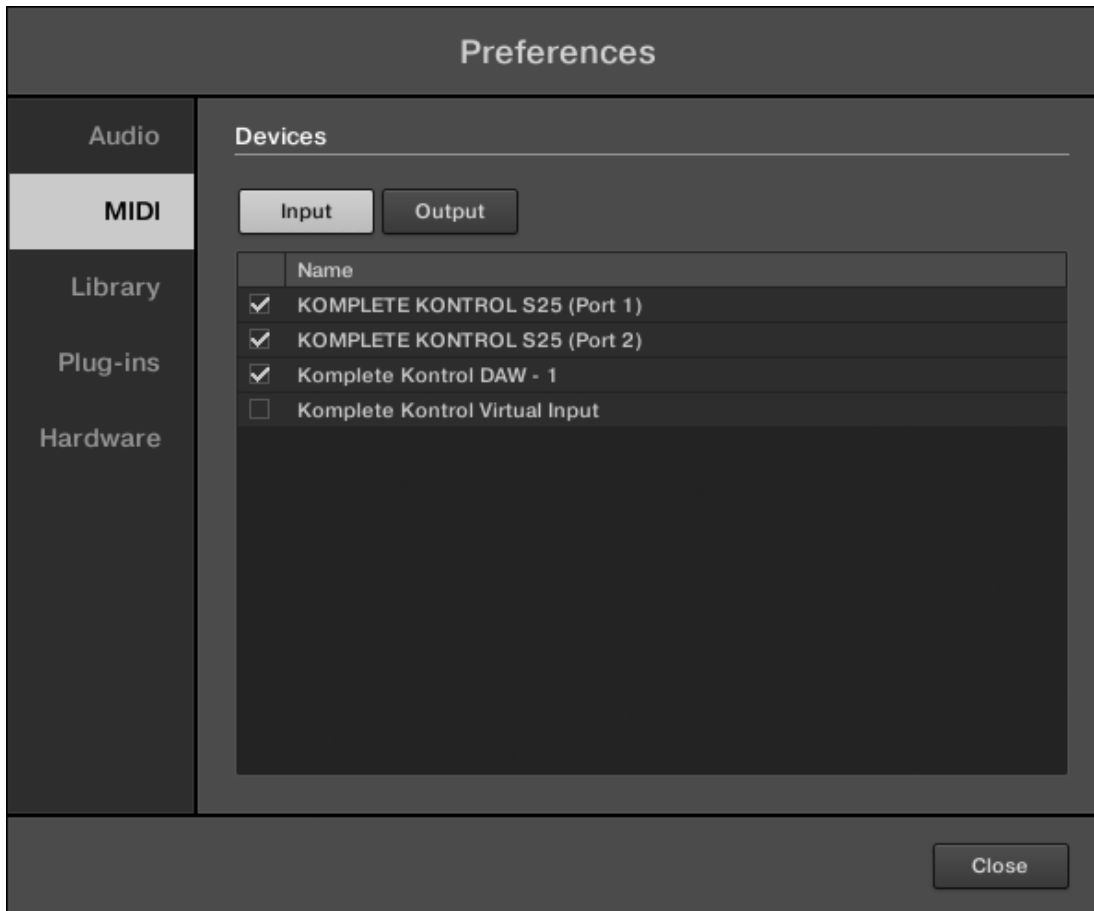
セッティング	内容
Sample Rate	ここで使用しているオーディオインターフェイスのサンプルレートを表示します。サンプリングレートを変更した後は KOMPLETE KONTROL を再起動してください。
Buffer Size (バッファサイズ)	<p>Mac OS X: このスライダーでオーディオインターフェイスのバッファサイズをサンプル単位で調節します。低い値で反応速度は高くなりますが、CPU 負担が高くなる為、オーディオにクリックが生じる場合があります。大きな値で CPU への負担は軽減しますが、レイテンシーは大きくなります (例、パッドを叩いても音声が発音するまでに遅れが生じます)。使用頻度に合わせてクリックが生じない程度まで値を下げてください。</p> <p>Windows: ASIO ドライバを使用している場合、Audio ページでは Buffer Size スライダーの代わりに ASIO Config ボタンを表示します。このボタンをクリックして選択した ASIO ウィンドウの設定ダイアログを表示します。</p>
Latency	ここでは現在の Buffer Size 設定によるディレイを表示します。
Routings	Routings では KOMPLETE KONTROL の 16 個のステレオアウトプットをリスト表示します。右の欄で、オーディオインターフェイスのアウトプットにアサインします。右の欄のフィールドをクリックしてドロップダウンメニューで任意のアウトプットを選択します。

2.7.2 Preferences – MIDI ページ

MIDI ページで KOMPLETE KONTROL をスタンドアロンで起動する際の MIDI インプット/アウトプットの設定を行います。KOMPLETE KONTROL の MIDI 活用に関しては [↑ 2.9, MIDI 入出力](#) を参照してください。



KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーション内のプラグインとして起動している場合、各 MIDI 設定はホストアプリケーションで行い、MIDI ページは使用できない状態となります。ホスト上で KOMPLETE KONTROL を使用する方法詳細は [↑ 2.4, スタンドアロンとプラグインモード](#) を参照してください。



Preferences パネル— MIDI ページ (コンピューターによってエントリー内容が異なります)

要因	内容
Input	Input をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI インプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。
Output	Output をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI アウトプットを表示します。名称隣のチェックボックスをクリックすることで起動/起動解除します。



MIDI Output 設定は KOMplete KONTROL の Smart Play 機能を他の MIDI インストゥルメントと使用する際に必要となります。詳細は [↑7.9, Scale と Arp の MIDI アウトプット](#) を参照してください。

2.7.3 Preferences – Library ページ

Library ページ でブラウザの Library ペインの KOMplete KONTROL ライブラリーファイル (ファクトリー、ユーザー) の全ロケーションを編集します。



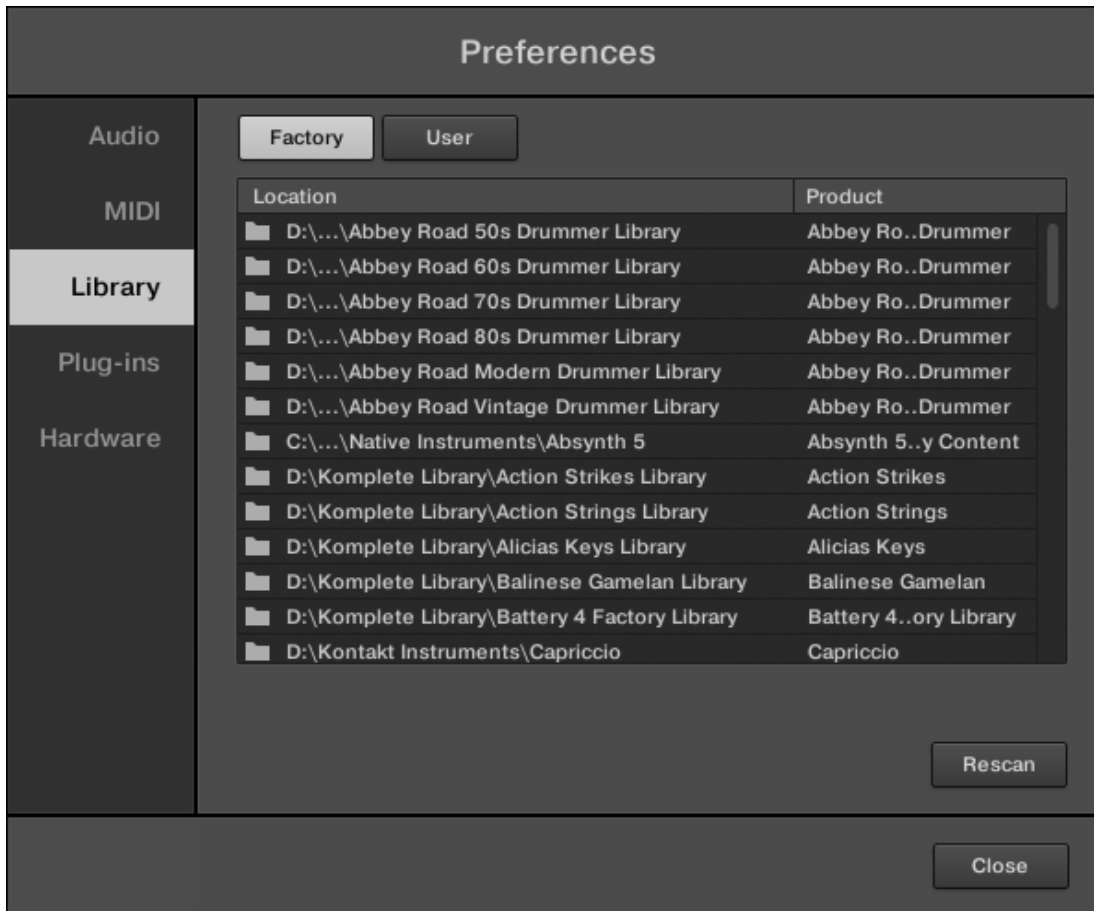
ブラウザの Library ペインの詳細は [↑6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) にあります。

- ▶ Library ページを表示するには Preferences パネルの左にある Library タブをクリックします。ページの上にある Factory と User ボタンで Factory ペイン User ペインを切り替えます。

Factory ペイン

Factory ペインでは有効な全ファクトリーライブラリを表示します。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの Factory ビューに表示されます。

- ▶ Factory ペインを表示するには Library ページ上部の Factory ボタンを押します。



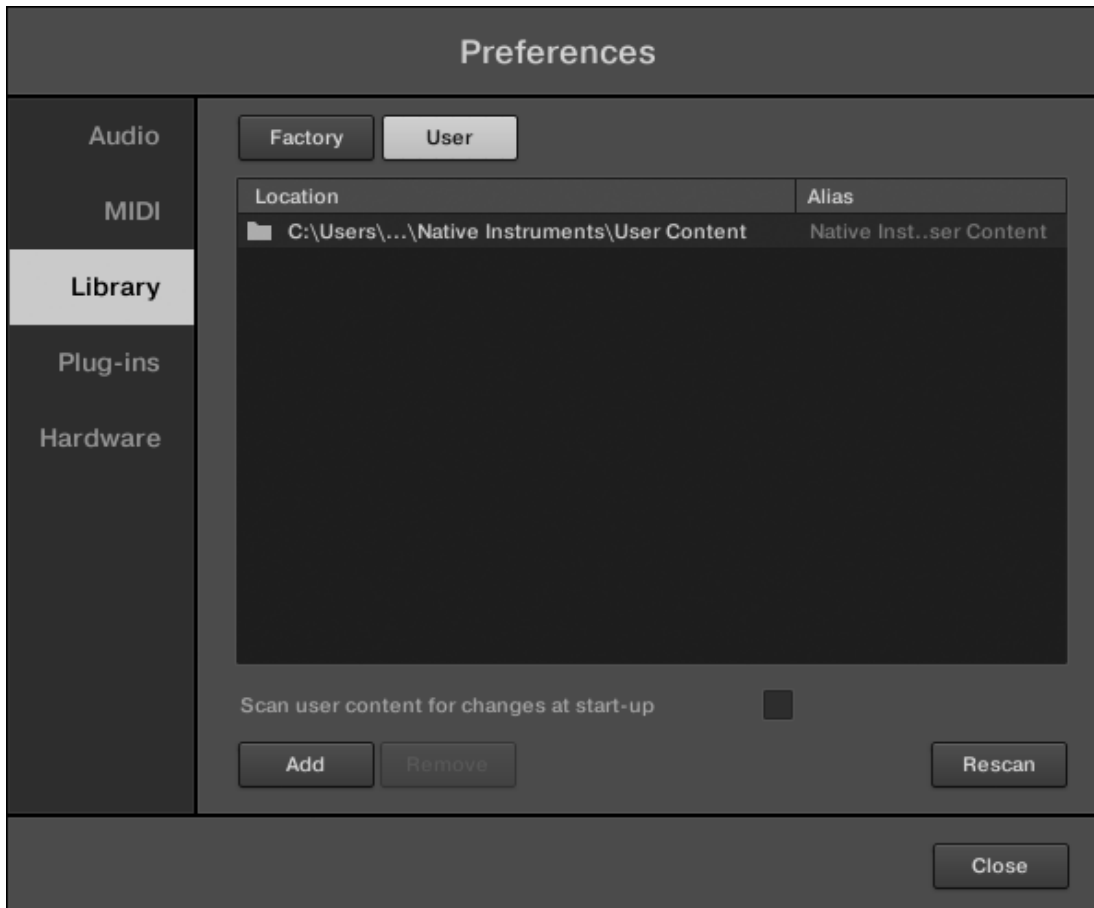
Preferences パネル- Library ページの Factory ペインです。

Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダーアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Product カラム	各製品名称を表示します。これらの名称は編集できません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、場所の変更)は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。

User ペイン

User ペインでは現在使用している全ユーザーライブラリを表示します。ここには KOMLETE KONTROL のスタンダードユーザーディレクトリとその他のディレクトリが含まれます。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの User ビューに表示されます。

- ▶ User ペインを表示するには、Library ページ上部の User ボタンをクリックします。



Preferences パネル- Library ページの User ペインです。

Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダーアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Alias カラム	各ライブラリ用に保存されたエイリアスを表示します。エイリアスをクリックして編集します。ユーザーフォルダー用にエイリアスを指定する必要はありませんが、異なるコンピューターを使用する際に便利でしょう(以下参照)。ロケーションを追加した後(以下 Add 参照)、新規項目欄のフィールド部をクリックし、Alias カラムで新規ロケーション用エイリアスを設定します。ロケーションを追加した後(以下 Add 参照)、新規項目欄のフィールド部をクリックし、Alias カラムで新規ロケーション用エイリアスを設定します。デフォルトユーザーフォルダーエイリアスである Native Instruments User Directory は編集することができません。ここにデフォルトで全ユーザーファイルが保存されます。
Scan user content for changes at start-up	デフォルトで起動した状態となるこのオプション機能は、KOMPLETE KONTROL 起動時に MASCHINE で作成した新規コンテンツがあるか自動的にチェックします。
Add ボタン	Add をクリックしてユーザーライブラリにディレクトリを手動で追加します。詳細は以下を参照してください。
Remove ボタン	Remove をクリックして選択したユーザーライブラリを削除します。ファイルは KOMPLETE KONTROL ブラウザから削除されるだけで、ハードディスクから削除されることはありません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合(例、ファイルの追加、削除後)は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。



この Preferences (環境設定) パネルのサイズは通常コンピューター上で行う方法と同様の方法で変更することができます。各項目欄の境界線をドラッグして各欄のサイズ変更を行うことができます。

ユーザーライブラリにフォルダーを追加する

Library ページの User ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツに他のフォルダーを追加することができます。方法は以下となります。

1. ペインの下の Add をクリックします。
フォルダー選択ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでコンピューター上の任意のフォルダーを選択、OK をクリックします(Choose、選択、Mac OS X)。

→ 選択したフォルダ内の全 KOMLETE KONTROL-互換ファイルが KOMLETE KONTROL のユーザーコンテンツに追加されます。



KOMLETE KONTROL-互換ファイルは *ens*、*rkplr*、*nrkt*、*nksn*、*nfm8*、*nabs*、*nki*、*nmsv*、*nbkt*、*nis* となります。

更にインポートした全てのファイルのアトリビュートセット (Instrument/Bank/Sub-Bank、Type/Sub-Type/Mode タグ、プロパティ) も再現されます。

KOMLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツにフォルダを追加する場合は、ブラウザの **Library** ペインにファイルを作成して検索とロードがスムーズに行えるようにしてください。ブラウザの **Library** ペインの使用法詳細はセクション [↑ 6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) を参照してください。



ブラウザの **Files** ペインの **IMPORT** ボタンを介して追加したフォルダのパスもここに表示されます。ここで解説する **Preferences** パネルで **Add** ボタンを使用してフォルダを追加する方法とブラウザの **Files** ペインの **IMPORT** ボタンを使用してフォルダを追加する方法の相違点は、後者ではインポートしたファイルに直接タグをつけることが可能な点にあります。セクション [↑ 6.3.5, Files ペイン内でリザルトリストを使用する](#) を参照して **Files** ペインからフォルダをインポートしてください。

フォルダ選択時に **User** または **Factory** ペインに既に表示してあるフォルダを選択、またそのフォルダを含んだフォルダを選択することはできません。フォルダセレクションダイアログで **OK**、(**Choose**、**選択**、**Mac OS X**)を押した時点で KOMLETE KONTROL が上に該当するようなフォルダを検出した場合は **Duplicate Location** メッセージが表示されるので、**OK** をクリックしてフォルダセレクションダイアログに戻り、コンピューターで他のフォルダを選択します。

ユーザーライブラリからフォルダを削除する

ライブラリからデフォルトユーザーコンテンツディレクトリである **Native Instruments User Content** 以外のユーザーフォルダを削除することもできます。

2.7.4 Preferences – Plug-ins ページ

Plug-ins ページで KOMLETE KONTROL 内の VST プラグインを管理します。

- ▶ **Plug-ins** ページを表示するには **Preferences** パネルの左の **Plug-ins** タブをクリックします。

ページ上部の [Manager](#) と [Locations](#) ボタンで [Manager](#) ペインと [Locations](#) ペインを切り替えます。

Manager ペイン

[Manager](#) ペインで KOMLETE KONTROL の全 VST プラグインを閲覧、管理することができます。デフォルトでは全てのプラグインが KOMLETE KONTROL 内で使用できる状態に設定してあります。

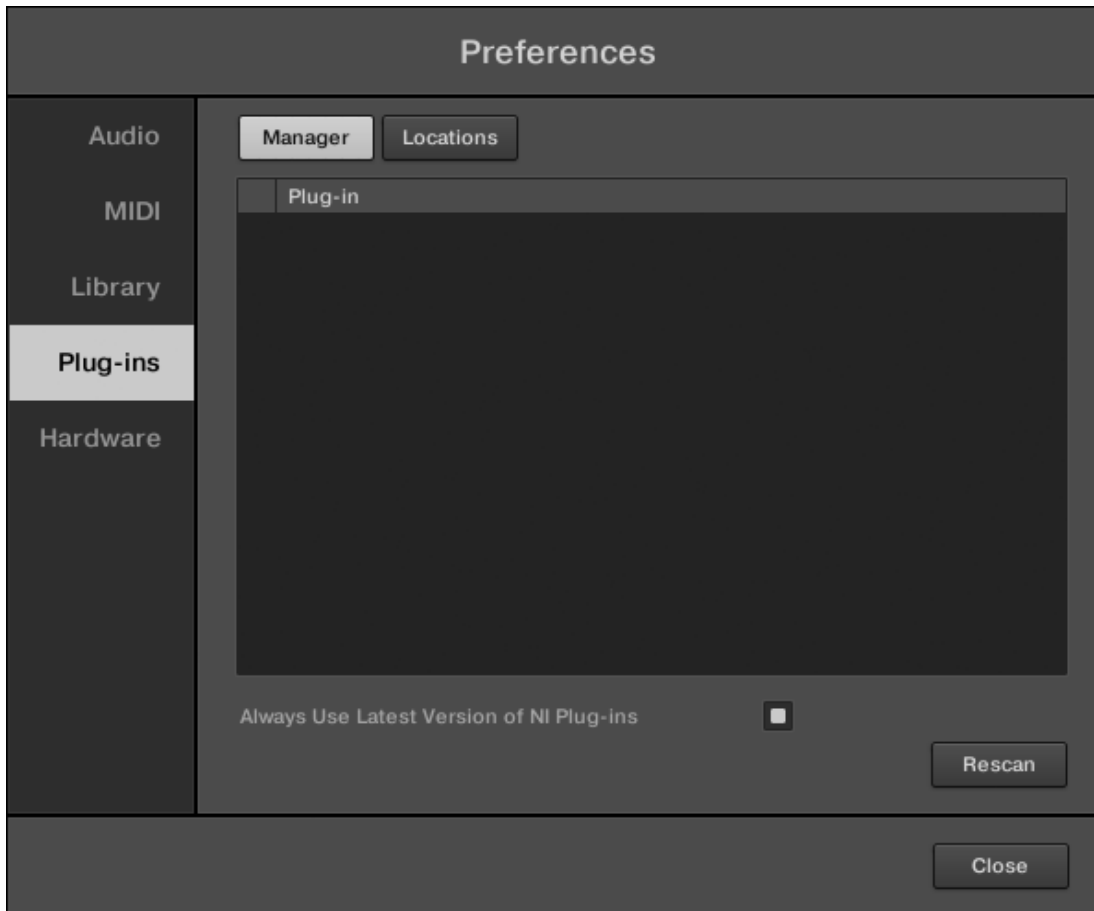
- ▶ KOMLETE KONTROL で必要としないプラグインを起動しない状態にするには、プラグイン名称横のチェックを外します。

[Always use latest version of NI Plug-ins](#) オプションでプラグインをライブラリからロードする際最新のプラグインをロードするか否かを指定します。このオプションを無効にすると、Library コンテンツはコンピューターの最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。



例えば、このオプションはフルバージョンの REAKTOR 5 と REAKTOR 6 Player が必要な KOMLETE インストゥルメントをインストールしている場合等で使用できます。このオプションを無効にすると、フルバージョンの REAKTOR 5 をロード、REAKTOR 5 の Factory Library が使用でき、KOMLETE インストゥルメントは REAKTOR 6 Player 内で起動します。この場合、REAKTOR 5 Factory Library を REAKTOR 6 Player で使用できない場合ため、このような状態になります。

- ▶ [Manager](#) ペインを表示するには、[Plug-ins](#) ページ上部の [Manager](#) ボタンをクリックします。



Preferences パネル— Plug-ins ページの Manager ペインです。

チェックボックス欄です。

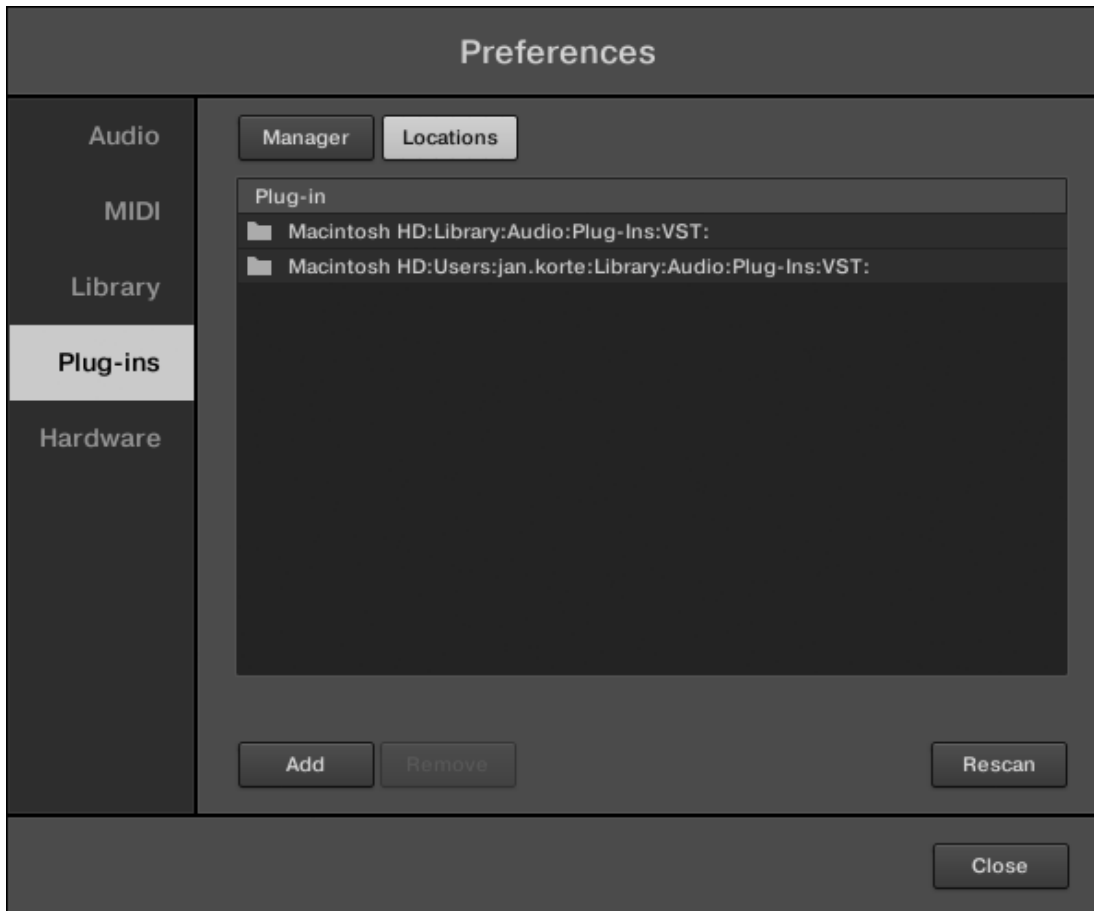
KOMPLETE KONTROL で使用するプラグインをここで起動、起動しない状態にするか選択します。

Plug-in 欄	KOMLETE KONTROL の全 VST プラグインをリスト表示します。
Always use latest version of NI Plug-ins	このオプションを有効にすると、Library コンテンツは最新バージョンのプラグインをロードします。 このオプションを無効にすると、Library コンテンツは最低限必要な動作環境に対応するものをロードします。

Locations ペイン

Locations ペインでハードドライブにあるプラグインを含んだ各フォルダを管理します。KOMLETE KONTROL がそれらのフォルダをスキャンし、VST プラグインを検索、**Manager** ペインに追加します。リストからフォルダーを **Add** (追加)、**Remove** (削除) したり、フォルダの内容を変更した場合や更新した場合は **Rescan** 機能で KOMLETE KONTROL 内のプラグインをアップデートすることもできます。

- ▶ **Locations** ペインを表示するには、**Plug-ins** ページ最上部にある **Locations** ボタンを押します。



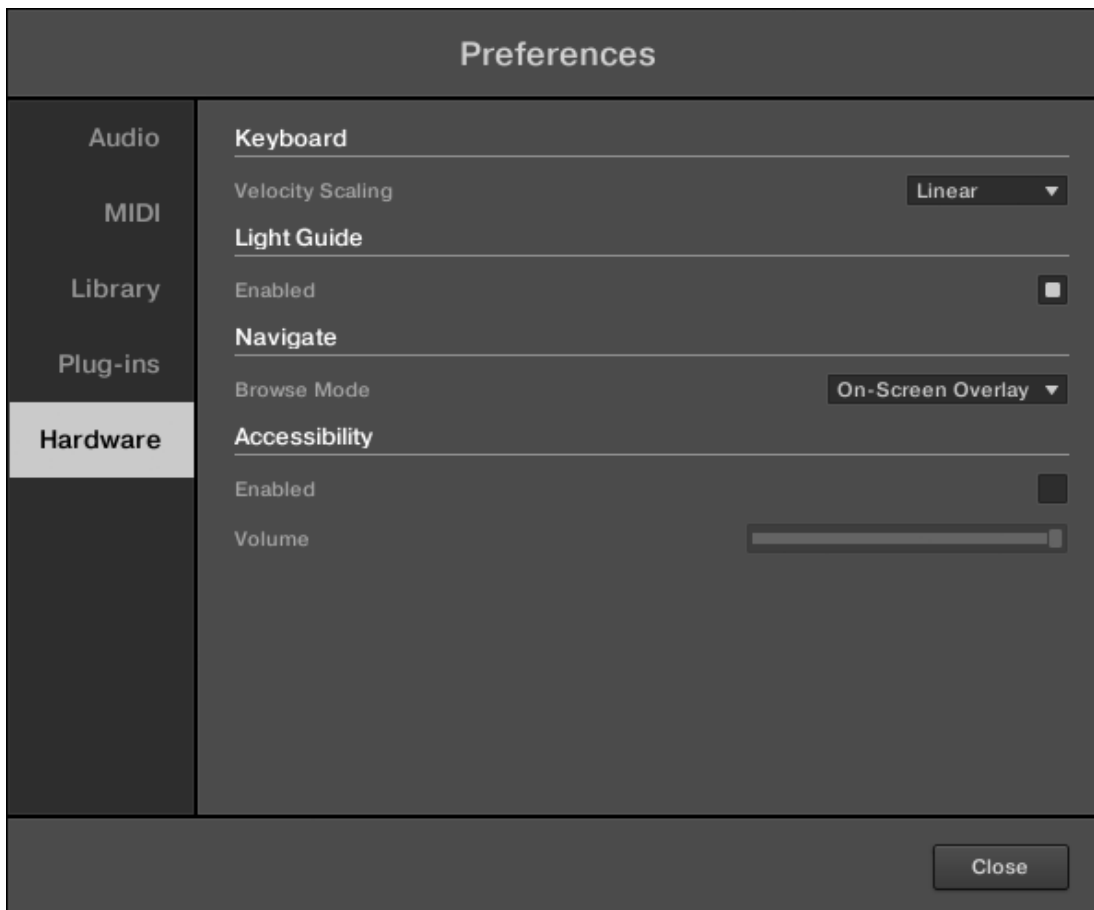
Preferences パネル— Plug-ins ページの Locations ペインです。

Plug-in 欄	KOMPLETE KONTROL が VST プラグインを対称に全フォルダをスキャンします。
Add	ファイルダイアログを開き、リストに他のフォルダを追加します。
Remove	リストから選択しているフォルダーを削除します。
Rescan	リストにある全フォルダをスキャンし、プラグインの更新内容にあわせて Manager ペイン内容をアップデートします。

2.7.5 Preferences – Hardware ページ

Hardware ページで鍵盤の反応、Light Guide のオン/オフ性質をカスタマイズすることができます (↑5.6, Light Guide (ライトガイド) 参照)。

- ▶ Hardware ページを表示するには、KOMplete KONTROL S-SERIES を接続した状態で Preferences パネル左の Hardware タブをクリックします。



Preferences パネル— Hardware ページ

Keyboard	
Velocity Scaling	Velocity Scaling (ベロシティースケールリング) で演奏情報をどのようなベロシティーで対応するか選択します。選択肢は <i>Soft 3</i> (反応感度が高い) から <i>Linear</i> を介し、 <i>Hard 3</i> (力を入れて鍵盤を叩かないと反応しません) までとなっています。
Light Guide	
Enabled	Light Guide は鍵盤上部にある色付き LED 部で、この部分がオンオフ点灯します。Light Guide はホストアプリケーションが再生する MIDI パターンを視覚化、また Perform Panel で設定したスケールを基準に発音しているキーを表示します。
ナビゲート	
Browse Mode	Hardware と On-Screen Overlay モードを切り替え、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでのブラウズに活用します。詳細は ↑6.6.1, ブラウズモードとハードウェアブラウジング を参照してください。
ユーザー補助機能 (Accessibility)	
Enabled	視覚障害者向けにスピーチ機能を起動します (OS X のみ)。詳細は ↑1.4, ユーザー補助機能 (Accessibility) を参照してください。
Volume	テキストスピーチ機能の音量を設定します。

2.8 外部 MIDI 機器と KOMPLETE KONTROL S-SERIES を接続する

使用している MIDI セットアップに KOMPLETE KONTROL S-SERIES を組み込むこともできます。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルの MIDI 端子です。

外部 MIDI 機器を接続する方法は以下となります。

1. 一般的な MIDI ケーブルを用いて KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのリアパネルにある **MIDI IN** または **MIDI OUT** 端子に接続します。
2. KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンとして起動している場合、は [Preferences](#) の [MIDI](#) ページで該当する MIDI インพุットを起動、必要であれば MIDI アウトプットを起動します(↑2.7, [環境設定 \(Preferences\)](#))。
3. KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、MIDI の設定はホスト上で行います (↑2.4, [スタンドアローンとプラグインモード](#)、↑2.4.5, [ホストアプリケーションの設定参照](#))。MIDI の設定に関してはホストの資料を参照してください。
4. USB 接続せずに KOMPLETE KONTROL S-SERIES を使用すると、キーボードのリアパネルの **MIDI IN** または **MIDI OUT** を介して MIDI データが直接送受信されます(↑5.2.3, [スタンドアローン操作](#))。

2.9 MIDI 入出力

KOMPLETE KONTROL は多くの状況で活用できる MIDI コントロールとホストオートメーションに対応しています。

2.9.1 入力 MIDI とホストオートメーション

KOMPLETE KONTROL とロードするインストゥルメントは MIDI とホスト (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして起動している場合) を介して操作できます。

- **MIDI ノートによるインストゥルメントの発音:** デフォルトで受信 MIDI ノートはロードしたインストゥルメントを発音、Light Guide の対応する鍵盤上部の LED を点灯します。MIDI 設定詳細は [↑2.7.2, Preferences – MIDI ページ](#)を参照してください。
- **ホストオートメーションを介したパラメーターのコントロール:** ホストオートメーションで KOMPLETE KONTROL とインストゥルメントのパラメーターをコントロールすることができます (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして起動している場合)。セクション [↑2.11, MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール](#)を参照してください。

MIDI クロックの受信

ホストアプリケーションでプラグインとして KOMPLETE KONTROL をロードした場合、テンポは自動的にホストのテンポと同期します。The tempo display in KOMPLETE KONTROL ヘッダのテンポ表示部は灰色表示となり、テンポはホストテンポと同期していることを示します。

2.9.2 MIDI 出力とホストコントロール

KOMPLETE KONTROL S-SERIES から MIDI データを送信することもできます。

- **MIDI ノートの録音:** ホスト環境でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を起動している場合、KOMPLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤で演奏した内容を MIDI パターンとしてホストアプリケーションに録音することができます。
- **MIDI によるルーティングと録音:** KOMPLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーションと KOMPLETE KONTROL プラグインはスケールエンジンとアルペジエーターにより MIDI ノートを生じます (↑7, [KOMPLETE KONTROL Smart Play](#))。MIDI ノートを他の MIDI インストゥルメントにルーティング、またはホストアプリケーションで MIDI パターンとして録音することもできます (↑7.9, [Scale と Arp の MIDI アウトプット](#))。



AU (Audio Unit) で MIDI アウトプット機能は使用できません。

- **ホストアプリケーションのコントロール:** ホストアプリケーションのコントロール: KOMPLETE KONTROL S-SERIES の **TRANSPORT** と **NAVIGATE** セクションを使用してホストアプリケーションをコントロールすることも可能です。セクション ↑5.3, [ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。

2.9.3 MIDI モードとスタンドアローン操作

KOMPLETE KONTROL のコントロールの他、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを MIDI モードで使用し、MIDI CC (↑5.2, [MIDI モード](#) 参照) を用いてパラメーターをアサイン、コントロールすることが可能です。



MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

スタンドアローン操作

USB 接続せずにキーボードを使用すると、スタンドアローン時には KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルの 5 ピン MIDI ポートで外部 MIDI 機器を操作することができます (↑5.2.3, [スタンドアローン操作](#))。

2.10 Native Map

MIDI を介してパラメーターの MIDI メッセージをコントロール、オートメーション処理する場合、KOMLETE KONTROL のパラメーターを MIDI メッセージにアサインする必要はありません。代わりに KOMLETE KONTROL には Native Map と呼ばれる独自のプロパティーマッピングシステムを装備しており、このシステムが鍵盤をオン、KOMLETE KONTROL 内でインストゥルメントをロード、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブ、ディスプレイ、ボタン、タッチストリップを介して各パラメーターにアクセスします。

Native Map による自動アサインコントロール

ブラウザからインストゥルメントをロードすると、直ちにインストゥルメントのパラメーターが KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード中央部の 8 個のノブと、その左側の 2 つのタッチストリップに自動的にアサインされます。これにより、ソフトウェアとハードウェアをコントロールするための複雑な設定を行う必要がなくなります。

マッピングされた各ノブの機能内容はディスプレイに表示されます。ロードしたインストゥルメントの全パラメーターは 8 つの各ノブに対して自動マッピングされ、2 つの矢印型ページボタンでパラメーター間を移動します。マッピングを移動するとディスプレイが切り替わり、現在のマッピング内容を示します。詳細はセクション [↑5.4, コントロールセクション](#)を参照してください。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインパネルの各プリセット用パラメーターマッピングは、カスタマイズ可能です。詳細は [↑4.3, プラグインパネル](#)を参照してください。

2.11 MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール

ホストアプリケーション内で KOMLETE KONTROL をプラグインとして起動すると、ロードしたインストゥルメントのパラメーターが KOMLETE KONTROL S-SERIES のノブとディスプレイにマッピングされ、ホストでのオートメーション録音に対応するようになります。

オートメーション可能な KOMplete KONTROL パラメーターについて

オートメーション可能なパラメーターは Perform Panel、またはロードしたインストゥルメントに表示されます。ブラウザにあるコントロール部が MIDI を送信することはないので、ホストアプリケーションに表示されることはありません。これは KOMplete KONTROL S-SERIES のノブとディスプレイに Native Map または MIDI CC を介してアサインされたパラメーターのみをオートメーションすることが可能であることを意味します。



MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のソフトウェアインストールフォルダ内の Controller Editor の資料を参照してください。

KOMplete KONTROL S-SERIES を用いてホストアプリケーションをコントロールすることも可能です。セクション [↑5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

2.11.1 オートメーションの録音

多くの DAW ではオートメーション録音を行うために録音用トランスポートを起動する必要があり ([↑5.3.1, トランスポートコントロール](#)) ます。



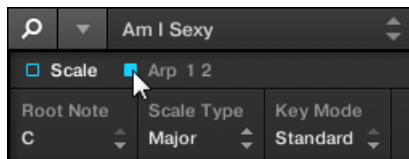
DAW によるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

KOMplete KONTROL を使用してホストでオートメーション録音を行う場合は、以下の段階を踏まえてください。

オン/オフスイッチ

オンオフスイッチの状態を変更するには

- ▶ コンピューターのマウスで該当ボタンをクリックしてください。



または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

ドロップダウンメニュー

ドロップダウンメニューで他のエントリーを選択するには

- ▶ コンピューターのマウスで該当するメニューをクリックし、エントリーを選択してください。



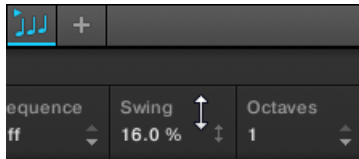
または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

ドラッグコントロール

ドラッグコントロールの値を変更するには、

- ▶ 該当するドラッグコントロールをコンピューターのマウスでクリックしてからドラッグしてください。



または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

2.11.2 オートメーション ID

DAW によってはプラグインの特定のパラメーターにマッピングされたオートメーション ID を用いてオートメーションを扱う場合もあります。KOMLETE KONTROL にはあらかじめ設定が施されたオートメーション ID のリストを備えており、ホストアプリケーションはこれらを自動的に検知します。



DAW によるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

Perform Panel 用オートメーション ID

以下のオートメーション ID は KOMLETE KONTROL のパフォーマンスパラメーター用のものです。

Automation ID	パラメーター
000	インスタンス認識と自動フォーカスフォロー用のものです。
001	Scale On / Off
002	Root Note (Scale)
003	Scale Type (Scale)
004	Key Mode (Scale)
006	Chord Mode (Scale)
007	Chord Type (Scale)

Automation ID	パラメーター
026	Arp On / Off
027	Mode (Arp)
028	Type (Arp)
029	Rate (Arp)
030	Sequence (Arp)
031	Swing (Arp)
032	Octaves (Arp)
033	Dynamic (Arp)
034	Gate (Arp)
035	Retrigger (Arp)
036	Repeat (Arp)
037	Offset (Arp)
038	Inversion (Arp)
039	Min. Key (Arp)
040	Max. Key (Arp)
041	Hold (Arp)



自身でオートメーション ID を設定する際、NIK00 ID を上書きしないように注意してください。この ID はホストが COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを認識する際に必要なものです。

KOMLETE インストゥルメント用オートメーション ID

オートメーション ID **101-1194** は COMPLETE インストゥルメントのオートメーションパラメーター用です。これにより、以前 KONTAKT または REAKTOR で設定された ID の再マッピングが施されます。

- すなわち、KONTAKT または REAKTOR オートメーション ID **000** は COMPLETE KONTROL オートメーション ID **100** に再マッピングされます。

- KONTAKT または REAKTOR オートメーション ID **100** は COMPLETE KONTROL オートメーション ID **200** に再マッピングされます。

2.12 COMPLETE KONTROL S-SERIES とペダルを使用する

COMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルにはペダル用 1/4" 端子 **SUSTAIN** と **EXPRESSION** が装備してあります。



キーボードのリアパネルのペダルインポートです。

これらの端子を用いることで、演奏に表現力を与えるサステインペダルとエクスプレッションペダルを接続できます。

- **SUSTAIN**: フットスイッチを接続することで演奏ノートのサステインを調整できます。これはオンオフスイッチです。
- **EXPRESSION**: エクスプレッションペダルを接続することでベロシティを調節できるようになります。これは連続値コントロールペダルとなります。



MIDI を介してペダルをアサインするにはコントローラーエディターのマニュアルを参照してください。

サステインペダルのポラリティー（方向性）の設定

COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのスイッチを入れると、自動的に接続したサステインペダルのポラリティーを設定します。

- ▶ COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのスイッチをオンにする際、サステインペダルを「オフ」または「押していない」状態にし、設定が正しく行われるようにしてください。

サステインペダルの反応が通常使用時と逆になる場合は、以下のように設定を行ってください。

1. COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードをオフにします。
2. サステインペダルを「オフ」または「押していない」状態にしてください。

3. KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードをオンにします。
→ これでサステインペダルのポラリティーが正しく設定されます。

3 クイックスタート

Native Access を用いて COMPLETE KONTROL をインストールし、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードをコンピューターと電源に接続、DAW と COMPLETE KONTROL での各環境設定の設定がずめば、COMPLETE KONTROL による演奏が可能な状態となります。このセクションでは、基本的なワークフローを紹介しながら各使用例を挙げていきます。



このセクションでは COMPLETE KONTROL と COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの連動に関する詳細と使用例について触れていきます。COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを使用しない場合は、[↑4, COMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#)に進んでください。

KOMLETE KONTROL S-SERIES と MIDI モード

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのスイッチを入れると、COMPLETE KONTROL モードであれば、画面に PRESS BROWSE、また MIDI モードであれば各 MIDI CC ナンバーが表示されます。

- コンピューターでまず **KOMLETE KONTROL ソフトウェア**を起動し、COMPLETE KONTROL S-SERIES のスイッチを入れると、キーボードは **KOMLETE KONTROL モード**で起動します。COMPLETE KONTROL モードに関しては [↑3.1, 最初のステップ](#) を参照してください。MIDI モードを起動したい場合は、キーボードの **INSTANCE** ボタンを押し、画面で **MIDI MODE** を選択します。
- **KOMLETE KONTROL ソフトウェア**を起動していない状態で、COMPLETE KONTROL S-SERIES のスイッチを入れると、キーボードは **MIDI モード**で起動します。COMPLETE KONTROL モードに切り替えるには、コンピューターでソフトウェアを起動します。モードの切り替え詳細は [↑2.6, MIDI モード](#) を参照してください。
- COMPLETE KONTROL S-SERIES を **MIDI コントローラー**として使用し、**KOMLETE KONTROL ソフトウェア**を使用することなく DAW をコントロールする場合は、キーボードは **MIDI モード**となります。MIDI モードの詳細は [↑5.2, MIDI モード](#)を確認してください。

3.1 最初のステップ

KOMLETE KONTROL ソフトウェアと COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを起動したら、まずブラウザに目を向けてみましょう。ブラウザの詳細はセクション [↑6, COMPLETE KONTROL ブラウザ](#) を参照してください。



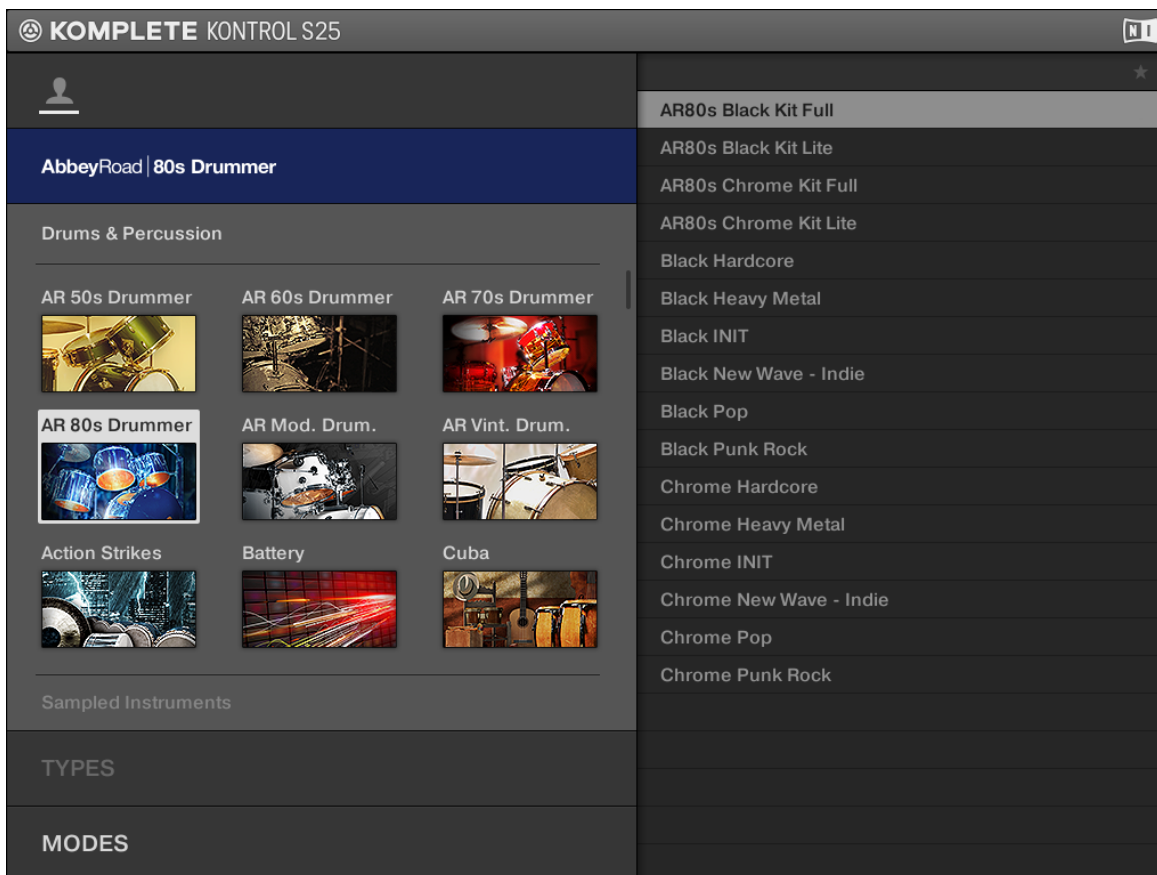
このセクションではスタンドアローンモード、またはホストアプリケーション内でプラグインとして COMPLETE KONTROL を起動している前提で解説を進めます。

3.1.1 ブラウザを開く



このセクションではブラウザ使用時にデフォルト状態の KOMPLETE KONTROL S-SERIES とコンピューター画面両方を使用している前提で解説を進めます。 KOMPLETE KONTROL S-SERIES のみを使用してブラウザを行っている場合は [↑6.6.1, ブラウズモードとハードウェアブラウジング](#) に進んでください。

- ▶ ブラウザを開いて KOMPLETE KONTROL ライブラリにアクセスするには KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **BROWSE** ボタンを押します。画面の右には **NAVIGATE** セクションがあります。



ディスプレイでブラウザを表示しています。



KOMPLETE KONTROL ライブラリの内容によってブラウザの見た目は異なります。

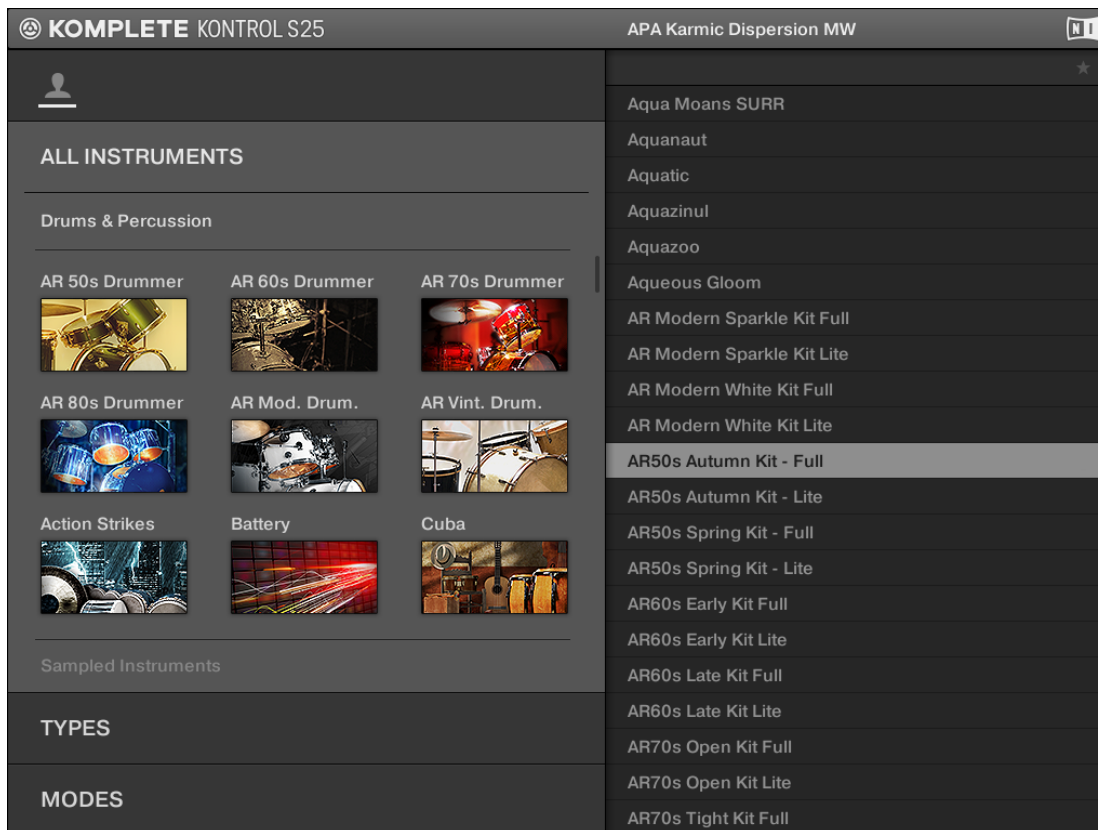
インストール時に正しくプラグインフォルダを設定していれば、KOMPLETE インストゥルメントと NKS インストゥルメントの全てがコンピューター画面に表示されます。インストゥルメントが表示されない場合は [↑ 2.7.3, Preferences - Library](#) ページを参照してください。

3.1.2 インストゥルメントプリセットの検索とロード

KOMLETE KONTROL ライブラリ全体を検索するには時間がかかります。特にライブ環境下ではこの方法は大変不便です。ですから、ブラウザでは **TYPES** と **MODES** フィルター機能を使った素早い検索を可能にしています。このチュートリアルでは以下の内容を解説します。

- キーボードでブラウザを**ナビゲート**する
- **TYPES** と **MODES** フィルターを使ってライブラリ内の**絞り込み検索**を行う
- 検索結果からインストゥルメントプリセットを**選択**、**ロード**する

1. ブラウザを開くには、**BROWSE** ボタンを押します。

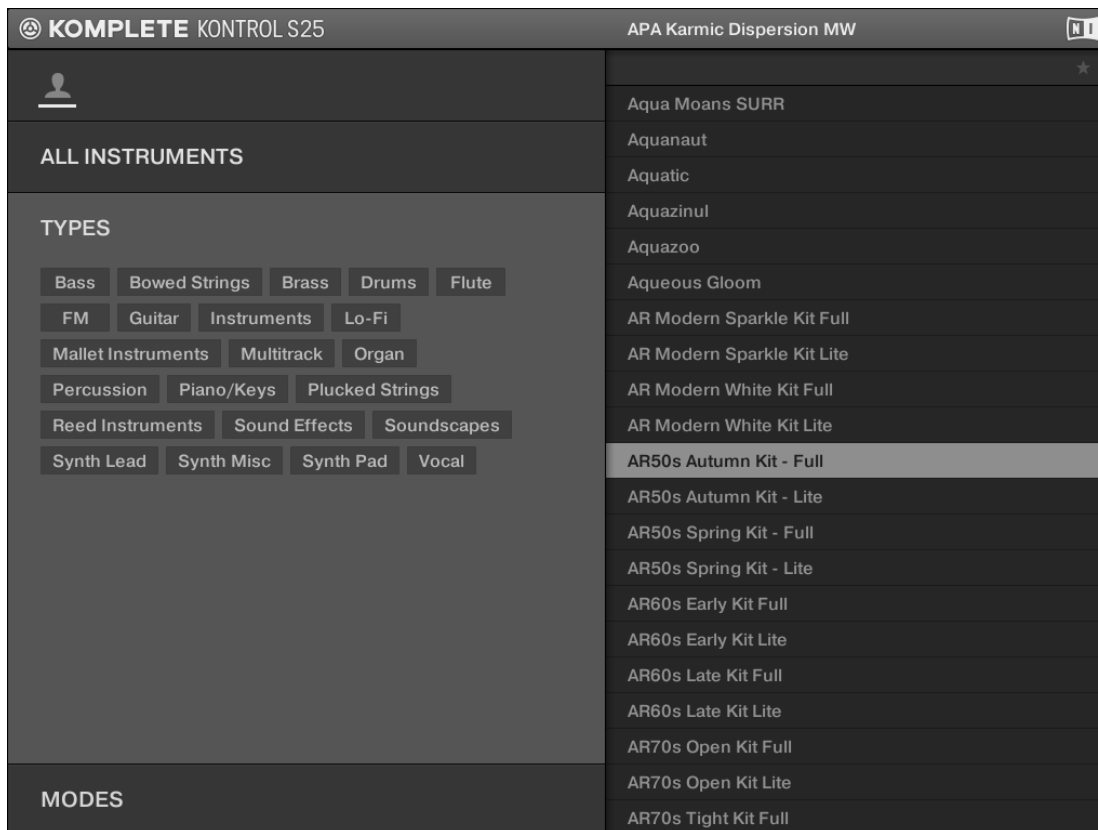


デフォルトではファクトリーコンテンツが選択されます。ユーザーコンテンツの詳細はセクション↑
6.2.2, [ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択](#)を参照してください。

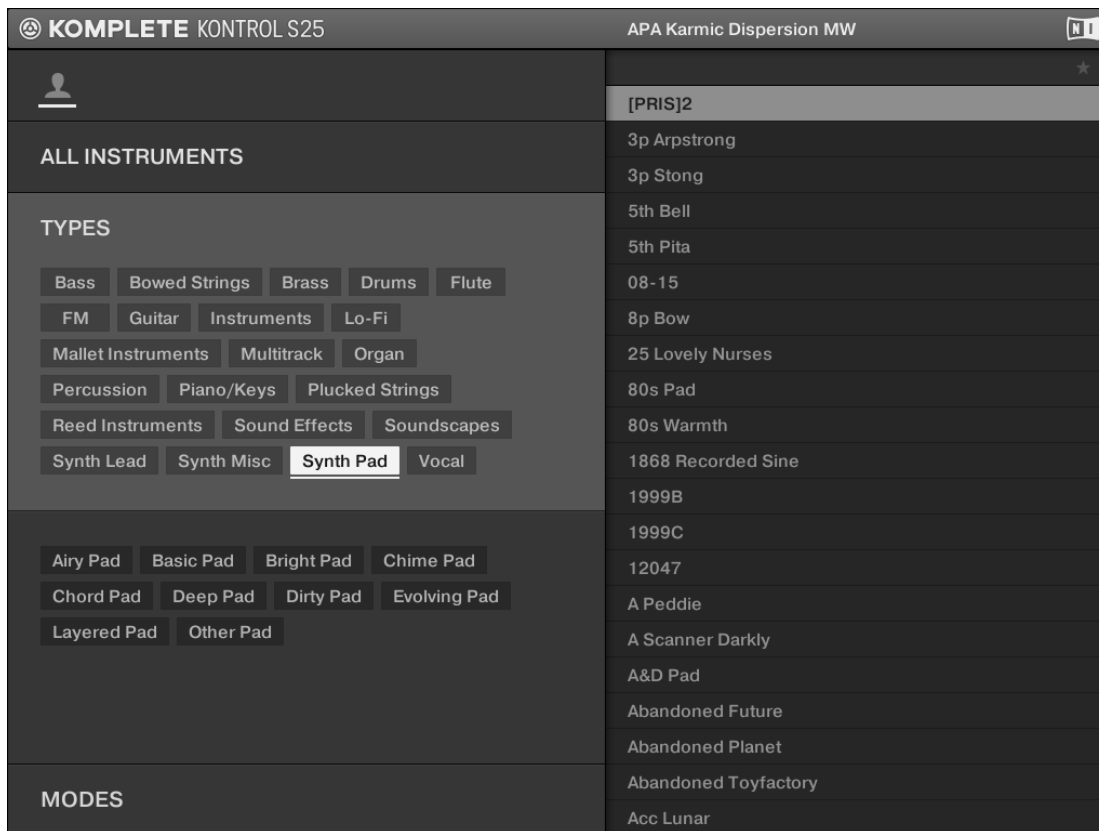


ロードしたいインストゥルメントを把握している場合は、コントロールエンコーダーを使用してインストゥルメントアイコンをスクロールしてください。

2. **TYPES** フィルターにフォーカスする場合は、コントロールエンコーダー、または下向き **NAVIGATE** ボタンを押します。

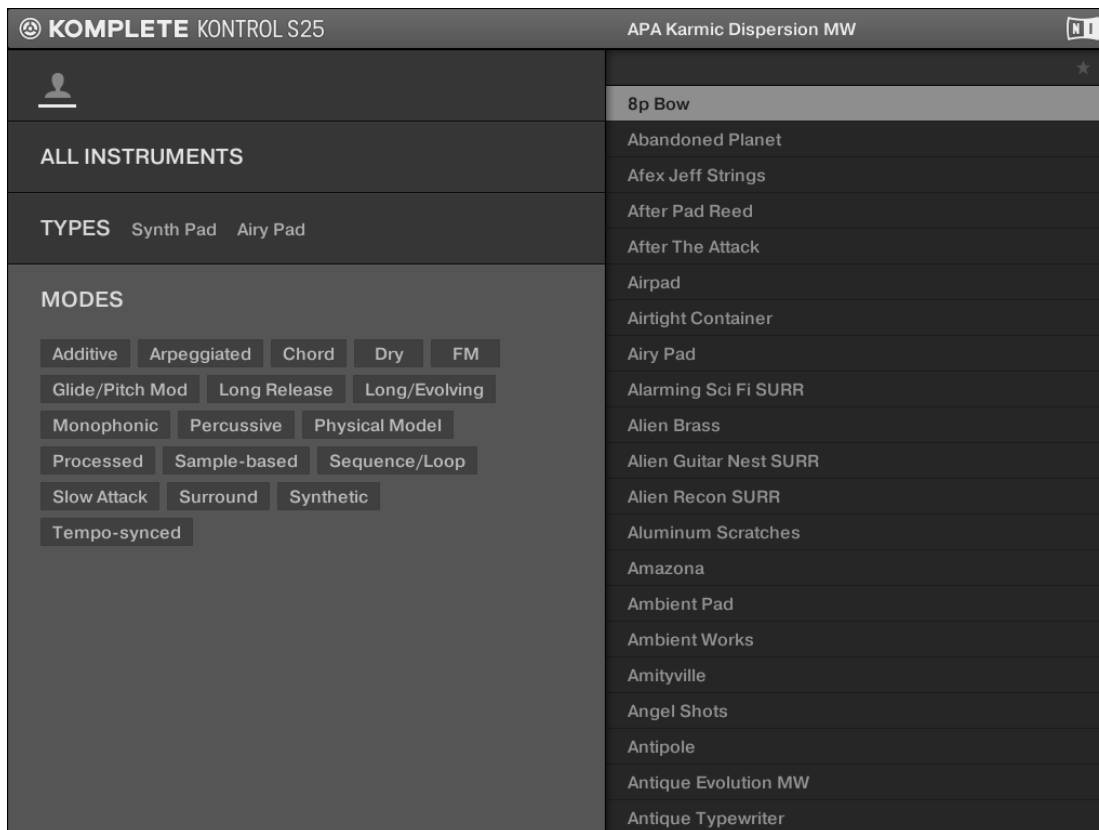


3. タイプ (Type) を選択するには任意のタイプがハイライト表示されるまでコントロールエンコーダーを回します。右側の検索結果が絞り込まれます。タイプによる絞り込みを行わない場合は、何もハイライト表示されなくなるまでコントロールエンコーダーを左に回します。

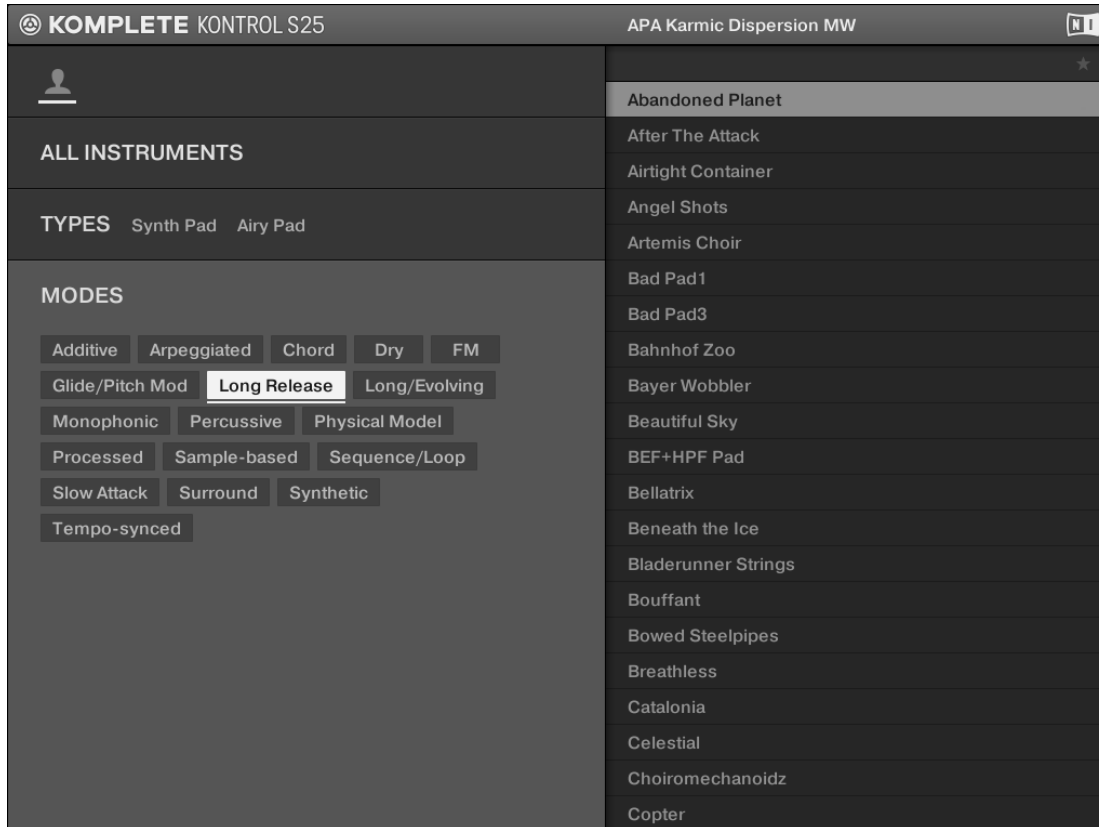


選択したタイプに各サブタイプ (Sub-Types) が含まれる場合は、それらは任意タイプの下に表示されます。SUBTYPES フィルターにフォーカスする場合は、コントロールエンコーダーを押す、または下向き NAVIGATE ボタンを押します。サブタイプを選択することで更に検索結果を絞り込みます。

4. **MODES** フィルターにフォーカスする場合は、コントロールエンコーダー、または下向き **NAVIGATE** ボタンを押します。

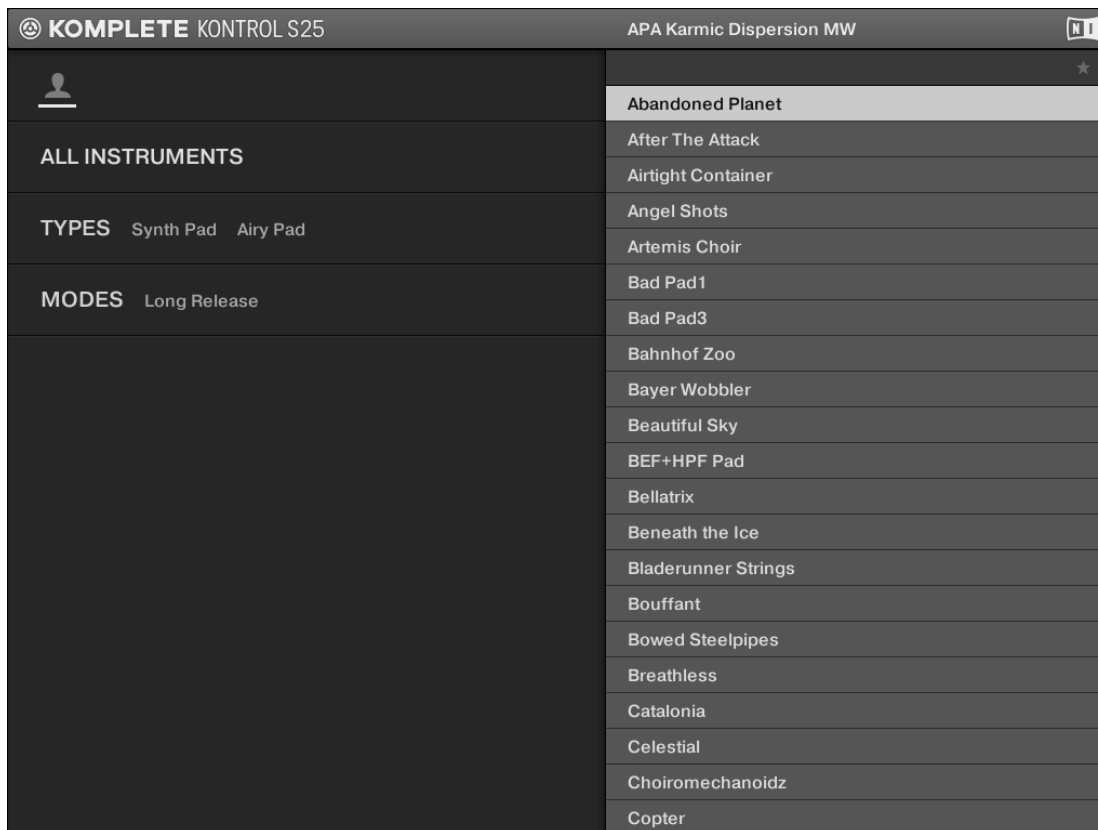


5. モード (Mode) を選択するには任意のモードがハイライト表示されるまでコントロールエンコーダーを回します。右側の検索結果が絞り込まれます。モードによる絞り込みを行わない場合は、何もハイライト表示されなくなるまでコントロールエンコーダーを左に回します。



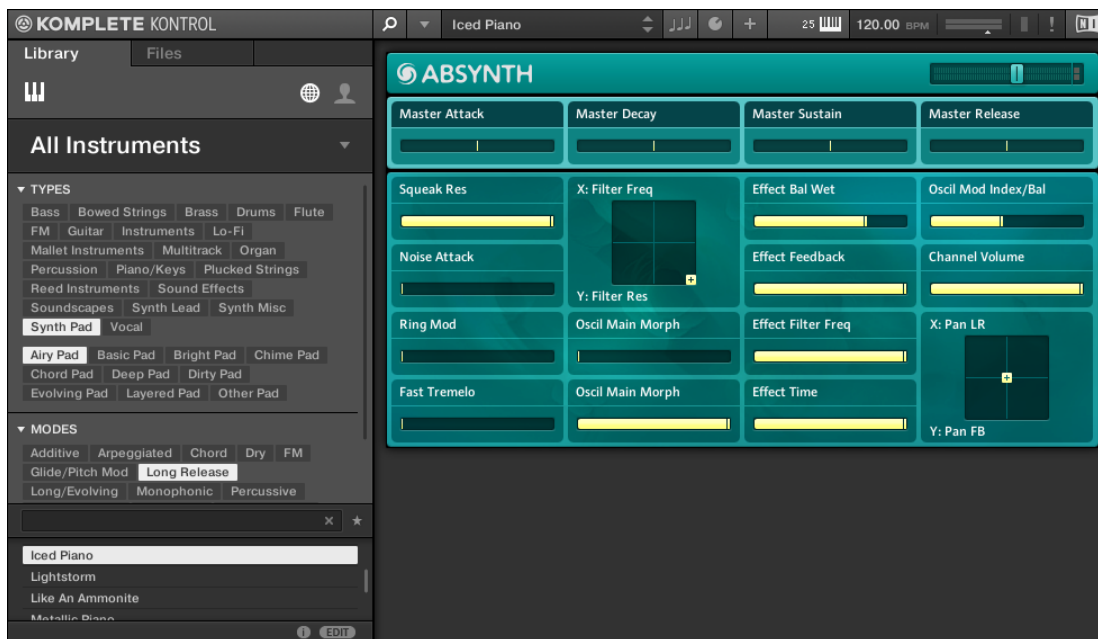
右側の検索結果が絞り込まれます。

6. 右の検索結果リストにフォーカスする場合は、コントロールエンコーダーを押す、または右向き **NAVIGATE** ボタンを押します。



7. コントロールエンコーダーを回し、ロードしたいインストゥルメントプリセットまでスクロールします。

8. インストゥルメントプリセットをロードするには、コントロールエンコーダーを押す、または **ENTER** ボタンを押します。



選択したプリセットがあるインストゥルメントが COMPLETE KONTROL ソフトウェアにロードされ、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブ、ディスプレイ、タッチストリップにパラメーターが自動マッピングされます。これでインストゥルメントの各パラメーターをダイレクトに操作できるようになります。



自動アサインコントロールに関する詳細は [↑ 2.10, Native Map](#) を参照してください。

- これでロードしたインストゥルメントを COMPLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤で演奏、またはノブで操作できるようになります。またホストアプリケーションの MIDI ノートによって演奏できるようになります。

3.2 インストゥルメントのコントロール

このセクションではキーボードでインストゥルメントをコントロールする方法について解説します。

3.2.1 インストゥルメントパラメーターの操作

インストゥルメントをロードしたら、MIDI ラーンによるマッピング設定をすることなく KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを用いて各パラメーターをコントロールすることができます。キーボードの 8 個のノブと対応するディスプレイは、自動的にインストゥルメントの 8 個の主要パラメーターと連動するようになります。キーボードのノブを回すと、マッピングされたパラメーターが反応し、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでもその動きが確認できます。

- ▶ インストゥルメントのパラメーターを調節するには、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの対応するノブを回してください。マッピングされた各ノブのパラメーター名はディスプレイに表示されます。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES の画面がマッピングされ、MONARK のコントロール (プリセット At The Parade (ATTHPRD) を選択しています) を表示している状態です。



キースイッチで KONTAKT インストゥルメントを演奏している場合、対応するキーを押すと Control セクションの一番左にキースイッチ名称が表示 (PRESET ディスプレイ) されます (キースイッチに関しては KONTAKT インストゥルメントのマニュアルを参照してください)。

3.2.2 8 以上のパラメーター: パラメーターページの切り替え

インストゥルメントの多くが、8 個以上のパラメーターを装備しています。KOMPLETE KONTROL ではこれらの多くのパラメーターを **PAGE** ボタン (左右矢印ボタンです) を使用することで行き来することができます。これでページ間を素早く移動し、ノブのマッピングも移動にあわせて変化、異なるインストゥルメントパラメーターのセットを表示します。現在のパラメーターページ数は左の **PAGE** ディスプレイ部に常に表示されます。表示される値はロードしたインストゥルメントと設定値によって表示内容が異なります。



左の PAGE ディスプレイは現在のページを示します (1/8)。

- ▶ 他のパラメーターページに移動し、新しいコントロールパラメーターページを表示するには左右 **PAGE** 矢印ボタンのどちらかを押します。PAGE ディスプレイは移動したパラメーターページを表示し、8 個のノブの対応するディスプレイも新しいマッピング内容を表示します。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインパネルの各プリセット用パラメーターマッピングは、カスタマイズ可能です。詳細は [↑4.3, プラグインパネル](#) を参照してください。

3.3 Smart Play の使用: Scale、Arp、Light Guide

画面上からブラウザを表示する方法を把握し、インストゥルメントのロード方法についても理解したので、KOMPLETE KONTROL 独自の Smart Play と Light Guide について解説します。

Smart Play

インストゥルメントのブラウザとしての機能だけでなく、KOMPLETE KONTROL には強力な Smart Play セクションを装備しています。この機能でスケール、コード、シーケンスの生成、演奏が可能で、更に KOMPLETE KONTROL S-SERIES の Light Guide 機能で、LED により演奏内容を視覚的に把握することが可能となります。Smart Play と各パラメーターの詳細はセクション [↑7, KOMPLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。チュートリアルでは以下の内容について触れます。

- **scale** と **arp** パラメーターの**編集**
- **keys** を **scale** に**マッピング**、演奏
- **Light Guide** の表示内容の**把握**
- ハーモナイズコードの**自動演奏**
- アルペジオコードシーケンスの**自動演奏**

3.3.1 スケールの設定

キーボードの Control セクションを介してスケールパラメーターを開き、編集する方法は以下となります。

1. **SHIFT + SCALE** を押し、Control セクションの ディスプレイとノブを **SCALE** パラメーターにマッピングします。



2. スケールを選択するには、ノブ 2 (デフォルトは MAJOR です) を回して任意のスケールに設定します。
 3. 選択したスケールを起動するには、**SCALE** ボタンを押します。
- 選択したスケールに対応して KOMLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤がマッピングされます。マッピング内容は Light Guide でも反映されます。点灯していないキーを押した場合でも、スケールにあった一番近い鍵盤が点灯していないキーに変わって対応します。



スケールエンジンの各パラメーターについてはセクション [↑ 7.5](#), [スケールパラメーター](#) を参照してください。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + SCALE** を押します。[NAVIGATE](#) セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。



CHROM を選択すると、全権版が点灯します。クロマチックスケールの詳細は [↑ 7.5.1](#), [スケール](#) を参照してください。

3.3.2 コードの演奏

同時にいくつかの鍵盤を押さえる (またはホストアプリケーションから複数の MIDI ノートを同時に送信する) 事でコードを演奏することは当然できますが、KOMLETE KONTROL では Smart Play セクションを用いた独自のコード演奏機能があります。



複数のノートをコードとして演奏するには、インストゥルメントがポリフォニックのものである必要があります。

鍵盤の一つのキーでコードを演奏するための設定方法は以下となります。

1. **SHIFT + SCALE** を押し、Control セクションの ディスプレイとノブを **SCALE** パラメーターにマッピングします。



2. Chord Mode を起動するには、ノブ 5 を回して CHORD を HARM にします (デフォルトは OFF です)。
 3. ノブ 6 の下の画面に表示される Chord Type パラメーターでコードのインターバルを設定します (デフォルトは 1-3-5 です)。
 4. コード機能を用いて演奏するには、**SCALE** ボタンが点灯しているか確認します。
- Chord Mode が起動し、Harmonizer に設定されます。キーを押すことで自動的に (スケール設定による) 点灯しているキーの音程を発音します。同時に **3 度**、**5 度** のノートも選択したスケール基準にあわせて発音します。ノブ 6 の設定によって何度のノートを発音するかが変化します (1-3-5、では 1 度、3 度、5 度のノートを発音します)。再生中のノートは Light Guide でも表示されます。



Chord Mode と Chord Type の詳細は [↑7.5.3, Chord Mode](#) と [↑7.5.4, Chord Type](#) を参照してください。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + SCALE** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。

3.3.3 アルペジオコードの演奏

上のチュートリアルではスケールの選択とスケールによるコードの演奏方法について解説しました。以下はコードのアルペジオ演奏方法です。

- ▶ アルペジオを起動するには **ARP** ボタンを押して点灯させてください。
- 鍵盤を押す(または MIDI ノートを受信する) とアルペジエーターが起動し、**SCALE** 設定によるコードをアルペジオ演奏します。

Control セクションの **ARP** パラメーターでシークエンスを更に設定することも可能です。

1. **SHIFT + ARP** を押し、Control セクションの ディスプレイとノブを **ARP** パラメーターにマッピングします。



2. シーケンス内容 **UP-DOWN** を変更するには、ノブ 2 を回します (デフォルトは **UP** です)。
 3. アルペジオ演奏範囲を決める **OCTAVES** を変更するには、ノブ 6 (デフォルトは **1** です) を例えば **4** にします。
- ここまでの設定で、アルペジオコード演奏内容は **4** オクターブの範囲をノートアップ、ダウンで繰り返すシーケンスとなります。



アルペジエーターの各パラメーターについてはセクション [↑ 7.7, Arp パラメーター](#) を参照してください。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + ARP** を押し、**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。アルペジオエンジン自体は起動したままとなります。



ロードしたインストゥルメントの設定内容によって、ADSR エンベロープ、またはゲート設定を調整する必要がある場合があります。詳細はロードしているインストゥルメントの資料を参照してください。

3.4 次は?

ここまでの解説で、COMPLETE KONTROL の最も重要な機能について習得しました。躊躇することなく、ここまでのチュートリアルでは記載していないその他のコントロール部を試したり、または他のインストゥルメントをロードし、各設定を試して自身で各内容を確認してください。COMPLETE KONTROL の詳細は、以下のセクションで解説しています。

- **COMPLETE KONTROL ソフトウェア** の概要は、セクション [↑ 4, COMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#) を参照してください。
- **COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード** の概要は、セクション [↑ 5, COMPLETE KONTROL S-SERIES 概要](#) を参照してください。

- ソフトウェアの**ブラウザ**と **KOMLETE KONTROL ライブラリ**でのファイルの編集、ファイルの追加に関しては、[セクション↑6, KOMLETE KONTROL ブラウザ](#)を参照してください。
- Smart Play の詳細と、**スケール**、**アルペジエーター**の全パラメーター及び設定内容に関しては[セクション↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play](#)を参照してください。
- **ホストアプリケーションの制御**方法に関しては、[セクション↑5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。
- **タッチストリップ**の使用方法に関しては[セクション↑5.5, タッチストリップ](#)を参照してください。
- Light Guide の**マルチカラー LED**に関しては、[セクション↑5.6, Light Guide \(ライトガイド\)](#)を参照してください。
- **MIDI モード**の詳細は[↑5.2, MIDI モード](#)を確認してください。
- **トラブルシューティングとヘルプ**は、[セクション↑8, トラブルシューティング-ヘルプ](#)にあります。

4 KOMPLETE KONTROL ソフトウェア概要

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードと KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが完全に連動することで KOMPLETE KONTROL がその威力を発揮、操作性も非常に簡単です。ソフトウェア単体の使用も可能です。このセクションではソフトウェアインターフェイスの概要を紹介します。

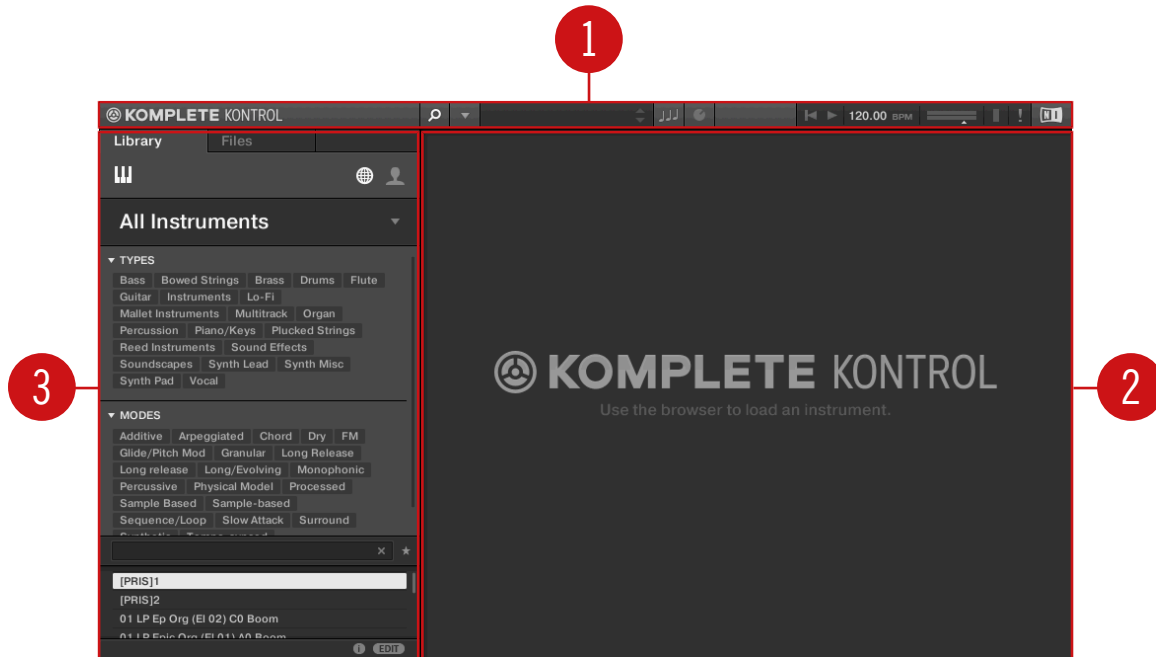
- KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスと全機能へのアクセス方法に関しては以下を読み進めてください。
- ブラウザと KOMPLETE KONTROL ライブラリへのアクセス、管理方法に関してはセクション [↑6, KOMPLETE KONTROL ブラウザ](#)を参照してください。
- KOMPLETE KONTROL の強力な Smart Play 機能のソフトウェア、ハードウェア両方からのコントロール方法に関してはセクション [↑7, KOMPLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスです。

4.1 ソフトウェアインターフェイス概観

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロール部、または KOMLETE KONTROL ソフトウェア上でのマウス操作によって、殆どの KOMLETE KONTROL のパラメーターにアクセスすることができます。このセクションでは、KOMLETE KONTROL ソフトウェアの各エリアと各コントロール部について紹介します。



KOMLETE KONTROL ソフトウェア概要です。

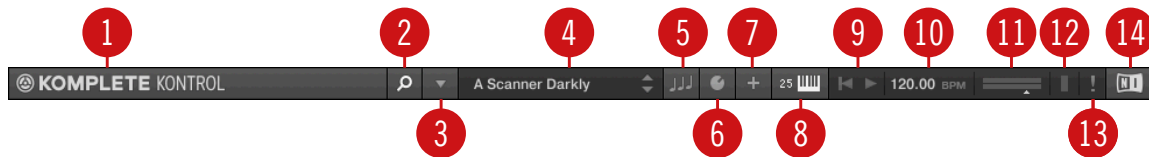
(1) **ヘッダ**: KOMLETE KONTROL メニュー等の基本コントロールにアクセスします。また、最小化しているブラウザ、パフォーマンスパネル等の GUI をここを介して表示します。セクション [↑4.2, ヘッダ \(Header\)](#) で詳細を確認してください。

(2) **インストゥルメントエリア**: ロードしたインストゥルメントが表示される部分で、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードによる操作内容はこの部分にも反映され、視覚的に制御時の値を確認することができます。詳細は、[↑2.2.4, Instrument Views の選択](#)と[↑4.4, インストゥルメントエリア](#)を参照してください。

(3) **ブラウザ**: ここで全インストゥルメントファイルの検索、編集、ロード操作を行います。セクション↑6, KOMLETE KONTROL ブラウザで詳細を確認してください。

4.2 ヘッダ (Header)

ヘッダで KOMLETE KONTROL のグローバル設定を行い、また KOMLETE KONTROL ソフトウェアの見た目もここで設定します (セクション↑2.2, KOMLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定参照)。



ヘッダです。

(1) **KOMLETE ロゴ**: KOMLETE ロゴからアバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。

(2) **Browser ボタン**: ブラウザを表示、最小化します。ブラウザの詳細はセクション↑6, KOMLETE KONTROL ブラウザを参照してください。

(3) **KOMLETE KONTROL メニュー**: KOMLETE KONTROL メニューを開き、ここでインストゥルメントビューやプリファレンスパネルにアクセス、各基本設定を行います(↑2.7, 環境設定 (Preferences)参照)。

(4) **プリセットディスプレイ**: ロードしたプリセット名称、KONTAKT キースイッチが表示される部分です。右の矢印ボタンでブラウザの検索結果リスト内の次のプリセットをロードします。全インストゥルメントのプリセットはブラウザ、または KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **BROWSE** ボタンを介して閲覧することができます (↑6, KOMLETE KONTROL ブラウザ、↑6.6, KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする参照)。

(5) **パフォーマンスパネルボタン**: Scale と Arp パラメーターがあるパフォーマンスパネルを表示、最小化します。Scale、Arp の各機能が起動すると、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。Smart Play とスケール、コード機能の解説はセクション↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play を参照してください。

(6) **Control エリアボタン**: Control エリアを表示、非表示し、ここで KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの Control セクションに対しパラメーターマッピングを行います。詳細は↑4.3, プラグインパネルを参照してください。

(7) **+ ボタン**: ロードしたインストゥルメントの見た目 (デフォルトビューと追加ビューがあります) を切り替えます。エディットビューを表示するには、KOMLETE KONTROL メニュー (3) を使用します。セクション↑2.2.4, Instrument Views の選択で詳細を確認してください。

(8) **キーボードディスプレイ**: 現在接続している KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード、S25、S49、S61、S88 を表示します。(ホストアプリケーション上で) 複数の KOMLETE KONTROL ソフトウェアを起動している場合、ここをクリックして KOMLETE KONTROL S-SERIES を各インスタンスに接続します。

(9) **トランスポート**: トランスポートコントロールで内部クロックを起動、停止、リセットします。KOMLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、トランスポートは自動的にホストトランスポートと同期するようになり、灰色表示されます。セクション [↑ 2.4.1, Transport と Navigate コントロール](#) で詳細を確認してください。

(10) **Tempo**: BPM (beats per minute) でテンポを表示します。テンポを変更するには数値をマウスで上下にドラッグ、またはダブルクリックした後コンピューターのキーボードで新規数値を入力します。ホストアプリケーションでプラグインとして KOMLETE KONTROL をロードした場合、テンポは自動的にホストのテンポと同期するのでこの機能は灰色表示となり、無効の状態となります。セクション [↑ 2.4.1, Transport と Navigate コントロール](#) で詳細を確認してください。

(11) **Volume Control と Meter**: KOMLETE KONTROL 全体のボリュームを制御します。メーターはアウトプットシグナルの現在のピークレベルを表示します。キーボードの **SHIFT** を押しながら **BROWSE** エンコーダーを回すことで現在使用している KOMLETE KONTROL インスタンスのアウトプットボリュームをコントロールすることも可能です。これでアウトプットボリュームを 0.5 dB ずつ調整できます。設定幅は -30dB から +10dB です。-30dB 以下になると、キーボードのボリュームコントロールは素早くボリュームを下げ、無音となります。

(12) **CPU メーター**: コンピューターのプロセッサの現在の使用率をリアルタイムに随時表示します。この値は 70% に到達しない様に制御するのが理想的です。

(13) **!ボタン**: !ボタンをクリックすることで KOMLETE KONTROL 全体の音声生成を停止します。

(14) **NI ロゴ**: NI ロゴからアバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとなります。

4.3 プラグインパネル

プラグインパネルで KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの Control セクションにマッピングしたパラメーターを、各インストールメントプリセットごとにカスタマイズすることができます ([↑ 5.4, コントロールセクション](#))。

- ▶ プラグインパネルを開くには、KOMLETE KONTROL ソフトウェアのヘッダのプラグインパネルボタンをクリックします。

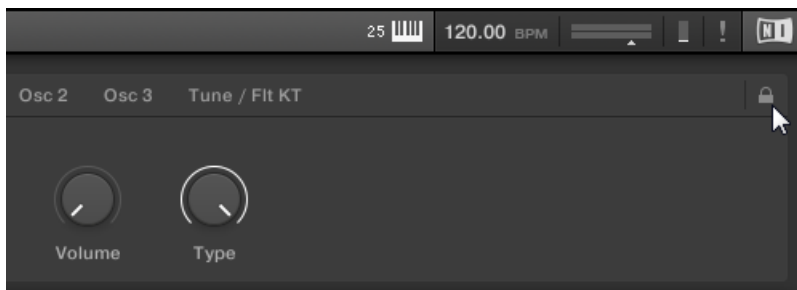


- プラグインパネルが開き、コントロールセクションの各ページ用にマッピングされたコントロール部が全て表示されます。



一つのインストゥルメントプリセット用にパラメーターマッピングのカスタマイズを行う場合は、プラグインパネルの Edit モードを起動する必要があります。

- ▶ プラグインパネルのエディットモードを起動、起動解除するには右上隅の Edit モードボタンをクリックします。



Edit モード では以下の設定を行うことができます。

- パラメーター用マッピングの追加、削除、置き換え

- コントロール部にパラメーターをラーン機能でアサインする
- コントロール部の名称変更
- コントロールセクションへのページ追加、または既存のページの削除
- ページからグループコントロールへの追加、セクション名称の変更

プラグインパネルエディットモード概要



プラグインパネルのエディットモードです。

(1) **コントロールセクションページ**: section on your KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの Control セクションの各ページはプラグインパネルの最上部に表示されます。

- ▶ 各ラベルをクリックして該当ページを表示、編集します。現在表示しているページはハイライト表示されます。
- ▶ ページを削除するには、ラベルの隣の x アイコンをクリックします。

(2) **Add ページ**: このボタンで現在のプリセットの Control セクションにページを追加します。

- ▶ ページを作成するには Add ページボタンを押します。

(3) **Learn モード**: このボタンでプラグインパネルのラーンモードを起動します。

- ▶ ラーンモードでプラグインパネルのコントロールを選択し、インストゥルメントのパネルのパラメーターを動かすことで、このパラメーターが選択したコントロールにアサインされます（青くハイライト表示されます）。

(4) **Control 名称**: 各コントロールの名称はプラグインパネルの対応するノブの下に表示されます。

- ▶ コントロールの名称を変更するには、名称部をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンター] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

(5) **Sections:** コントロールをセクション内でグループ化し、関係する各パラメーターを表示させることもできます。

- ▶ パラメーターの上の空欄部分をダブルクリックし、名称を入力、[エンター] または他の部分をクリックし、選択したパラメーターが属する新規セクションを作成することができます。
- ▶ 既存のセクションの名称を変更するには、名称をダブルクリックし、新規名称を入力します。[エンター] またはその外の部分をクリックすることで新規名称が適用されます。

(6) **Control:** Edit モードでコントロールにマウスを置くと、このコントロールのパラメーターマッピング内容を変更する追加オプションを使用できる状態となります。

- ▶ コントロールのノブの左の矢印アイコンをクリックしてドロップダウンメニューからパラメーターを表示、このコントロールにマッピングするパラメーターを選択します。
- ▶ コントロールのノブの右の x アイコンをクリックして、現在のページからこのコントロールを削除します。



内容を変更したプリセットは KOMLETE KONTROL ユーザーライブラリに保存することでその後も使用できるようになります。ユーザーライブラリにプリセットを保存する方法は [↑6.4, ユーザーライブラリにファイルを保存する](#) を参照してください。

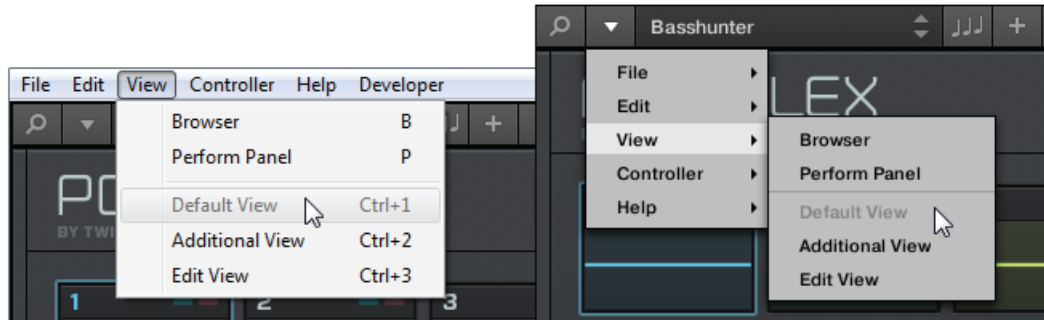
4.4 インストゥルメントエリア

KOMLETE KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントエリアには、ブラウザからロードしたインストゥルメントが表示されます。各インストゥルメントは異なるコントロール部とパラメーターを装備していますが、コンピューターのマウスや KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで簡単に操作することができます。鍵盤を演奏することでコードやメロディーが演奏でき、ノブやタッチストリップを使用できる分キーボードを使用の方が演奏上便利でしょう。どちらの方法でコントロールする場合でも、ロードしたインストゥルメントは KOMLETE KONTROL S-SERIES と、ソフトウェアインターフェイスのインストゥルメントエリアの各ディスプレイに表示されます。

Instrument Views の選択

ブラウザからインストゥルメントをロードすると、KOMLETE KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。以下は 3 種のインストゥルメントビューの内容です。

- ▶ インストールメントビューを切り替えるには、アプリケーションメニューバーの **View**、または submenu of the KOMLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューをクリックして *Default View*、*Additional View*、*Edit View* のどれかを選択します。



アプリケーションメニューバーのインストールメントビューの **View** メニュー (図は Windows) と、KOMLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューです。



ロードしたインストールメントによってビューの総数が異なります。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアでインストールメントビューを選択した状態であっても、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストールメントの全パラメーターを常に制御することができます。

4.4.1 Default View

デフォルトビューはブラウザからインストールメントをロードすると表示されます。ここで各インストールメントの最重要制御部にアクセスします。



POLYPLEX のデフォルトビューです。

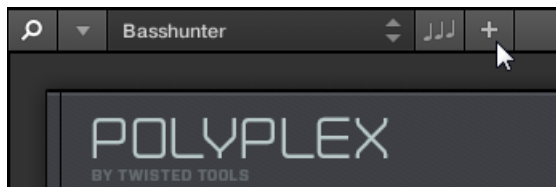
4.4.2 Additional View

殆どの KOMPLETE インストゥルメントには 2 番目のパラメーター表示部となるアディショナルビュー（追加ビュー）があります。ロードしたインストゥルメントによって、このアディショナルビューでは詳細コントロール部、またはまったく異なる機能用のコントロール部が用意されます。



POLYPLEX のアディショナルビューです。

- ▶ アディショナルビューに切り替えるには、KOMLETE KONTROL ヘッダの + ボタンをクリックします。



もう一度クリックすると、KOMLETE インストールメントのデフォルトビューに戻ります。

4.4.3 Edit View

また、KONTAKT または REAKTOR プレイヤーでロード、演奏することができる KOMLETE インストゥルメントをエディットビューで開くことも可能です。このエディットビューで、通常スタンドアローンモードの KONTAKT または REAKTOR 内で使用できる柔軟な全コントロール部と各機能にアクセスすることができます。

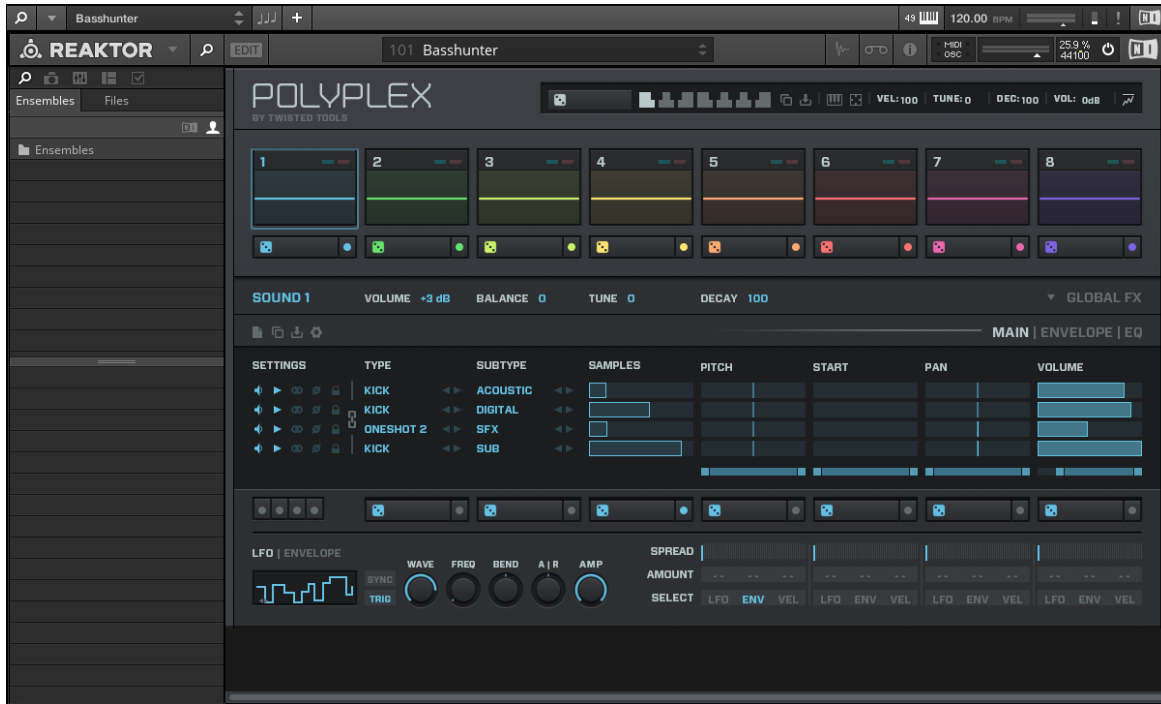
- ▶ エディットビューに切り替えるには、KOMLETE KONTROL メニューの *View* サブメニューの *Edit View* をクリックします。



エディットビューは KONTAKT または REAKTOR インストゥルメントのみで使用可能なビューです。



エディットビューで KOMLETE KONTROL ブラウザからはロードできないファイルにアクセスします。例えば KONTAKT multis はエディットビューの KONTAKT ブラウザからロードすることとなります。



POLYPLEX のエディットビューです。

5 KOMPLETE KONTROL S-SERIES 概要

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードは KOMPLETE KONTROL 専用ハードウェアです。ソフトウェアと密接に連動し、インストールメントのブラウズ、コントロール、演奏することができ、ホストアプリケーションのコントロールも可能です。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES には 4 つのキーボードタイプがあり、S25、S49、S61 には高品質を誇るセミウエイトアフタータッチ付き Fatar キーベッドを採用しています。S88 にはプロ仕様のフルウエイトハンマーアクション鍵盤を採用、こちらも Fatar 製です。鍵盤仕様以外は、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの各機能は同一仕様となっています。



この資料の以下のセクションは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを使用する場合の解説内容となっています。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの詳細はセクション [↑ 4](#), [KOMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#)を参照してください。

5.1 キーボードインターフェイス概要

キーボードには以下のセクションがあります。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES、S25 です。

(1) **PERFORM セクション**: ここでスケール、コード、アルペジオ演奏等の強力な Smart Play 機能を編集、コントロールします。PERFORM セクションで設定した内容はコントロールセクション(5) に表示され、Light Guide とキーベッド (7) に反映されます。セクション↑7, [KOMPLETE KONTROL Smart Play](#) で詳細を確認してください。

(2) **TRANSPORT セクション**: KOMPLETE KONTROL をプラグインで使用している場合、ここでホストアプリケーションをコントロールします。ホストコントロール機能の詳細は↑5.3, [ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。

(3) **TRANPOSE ボタン OCT- と OCT+** ボタンでキーベッドのオクターブを変更します。OCT- と OCT+ を同時に押すことでキーベッドがオクターブ中央設定 (OCT 0) にリセットされます。TRANPOSE 設定を変更することで Control セクションの PAGE ディスプレイに現在のオクターブが表示されます。更に **SHIFT + OCT-** (Pitch Strip) と **SHIFT + OCT+** (Modulation Strip) を押すことで鍵盤から Touch Strips (4) のパラメーターにアクセスすることも可能です。セクション↑5.5, [タッチストリップ](#)で詳細を確認してください。

(4) **タッチストリップ**: ピッチストリップとモジュレーションストリップがロードした インストゥルメントに対応して自動的にアサインされます。タッチストリップに関してはセクション [↑5.5, タッチストリップ](#) を参照してください。

(5) **コントロールセクション**: KOMLETE KONTROL S-SERIES の中央にあるページボタン、ノブ、ディスプレイにロードした インストゥルメントの各コントロール部が自動的にアサインされます。ページボタンでノブアサインの次のページに移動、これでキーボードで全インストゥルメントパラメーターをコントロールすることができます。ノブとディスプレイは **PERFORM** セクションとタッチストリップのパラメーターをコントロールする場合にも使用します。コントロールセクションとパラメーターアサイン (Native Map を含む) に関してはセクション [↑5.4, コントロールセクション](#) を参照してください。**PERFORM** セクションに関しては [↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。タッチストリップの詳細はセクション [↑5.5, タッチストリップ](#) を参照してください。

(6) **NAVIGATE セクション**: インストゥルメントをブラウズ、ロードします。**BROWSE** ボタンでオンスクリーンオーバーレイを表示、コントロールエンコーダーを用いてインストゥルメントプリセットの検索と閲覧を行います。サポートしていないホストアプリケーションを使用している場合は、**INSTANCE** ボタンで起動している KOMLETE KONTROL ソフトウェアの各インスタンス間を移動します。サポートされているホストアプリケーションを使用している場合は、NAVIGATE 矢印を使用して各トラックへと移動、各プラグインの切り替えを行うこともできます。更に **SHIFT** を押しながら コントロールエンコーダーを回すことで、起動している KOMLETE KONTROL インスタンスのボリューム全体をコントロールすることができます。スクリーンオーバーレイを用いた KOMLETE KONTROL ライブラリのブラウズ方法詳細はセクション [↑6.6, KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする](#) を参照してください。ホストコントロールはセクション [↑5.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#) を参照してください。ボリュームコントロールの詳細はセクション [↑4.2, ヘッダ \(Header\)](#) を参照してください。

(7) **Light Guide** と **キーベッド**: Smart Play での機能内容を LED によって表示する部分です。Light Guide はインストゥルメントの設定内容も表示し、例えば BATTERY または KONTAKT マッピングを確認する際に便利です。

更に

- KOMLETE KONTROL S-SERIES と KOMLETE KONTROL ソフトウェアの連動に関してはセクション [↑2, 基本コンセプト](#) を参照してください。
- オーディオと MIDI の設定に関しては [↑2.7, 環境設定 \(Preferences\)](#) を参照してください。
- KOMLETE KONTROL と KOMLETE KONTROL S-SERIES の基本機能の使用方法に関しては [↑3, クイックスタート](#) を参照してください。
- MIDI モードと KOMLETE KONTROL S-SERIES ホストコントロール機能に関しては [↑5.2, MIDI モード](#) と [↑5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

5.2 MIDI モード

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動せずに KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを起動すると、MIDI モードとして起動します。MIDI モードで、キーボードは高品質多機能 MIDI コントローラーとして機能し、例えばホストアプリケーションのコントロールや、外部 MIDI 機器を演奏することができるようになります。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES が MIDI モードの状態となっています。

5.2.1 コントローラーモードの切り替え

KOMPLETE KONTROL S-SERIES の **NAVIGATE** セクションにある **INSTANCE** ボタン でコントローラーモードを切り替えます。

プラグイン

KOMPLETE KONTROL をプラグインとして使用している場合の KOMPLETE KONTROL モードと MIDI モードの切り替え方法は以下となります。

- ▶ KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで **SHIFT** + **INSTANCE** を押します。

スタンドアローン

スタンドアローン時に KOMPLETE KONTROL モードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。

- ▶ KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで **SHIFT** + **INSTANCE** を押します。

更に **INSTANCE** ボタンを押して **Switch to MIDI mode** を選択することで専用画面を表示することも可能です。スクリーンオーバーレイで MIDI モードを解除する場合は **SHIFT** + **INSTANCE** を押します。



スクリーン画面を介して MIDI モードに切り替える方法は、スタンドアローンモードの場合のみ可能です。

5.2.2 MIDI モードによるホストコントロール

連動するホストを使用する際、ホストでトラックを選択すると KOMPLETE KONTROL の有無によって自動的に KOMPLETE KONTROL S-SERIES が KOMPLETE KONTROL モード、または MIDI モードに切り替わります。ホストコントロールの詳細は以下の [↑ 5.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。自動トラックフォーカスに進むのであれば、[↑ 5.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#)を参照してください。

5.2.3 スタンドアロン操作

USB 接続せずに KOMPLETE KONTROL S-SERIES の電源を入れると、KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルの 5 ピン MIDI ポートに外部 MIDI 機器を接続することで、キーボードを MIDI コントローラーとして使用することができます。

キーボードのキーベッドとコントロールがスタンドアロン用デフォルトテンプレートを用いて MIDI ノートと MIDI CC メッセージを送信します。



Controller Editor アプリケーションのテンプレートを右クリックし、*Set as Standalone Default* を選択することでスタンドアロン用デフォルトテンプレートを他のものに変更することもできます。詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

5.3 ホストコントロールとトランスポートセクション

連動するホストを使用する際、KOMPLETE KONTROL S-SERIES がスタジオセットアップの中核となります。KOMPLETE KONTROL 内で起動しているインストゥルメントの操作とともに、ホストアプリケーションの主要パートの操作も可能となるので、作曲時には KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの操作のみで曲のアイデアを構築していくことができます。

複数のトラックにプラグインとして KOMPLETE KONTROL をロードしている場合、またはオーディオまたは他の MIDI 機材を使用している場合、KOMPLETE KONTROL S-SERIES はフォーカスするトラックによって自動的に MIDI モードと KOMPLETE KONTROL モードの切り替えを行います。以下のセクションではこれらについてどのように機能するか解説します。



KOMPLETE KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。



単一、または複数の KOMPLETE KONTROL を含んでいるホストプロジェクトを保存、ロードすることで KOMPLETE KONTROL とロードしたインストゥルメントの設定内容が再現されます。

ホストコントロールについて

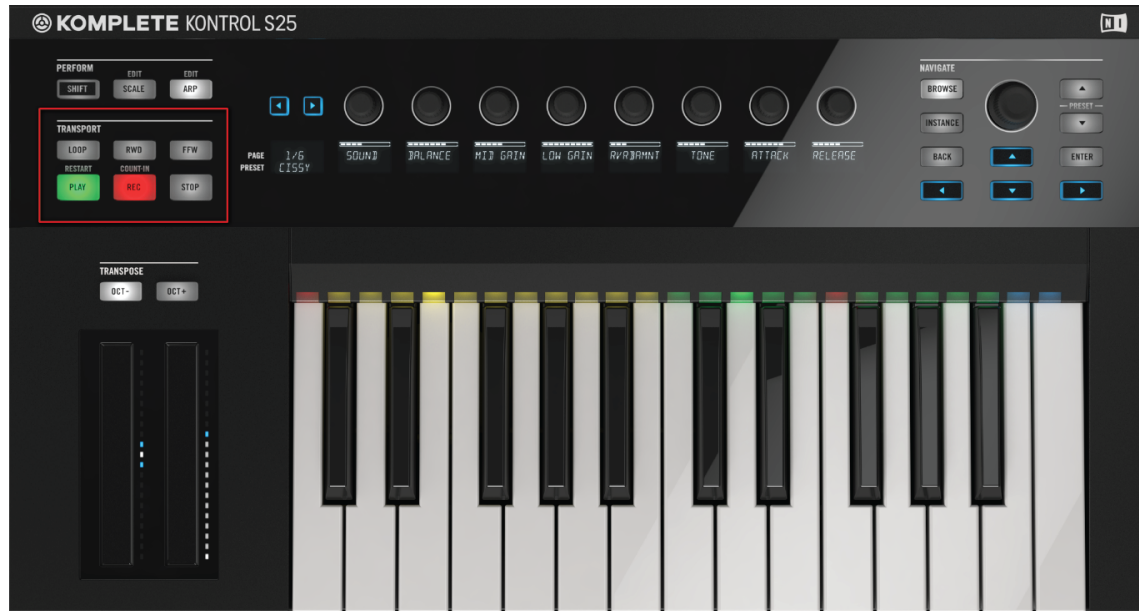
ホストアプリケーションと GUI の仕様によって、**TRANSPORT** と **NAVIGATE** コントロールでホストを制御する際の性質が変わります。KOMPLETE KONTROL のホスト連動機能について調べる場合は、以下のナレッジベースを確認してください。

<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>

ホストアプリケーションとの併用に関しては、以下のナレッジベースを参照してください。

- KOMPLETE KONTROL 用 Apple Logic X 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210279905>
- KOMPLETE KONTROL 用 Ableton Live 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557689>
- KOMPLETE KONTROL 用 Apple GarageBand 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210844489>
- KOMPLETE KONTROL 用 Steinberg Cubase / Nuendo 設定は以下となります。
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557849>
- KOMPLETE KONTROL ホスト統合に関する情報
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>

5.3.1 トランスポートコントロール



TRANSPORT セクションです。

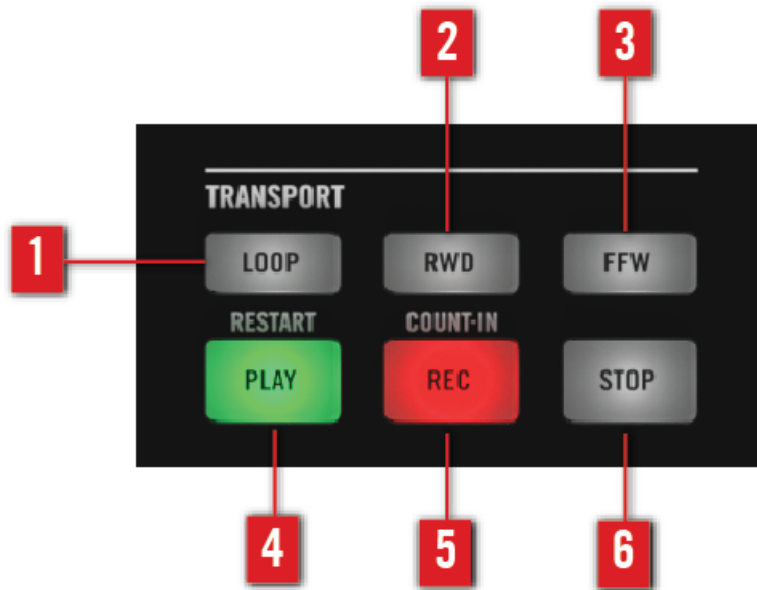
キーボードの左端にある TRANSPORT セクション からプラグインとして KOMLETE KONTROL を起動しているホストの再生、録音、ループ等を制御します。



KOMLETE KONTROL S-SERIES の TRANSPORT コントロール部は完全に機能、KOMLETE KONTROL をロードしていない状態でも機能します。



DAW によって TRANSPORT コントロールの機能が異なります。詳細は以下リンクのナレッジベース記事を参照してください。 <https://support.native-instruments.com/hc/articles/210280325>.



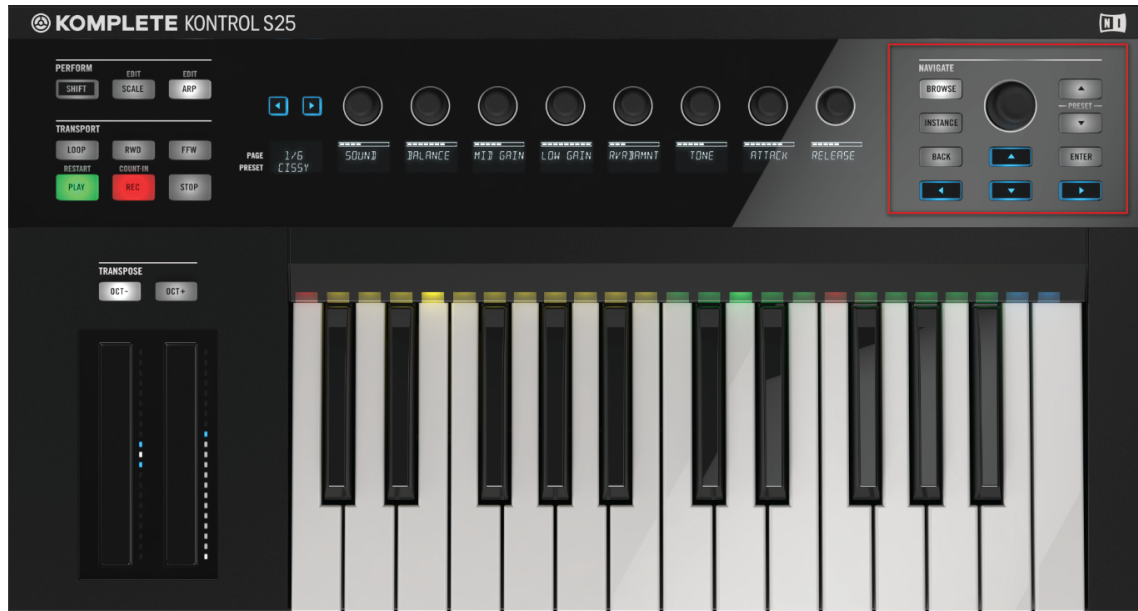
TRANSPORT セクションです。

- (1) **LOOP**: ホストの再生モードを通常再生モードとループモードとで切り替えます。
- (2) **RWD**: ホストアプリケーションの再生ヘッドを巻き戻します。
- (3) **FFW**: ホストアプリケーションの再生ヘッドを早送りします。
- (4) **PLAY**: ホストプロジェクトを再生します。
- (5) **REC**: ホストアプリケーションの録音機能のオンオフです。
- (6) **STOP**: ホストプロジェクトを停止します。



KOMPLETE KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

5.3.2 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション



NAVIGATE セクションです。

キーボードの一番右の NAVIGATE セクション でホストプロジェクトのナビゲート、トラックの切り替え、録音準備を行うことができます。ナビゲート用矢印ボタンを使用してトラック間を移動します。



KOMLETE KONTROL S-SERIES の **NAVIGATE** セクションの矢印ボタンがハイライト表示されています。



KOMLETE KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。



プラグイン形式が異なる KOMLETE KONTROL を複数ロードしている場合、自動トラックフォーカス機能がうまく動作しない場合があります。ホストプロジェクトやセッション内で使用するプラグイン形式を統一しておくことを推奨します。



複数のホストを同時使用する場合、自動トラックフォーカス機能は機能しません。

トラックの選択

ホストアプリケーションでは殆どの場合複数のトラックを使用するはずですので、使用トラックの切り替えが可能であることが重要です。キーボードを使用して簡単に異なるトラックを選択できるので、マウスを使用する必要がなくなります。特定のトラックを KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで使用するには、まずトラックを選択する必要があります。選択にはキーボードの右端にある **NAVIGATE** セクションの矢印ボタンを使用します。

- ▶ ホストアプリケーションでトラックを選択し、キーボードで使用できる状態にするには、**NAVIGATE** の上下ボタンを使用し、任意のトラックを指定します。
- これで KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで選択したトラックを制御できるようになります。

トラックのフォーカス

KOMplete KONTROL S-SERIES はホストアプリケーションで選択するトラック内容によって、MIDI と KOMplete KONTROL モードに切り替わります。

単一、または複数の KOMplete KONTROL をプラグインとしてホストアプリケーションのインストゥルメントトラックにロードしている場合、これらのトラックを選択すると KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは自動的に KOMplete KONTROL モードになります。ノブとディスプレイ、タッチストリップにマッピングが施され、インストゥルメントの設定内容に応じて Light Guide の LED が点灯します。



プラグイン形式が異なる KOMplete KONTROL を複数ロードしている場合、自動トラックフォーカス機能がうまく動作しない場合があります。ホストプロジェクト内で使用するプラグイン形式を統一しておくことを推奨します。

オーディオトラックや外部 MIDI 機器用トラックを選択すると、KOMplete KONTROL は MIDI モードとなり、ホストをコントロールする際にキーボードを使用できる状態となります。ディスプレイでは MIDI CC ナンバーを表示し、KOMplete KONTROL S-SERIES のノブとタッチストリップに MIDI ラーン機能、または Controller Editor ソフトウェアを介して各機能のアサインを行うことができますようになります。



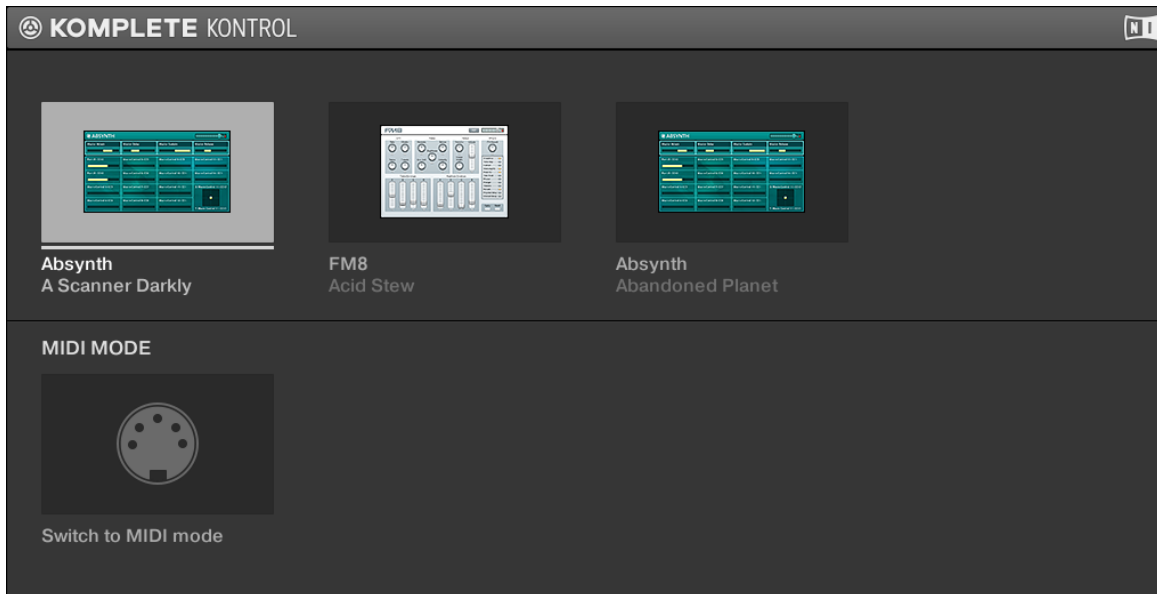
MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のソフトウェアインストゥールフォルダ内の Controller Editor の資料を参照してください。

5.3.3 KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替え



連動ホストを使用していれば、**INSTANCE** ボタンで KOMPLETE KONTROL インスタンスを選択する必要がなくなるので、この機能は機能しなくなります。連動する統合ホストを使用している場合は、このセクションは飛ばしてください。

NAVIGATE セクションでは Navigate 矢印ボタンによるトラックの切り替えだけではなく、KOMPLETE KONTROL S-SERIES の **INSTANCE** ボタンを押すことで専用画面を表示することも可能です。これでセッション内の KOMPLETE KONTROL にロードしてある全インスタンスを把握することができます。**NAVIGATE** セクションの中心にあるコントロールエンコーダーを使用して、フォーカスするインスタンスを選択します。



オンスクリーンオーバーレイです。

ホスト内のインスタンスを選択する

スクリーン画面を使用してロードした KOMLETE KONTROL インスタンスを選択、表示する方法は以下となります。

1. ホストアプリケーションで KOMLETE KONTROL のロードしたインスタンスを表示するには、**INSTANCE** ボタンを押します。
 2. コンピューター画面に専用スクリーン画面が表示されます。表示するインスタンスをスクロールするには、**NAVIGATE** セクション中央にあるコントロールエンコーダーを回します。
 3. インスタンスを選択するにはコントロールエンコーダーを押します。すると、スクリーン画面が閉じます。
- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは選択したインスタンス用に機能し、選択したインスタンスにロードしてあるインストゥルメントに対応してノブとディスプレイに自動アサインが施されます。



INSTANCE ボタンとスクリーン画面による KOMLETE KONTROL インスタンスの切り替えは、自動トラックフォーカス機能がないホストアプリケーション上で使用可能な機能です。これらのホストは選択した KOMLETE KONTROL インスタンスに自動的に入力 MIDI シグナルを再ルーティングしないホストの事を指します。KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントを演奏可能な状態にするには、ホストアプリケーション上の選択した KOMLETE KONTROL インスタンスがあるトラックの録音準備機能を手動で設定する必要があります。

5.4 コントロールセクション

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの中央にあるコントロール部は、KOMLETE KONTROL でロードしたインストゥルメントをコントロールする際に使用します。ハードウェアでのタップ、捻る、回す動作により、サウンド編集やパフォーマンス機能を活用します。



KOMLETE KONTROL S-SERIES (図は S25 です) 中央部のコントロールセクションです。

5.4.1 コントロールセクションの各コントロール部



コントロールセクションの各コントロール部です。

- (1) **ページボタン**: このボタンで次のインストゥルメントページに移動(2)、結果ノブ(4) と画面(5) を他のコントロールに再マッピングします。
- (2) **PAGE ディスプレイ**: 現在のマッピングを表示します。PAGE ディスプレイは 1/6 または ARP 等のマッピング内容を表示します。
- (3) **PRESET ディスプレイ**: ロードしているインストゥルメントプリセットを表示します。キースイッチで KONTAKT インストゥルメントを演奏している場合、対応するキーを押すとキースイッチの名称が PRESET ディスプレイに表示されます (キースイッチの詳細は KONTAKT インストゥルメントのマニュアルを参照してください)。
- (4) **ノブ**: インストゥルメントパラメーターと PERFORM 機能、タッチストリップセッティングの各値をコントロールします。ノブには独自の Native Map プロトコル (参照) によってロードしたインストゥルメントの各機能が自動マッピングされます (↑ 5.4.2, Native Map 参照)。ノブはタッチセンシティブで、これらをタップすることで画面にパラメーター値を表示できます。
- インストゥルメントパラメーターのコントロールに関してはセクション ↑ 5.4.3, コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターのコントロール方法を参照してください。
 - PERFORM 機能のコントロール詳細は ↑ 5.4.4, コントロールセクションによる Smart Play のコントロールを参照してください。
 - タッチストリップセッティングのコントロールに関してはセクション ↑ 5.4.5, コントロールセクションでのタッチストリップセッティングのコントロールを参照してください。
- (5) **ディスプレイ**: マッピングされたノブとロードしたインストゥルメントの情報、またはパフォーマンス機能の各パラメーターを随時表示します。

5.4.2 Native Map

コントロールセクションの各コントロール部には、KOMPLETE KONTROL にロードしたインストゥルメントの各機能がマッピングされます。MIDI ラーン等でアサインを行う必要はありません。これは Native Instruments 独自のマッピングプロトコル Native Map によるものです。

殆どのインストゥルメントは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロールセクションのノブ総数よりも多くのパラメーターを備えているので、これらのパラメーターはページごとにまとめてあります。コントロールセクションの左にあるページボタンを押してページ間を移動します。他のページに移動すると、ノブに該当ページの各パラメーターがマッピングされます。ノブをタップすることで、マッピングされたパラメーターの現在の値を確認することができます。



KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのプラグインパネルの各プリセット用パラメーターマッピングは、カスタマイズ可能です。詳細は ↑ 4.3, プラグインパネルを参照してください。

Native Map によるインストゥルメントパラメーターのマッピングは、KOMLETE KONTROL S-SERIES のタッチストリップにも施されます。タッチストリップに関してはセクション↑5.5, [タッチストリップ](#)を参照してください。インストゥルメントパラメーターのコントロール方法に関しては、以下を読み進めてください。

5.4.3 コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターのコントロール方法

KOMLETE KONTROL にインストゥルメントをロードすると、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード (インストゥルメントのブラウザ、ロード方法は↑6.6, [KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウザする](#)を参照してください) でパラメーターをコントロールできるようになります。以下のセクションでは、コントロールセクションでインストゥルメントと各パラメーターをコントロールする方法を解説します。

- 以下の例では、インストゥルメント MONARK のプリセット、3Saw をロードしていることを前提に解説を進めます。
 - コントロールセクション左端の PRESET ディスプレイに 3SAW と表示されるか確認してください。



プリセット 3SAW です。

- KOMLETE KONTROL ソフトウェアのヘッダのプリセットディスプレイも確認してください。



プリセット 3SAWです。

- KOMLETE KONTROL と KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード間でパラメーターが連動しているか確認するには、パラメーターを編集ソフトウェアとキーボードの同パラメーター値が反応するか確認してください。この例では、フィルターレゾリューションパラメーターを新しい値に設定してみます。
 - ディスプレイの 2 番目に RESO とあり、レゾリューションパラメーターがノブ 2 にマッピングしてあることを示しています。



ディスプレイ 2 RESO です。

- KOMLETE KONTROL ソフトウェアの FILTER セクションにも RES と表記されている部分があります。



RES パラメーターです。

- ▶ レゾリューションパラメーターを調節するには、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブ 2 を回してください。



- MONARK の FILTER セクションの RES パラメーターが反応し、リアルタイムに値が変更されます。



パラメーターページの切り替え

- ▶ インストゥルメントパラメーターページを次のページに移動し、ノブとディスプレイの再マッピングを行うには、コントロールセクションの左にあるページ矢印ボタンを押します。
- **PAGE** ディスプレイが対応し、新規パラメーター用にノブとディスプレイの再マッピングが行われます。



- 2 番目のディスプレイ表記が FLT DEC に切り替わり、ノブ 2 に MONARK のフィルターディケイがマッピングされます (FILTER ENVELOPE セクションの DECAY です)。



ディスプレイ 2 FLT DEC です。



DECAY パラメーターです。

- ▶ **PAGE** 1/8 に戻るには、左ページボタンを押します。

インストゥルメントの切り替え



KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントをロードする方法は、セクション ↑6.6.5, [オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する](#) を参照してください。

- ブラウザから新規インストゥルメントをロードすることでコントロールセクションに新規インストゥルメントに対応した再マッピングが施されます。
 - 以下の例ではブラウザから Bahnhoof Zoo をロード、**PAGE** ディスプレイに表示 (BHNHFZ) されるか確認します。ノブ 2 には FM8 の [Stereo Width](#) パラメーターがマッピングされます。



FM8 の Bahnhof Zoo プリセットです。

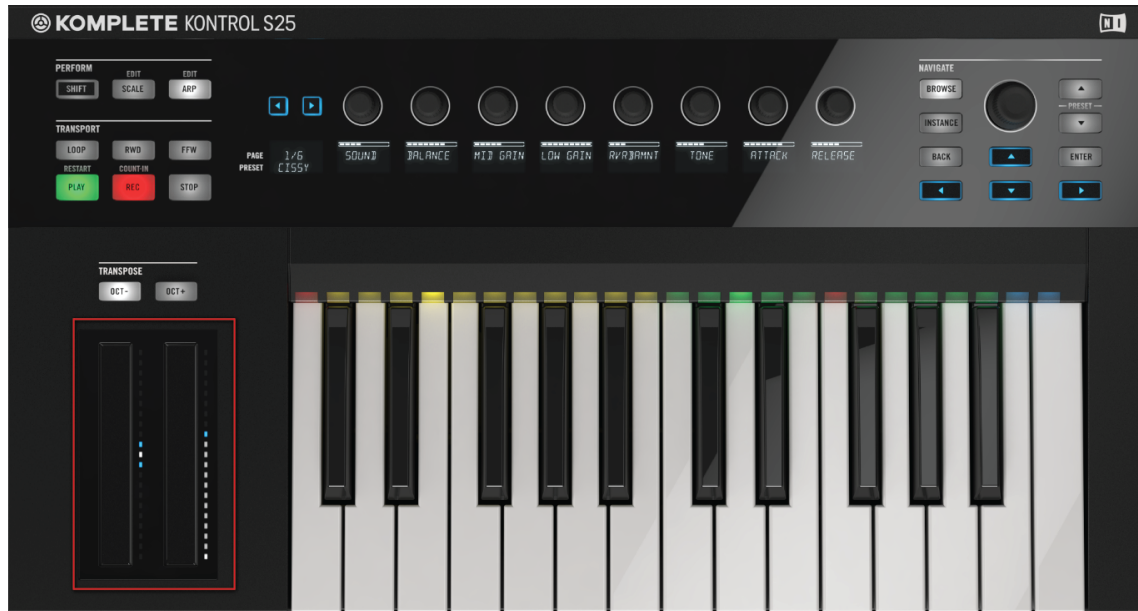
5.4.4 コントロールセクションによる Smart Play のコントロール

KOMLETE KONTROL には強力なコード演奏とスケール演奏ができる、Smart Play 機能を搭載しています。PERFORM セクションで SCALE と ARP パラメーターにアクセスするとそれらはコントロールセクションに表示され、ここで編集を行います。Smart Play セクションのコントロールとコントロールセクションのノブとディスプレイを使用してパラメーターを編集する方法は、[↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。

5.4.5 コントロールセクションでのタッチストリップセッティングのコントロール

キーボードの左にある 2 つの Touch Strips でロードしたインストゥルメントのパラメーターをコントロールします。用意している各モードと設定項目で、インストゥルメントを任意設定、より直感的に使用できるようになります。これら全てのセッティング内容には、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの SHIFT + OCT- (Pitch Strip) と SHIFT + OCT+ (Modulation Strip) を押すことでアクセスでき、コントロールセクションで編集することができます。コントロールセクションのノブとディスプレイで Touch Strip の設定を編集する場合の詳細は、[↑5.5, タッチストリップ](#) を参照してください。

5.5 タッチストリップ



KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのタッチストリップです (図は S25 です)。

キーボードの左にある2つの Touch Strips でロードしたインストゥルメントのパラメーターをコントロールします。左の Touch Strip を Pitch Strip と呼び、ロードしたインストゥルメント用に Native Instruments 独自のマッピングプロトコル Native Map ([↑5.4.2, Native Map](#)、[↑5.4.3, コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターのコントロール方法参照](#)) によってピッチバンド用に自動的にアサインされ MIDI ラーン機能を用いてマッピングを行う必要はありません。ロードしたインストゥルメントプリセットによって、右側のタッチストリップ (モジュレーションストリップと呼びます) には、左側のタッチストリップと同様にマッピングが行われる場合と、MIDI ラーンによって自由にインストゥルメントパラメーターのアサインを行える場合があります。

- 左のタッチストリップは典型的なピッチホイール (またはピッチバンドホイール) と同等の機能を果たしますが、デフォルト値に戻るまでの速度を設定することが可能です。セクション [↑5.5.1, ピッチストリップ](#) で詳細を確認してください。

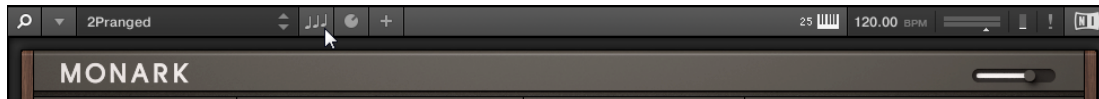
- 右のタッチストリップは典型的なモジュレーションホイールと同等の機能を果たしますが、通常のモジュレーションホイールでは設定できない動きを設定することが可能です。セクション [↑5.5.2, モジュレーションストリップ](#) で詳細を確認してください。

タッチストリップの設定

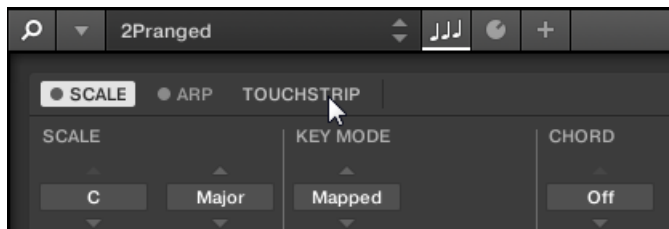
Touch Strips の性質を設定するには、KOMPLETE KONTROL S-SERIES を接続した状態で KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの Perform パネルを開く、またはキーボードの Control セクションから直接パラメーターにアクセスします。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでパフォーマンスパネルを開きタッチストリップ設定画面を開く方法は以下となります。

1. KOMPLETE KONTROL ヘッダのパフォーマンスパネルボタンをクリックしてパフォーマンスパネルを表示します。



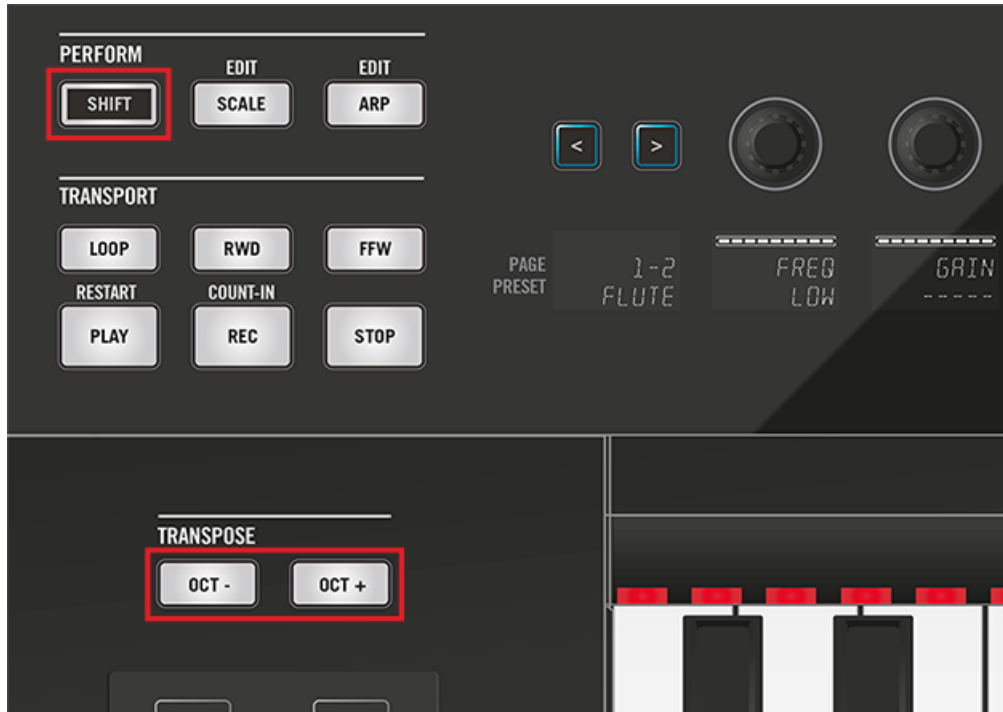
2. TOUCHSTRIP をクリックしてタッチストリップセッティングを表示します。



→ パフォーマンスパネルにタッチストリップセッティングが表示されます。



- ▶ KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードから Touch Strip セッティングにアクセスするには、**SHIFT + OCT-**(Pitch Strip セッティング) **SHIFT + OCT+** (Modulation Strip セッティング) を押します。



- コントロールセクションに Touch Strip セッティング項目が表示され、ノブで編集できるようになります。Modulation Strip のパラメーターセットは選択したモードによって内容が異なります。

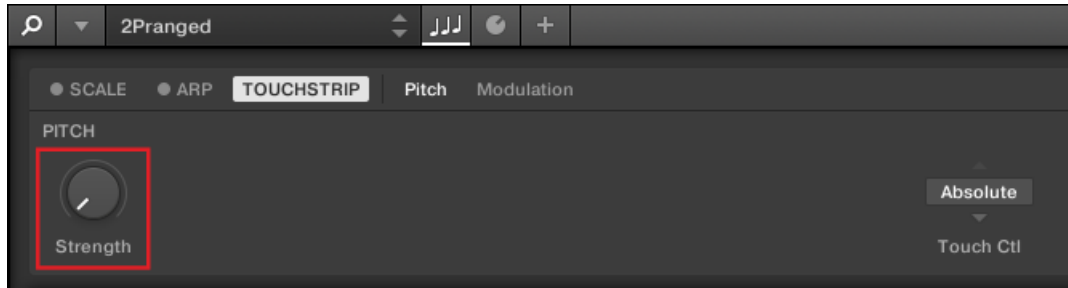


タッチストリップセッティングには KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードがスタンドアロンの場合、ハードウェアからアクセスすることも可能です(↑5.2.3, スタンドアローン操作参照)。

5.5.1 ピッチストリップ

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの左タッチストリップは、通常のピッチベンドコントロールと同様に機能します。このモードで Pitch Strip の中心のデフォルト位置から離れた場合、ばねのような動きで値が反応します。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動し、指を置いている間はその値が保たれます。指を放すと値がデフォルト値に戻ります。この性質をアブソルートといいます(ピッチストリップはリレティブにすることも可能です)。

- ▶ KOMLETE KONTROL ソフトウェアではばねがデフォルト位置まで戻ってくる値をタッチストリップセッティングの Pitch ページの Strength コントロールで調節できます(↑5.5, タッチストリップ)。Strength 設定を高くすると、値が元に戻る速さが早くなります。KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを接続した場合にこの設定ができるようになります。



- ▶ キーボードから Strength 設定にアクセスすることもできます。Control セクションの SHIFT + OCT- を押して Pitch Strip パラメーターを表示、ノブ 1 を回して STRENGTH を調整します。



リレティブピッチストリップの性質

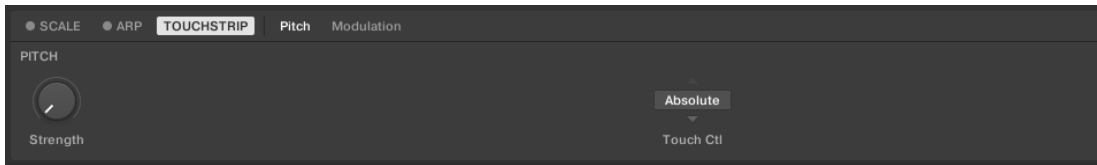
デフォルト性質の Absolute の他に、ピッチストリップはリレティブ (Relative) に設定することができます。これでパラメーターはピッチストリップ上の指の動きに反応するようになります。

リレティブ使用時に現在の値はピッチストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはモジュレーションストリップ上で指を上下に動かします。

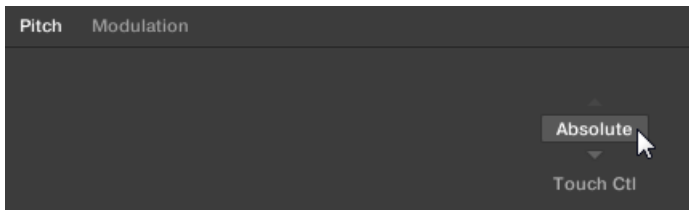
これで突然値が変化ないようにピッチストリップに指を置く場所を気にすることなく、パラメーター操作を行うことができます。

ピッチストリップのリレティブを起動する方法は以下です。

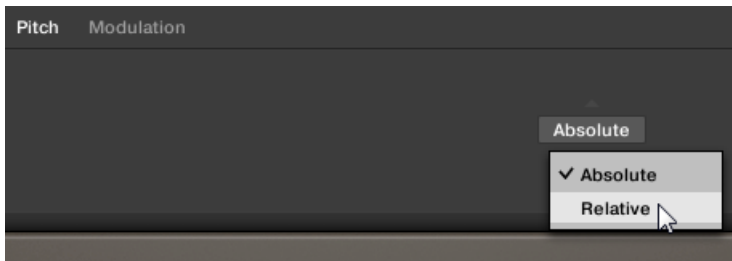
1. タッチストリップセッティングの Pitch ページに進みます (↑ 5.5, タッチストリップ参照)。



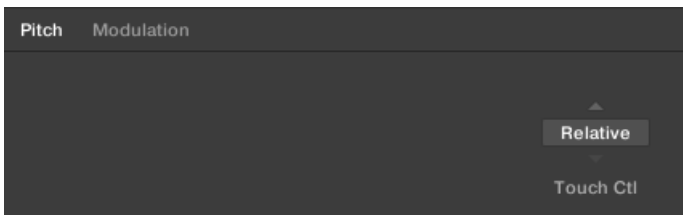
2. Touch Ctl メニューをクリックします(デフォルトは Absolute です)。



3. ドロップダウンリストで Relative エントリーをクリックします。



→ リレティブが起動します。



ピッチストリップによるインストゥルメントパラメーターのコントロール

インストゥルメントとして MONARK のプリセット 3Saw をロードすると、ピッチベンド用パラメーター PB の値がリアルタイム更新されるのが確認できます。



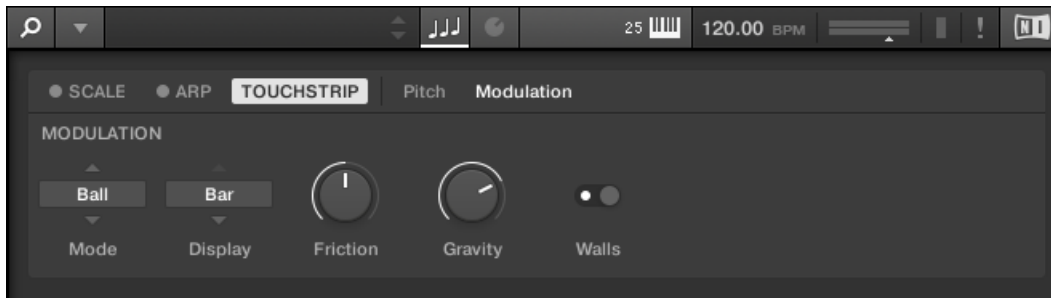
MONARK の PB パラメーターのデフォルト値です。

- ▶ アサインされたパラメーターの値を変更するには、Pitch Strip に指を置き、上下にストリップをスワイプします。
- 指の動きにあわせてアサインされたパラメーター値が変化し、ピッチが変わります。



- Pitch Strip 脇にある白、または青の LED が指の動きを追従します。
- ▶ Pitch Strip をデフォルト値に戻すには、指を放します。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの LED バーと、KOMPLETE KONTROL にアサインしてあるパラメーターもデフォルト値に戻ります。

5.5.2 モジュレーションストリップ



タッチストリップセッティングの **Modulation** ページです。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの右タッチストリップは、多機能モジュレーションコントロールです。この Modulation Strip には5つのモードがあり、各モードで独自のコントロール性質を持っています。各モードの専用パラメーターセットで Modulation Strip の性質を任意の状態に設定することができます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで、Modulation Strip の **Mode** を選択、タッチストリップセッティングの **Modulation** ページのモードの追加パラメーターを編集できます (↑5.5, **タッチストリップ**参照)。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを接続した場合にこの設定ができるようになります。
- ▶ **Mode** を選択し、キーボードの追加パラメーターを編集します。Control セクションで **SHIFT + OCT-** を押して Modulation Strip パラメーターを表示します。ノブ 1 を回し、モードを選択します。各モードの追加パラメーターがコントロールセクションの他のノブにマッピングされます。



全 Modulation Strip モードと、各パラメーターは以下で解説しています。

- **Standard** は KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの右モジュレーションストリップのデフォルトモードで、モジュレーションコントロールの通常操作に対応します。このモードでタッチストリップは指の位置を認識し、アサインしてあるインストールパラメーターに値を適用します。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動、その値が保たれます。この性質をアブソルートといいます (Standard はリレティブにすることも可能です)。Standard モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。
 - **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。Bar でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、Dot では現在の値のみを LED で表示します。
 - **Touch Ctl** メニュー: ここで Absolute (デフォルト)、または Relative を選択します。リレティブ使用時に現在の値はピッチストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはモジュレーションストリップ上で指を上下に動かします。
- **Spring**: このモードでモジュレーションストリップの中心のデフォルト位置から離れた場合、ばねのような動きで値が反応します。ばねの現在の位置 (パラメーター値のことです) は青 LED で表示されます。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動し、指を置いている間はその値が保たれます。指を放すと値がデフォルト値に戻ります。この性質をアブソルートといいます (Standard はリレティブにすることも可能です)。このモードは Pitch Strip (see section ↑5.5.1, **ピッチストリップ**) の性質と同じです。Spring モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。
 - **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。選択肢は *Bar* または *Dot* です。Bar でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、Dot では現在の値のみを LED で表示します。
 - **Strength**: ばねがデフォルト位置まで戻るまでのレートを設定します。Strength 設定を高くすると、値が元に戻る速さが早くなります。
 - **Touch Ctl** メニュー: ここで Absolute (デフォルト)、または Relative を選択します。リレティブ使用時に現在の値はピッチストリップのどこに指を置いても値を維持します。値を変えるにはモジュレーションストリップ上で指を上下に動かします。
- **Ball**: このモードで指に対してボールが吸い付くような動きで値が反応します。ボールの現在の位置 (パラメーター値のことです) は青 LED で表示されます。ストリップの特定の場所に指を置くと、現在値から指の方向に向かって値が移動し、指の位置で値が止まります。値がたどり着く前に指を放すと、値はモジュレーション上を一定の間移動し、その後速度が落ち停止します。更に、現在値に指を置き、どちらかの方向にその値をドラッグして指を放すことで、値を滑らせることも可能です。指の移動速度によって値の移動速度が速くなります。Ball モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。

- **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。 選択肢は *Bar* または *Dot* です。 *Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、 *Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
 - **Friction** スライダー: 指を放したときの値の速度低下を調節します。 **Friction** 値が高いほど、値が止まるまでの速度が速くなります。一番左に設定すると、値は止まらなくなります。一番右に設定すると、値がすぐ止まるようになります。
 - **Gravity** スライダー: 指が値をひきつける度合いを調節します。 **Gravity** 値が高いほど、値の移動速度が速くなります。このパラメーターは値を滑らせる場合の度合いには影響しません (上記参照)。
 - **Walls** ボタン: レンジ幅の限界に到達した場合の値の反応を設定します。 **Walls** をオンにすると、値が限界値で跳ね返るようになります。 **Walls** をオフにすると、値が反対の限界値に移動し、同じ方向に移動します。
- **Tempo**: *Ball* モードと同様に *Tempo* モードはボールが指に吸い付くように値が反応します。ボールの現在の位置 (パラメーター値のことです) は青 LED で表示されます。 *Ball* ボールモードと同様に操作することが可能ですが (上記)、この場合ボールはテンポにあわせて移動します。これにより、モジュレーションストリップでテンポと同期するモジュレーション制御を行うことができます。 KOMPLETE KONTROL をプラグインモードで使用している場合、テンポはホストソフトウェアで設定します。スタンドアロンの KOMPLETE KONTROL を使用している場合は、ソフトウェアインターフェイスのヘッダーでテンポを設定します (セクション ↑ 4.2, **ヘッダ (Header)** 参照)。 *Ball* モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。
- **Display** メニュー: ここでモジュレーションストリップの状態表示方法を選択します。 選択肢は *Bar* または *Dot* です。 *Bar* でストリップのデフォルト位置から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、 *Dot* では現在の値のみを LED で表示します。
 - **Rate** メニュー: 13 のビートシグニチャーのうちの一つを選択し、ビートにあわせたボールの移動に、ここでの値を採用します。 選択肢は $1/8$ から $4/1$ で、三拍子や付点も使用できます。
 - **Friction** スライダー: ボールの動きがテンポに同調するまでのレートを設定します。 **Friction** 値を高くすると、 **Rate** メニューで設定したビートにボールが同期する速度が速くなります。右いっぱいになると、ボールはすぐにテンポに同調するようになります。
 - **Gravity** スライダー: 指が値をひきつける度合いを調節します。 **Gravity** 値が高いほど、値の移動速度が速くなります。このパラメーターは値を滑らせる場合の度合いには影響しません (上記参照)。
 - **Walls** ボタン: レンジ幅の限界に到達した場合の値の反応を設定します。 **Walls** をオンにすると、値が限界値で跳ね返るようになります。 **Walls** をオフにすると、値が反対の限界値に移動し、同じ方向に移動します。

- **Stepped:** このモードでモジュレーションストリップが 2 から 5 つのセクションに分割され、白 LED で表示されます。指で押すと、2 つから 5 つの場所に均等に割り当てられた各セクションの値が適用されます。現在有効なセクション (パラメーター値) は 3 つの青 LED で表示されます。*Stepped* モードではモジュレーションストリップ用に以下の追加設定項目があります。
 - **Divisions** メニュー: モジュレーションストリップのセクション分割数を設定します。

モジュレーションストリップによるインストゥルメントパラメーターのコントロール

ロードしたインストゥルメントプリセットによって、モジュレーションストリップは、自動マッピングが行われる場合と、MIDI ラーンによって自由にインストゥルメントパラメーターのアサインを行う必要がある場合があります。



MIDI ラーンを介してパラメーターにハードウェアコントロールをアサインする方法に関しては、各インストゥルメントのマニュアルを参照してください。

ここではインストゥルメントである MONARK のプリセット 3Saw をロードして **MOD** (モジュレーションホイール) パラメーターが自動アサインされ、Modulation Strip を用いてコントロールできるようになるか確認します。

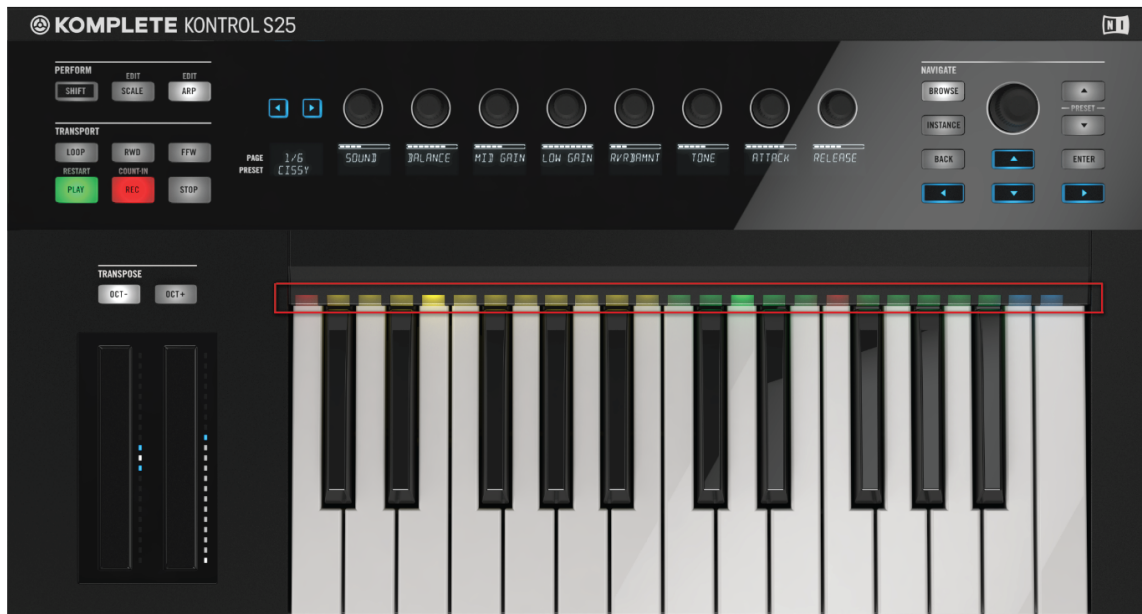
- ▶ **MOD** の値を変更するには、Pitch Strip に指を置き、上下にモジュレーションストリップをスワイプします。
- **MOD** パラメーターの値がモジュレーションストリップの指の動きにあわせて変化します。



- モジュレーションストリップ隣にある白、または青の LED がモジュレーションストリップの現在の値を表示します。

- ▶ モジュレーションストリップをデフォルト値に戻すには、指を放します。KOMLETE KONTROL ソフトウェアの [Preferences](#) パネルで設定したモジュレーションストリップモードによって、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの LED バーと KOMLETE KONTROL でアサインしたパラメーターは、現在の位置にとどまる (Standard、Stepped)、または元の位置に戻る (Spring)、モード設定内容によって移動を続ける (Ball, Tempo) ようになります。

5.6 Light Guide (ライトガイド)



鍵盤上部にあるマルチカラー対応 Light Guide です。

Light Guide は KOMLETE KONTROL S-SERIES の特筆すべき機能の一つです。ここでロードしたインストゥルメントのキーマッピングと Smart Play 機能内容を視覚化します。サンプルベースインストゥルメントを色で分類、鍵盤上部の LED でスケールによって有効、無効となっているキーを把握、Light Guide は常に重要な要素を視覚化した状態で表示するので、あわただしいライブ環境下でもその高い視認性を発揮します。

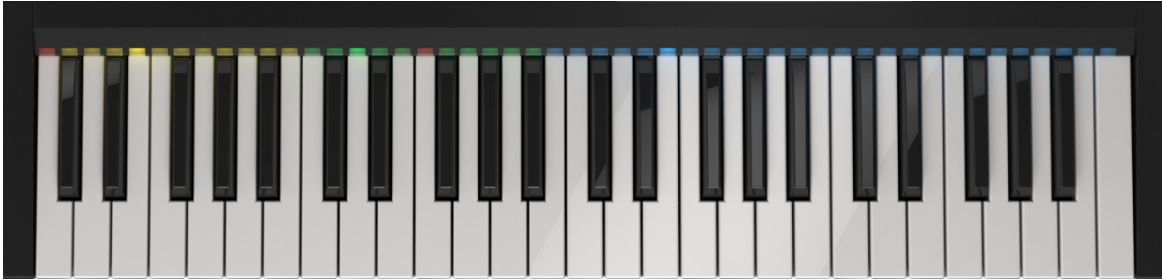
5.6.1 インストゥルメントマッピング

- 例えば Light Guide の利便性を、インストゥルメントの一つである BATTERY のプリセットをロードして確認してみましょう。



ドラムサンプルを含んだ BATTERY のセルマトリクスです。

BATTERY のセルマトリクスでは内包するサンプル名を表示、色をつけることでサウンドの種類を分類しています (Kick または Snare 等)。キーボードに 48 以上のドラムサンプルがマッピングされると、どのキーがセルマトリクスのどのパートなのか、判別するのが困難になります。その点、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの Light Guide は鍵盤でセルマトリクスをマッピングを行うと同時にマルチカラー対応 LED で色によりサンプルの種類を表示するので便利です。



Light Guide (KOMLETE KONTROL S49 を表示しています) です。

- キーボードの鍵盤を押すと、該当キーの LED が完全点灯し、その外のキーは半分点灯した状態となります。これは MIDI ノートを受信した場合でも同じです。

5.6.2 Smart Play マッピング

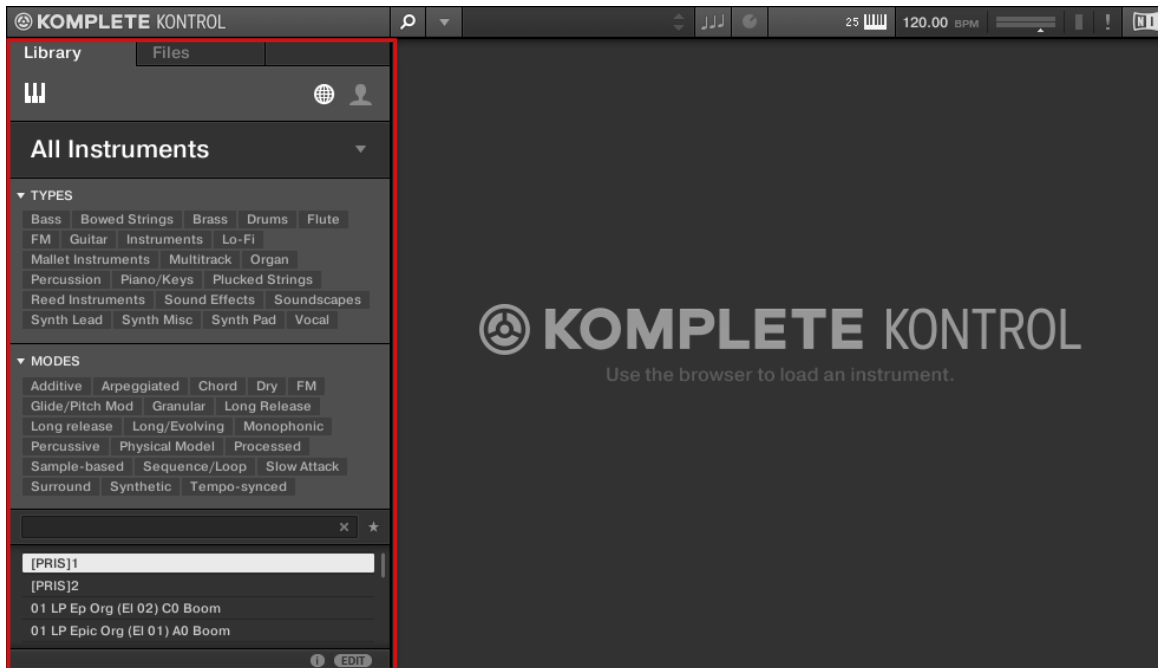
KOMLETE KONTROL の Smart Play で ([↑7.3, 音楽理論について](#)) インストゥルメント演奏時のスケールとハーモニーを設定します。Smart Play の設定内容は Light Guide に反映されます。これで例えばスケール、またはコードを選択すると、スケール、またはコードに該当するキーに属する LED が点灯、無効の状態のキーは無灯となります。Smart Play と各パラメーターの詳細は [セクション ↑7, KOMLETE KONTROL Smart Play](#) を参照してください。

6 KOMLETE KONTROL ブラウザ

ブラウザから全インストゥルメントとファイルを含んだ KOMLETE KONTROL ライブラリにアクセスします(↑6.1.1, [ライブラリ](#))。KOMLETE KONTROL ソフトウェアからブラウザにアクセスし、インストゥルメントプリセットの検索、フィルタリング、ロード、お気に入りへの追加ができ、また KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションからブラウザを使用することも可能です。この方法でハードウェアコントロールのみを使用してインストゥルメントとファイルのブラウズができ、ライブ演奏時等でその威力を発揮します (↑6.6, [KOMLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする](#))。

ブラウザで KOMLETE 全ファイルを追加、管理、編集、アレンジすることができます。ここでそれぞれのタグ化を行い、キーワードでカテゴリー分類されます。タグの追加と編集はソフトウェアのみで使用できる機能となっています (↑6.5.2, [ファイルタグとプロパティーの編集](#))。

KOMLETE KONTROL でファイルとタグを保存することもでき、ユーザーコンテンツを自分用にカスタマイズ、自身のサウンドライブラリーを作成することができます。追加項目は自動的に KOMLETE KONTROL ライブラリーペインのユーザーセクションに追加されます (↑6.4, [ユーザーライブラリーにファイルを保存する](#))。



ブラウザです。

6.1 ブラウザの基本

マニュアルのこのセクションでは、ブラウザの基本的な内容を解説します。

6.1.1 ライブラリ

ファイルの管理、検索、場所の特定、ロード等の KOMLETE KONTROL ファイルに関する項目を**ライブラリ**でこなします。ライブラリには KOMLETE インストゥルメントのファクトリーコンテンツと NKS コンテンツ、ユーザーコンテンツを含んでいます。

迅速、かつ効率よく正確にファイル検索を行うには、通常オペレーションシステムのフォルダ構造の上を行くライブラリを駆使する必要があります。例えば、ライブラリの各ファイルには以下の指標によって分類されます。

- ファイルの**コンテンツタイプ**、すなわちインストゥルメントのファクトリーライブラリ内にあるのか、ユーザーによって作成されたものか、といった内容による分類です。

- ファイルが含まれている**インストゥルメント** — この分類ではインストゥルメントカテゴリー、特定のインストゥルメント、インストゥルメントのバンクによって分類されます。
- 各ファイルの特徴で分類するには**タグ**が用いられ、例えばエフェクトの種類、音声の特徴、使用コンテンツ等でファイルを分類します。



ライブラリはファイルを表示、アクセスするための手段の一つに過ぎません。ファイルシステムで同様のファイルを検索することも可能です。ライブラリの特徴はそのファイルの音楽的性質の**関連性**によってファイルを検索できる点にあります。

ライブラリに含まれるファイルの種類

ライブラリに含まれるファイルは、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにリスト表示されるフォルダ内の全 KOMLETE KONTROL 関連ファイルとなります。ライブラリフォルダ詳細はセクション [↑ 2.7.3, Preferences – Library ページ](#)を確認してください。



作成したサウンドを KOMLETE KONTROL 内に保存することもできます。これらは自動的に [Library](#) ペインのユーザーセクションに追加されます。詳細はセクション [↑ 6.4, ユーザーライブラリにファイルを保存する](#) を参照してください。

6.1.2 Native Kontrol Standard

Native Kontrol Standard (NKS) はソフトウェアインストゥルメントフォーマットで、第 3 者製品を KOMLETE KONTROL と MASCHINE ハードウェア、ソフトウェアの両方で連動させ、KOMLETE インストゥルメントと同等の操作性を確保するためのファイル形式となっています。

Native Kontrol Standard は以下の内容を含んでいます。

- ブラウジングの一貫性を保つための KOMLETE KONTROL ブラウザでの連動性
- 即座の操作に対応するフルパラメーターマッピング
- Light Guide 等の KOMLETE KONTROL S-SERIES 各機能に対応

NKS インストゥルメントは KOMLETE KONTROL ブラウザの KOMLETE インストゥルメントの隣にあります。全プリセットにはタグ付けが施してあり、ブラウザでの絞り込み検索結果には、KOMLETE インストゥルメントと NKS インストゥルメントの内容が含まれます ([↑ 6.2.4, TYPES と MODES による検索参照](#))。NKS インストゥルメントにあるプリセットをロードすると、各パラメーターが KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロール部にマッピングされ、通常の KOMLETE インストゥルメントと同様に扱うことができるようになります。

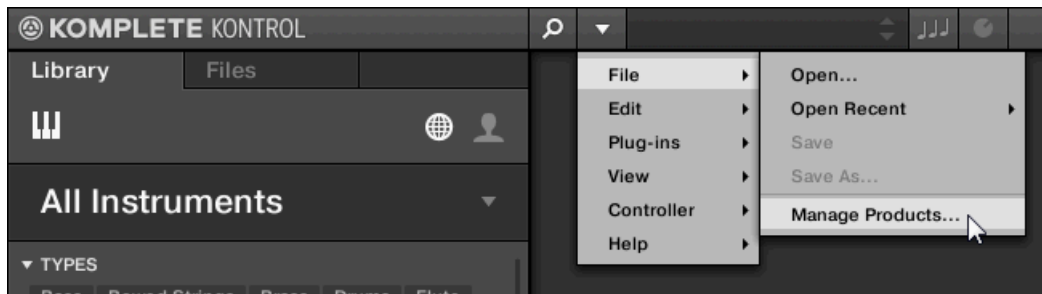
NKS インストゥルメントをインストールすると、直後の KOMLETE KONTROL 起動時に自動的にライブラリに追加されます(NKS サポート KONTAKT インストゥルメントは除く、以下参照)。NKS サポート対応プリセットを含んだフォルダは Preferences の Library ページの Factory ペインで管理します (↑ 2.7.3, Preferences – Library ページ参照)。

NKS 対応 KONTAKT インストゥルメントのインストール

第3者製 KONTAKT インストゥルメントには、プリセットとサンプルを含んだ全インストゥルメントファイルを内包する専用フォルダが用意されます。インストーラーを起動する代わりに、このフォルダをハードドライブに保存する必要があります。インストゥルメントはその後 Native Access で起動します (KOMLETE KONTROL ライブラリに追加されます)。KONTAKT を使用している場合は、インストゥルメントは自動的に KONTAKT ブラウザに追加されます。

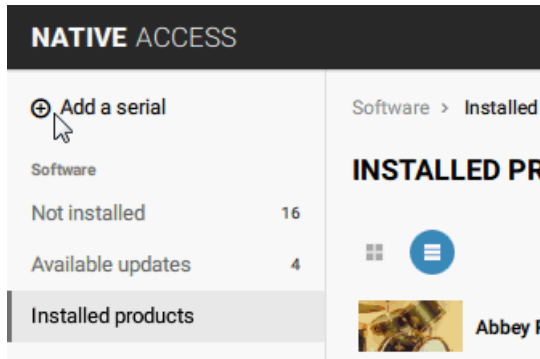
NKS 対応の KONTAKT インストゥルメントを起動し、KOMLETE KONTROL ライブラリに追加する方法は以下です。

1. KOMLETE KONTROL ソフトウェアのスタンドアロンバージョンを起動します。
2. KOMLETE KONTROL メニューで File サブメニューを開き、Manage Products... をクリックします。



→ Native Access が開き、インストールしている全ての製品を表示します。

3. Native Access の左上隅の **Add a serial** をクリックします。

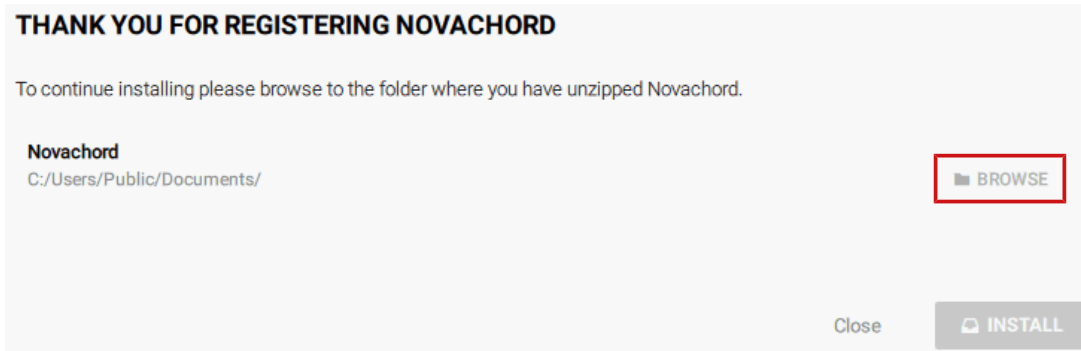


4. インストゥルメントのシリアル番号を入力し、**ADD SERIAL** をクリックします。

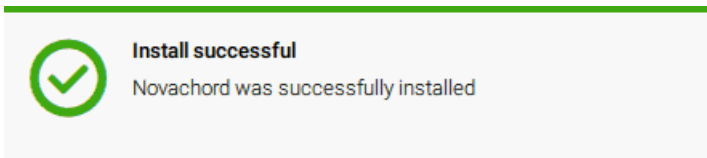


- Native Access はインストゥルメントファイルを含むフォルダをブラウズするよう提案します。これを行う前に、コンピューターのフィルダ内のエンドロケーションにコピーしたか確認する必要があります。
5. **BROWSE** をクリックし、ファイルダイアログでインストゥルメントファイルを含むフォルダを表示します。

6. INSTALL をクリックし、KOMLETE KONTROL ライブラリにインストールメントを追加します。



- インストールメントがインストールされました。KOMLETE KONTROL は自動的に新規コンテンツをスキャンし、KOMLETE KONTROL ブラウザにインストールメントを追加します。



KOMLETE KONTROL ライブラリと KONTAKT ブラウザはこのフォルダに含まれるファイルを参照するようになります。このフォルダはインストール後に削除したり移動しないことを推奨します。移動や削除を行った場合、KOMLETE KONTROL と KONTAKT がインストールメント検索を行えなくなります。インストールメントが見つからない場合は Preferences の Library ページの Rescan 機能を用いてライブラリをアップデートし、正しいフォルダ位置を検出してください (↑2.7.3, Preferences – Library ページ参照)。

6.1.3 ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧

ブラウザは KOMLETE KONTROL ライブラリ用インターフェイスです。ここには任意のファイルを検索するための各ツールを装備しており、予想外のファイルを提示することで楽曲作成のヒントとなる場合もあります。更にブラウザでは一般的な方法でファイルシステム内を閲覧することもできます。これらは次のセクションで解説します。

ブラウザには 2 つの操作モードがあり、それぞれ専用ツールを使用することができます。

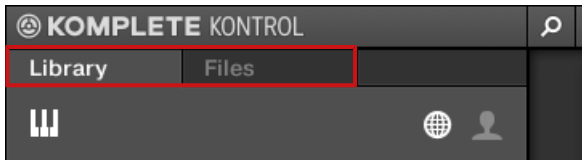
- **Library** ペインで KOMLETE KONTROL ライブラリ内をブラウズします。この検索方法で、音楽の用途に合わせてファイルを検索することができます。このペインでファイルに自由にタグ付けすることができます。
- **files** ペインでオペレーションシステムの階層構造を用いてハードディスク内をブラウズすることができます。例えばこのブラウズ方法で KOMLETE KONTROL ライブラリにインポートしていない KOMLETE KONTROL 関連ファイルを検索し、インポートすることができます。



ソフトウェア上とは異なり、KOMLETE KONTROL キーボードのブラウザではライブラリに追加したファイルのみをロードすることが可能です。キーボードのブラウザから直接ハードディスクのディレクトリにアクセスすることは出来ません。ソフトウェアのブラウザを使ってライブラリに事前にタグ化したファイルをインポートしておくことがここで重要になってきます。

Library と Files ペインの切り替え

- ▶ ブラウザの **Library** ペイン、または **Files** ペインを表示するには、ブラウザ上部の該当するタブをクリックします。



任意のタブをクリックしてブラウザの対応するペインを表示します。

Library ペインはセクション [↑ 6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) で解説、**Files** タブはセクション [↑ 6.3, ファイルシステムからファイルをロード、インポートする](#) で解説しています。

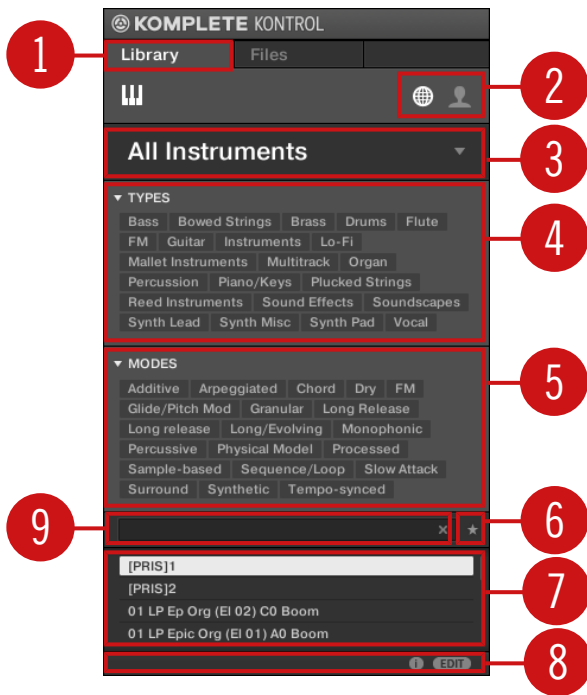
6.2 ライブラリからファイルを検索、ロードする

ブラウザの **Library** ペインで KOMLETE KONTROL ライブラリの各ファイルを検索します。

- ▶ **Library** ペインを表示するには、ブラウザの左上隅にある **Library** タブをクリックします。

6.2.1 Library ペインの概観

Library ペインは以下の内容を含んでいます。



Library ペインの各部です。

- (1) **Library タブ:** Library タブをクリックし、ここで解説するように Library ペインを開きます。
- (2) **Content セレクター:** NI アイコン (左側) をクリックしてファクトリーコンテンツを選択、またはユーザーアイコン (右側) をクリックしてユーザーコンテンツを選択します。ここで選択したコンテンツに関するファイルのみがリザルトリスト (7) に表示されます。セクション↑6.2.2, [ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択](#)を参照してください。
- (3) **インストゥルメントセレクター:** ドロップダウンメニューをクリックして特定のインストゥルメント、インストゥルメントのカテゴリー、状況によっては選択したインストゥルメントのバンクを選択します。選択した内容に関連するファイルのみがリザルトリスト (7) に表示されます。セクション↑6.2.3, [インストゥルメントの選択とロード、バンクの選択](#)を参照してください。
- (4) **TYPES フィルター:** で Type と Sub-Type タグに関連したファイルを検索します。TYPES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。セクション↑6.2.4, [TYPES と MODES による検索](#)を参照してください。

(5) **MODES filter** (Instrument/Effect プリセットのみ): で Mode タグに関連したファイルのみを選択します。MODES の隣の小さな矢印をクリックすることでこの部分を表示、非表示の状態にします。セクション↑6.2.4, TYPES と MODES による検索を参照してください。

(6) **Favorites**: このボタンをクリックして Favorites 内を検索します。リザルトリストでは Favorites 内にある検索内容に合う結果を表示します。セクション↑6.2.7, ライブラリペイン内で Favorites を使用するを参照してください。

(7) **Result リスト**: Result リスト (検索結果リスト) で 上記のツールを用いた検索内容に見合うファイルを表示します。セクション↑6.2.6, ライブラリペイン内でリザルトリストを使用するを参照してください。

(8) **コントロールバー**: ブラウザ下部のコントロールバーでは、KOMLETE KONTROL ライブラリをブラウザ、編集する際に便利なツールを装備しています。

(9) **サーチフィールド**: この検索フィールドに文字を入力することで、入力文字列に該当するファイルを検索します。セクション↑6.2.5, テキスト検索の方法を参照してください。

- **EDIT** ボタン近くの**インフォボタン**(小さな*"i"*です) をクリックすることで選択したファイルの各情報を表示します。セクション↑6.5.1, ファイル情報の表示を参照してください。
- バーの右端の **EDIT** ボタンをクリックすることで **Attribute Editor** (アトリビュートエディター) を開き、選択したファイルにアサインしたタグとプロパティーを編集します。セクション↑6.5.2, ファイルタグとプロパティーの編集を参照してください。

Library ペインの検索ワークフロー

Library ペインでファイルを検索するには典型的な検索方法で絞り込み検索を行うことができます。

最初のステップは必ず行う必要があります。

1. コンテンツセクター (2) で Factory または User コンテンツのどちらかを選択します。

ここからのステップは必要に応じて行ってください。これらの機能を用いて検索結果を絞り込み検索することでファイルの選択を効率よく行うことができます。

1. インストゥルメント (3) セクターでインストゥルメントカテゴリー、またはインストゥルメントを選択します。インストゥルメント選択後、各バンクがある場合は、インストゥルメントの特定のバンク、またはサブバンクを指定します。

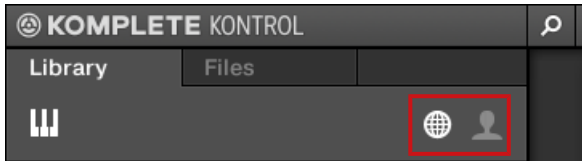
2. TYPES フィルター (4) と MODES フィルター (5) でタグを選択してください。

以上の方法を行う際は、Search フィールド (6) を用いて文字検索を同時進行で行い、Result リスト (7) の内容を絞り込むことができます。

上記のステップの詳細は以下のセクションで更に解説しています。

6.2.2 ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択

コンテンツセレクターには 2 つのアイコンがあり、左がファクトリーコンテンツ、右がユーザーコンテンツとなります。



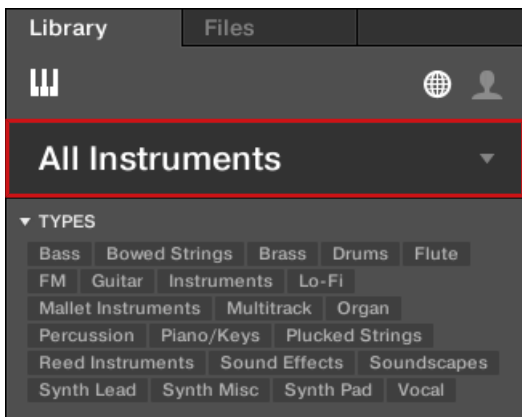
コンテンツセレクターです。

- ▶ NI アイコンをクリックしてファクトリーコンテンツ、ユーザーアイコンをクリックしてユーザーコンテンツを検索します。

6.2.3 インストゥルメントの選択とロード、バンクの選択

インストゥルメントセレクターでインストゥルメントカテゴリー、特定のインストゥルメント、インストゥルメントの特定バンクの選択、検索を行います。インストゥルメントセレクターからデフォルトプリセットファイルを含むインストゥルメントを直接ロードすることもできます。

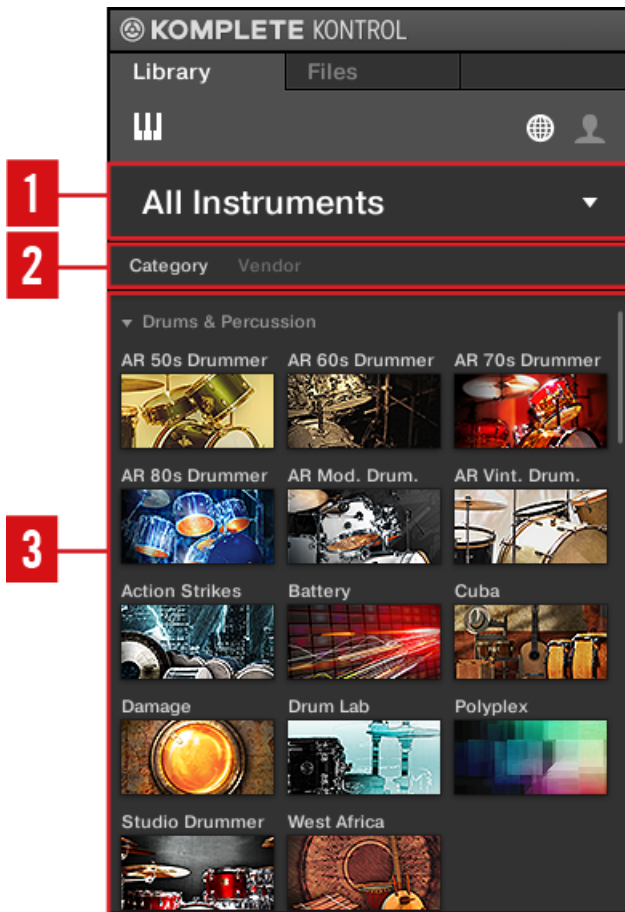
デフォルトではインストゥルメントセレクターには特定のセレクションがないので、[All Instruments](#) と表示されます。



閉じた状態のインストールセクターのヘッダです。

インストールメントの選択

- ▶ インストールメントセクターヘッダをクリックして開きます。
- インストールメントセクターが開き、KOMLETE KONTROL にある全インストールメントが表示されます。



開いた状態のインストゥルメントセクターです。

(1) **インストゥルメントセクターヘッダ**: ヘッダには選択したインストゥルメントが表示されます。何も選択していない場合はラベルを表示します (All Instruments)。ヘッダをクリックしてインストゥルメントセクターを閉じます。

(2) **Category / Manufacturer セクター**: Category または Manufacturer を基準にインストゥルメントリストを表示します。

(3) **インストゥルメントリスト**: KOMLETE KONTROL ライブラリ内の全インストゥルメントを表示します。

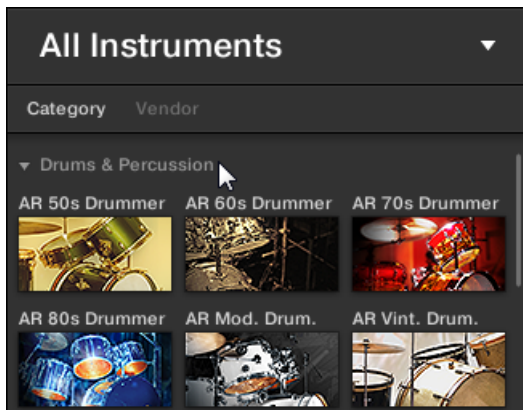
Category で **Category / Manufacturer セレクター** を選択すると、インストゥルメントリストは以下のカテゴリーによって保存されます。

- DRUMS & PERCUSSION
- SAMPLED INSTRUMENTS
- SYNTHESIZERS
- NO CATEGORY

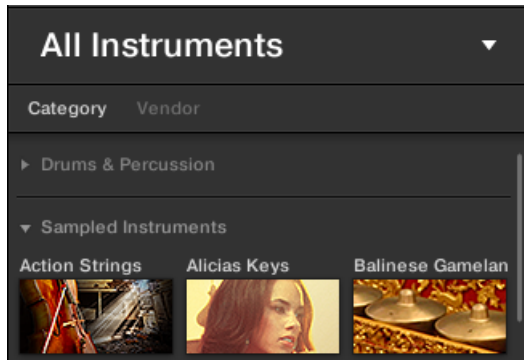
Manufacturer で **Category / Manufacturer セレクター** を選択すると、インストゥルメントリストは製造者名を基準に表示されます。

インストゥルメントグループは最小化、拡大することでインストゥルメントリスト表示内容をカスタマイズすることが可能です。

- ▶ ヘッダーをクリックすると、インストゥルメントグループが最小化されます。



→ これでインストゥルメントグループの表示内容が最小化されます。

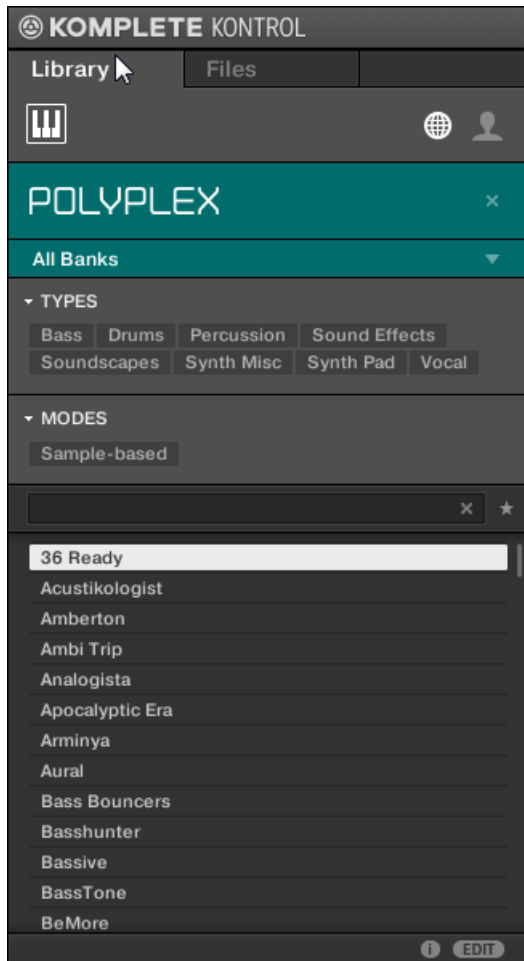


- ▶ インストゥルメントグループを拡大するには、ヘッダーをもう一度クリックします。

使用したいインストゥルメントが見つかったら、簡単に関連するプリセットファイルをブラウズすることができます。

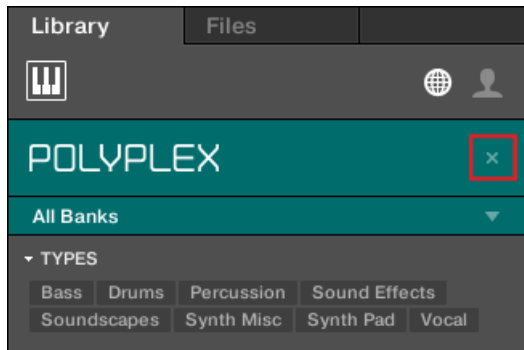
- ▶ インストゥルメントを選択し、関連するプリセットファイルを表示するには、リストのインストゥルメントをクリックします。

- インストゥルメントセクターは選択によって自動的に閉じ、ヘッダにインストゥルメント名称とアイコンが表示され、タグフィルターと Result リスト内容が絞り込まれます。



その他のインストゥルメントを選択、または KOMLETE KONTROL ライブラリ内の全インストゥルメント用プリセットファイルを表示するには、インストゥルメント選択内容をリセットする必要があります。

- ▶ インストゥルメントセクターでの選択内容をリセットするには、インストゥルメント名称の右にある小さな x をクリックしてください。



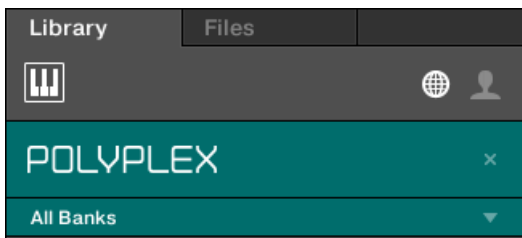
- これでここまでのインストゥルメント選択内容がキャンセルされます。インストゥルメントセクターは **All Instruments** と表示されます。この段階ではインストゥルメントセクターの下のタグフィルターとリザルトリストでは全インストゥルメント用ファイルを含みます。



ライブラリ内に関連ファイルがある場合、インストゥルメントセクターにインストゥルメントが表示されます。特定のインストゥルメントが表示されない場合は、製品が正しくインストールされているか確認し、最新のバージョン内容にしておく必要があります。

バンクの選択

インストゥルメントリスト (上参照) で特定のインストゥルメントを選択すると、閉じられたインストゥルメントセクターの下に **Bank メニュー**が表示されます。

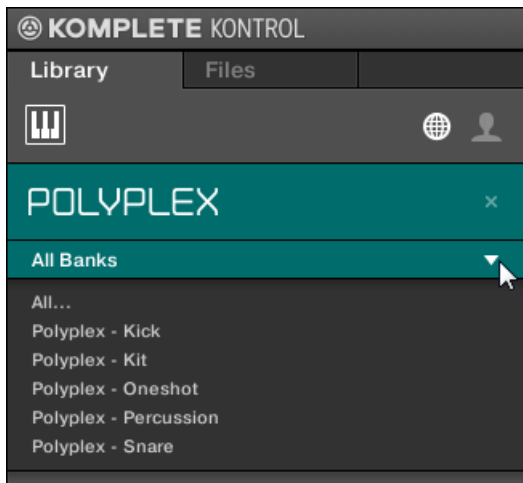


Bank メニューで POLYPLEX 用に **All Banks** と表示しています。

このバンクメニューで選択したインストゥルメントのファイルの特定バンクを選択します(上図は POLYPLEX 用です)。

Banks には追加ライブラリ (例、MASSIVE EXPANSIONS)、オリジナルファクトリーライブラリの異なるバージョン (例、FM7 Legacy と FM8 Factory Library)、または特定のインストゥルメント (例、POLYPLEX 用異なるドラムサウンドの各セット) のその他のコンテンツ等が含まれます。

- ▶ 選択したインストゥルメントの特定のバンクを選択するにはインストゥルメントアイコン下のバンクメニューをクリックし、エントリーにあるバンクを選択します。



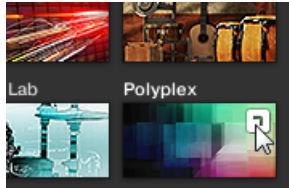
→ 選択するとバンクメニューが閉じ、選択したバンクが表示されます。下のタグフィルターと Result リストで更に内容を絞り込みます。

- ▶ インストゥルメントセレクションのように、閉じたメニューのバンク名称隣の小さな x をクリックして選択したバンクを削除することができます。

インストゥルメントセレクターからインストゥルメントをロードする

インストゥルメントを選択して検索結果を絞り込むだけでなく、最初のプリセットファイルと共にインストゥルメントをロードしたい場合も、一連の動作をインストゥルメントセレクターから直接行えます。

- ▶ 最初のプリセットファイルを含んだインストゥルメントをロードするには、インストゥルメントセクターのインストゥルメントエントリーのどれかにマウスカーソルを置き、インストゥルメントエントリーの右上隅に現れる矢印をクリックします。

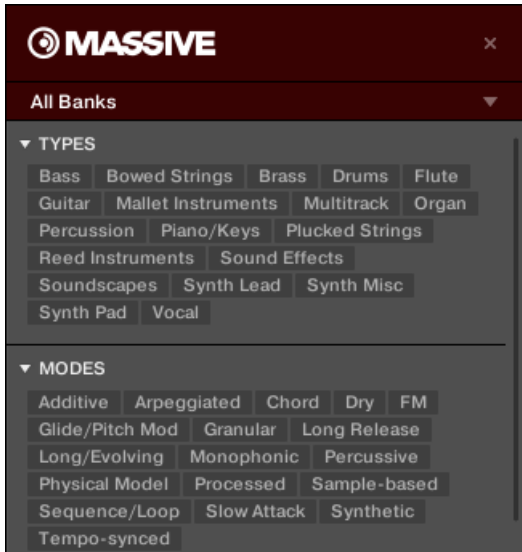


- これでインストゥルメントと最初のプリセットファイルがロードされ、リザルトリストではこのインストゥルメントに関連するプリセットファイルのみが表示されるようになります。



6.2.4 TYPES と MODES による検索

インストゥルメントセクター下のタグフィルターで特定の性質、エフェクトタイプ、音声の特徴によるファイル検索を行います。タグの種類は Type または Mode となります。TYPES と MODES フィルターを介してそれぞれ選択します。

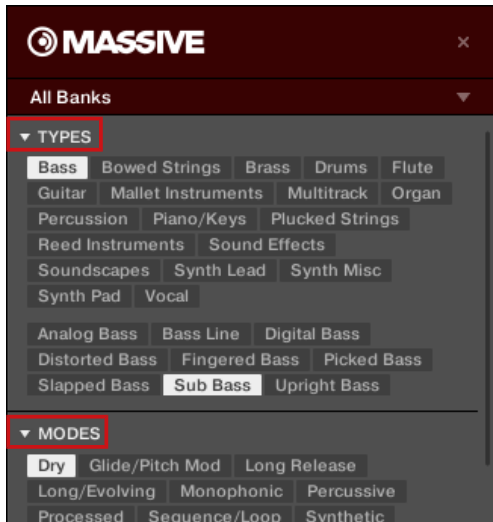


MASSIVE 用 TYPES と MODES フィルターです。

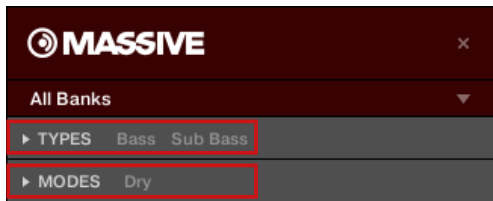
- ▶ タグフィルターの任意のタグをクリックして選択し、タグによって絞り込んだファイルの検索を行います。選択したタグをもう一度クリックして選択解除することで、選択範囲を広げます。

Types と Modes フィルターは表示、非表示することができます。

- ▶ タグフィルターを最小化するには、タグフィルター名称 (TYPES と MODES) をクリックします。



- 最小化すると、選択したタグ内容がタグフィルター名称の隣に表示されます。



- ▶ タグフィルターを拡大するには、タグフィルター名称 (TYPES と MODES) をもう一度クリックします。

Types

Type タグには 2 つの階層があります。TYPES フィルターでこれらを選択します。

- まず TYPES フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部でタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグが表示されます。
- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

モード

MODES フィルターには Type レベルとは独立した追加レベルを備えています。

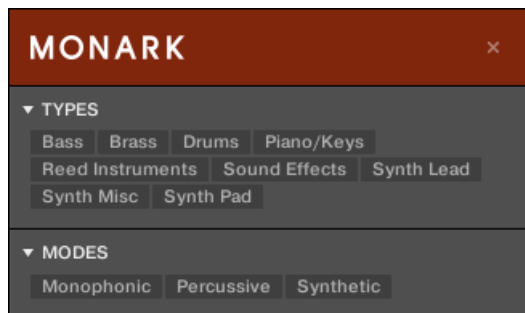
- 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています(例、Arpeggiated、Percussive、Synthetic 等)。
- MODES フィルターは常に表示されます。TYPES フィルターを使用する前に MODES フィルター（あるいは MODES フィルターのみを用いて）を用いて検索を開始することができます。
- MODES フィルター内の有効なタグのリストは TYPES フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。



TYPES または MODES フィルターでタグを何も選択しないと、Result リストでは選択したインストゥルメントの全タグに関連するファイルが全て表示されます。

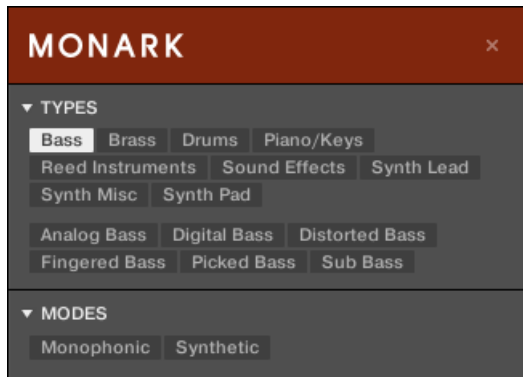
タグフィルターを用いたサウンド検索

では MONARK インストゥルメントでベースを探す場合を例にします。インストゥルメントセクターで既に Monark 用インストゥルメントを選択しています(詳細は [↑6.2.3, インストゥルメントの選択とロード、バンクの選択](#) を参照してください)。現時点で TYPES フィルターは上層タグのみを表示しているはずですが。

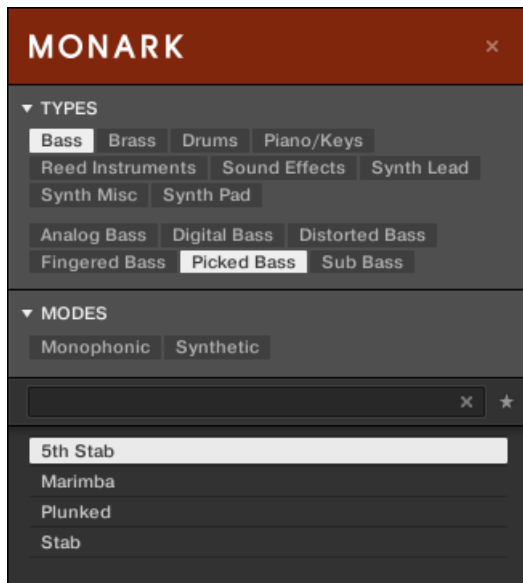


インストゥルメントセクターで MONARK インストゥルメントが選択された状態です。

1. ベースを検索するには、TYPES フィルターで Bass タグを選択します。選択すると、タグの次の階層に Analog Bass、Fingered Bass 等があるサブタイプが表示されます。



2. この 2 番目の階層で、理想のベースがありうるサブタイプを選択します。ここでは Picked Bass を選択することにし、これでベースのサブタイプによる絞り込み検索ができます。

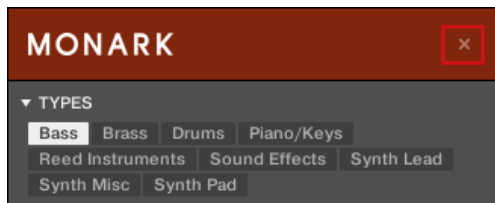


3. ではこのベースサウンドをロードしたとして、このサウンドが気に入らず、更に際立った音が必要だと感じたとしましょう。TYPES フィルターの Bass タグはそのままにしておき、次の階層で Picked Bass の代わりに Distorted Bass を選択します。Distorted Bass を選択すると、検索結果の内容が更新されます。



- この方法で似た特徴を持つ各プリセットを素早く探すことができます。ここでは最初に Picked Bass サウンド、次に Distorted Bass サウンドを選びます。

- ▶ [Distorted Bass](#) サブタイプを使用して気に入ったサウンドが見つかり、同じタグのインストゥルメントのその外のプリセットを閲覧しなくなった場合は、**x** をクリックしてインストゥルメントセレクターをリセットします。



- インストゥルメントセクターがリセットされ、TYPES と MODES フィルターでは全インストゥルメントプリセットの Bass と Distorted Bass が関連するプリセットを表示します。



同じレベルで複数のタグを選択する

TYPES と MODES フィルターの両方の同じレベルで**複数のタグ**を選択することが可能です。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したままクリックすることで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。

- ▶ コンピューターキーボードの [Ctrl] ([Cmd], Mac OS X) を押しながら同一レベルのタグをクリックすることで各タグを選択することができます。

→ Result リストにはタグ選択内容に関連する全ファイルが表示されます。

6.2.5 テキスト検索の方法

検索フィールドに検索ワードを入力します。



サーチフィールドです。

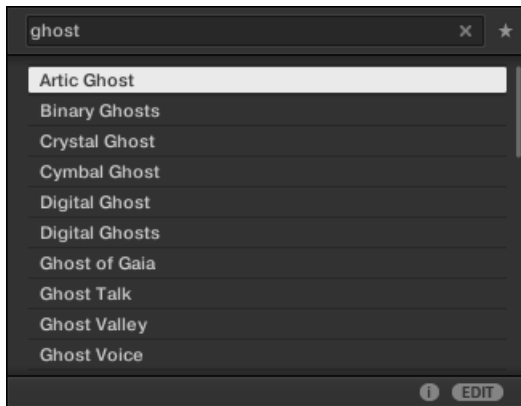
- ▶ サーチフィールドをクリックして任意のテキストを入力することでこのテキストを含んだファイルが絞り込み検索されます。

検索はファイルパスファイル名称、インストゥルメント/バンク/サブバンク、タグ、プロパティーディレクトリで扱われる文字に対して使用できます。入力を始めるとすぐに、下のリザルトリストで絞り込み表示が始まります。

サーチフィールドの右の**リセットボタン** (小さな x) で文字検索とタグ検索をリセットすることができます。このリセットではインストゥルメントの選択内容に影響はありません。

6.2.6 ライブラリペイン内でリザルトリストを使用する

サーチリザルトリスト (RESULTS) では検索内容に合う全てのファイルを表示します。



リザルトリストで検索ワード「ghost」にマッチするインストゥルメントプリセットを表示しています。

リストが膨大すぎて一度に表示しきれない場合はマウス、またはスクロールバーを使用してリスト内を移動します。

リザルトリストでは以下のことが行えます。

- 任意のファイルの選択
- 選択したファイルのロード
- ハードディスクとライブラリからの選択したファイルの削除
- オペレーションシステムの選択したファイルのナビゲート
- ブラウザーの右下にある [EDIT](#) ボタンのクリックによる選択したファイルのアトリビュートの閲覧と編集。詳細はセクション [↑6.5.2, ファイルタグとプロパティの編集](#) を参照してください。

リザルトリストでファイルを選択する

- ▶ リザルトリストで単一のファイルを選択するにはエントリーをクリックします。

リザルトリストで複数のファイルを選択し、一挙に編集することも可能です。

連続するファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したままリザルトリスト内の2つのファイルを選択することで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。

離れあったファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ [Ctrl] ([Cmd], Mac OS X) を押したまま、選択したい全ファイルをそれぞれクリックします。

ファイルのロード

このリストにあるファイルをダブルクリックするとロードします。



インストールプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

リザルトリストでファイルを削除する

リザルトリストから直接ユーザーファイルを削除することも可能です。

1. 任意のユーザーファイルを右クリック (Mac OS X では [Ctrl]-クリック) し、コンテキストメニューで *Delete* を選択します。複数のファイルを同時に削除する場合は、上記したように選択してから右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) します。
警告ダイアログが表示され、この削除によって KOMLETE KONTROL ライブラリのみではなくハードウェアからも選択しているファイルを削除する、といった趣旨のメッセージが表示されます。
 2. **OK** をクリックして削除します(または **Cancel** をクリックして削除をキャンセルします)。
- ファイルは KOMLETE KONTROL ライブラリとハードディスクから削除されます。



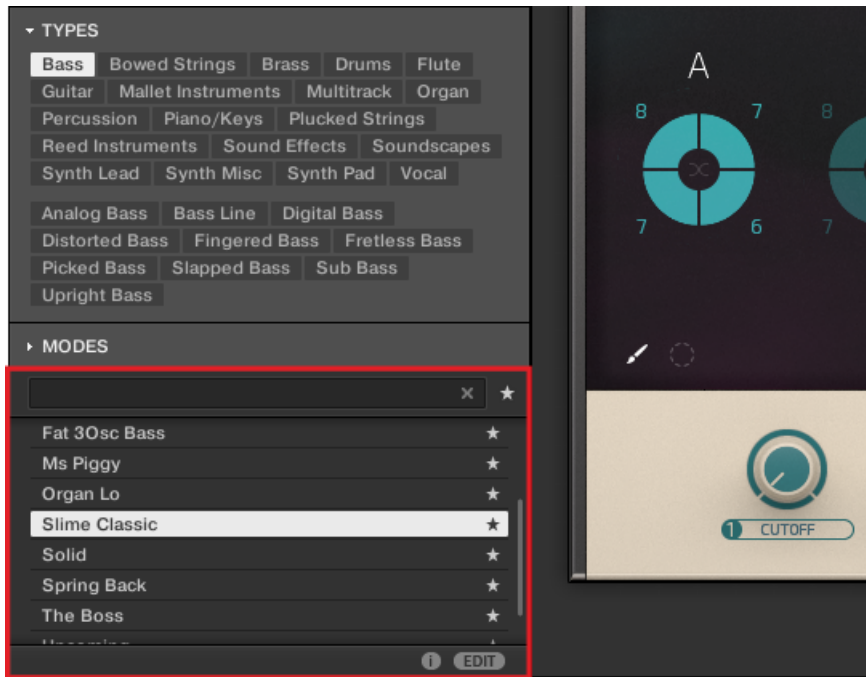
ファクトリーコンテンツを使用する場合は、コンテキストメニューに *Delete* エントリは表示されません。

オペレーションシステムでファイルをナビゲートする

リザルトリストで表示されている特定のファイルの場所を知るには以下を行います。

- ▶ リザルトリストの任意のファイルを右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) し、コンテキストメニューで *Find in Explorer* (*Find in Finder*、Mac OS X) を選択すると、Explorer/Finder ウィンドウを表示、オペレーションシステム内のファイルの位置を確認することができます。

6.2.7 ライブラリペイン内で Favorites を使用する



KOMLETE KONTROL ブラウザで Type Bass のタグが付いた全 Favorites を表示しています。

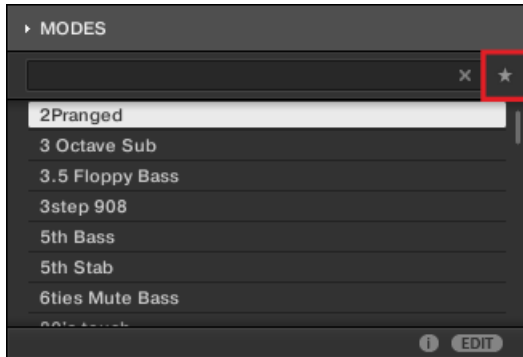
KOMLETE KONTROL ブラウザの Favorites で自身が頻繁に使用、お気に入りとして登録しているインストゥルメントプリセットをすばやく閲覧、ロードすることができます。Favorite に登録するプリセットは自由に選ぶことができます。Favorites は Library ペインの追加フィルターとして機能します。この機能を起動すると、リザルトリストでは Favorite 内の検索内容に見合うプリセットを表示します。Favorites はファクトリーコンテンツとユーザーコンテンツの両方で使用できます(↑6.2.2, ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択参照)。



KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを使用した Favorites の閲覧方法とプリセットの追加方法は ↑6.6.10, オンスクリーンオーバーレイでフェイスリット (Favorites) による絞り込み検索を行う に記載しています。

Favorites フィルターを起動する方法は以下です。

- ▶ 検索フィールドの隣にある Filter Favorites コントロールをクリックして Favorites 内の検索内容にあうプリセットを表示します。



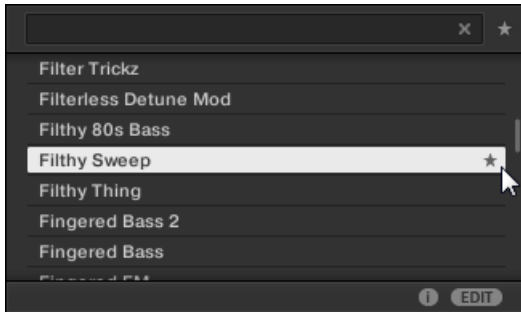
- Filter Favorites コントロールが起動し、リザルトリストでは現在の検索内容に沿った全 Favorites を表示します。



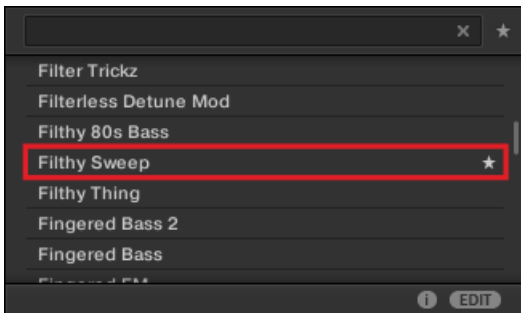
プリセットを Favorites に追加する

プリセットを Favorites に追加する方法は以下です。

1. リザルトリストのエントリーにマウスカーソルをあて、Set Favorite アイコンを表示します。

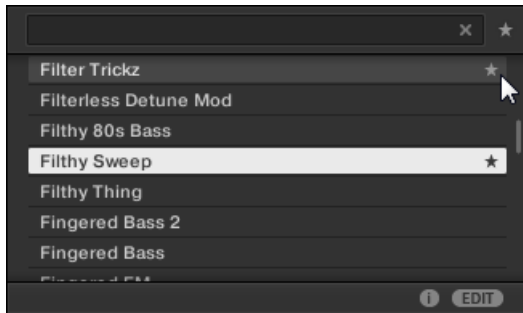


2. Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites に該当するプリセットを追加します。
→ プリセットが Favorites に追加されると、名称横に Set Favorite アイコンが表示されるようになります。



選択している、していないに関わらず、Favorites に追加するプリセットは任意に選択することができます。

- ▶ Favorites に選択していないプリセットを追加するには、リザルトリストの任意のエントリーにマウスカーソルを当て、表示される Set Favorite アイコンをクリックします。



Favorites からプリセットを削除する

プリセットを Favorites から削除する方法は以下です。

- ▶ 点灯している Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites から削除対象となるプリセットを追加します。

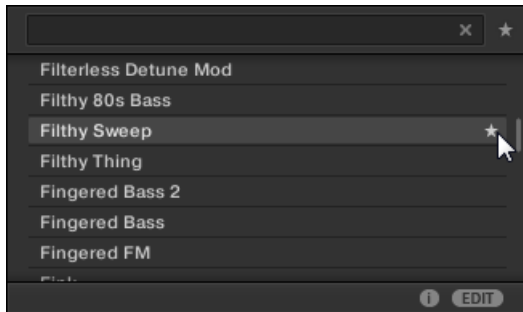


- プリセットが Favorites から削除されると、名称横に Set Favorite アイコンが消えます。次回 Favorites フィルターを選択すると、リザルトリストにこのプリセットが表示されなくなります。



リザルトリストを Favorites でフィルターしていない場合は、Favorites からプリセットを削除することができます。

- ▶ プリセット名称の隣にある点灯している Set Favorite アイコンをクリックし、Favorites からプリセットを削除します。



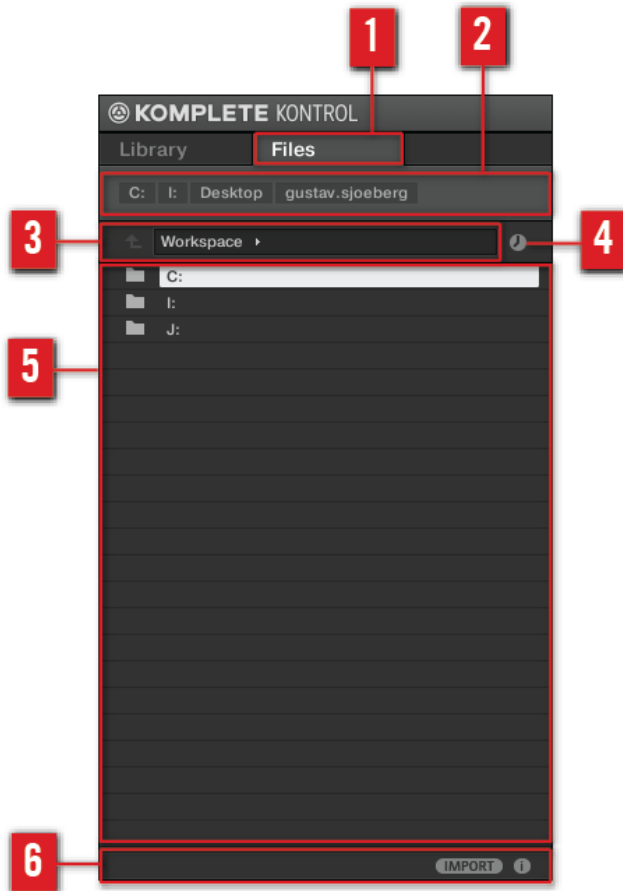
6.3 ファイルシステムからファイルを読み、インポートする

ブラウザ Files ペインでファイルシステムをブラウズし、任意のフォルダを KOMLETE KONTROL ライブラリにインポートします。

- ▶ Files ペインを表示するには、ブラウザの上にある Files タブをクリックします。

6.3.1 Files ペインの概観

Files ペインは以下の内容を含んでいます。



Files ペイン各部です。

- (1) **Files タブ:** Files タブをクリックしてここで解説するように Files ペインを開きます。
- (2) **Favorite バー:** 全 Favorites を表示します。各 Favorite をクリックして特定のパスに直接移動し、リザルトリスト (5) にその内容を表示します。セクション ↑ 6.3.2, [Favorites \(お気に入り\) の使用](#) を参照してください。

(3) **Location バー**: 現在選択しているパスを表示します。このロケーションバーにはファイルシステムを素早く制御するための各ツールを用意しています。セクション ↑ 6.3.3, [ロケーションバーの使用](#)を参照してください。

(4) **Recent Locations ボタン**: このボタンをクリックして最後に閲覧した場所のリストを表示するので、任意の場所に素早く移動することができます。セクション ↑ 6.3.4, [最近使った場所への移動](#)を参照してください。

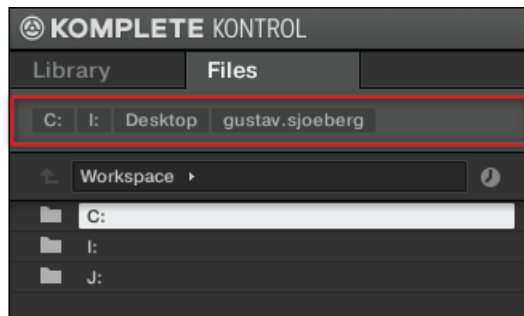
(5) **Result list**: でロケーションバー(3) にロードしてあるフォルダの内容（ファイル、またはフォルダ）を表示します。KOMLETE KONTROL に互換性のあるファイルのみが表示されます。セクション ↑ 6.3.5, [Files ペイン内でリザルトリストを使用する](#)を参照してください。

(6) **Control バー**: ブラウザの下部にある Control バーにはファイルシステムのブラウズ時に便利なツールがあり、これらはリザルトリスト内で選択したファイルの内容によって異なります。

- 右下隅の**インフォボタン**(小さな“i”です) をクリックすることで選択したファイルの各情報を表示します。セクション ↑ 6.5.1, [ファイル情報の表示](#)を参照してください。
- フォルダ選択時にバーの右にある **IMPORT** ボタンを押すと、選択したフォルダが KOMLETE KONTROL ライブラリにインポートされます。**IMPORT** ボタンをクリックすると **Attribute Editor** が開くのでそこでインポートしようとしているファイルにタグをアサインします。セクション ↑ 6.5.2, [ファイルタグとプロパティの編集](#)を参照してください。

6.3.2 Favorites (お気に入り) の使用

Files ペインの上部には Favorite バーがあり、ここに全 Favorite を表示します。



Files ペイン最上部にある Favorite バーです。

Favorites はファイルシステム内の特定の場所へのショートカットとして機能します。

- ▶ Favorite バーで任意の Favorite をクリックして各場所に移動します。

→ 選択した場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにその内容が表示されます。

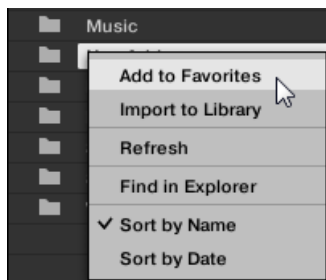
Files ペイン内でファイルシステムをブラウズする際、同じ場所を頻繁に使用する場合は Favorites 機能は非常に便利です。頻繁に使う場所を Favorite として保存することで、常にこの場所に素早く移動することが可能となります。

デフォルト Favorites はハードディスクのルートフォルダ、デスクトップフォルダ、ユーザーフォルダとなります。

Favorites の追加と削除

Favorites バーに任意の Favorite を追加することもできます。この操作はリザルトリストで行います。

1. Favorite として使用したいフォルダを含む親フォルダに進み、このフォルダがリザルトリストで表示されるようにします。
2. リザルトリストで任意のフォルダを右クリック (Mac OS X では [Ctrl]-クリック) し、コンテキストメニューで *Add to Favorites* を選択します。

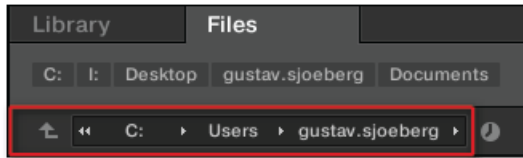


Favorite バーから各 Favorite を削除することも可能です。

- ▶ Favorite を削除するには、Favorite バーで右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) し、*Remove from Favorites* を選択します。

6.3.3 ロケーションバーの使用

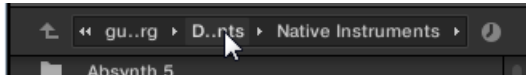
ロケーションバーで使用しているパスの表示と編集を行います。リザルトリストではここで表示しているパスの内容を表示します。



ロケーションバーです。

ロケーションバーには以下のツールがあります。

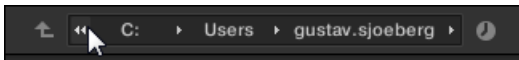
- **上矢印:** 左の上矢印をクリックしてファイルシステム階層を上に移動します。
- **選択したパス:** パスを表示した状態で以下のことができます。
 - **フォルダ名称**をクリックしてそのフォルダに移動します。



- **右矢印**をクリックしてサブフォルダを表示、その中のエントリーをクリックして各フォルダに移動します。

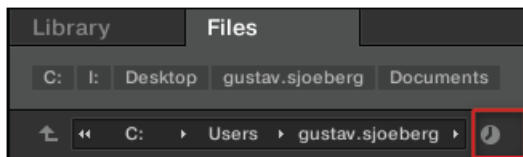


- パスで全レベルを表示しきれない場合は、パスの**二つの左向き矢印**をクリックして残りの上部レベルを表示し (Workspace がファイルシステム内の最上部となります)、リストの各エントリーをクリックすることでその場所に移動します。



6.3.4 最近使った場所への移動

ロケーションバーの右の時計アイコンはリセントロケーション (Recent Locations) ボタンです。



リセントロケーションボタンです。

KOMLETE KONTROL は最後に使用した 10 の場所を記憶し、保存します。

- ▶ リセントロケーションボタンを押し、リスト表示される最近使用した場所に移動します。

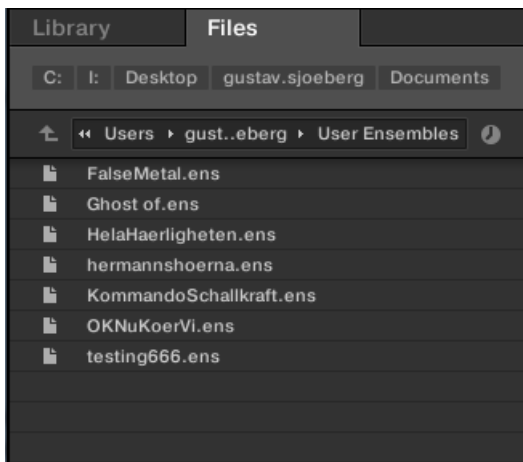
→ 場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにはその内容が表示されます。

6.3.5 Files ペイン内でリザルトリストを使用する

Files ペインのリザルトリストはロケーションバーにロードしてあるパス内のフォルダとファイルを表示します。(↑6.3.3, [ロケーションバーの使用](#)参照)。



KOMLETE KONTROL に互換性のあるファイルのみがリザルトリストに表示されます。



Files ペインのリザルトリストです。

リストが膨大すぎて一度に表示しきれない場合はマウス、またはスクロールバーを使用してリスト内を移動します。

リザルトリスト内でファイルをナビゲートする

表示しているフォルダを開くことでリザルトリスト内のファイルシステムを更にブラウズします。

- ▶ フォルダをダブルクリックして内容を表示します。

前のフォルダに戻る、または現在表示しているフォルダ以外の他のフォルダに移動するには、リザルトリストにある各ツールを使用します。

- Favorites (お気に入り) : ↑6.3.2, [Favorites \(お気に入り\)](#) の使用

- Location (ロケーション) バー: [↑ 6.3.3, ロケーションバーの使用](#)
- Recent Locations (リザルトロケーション) ボタン: [↑ 6.3.4, 最近使った場所への移動](#)

リザルトリストでファイルとフォルダを選択する

- ▶ リザルトリストで単一のファイルとフォルダを選択するにはエントリーをクリックします。

リザルトリストで複数のファイルとフォルダを選択し、一挙に編集することも可能です。
連続するファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したまリザルトリスト内の 2 つのファイルを選択することで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。

離れあったファイルを複数選択するには以下を行います。

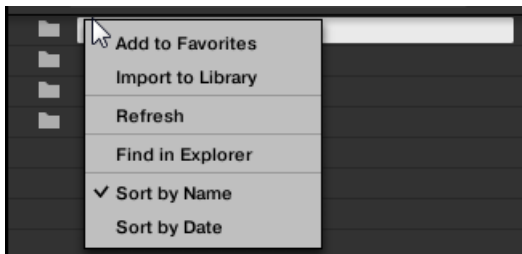
- ▶ [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS X) を押したまま、選択したい全ファイルをそれぞれクリックします。

リザルトリストからファイルをロードする

[Library](#) ペインのリザルトリストの使用方法と同様に、ダブルクリックでリザルトリストからファイルをロードすることができます。詳細は [↑ 6.2.6, ライブラリペイン内でリザルトリストを使用する](#) を参照してください。

リザルトリストの追加機能

- ▶ リザルトリストの各エントリーを右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) することで追加コマンドを含んだコンテキストメニューを開きます。



Files ペインのリザルトリストのコンテキストメニューです (図は Windows の内容です)。

コマンドは以下となります。

コマンド	内容
<i>Add to Favorites</i> (フォルダのみ)	Favorites に選択したフォルダを追加します。詳細は ↑ 6.3.2, Favorites (お気に入り) の使用 を参照してください。
<i>Import to Library</i> (フォルダのみ)	ライブラリに選択したフォルダをインポートします。詳細は ↑ 6.3.6, KOMPLETE KONTROL ライブラリにファイルをインポートする を参照してください。
<i>Refresh</i>	フォルダの内容を編集した場合にリスト内容をリフレッシュします。
<i>Find in Explorer</i> / <i>Find in Finder</i>	選択したフォルダがある Explorer/Finder ウィンドウを表示します。
<i>Sort by Name</i>	アイテムの名称によってリザルトリスト順を並び替えます。
<i>Sort by Date</i>	アイテムの日付によってリザルトリスト順を並び替えます。

6.3.6 KOMPLETE KONTROL ライブラリにファイルをインポートする

膨大な KOMPLETE ファクトリーライブラリの他に、自身のサンプル、または他のユーザーからの REAKTOR アンサンプル、または KONTAKT インストゥルメントファイルを使用する場合もあるでしょう。解説したように **Files** ペインからファイルを直接ロードすることもできますが、キーボードのブラウザ、または **Library** ペインでこれらのファイルを検索、ロードすることはできません ([↑ 6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#)参照)。

まずはライブラリにファイルをインポートしてください。ファイルをインポートするといっても現在サンプルを保管しているファイルディレクトリを移動するというわけではなく、ブラウザにファイルディレクトリを認識させる方式を採用しています。そのため、ファイルを移動する度に、**Preferences** パネルの **Library** ページでファイルパスを認識させる必要があります。詳細には [↑ 2.7.3, Preferences – Library ページ](#) を参照してください。

Files ペインでは全フォルダをインポートすることができます。選択したフォルダ内の KOMPLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがインポートされます。

フォルダのインポート方法は以下となります。

1. ブラウザ上部の **Files** タブをクリックして **Files** ペインを開きます。
2. **Files** ペインでインポートするフォルダがあるフォルダまでナビゲートします。これを行うには上記のセクションで解説した各ツールを使用します。
3. 上記のように任意のフォルダを選択します。
4. ファイルブラウザの右下にある **IMPORT** をクリックしてください。
Attribute Editor が表示されます。

5. Attribute Editor でライブラリにインポートするファイルにタグ付けを行います (↑6.5.2, [ファイルタグとプロパティの編集参照](#))。
 6. タグ付けを終えたらブラウザ右下の **OK** をクリックしてライブラリにファイルをインポートします。
- 選択したフォルダ内の KOMLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがライブラリにインポートされます。これらはユーザーコンテンツとして追加されます ([Library](#) ペインのコンテンツセクターでユーザーアイコンを選択します。セクション↑6.2.2, [ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択参照](#))。更にインポートしたフォルダのパスが [Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにある [User](#) ペインのユーザーライブラリリストに追加されます。セクション↑2.7.3, [Preferences – Library ページ](#)を参照してください。



タグの追加、削除はインポート後いつでも行うことが可能です。しかしその後の手間を考えると、インポート時にタグをつけておくことが懸命でしょう。

6.4 ユーザーライブラリにファイルを保存する

KOMLETE KONTROL では インストゥルメントで作成したサウンドを簡単にユーザープリセットファイルとして保存することができます。保存したファイルは自動的にライブラリペインのユーザーコンテンツに追加され、KOMLETE KONTROL ライブラリのその外のファイルと同様に、検索等を行うことができるようになります (↑6.2, [ライブラリからファイルを検索、ロードする](#))。ハードドライブにはユーザープリセットファイルは以下のフォルダに保存されます。

- **Windows:** *C:\Users\<your user name>\Documents\Native Instruments\User Content*
- **Mac OS X:** *Macintosh HD/Users/<your user name>/Documents/Native Instruments/User Content/*

KOMLETE KONTROL で保存した KOMLETE インストゥルメント用ファイルは、スタンドアローン、プラグイン各バージョン内で使用できます。例えば、KOMLETE KONTROL を用いて保存した KONTAKT ファイルを、上記したユーザーコンテンツフォルダから KONTAKT スタンドアローン、またはプラグイン上で開くことができます。



KOMLETE KONTROL で保存したファイルは MASCHINE で使用することもできます。MASCHINE の [Library](#) ペインのユーザーコンテンツセクションに追加するには、MASCHINE Preferences の [Library](#) ページの [User](#) ペインの [Rescan](#) をクリックします。

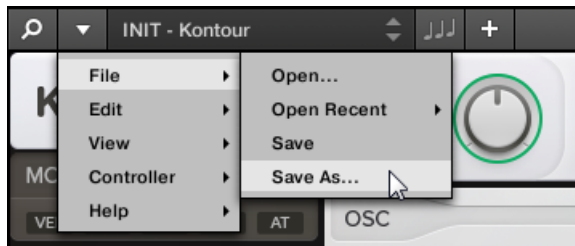
ユーザープリセットファイルの保存

以下の方法で新規ユーザープリセットファイルにサウンドを保存します。

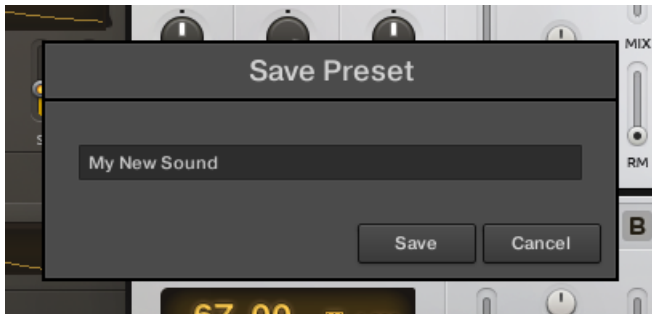
1. KOMLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save* をクリックします。



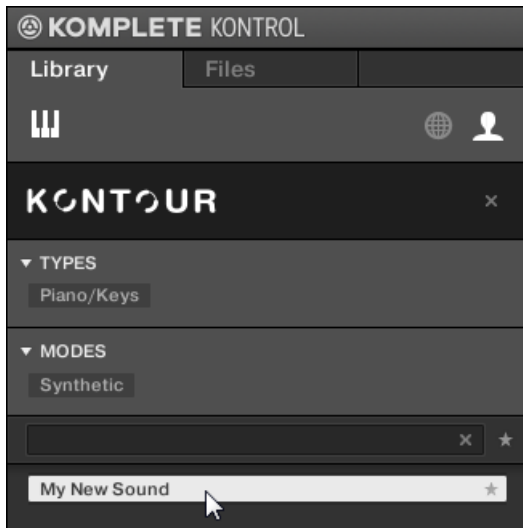
また、編集しているユーザープリセットファイルを別名で保存する場合は、KOMLETE KONTROL メニューの *File* サブメニューで *Save As...* をクリックします。



2. 新規名称を入力して **Save Preset** ダイアログで **Save** をクリックします。



- **Library** ペインのユーザーコンテンツに新しいプリセット名称が表示されるようになります。



新規ユーザープリセットファイルのタグとプロパティー編集

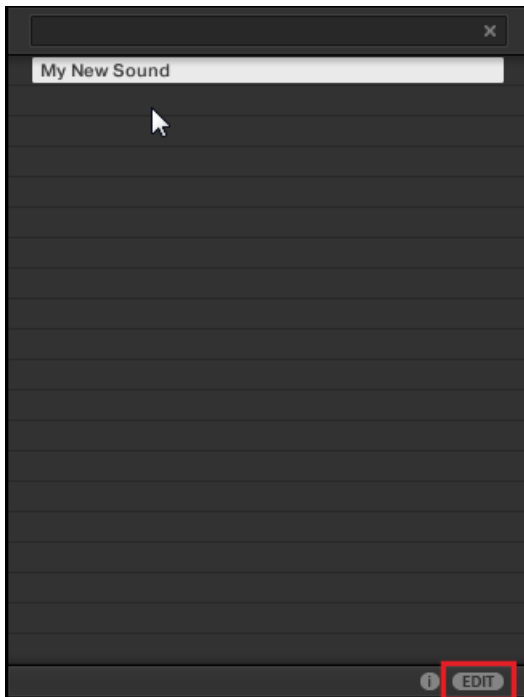
KOMLETE KONTROL にファイルを保存する際、使用しているインストゥルメント内容に沿って各インストゥルメントとバンクにも自動アサインされます。ファイルの属性を設定するには、ファイルの **Type**、**Mode** タグとプロパティーを編集します。これにより **Library** ペインでの **Type** と **Mode** フィルターを使用する際の検索を効率よく行うことができます。



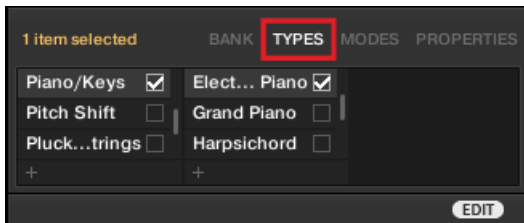
Type と Mode タグは MASCHINE ブラウザでも認識されます。これで MASCHINE の Library ペインのユーザーセクションでも容易に KOMLETE KONTROL 使用時に保存したファイルを検索することができます。

以下の方法でユーザープリセットファイルのタグをアサイン、プロパティを編集します。

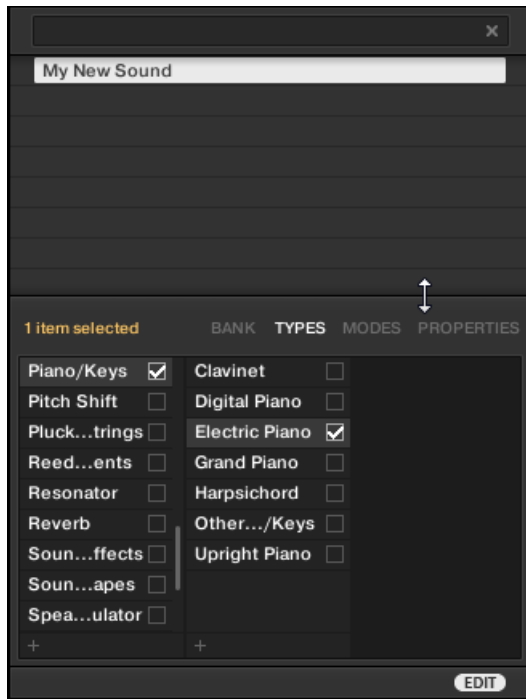
1. リザルトリストでファイルを選択し、Control バーで EDIT をクリックして Attribute Editor を開きます。



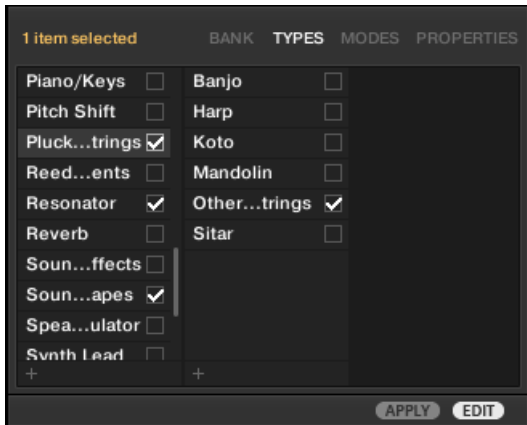
2. TYPES をクリックしてファイルの Type タグを編集します。



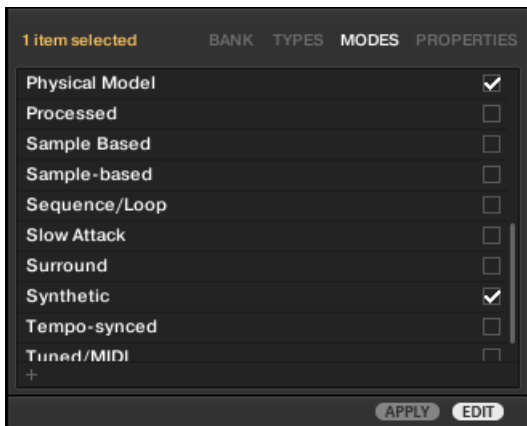
3. Attribute Editor の上にある境界線部分を上方方向にドラッグしてサイズを変更します。これでタグ付け作業を効率よく行えます。



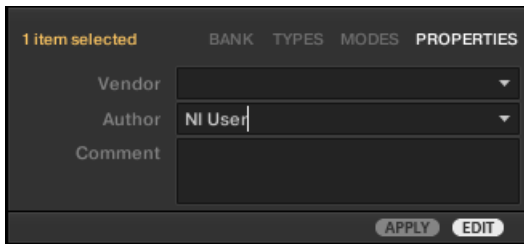
4. 各名称の横にあるチェックボックスをクリックして任意のタグをアサインします。



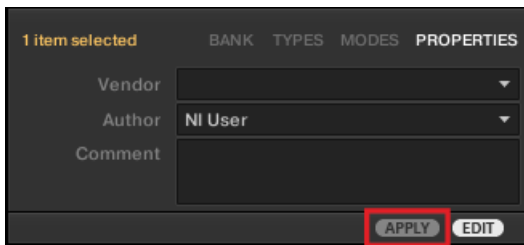
5. **MODES** をクリックしてファイルの Mode タグを編集します。アサイン方法は Type タグのときと同じで、各名称の横にあるチェックボックスをクリックします。



6. **PROPERTIES** をクリックしてファイルの追加情報を編集します。 **Author** フィールドに自分の名前を入力したり、そのファイルを共有するのであれば、 **Comment** にメモを残すのも良いでしょう。



7. Attribute Editor での編集内容を適用するには、**APPLY** をクリックします。

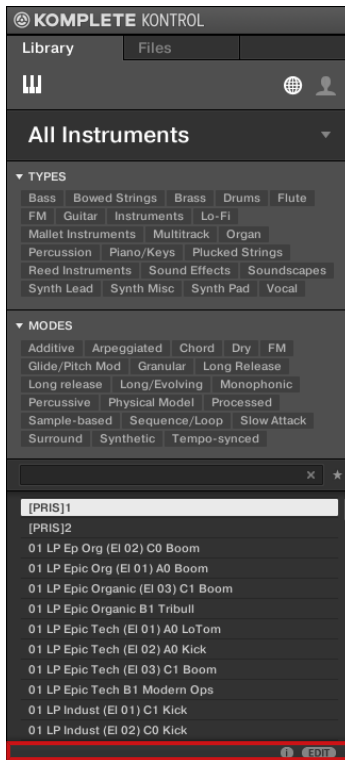


- これでファイルが Types と Modes での選択内容に沿ってタグ付けされ、プロパティーでの編集内容が保存されます。Attribute Editor を閉じるには **EDIT** をもう一度クリックします。

ファイルタグとプロパティーの編集方法詳細はセクション [↑ 6.5.2, ファイルタグとプロパティーの編集](#) を参照してください。

6.5 ファイル情報の表示と編集

ブラウザの下部のコントロールバーにはファイルを素早く確認できる便利な各ツールを用意しています。



ブラウザーの下のコントロールバーです。



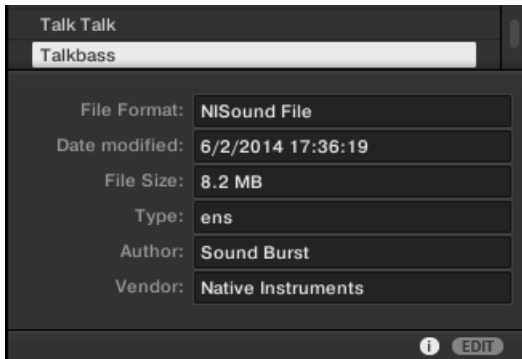
コントロールバーの右端の **EDIT** ボタン (Library ペイン) または **IMPORT** ボタン (Files ペイン) で上のリザルトリストで選択したファイルのアトリビュートを編集します (Files ペインにはライブラリにインポートしたファイルが、Library ペインには既にライブラリにあるファイルが表示されます)。詳細はセクション [↑6.5.2, ファイルタグとプロパティの編集](#) を参照してください。

6.5.1 ファイル情報の表示



情報ボタンです。

- ▶ コントロールバーの右の EDIT ボタンの隣にあるインフォボタン (小さな“i”です) を押してリザルトリストで選択したファイルの情報を表示します。
- 選択したファイルの各情報を示すボックスが表示されます。その内容は File Format、Date modified、File Size、Type、Author、Manufacturer プロパティとなります (↑6.5.2, ファイルタグとプロパティの編集参照)。



情報ボックスには選択したファイルの各情報が表示されます。

選択したファイルに異なる特徴がある場合は、情報ボックスの該当表示部分が **multi** と表記されます。

6.5.2 ファイルタグとプロパティの編集

アトリビュートエディター () でファイルにタグとプロパティをアサイン、または編集し、Library ペインを用いて (↑6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする参照) KOMLETE KONTROL ライブラリをブラウズするときに簡単にファイルを検索できるようにしておきます。

アトリビュートエディターの基本的な使用方法

アトリビュートエディターは以下の状況で使用できます。

- Library のリザルトリストでライブラリにすでにあるユーザーファイルを選択し、ブラウザの右下にある EDIT ボタンをクリックすることでタグとプロパティを編集することができます。編集を終えたら APPLY をクリックして選択したファイルの編集内容を適用、または EDIT ボタンをもう一度押すことで Attribute Editor を閉じ、編集内容をキャンセルします。Library ペイン詳細はセクション↑6.2, ライブラリからファイルを検索、ロードするを参照してください。

- ブラウザの **Files** ペインから KOMLETE KONTROL ライブラリにフォルダーをインポートするには、ブラウザの右下の **IMPORT** をクリックすることで Attribute Editor が自動的に表示され、そこでインポートしたファイルにタグをつけます。タグ付けを終えたら **OK** をクリックしてライブラリにファイルをインポートし、選択したタグを適用、または **CANCEL** をクリックしてインポートをキャンセルします。Files ペイン詳細はセクション [↑6.3.5, Files ペイン内でリザルトリストを使用する](#)を参照してください。



Attribute Editor (**TYPES** ページを表示しています)です。

Attribute Editor は **Library** ペイン ([↑6.2.6, ライブラリペイン内でリザルトリストを使用する参照](#))のリザルトリストで選択している内容、または **Files** ペインにインポートするために選択したフォルダ内のファイルに対して影響します ([↑6.3.5, Files ペイン内でリザルトリストを使用する参照](#))。

Attribute Editor は各ページで管理します。

- ブラウザの **Library** ペインでは前ページ **BANK**、**TYPES**、**MODES** と **PROPERTIES** が有効となります。
 - ブラウザの **Files** ペインでは **TYPES** と **MODES** ページのみが有効となります。
- ▶ Attribute Editor の右上の任意のタブをクリックして対応するページを表示します。

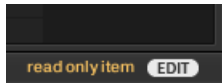


Attribute Editor 上部をドラッグして表示サイズを変更することができます。

Attribute Editor の左上隅に黄色で選択したアイテム総数が表示されます。

ファクトリーファイルのアトリビュートの表示

Library ペインのブラウズ時に、リザルトリストで選択したファイルがファクトリーファイルの場合 (ファクトリーコンテンツのファイル) はブラウザの下の EDIT ボタンの隣の read only item ラベルが黄色く表示されます。

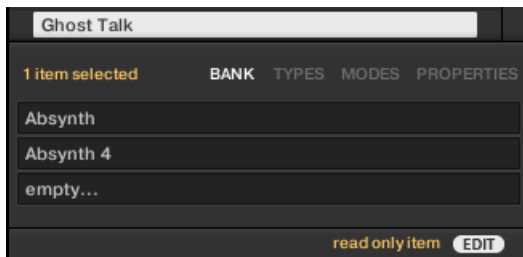


Attribute Editor にファクトリーファイルがロードされます。

Attribute Editor はこれらのファイルの各アトリビュート (属性) を表示しますが、この内容を編集することはできません。

BANK ページ

BANK ページは Library ペインで Attribute Editor を開く場合に有効なページとなります。



Attribute Editor の BANK ページです。

BANK ページでは上からインストゥルメント、バンク、選択したファイルのサブバンクを表示します。対応するフィールドでアトリビュートが設定されていない場合は empty... と表示されます。

BANK ページのアトリビュートは編集することができません。これらは KOMLETE KONTROL によって自動的にアサインされたものです。

TYPES と MODES ページ

TYPES と MODES ページで上のリザルトリストで選択しているファイルのタグを編集することができます。

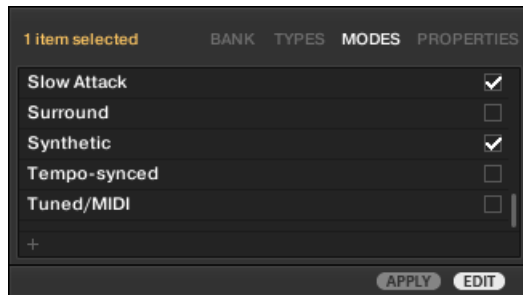


Attribute Editor の他のページと同様に、TYPES と MODES ページのフィールドはリザルトリストでユーザーファイルを選択した場合 (またはコンテンツセレクターをユーザーコンテンツにした場合) のみ編集することができます。ファクトリーファイルのタグを編集することはできません。

- TYPES には Type タグの階層に 2 つのカラムが設けられます (セクション ↑ 6.2.4, TYPES と MODES による検索参照)。



- MODES ページのカラムは一つです。

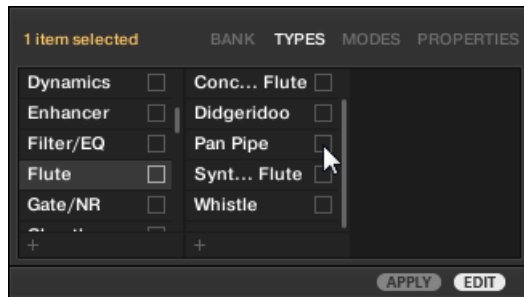


タグの表示

- TYPES と MODES ページの両方で、選択したファイルにタグがアサインされると名称の右にチェックマークが付きます。



- **TYPES** ページでタグの名称をクリックすると、右のカラムにサブタイプが表示されます。タグで同時に表示されるサブタイプは一つのみとなります。選択したタグはハイライト表示されます。



タグのアサイン

1. 任意のタグ名称の右にある空のチェックボックスをクリックして選択したファイルにタグをアサインします。
チェックボックスにチェックマークが付きます。
 2. コントロルバーで **APPLY** ボタンを押し、選択したタグをアサインします。
- タグがアサイン、保存されます。

更に、**TYPES** ページのタグをチェックします。

- タグに次のカラムがある場合は自動的にチェックされ、次のカラムにサブタイプが表示されます。このカラムの各サブタイプをチェックすることで更に情報を追加することができます。
- サブタイプにチェックを入れる時点でその上層階層にチェックが入っていない場合はそれらのタグにもチェックが自動的に付きます。



タグ付けは正確に行うことで、その後の検索がしやすくなります。

タグのアサインの解除

- ▶ 任意のタグの右のチェックマークをクリックして選択したファイルタグのアサインを取り除きます。
- チェックマークが無効の状態となります。



TYPES ページでサブタイプタグのアサインがある場合、その上の層のタグを解除することでサブタイプタグのチェックが外れます。

新規タグの作成

TYPES と MODES ページで自身のタグを作成することも可能です。

- ▶ 各カラムで新規タグを作成するにはカラム下部の「+」シンボルをクリックし、コンピューターキーボードで任意のタグ名称を入力し、[Enter] を押して適用します。



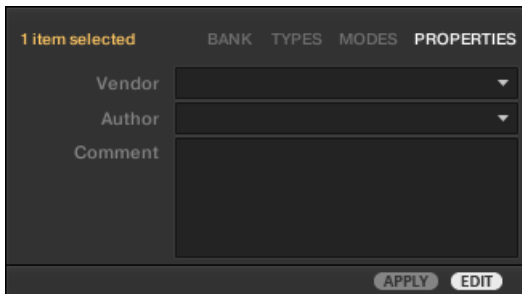
新規サブタイプを追加します。

タグの削除

TYPES と MODES ページのタグは手動で削除することはできません。ファイルにアサインされているタグがなくなった場合はカラムから自動的に削除されます。

PROPERTIES ページ

PROPERTIES ページは Library ペインで Attribute Editor を開く場合に有効なページとなります。



Attribute Editor の PROPERTIES ページです。

PROPERTIES ページで選択したファイルの 3 つの追加アトリビュートを表示します。

- **Manufacturer:** このフィールドで選択したファイルの製造者を表示します。右の下向きの矢印をクリックし、ライブラリ内で他のファイルに対して使用されている Manufacturer アトリビュートを素早く選択します。

- **Author:** このフィールドで選択したファイルの作成者名を表示します。右の下向きの矢印をクリックし、ライブラリ内で他のファイルに対して使用されている Author アトリビュートを素早く選択します。
- **Comment:** このフィールドを使用して選択したファイルに他の情報を追加します。



Attribute Editor の他のページと同様に、**PROPERTIES** ページのフィールドはリザルトリストでユーザーファイルを選択した場合のみ編集することができます。ファクトリーファイルのアトリビュートを編集することはできません。

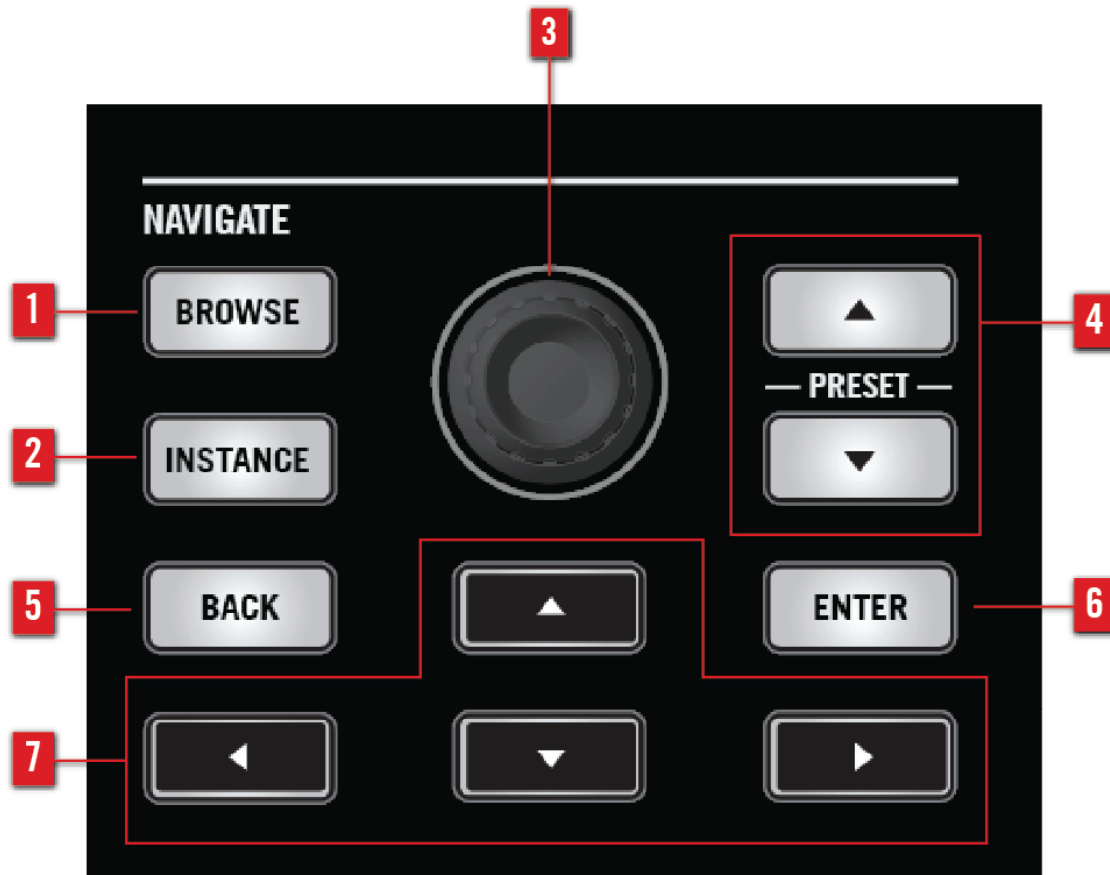
6.6 KOMPLETE KONTROL S-SERIES でブラウズする



NAVIGATE セクションです。

このセクションでは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで KOMPLETE KONTROL ライブラリ内をブラウズする方法を解説します (↑6.1.1, ライブラリ)。**NAVIGATE** セクション はコントロールパネルの右手にあり、ここでハードウェアから直接ブラウザにアクセスします。

ナビゲートセクションのコントロール部



NAVIGATE セクションです。

(1) **BROWSE ボタン**: ここでスクリーンオーバーレイブラウザの呼び出し、またブラウザに各コントロールセクションをマッピングします。詳細は↑6.6.1, ブラウズモードとハードウェアブラウジングと↑6.6.3, ブラウザ概観を参照してください。

(2) **INSTANCE ボタン** 専用画面が表示され、ここで KOMLETE KONTROL インスタンスとコントローラーモードを切り替えます。詳細は [↑ 5.2.1, コントローラーモードの切り替え](#) と [↑ 5.3.3, KOMLETE KONTROL インスタンスの切り替え](#) を参照してください。

(3) **Control エンコーダー**: ここでブラウザのインストールプリセット検索結果をスクロールして選択、**TYPES** と **MODES** フィルターで検索結果を絞り込むこともできます。更に **SHIFT** を押しながらコントロールエンコーダーを回すことで、起動している KOMLETE KONTROL インスタンスのボリューム全体をコントロールすることができます。ボリュームコントロールの詳細はセクション [↑ 4.2, ヘッダ \(Header\)](#) を参照してください。

(4) **PRESET ボタン**: 検索結果の次のインストールプリセットに移動します。

(5) **BACK ボタン**: ブラウザ階層内のひとつ前のステップに移動します。

(6) **ENTER ボタン**: 画面でフォーカスしているアイテムを選択したり、ブラウザの次の階層に進む際に使用します。

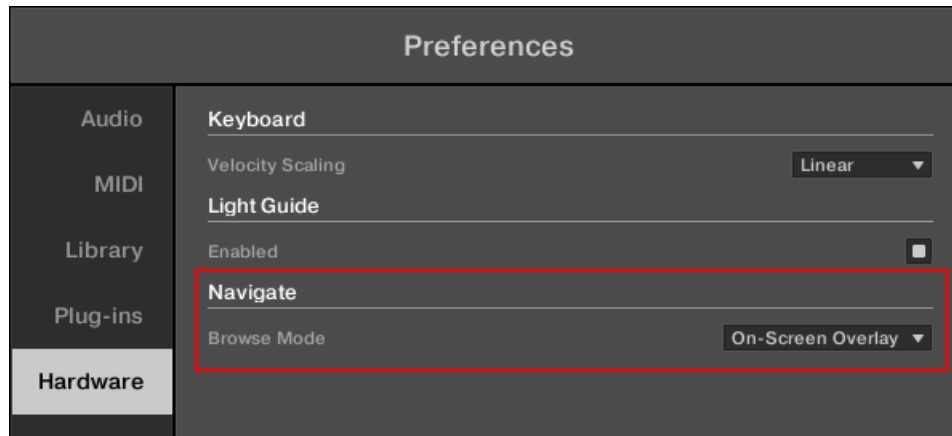
(7) **Navigate 矢印**: ブラウザ内の別セクションに移動する際に使用します。この矢印ボタンは [↑ 5.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#) で解説したように、ホストコントロールの際にも使用できます。

6.6.1 ブラウズモードとハードウェアブラウジング

KOMLETE KONTROL は KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを用いた 2 つのブラウズ方法を用意、それらを **ブラウズモード** と呼びます。

- デフォルトで **BROWSE** ボタンを押すことで **オンスクリーンオーバーレイ** がコンピュータースクリーンに表示され、ここでブラウザの現在の状態をすべて確認することができ、キーボードの **NAVIGATE** セクションでコントロールすることができます。オンスクリーンオーバーレイの KOMLETE KONTROL ブラウザワークフローは以下の章で解説します。
- さらに **ハードウェア** のみを用いて KOMLETE KONTROL ライブラリをブラウズすることもできます。この場合は、ブラウザ各機能がキーボードのコントロールセクションに直接マッピングされ、これで KOMLETE KONTROL ブラウザのワークフローをコンピューターの画面を見ることなく進めることができます。詳細は以下を参照してください。

ブラウズモード は KOMLETE KONTROL の **Preferences** にある **Hardware** ページの **Navigate** で設定することができます。

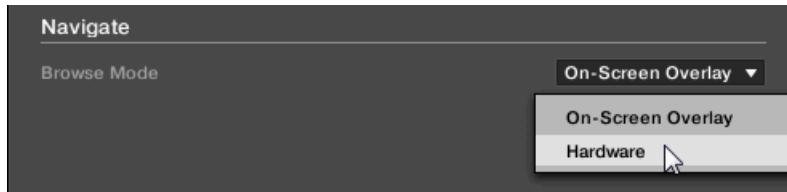


Preferences の Browse Mode 設定項目です。

6.6.2 ハードウェアブラウジング

Browse Mode Hardware で、コンピューターを使用することなく KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロール各部と画面を使った KOMLETE KONTROL ライブラリの閲覧が可能となります。

- ▶ ハードウェアによるブラウズを可能にするには、Browse Mode ドロップダウンメニューをクリックし、Hardware を選択します。



- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの BROWSE ボタンを押すと、コントロールセクションにブラウザ機能がマッピングされ、ページボタンとノブで操作できるようになります。

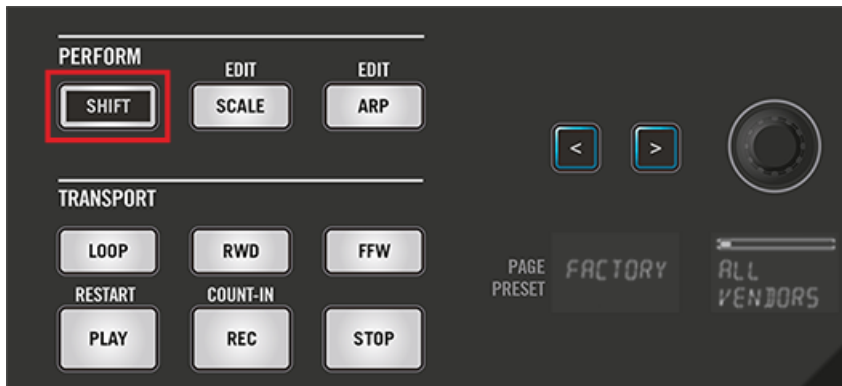


左から右に進むにつれ、プリセットファイルのリストが絞り込み検索されるようになります。さらに各フィルターに直接ジャンプすることもできます。これで例えば、特定タイプの全プリセットをインストゥルメントに関係なく、検索結果リストに表示させることができます。

- ページボタンで **FACTORY** と **USER** コンテンツを切り替えます。
 - ノブ 1 でインストゥルメントの **CATEGORY** を選択します。
 - ノブ 2 で **INSTRUMENTS** を選択します。
 - 選択したインストゥルメントのプリセットファイルの **BANKS** が異なる場合は、ノブ 3 でバンクを選択します。
 - ノブ 5 で **TYPES** を設定します。
 - 選択したタイプの **SUBTYPES** が異なる場合は、ノブ 6 でサブタイプを選択します。
 - ノブ 7 で **MODES** を設定します。
 - ノブ 8 でプリセットファイルをスクロールします。コントロールエンコーダーで同じ操作を行うこともできます。
- ▶ プリセットをロードするには、**ENTER** を押す、または **NAVIGATE** セクションのコントロールエンコーダーを押します。

追加ブラウザ機能はコントロールセクションの追加ページにあり、その内容は **Category** または **Manufacturer** によるインストゥルメントの整理機能 (↑6.2.3, [インストゥルメントの選択とロード、バンクの選択](#)) と **Favorites** (↑6.2.7, [ライブラリペイン内で Favorites を使用する](#)) となります。

- ▶ 追加ブラウザ機能にアクセスするには、*Hardware* モードでブラウズしている状態で **KOMLETE KONTROL S-SERIES** キーボードの **SHIFT** を押します。



- コントロール各部に追加ブラウズ機能 SORT BY、FILTER FAVORITE、SET FAVORITE がマッピングされます。

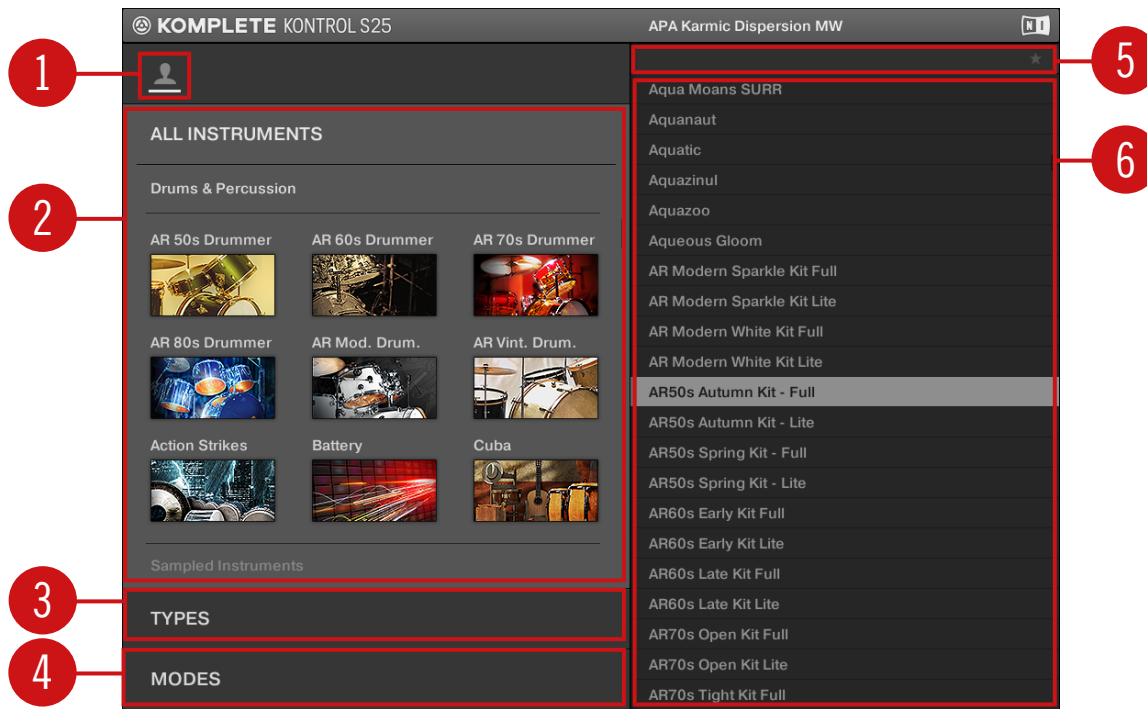


KOMLETE KONTROL のユーザー補助機能を使用する際は、[Browse Mode](#) が自動的に *Hardware* に切り替わります。

6.6.3 ブラウザ概観

選択しているブラウズモードによりませんが、**BROWSE** ボタン を押すことでコンピュータースクリーンに大きくて見やすい専用画面を表示、またはブラウザのコントロールセクション各部がノブと画面にマッピングされます (↑6.6.1, [ブラウズモードとハードウェアブラウジング](#))。これにより KOMLETE KONTROL ソフトウェアで頻用する多くの機能に簡単にアクセスできるようになります。

オンスクリーンオーバーレイ（専用画面、画面と呼ぶ場合もあります）



ブラウザの概観です。

- (1) **コンテンツセレクター**: ブラウズするファイルを選択します。ユーザーアイコンをオフの状態にしてファクトリーコンテンツを検索、ユーザーアイコンをオンの状態にしてユーザーコンテンツを検索します。
- (2) **インストゥルメントセレクター**: ドロップダウンメニューをクリックして特定のインストゥルメント、状況によっては選択したインストゥルメントのバンクを選択します。選択した内容に関連するファイルのみがリザルトリスト (5) に表示されます。詳細は [↑6.6.5, オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する](#)を参照してください。
- (3) **TYPES フィルター**: Type と Sub-Type タグに関連したファイルを検索します。詳細は [↑6.6.7, オンスクリーンオーバーレイでタイプによる絞り込み検索を行う](#)を参照してください。
- (4) **MODES フィルター**: Mode タグに関連したファイルを検索します。詳細は [↑6.6.8, オンスクリーンオーバーレイでモードによる絞り込み検索を行う](#)を参照してください。

(5) **Favorites フィルター**: Favorites フィルターのオンオフ切り替えです。セクション [↑ 6.6.10, オンスクリーンオーバーレイでフェイバリット \(Favorites\) による絞り込み検索を行う](#)を参照してください。

(6) **リザルトリスト**: リザルトリスト (検索結果リスト) で上記のツールを用いた検索内容に見合うファイルを表示します。詳細は [↑ 6.6.9, オンスクリーンオーバーレイでリザルトリストを使用する](#)を参照してください。

ブラウザワークフロー

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードによるファイル検索時でも、簡単に段階的に検索内容を絞り込むことができます。

最初のステップは必ず行う必要があります。

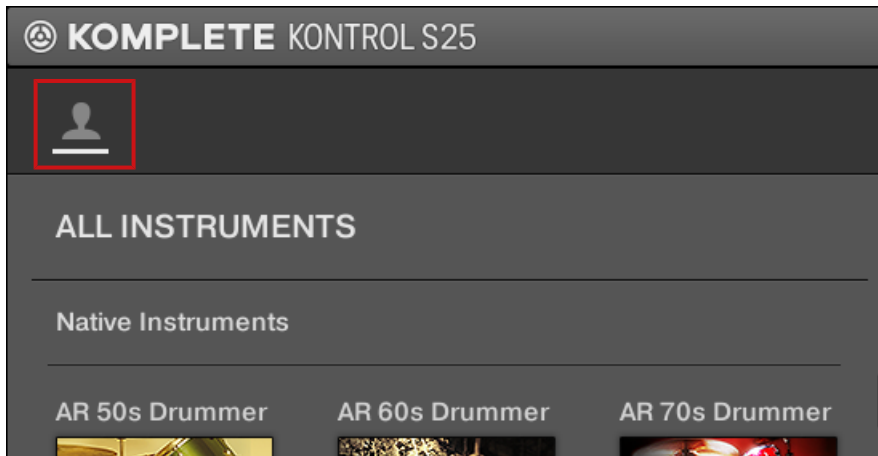
- ▶ コンテンツセクター (1) で Factory または User コンテンツのどちらかを選択します。詳細は [↑ 6.6.4, オンスクリーンオーバーレイでファクトリー、ユーザーコンテンツを選択する](#)を参照してください。

ここからのステップは必要に応じて行ってください。これらの機能を用いて検索結果を絞り込み検索することでファイルの選択を効率よく行うことができます。

1. インストゥルメントセクター (2) でインストゥルメントを選択します。インストゥルメント選択後、特定のバンクを指定します。詳細は [↑ 6.6.5, オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する](#)を参照してください。
2. TYPES フィルター (3) と MODES フィルター (4) でタグを選択してください。詳細は、[↑ 6.6.7, オンスクリーンオーバーレイでタイプによる絞り込み検索を行う](#)と [↑ 6.6.8, オンスクリーンオーバーレイでモードによる絞り込み検索を行う](#)を参照してください。

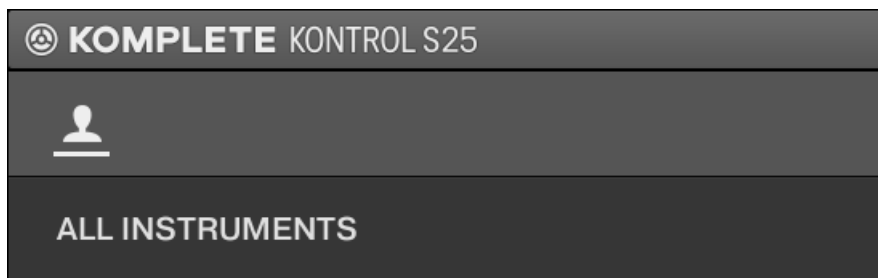
6.6.4 オンスクリーンオーバーレイでファクトリー、ユーザーコンテンツを選択する

ユーザーアイコンスイッチで、ファクトリーコンテンツ (オフの状態を表示) と、ユーザーコンテンツ (オン状態を表示) を切り替えます。デフォルトではファクトリーコンテンツが選択されます。



コンテンツセレクターです。

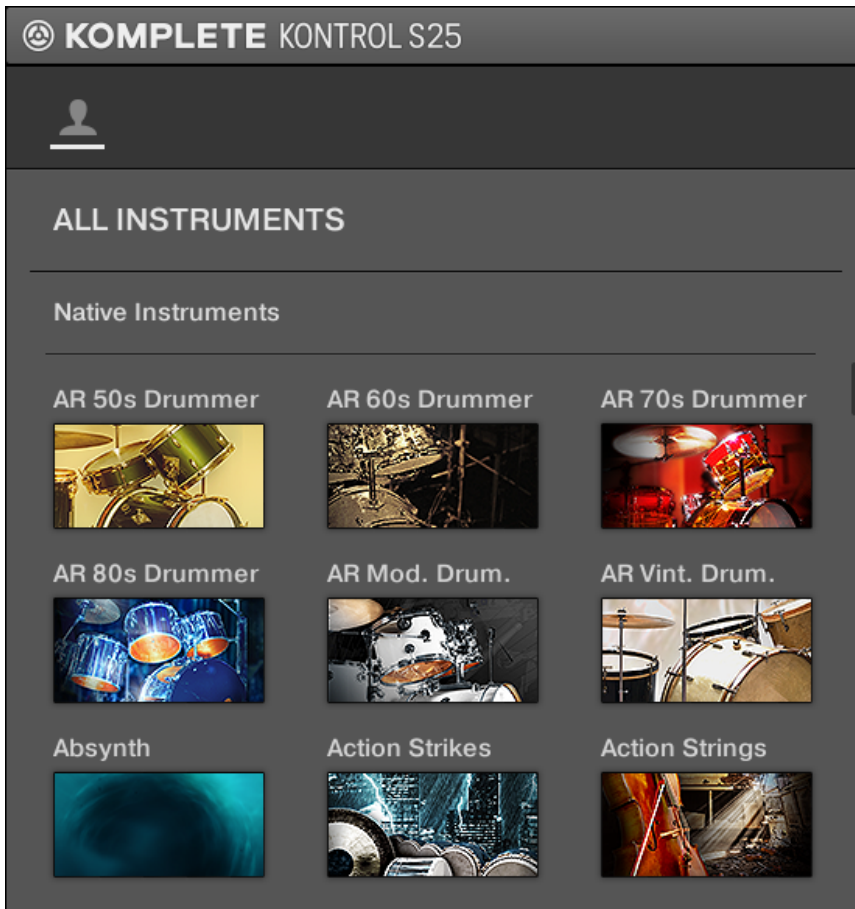
- ▶ ユーザーコンテンツを検索するには、ナビゲート上矢印を使用してユーザーアイコンに進み、コントロールエンコーダーを押してユーザーアイコンに切り替えます。ファクトリーコンテンツに切り替えるには、コントロールエンコーダーをもう一度押します。



6.6.5 オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する

インストゥルメントセレクターで特定のインストゥルメントに関連するファイルを絞り込み検索することもできます。

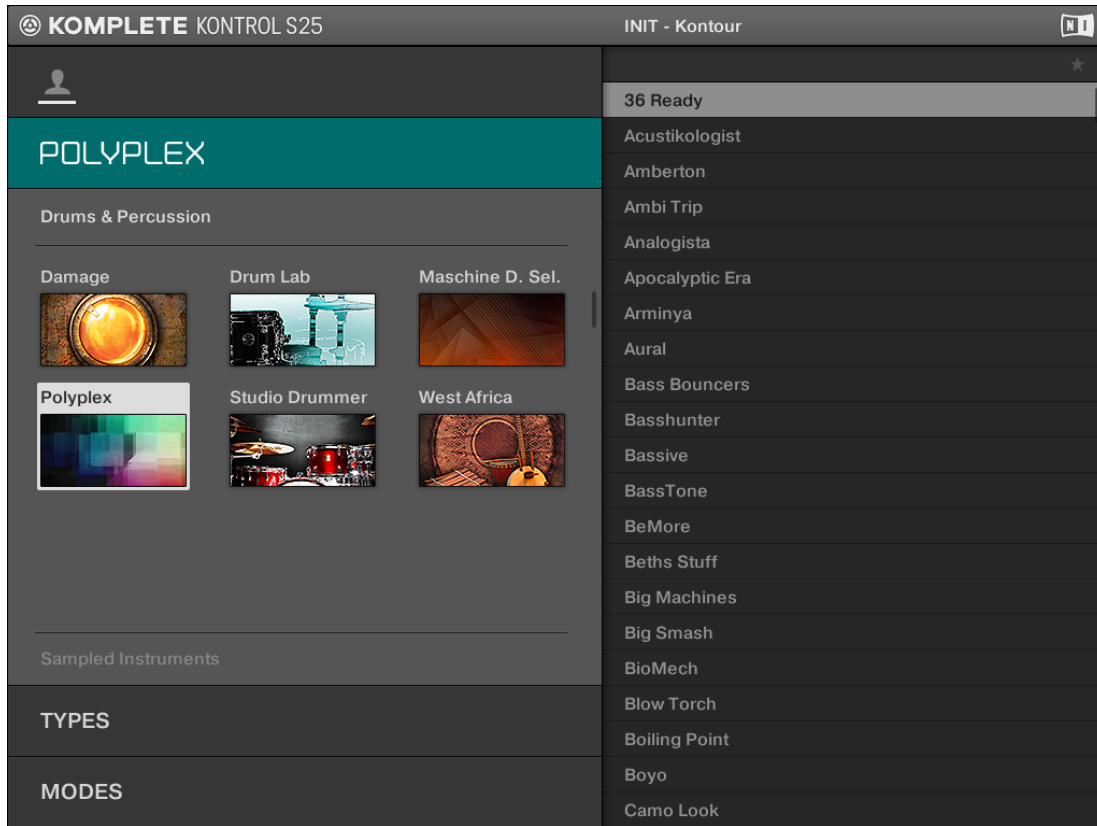
デフォルトではインストゥルメントセレクターには特定のセレクションがないので、[All Instruments](#) と表示されます。



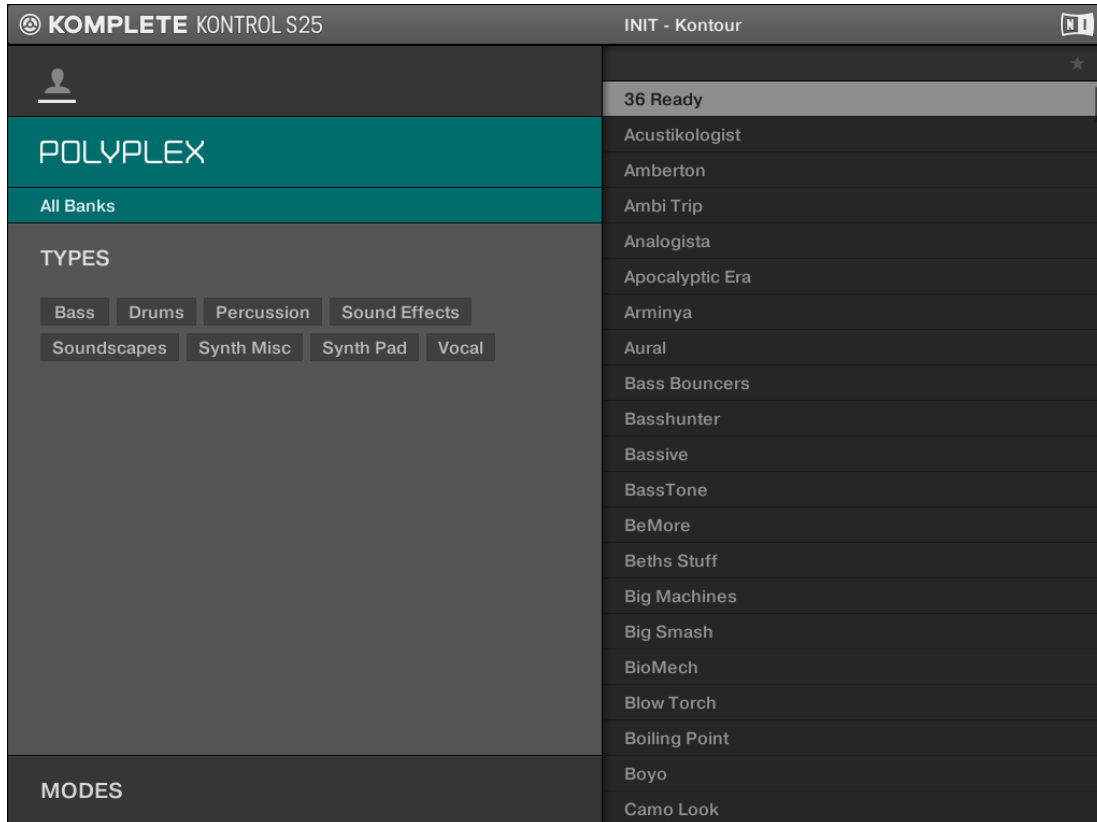
インストゥルメントを何も選択していない、開いた状態のインストゥルメントセレクターです。

- ▶ インストゥルメントセレクターを開いてインストゥルメントを表示するには、インストゥルメントがフォーカスされるまでナビゲート用矢印を押します。
- インストゥルメントセレクターが開き、KOMLETE KONTROL ライブラリが表示されます。

- ▶ インストゥルメントセクターでインストゥルメントを選択するには、任意のインストゥルメントがハイライト表示されるまでコントロールエンコーダーを回します。



- インストゥルメントセクターのヘッダに、選択したインストゥルメントが表示されます。ブラウザの右側のリザルトリスト内容が絞り込まれ、選択したインストゥルメントに関係するプリセットのみが表示されます。

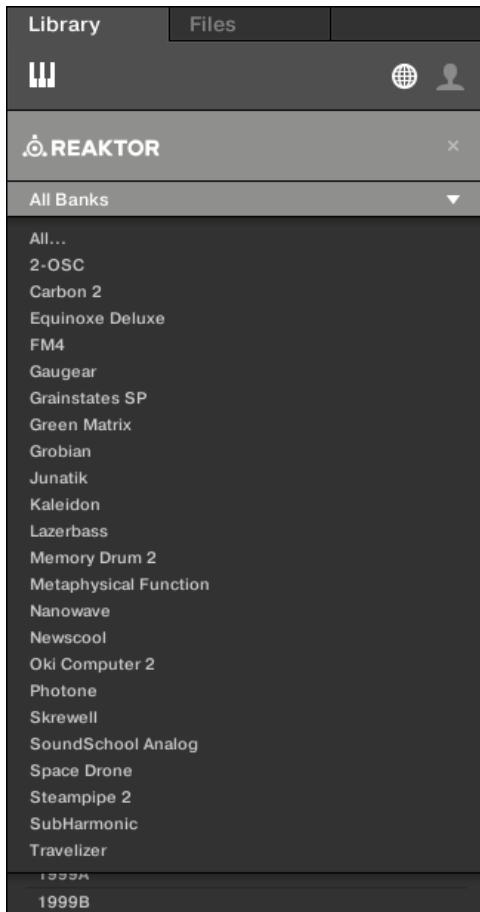


インストゥルメントセクターのインストゥルメントは Category または Manufacturer で表示内容を整理することができます。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのブラウザの [Library](#) タブで表示内容を変更することができます。詳細はセクション [↑6.2.3, インストゥルメントの選択とロード、バンクの選択](#) を参照してください。

- ▶ インストゥルメントセクターでの選択内容をリセットするにはコントロールエンコーダーを左に回してリストの最初のインストゥルメントを通過します。
- これでここまでのインストゥルメント選択内容がキャンセルされます。インストゥルメントセクターは [All Instruments](#) と表示されます。タグフィルターとリザルトリストでは全インストゥルメント用ファイルを表示します。

6.6.6 オンスクリーンオーバーレイでバンクを選択する

インストゥルメントリスト (↑6.6.5, [オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する参照](#)) で特定のインストゥルメントを選択すると、閉じられたインストゥルメントセクターの下に **Bank メニュー** が表示されます。



Bank メニューで REAKTOR インストゥルメント用 All Banks を表示しています。

このバンクメニューで選択したインストゥルメントのファイルの特定バンクを選択します(上図は REAKTOR 用です)。

- ▶ 選択したインストゥルメントの特定のバンクを選択するには、コントロールエンコーダーを回してエントリーにあるバンクを選択します。
- 選択するとリザルトリストに選択したバンクのプリセットが表示されます。下のタグフィルターと Result リストで更に内容を絞り込みます。



Banks には追加ライブラリ (MASSIVE EXPANSIONS 等)、オリジナルファクトリーライブラリの異なるバージョン (eFM7 Legacy と FM8 Factory Library 等)、または特定のインストゥルメントのその他のコンテンツ等が含まれます。

6.6.7 オンスクリーンオーバーレイでタイプによる絞り込み検索を行う

TYPES インストゥルメントセクターの下のこのフィルターで各インストゥルメントの種類で絞り込み検索を行います。

The screenshot shows the KOMPLETE KONTROL S25 interface. The top bar displays 'KOMPLETE KONTROL S25' on the left and 'INIT - Kontour' on the right. Below the top bar, the 'MONARK' instrument bank is selected, with 'All Banks' listed below it. The 'TYPES' filter menu is open, showing various instrument categories: Bass, Brass, Drums, Piano/Keys, Reed Instruments, Sound Effects, Synth Lead, Synth Misc, and Synth Pad. The 'MODES' section is visible at the bottom left. On the right side, a list of instrument names is displayed, with '2Pranged' selected at the top. The list includes: 2Pranged, 3DE, 3Saw, 4U Manny, 5th Stab, A Train, Acid Burn, Acid Tango, Addict, Addicted, AdS, Ahhhhh, Alligator Bass, Am I Sexy, American Needle, Animal, Arcade, Arp Me, ARPlease, At The Parade, and Auto Me.

MONARK 用 **TYPES** フィルターです。

- ▶ 有効なタグを表示するには、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで **NAVIGATE** 用矢印を押して **TYPES** を選択、またインストゥルメント、バンクにフォーカスしている場合は、コントロールエンコーダーを押します。

以下が **TYPES** フィルターの任意のタグを選択し、絞り込み検索を行う方法です。

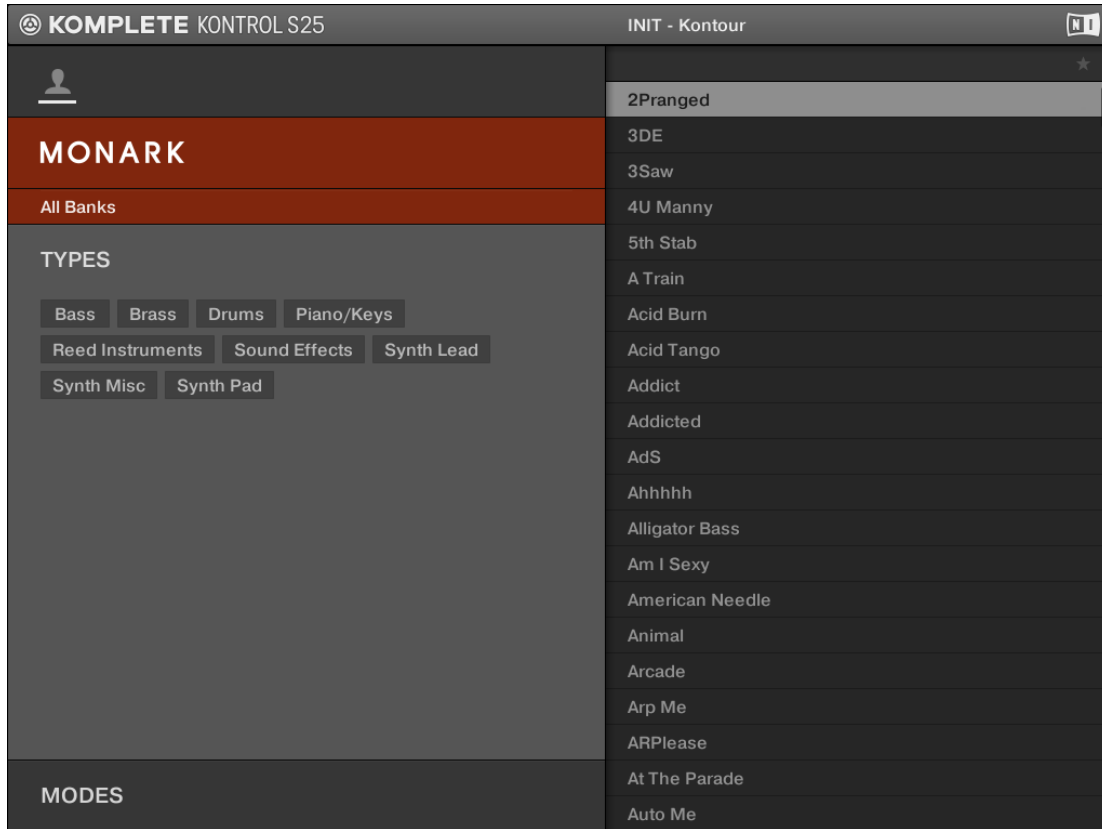
- ▶ コントロールエンコーダーを回し、使用したいタグまでスクロールして選択します。コントロールエンコーダーを押す、または下 **NAVIGATE** ボタンを押し、次のフィルターにフォーカスを移動します。
- ▶ タグの選択を解除して選択範囲を広くするには、コントロールエンコーダーを左に回してリストの最初のタグを通過します。

Type タグには 2 つの階層があります。**TYPES** フィルターでこれらを選択します。

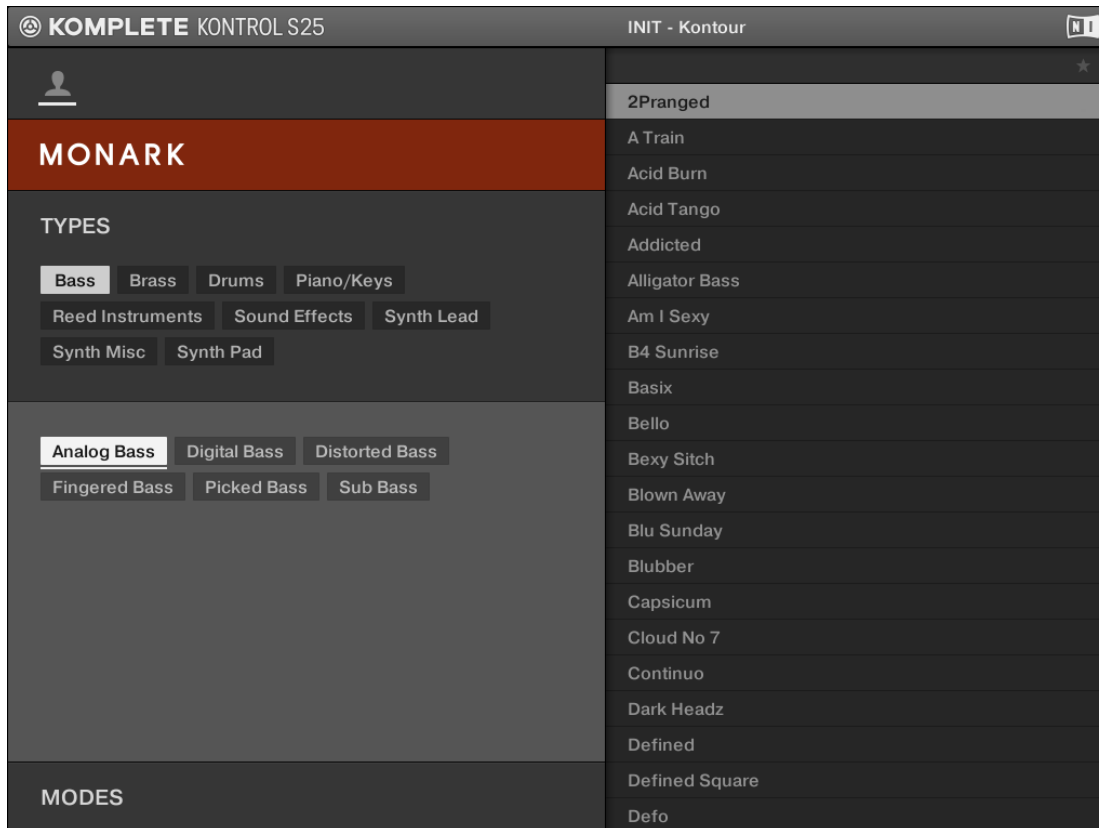
- まず **TYPES** フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部でタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグが表示されます。
- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

例: では MONARK インストゥルメントでベースを探す場合を例にします。

1. インストゥルメントセクターで既に **Monark** 用インストゥルメントを選択しています (詳細は ↑ [6.6.5, オンスクリーンオーバーレイでインストゥルメントを選択する](#) を参照してください)。現時点で **TYPES** フィルターは上層タグのみを表示しているはずでず。

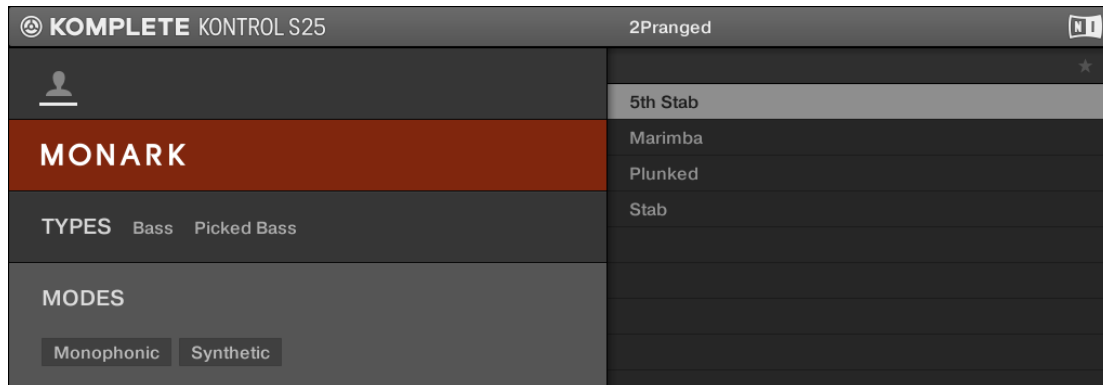


2. ベースを検索するには、TYPES フィルターで Bass タグを選択します。
選択すると、タグの次の階層に Analog Bass、Fingered Bass 等があるサブタイプが表示されます。

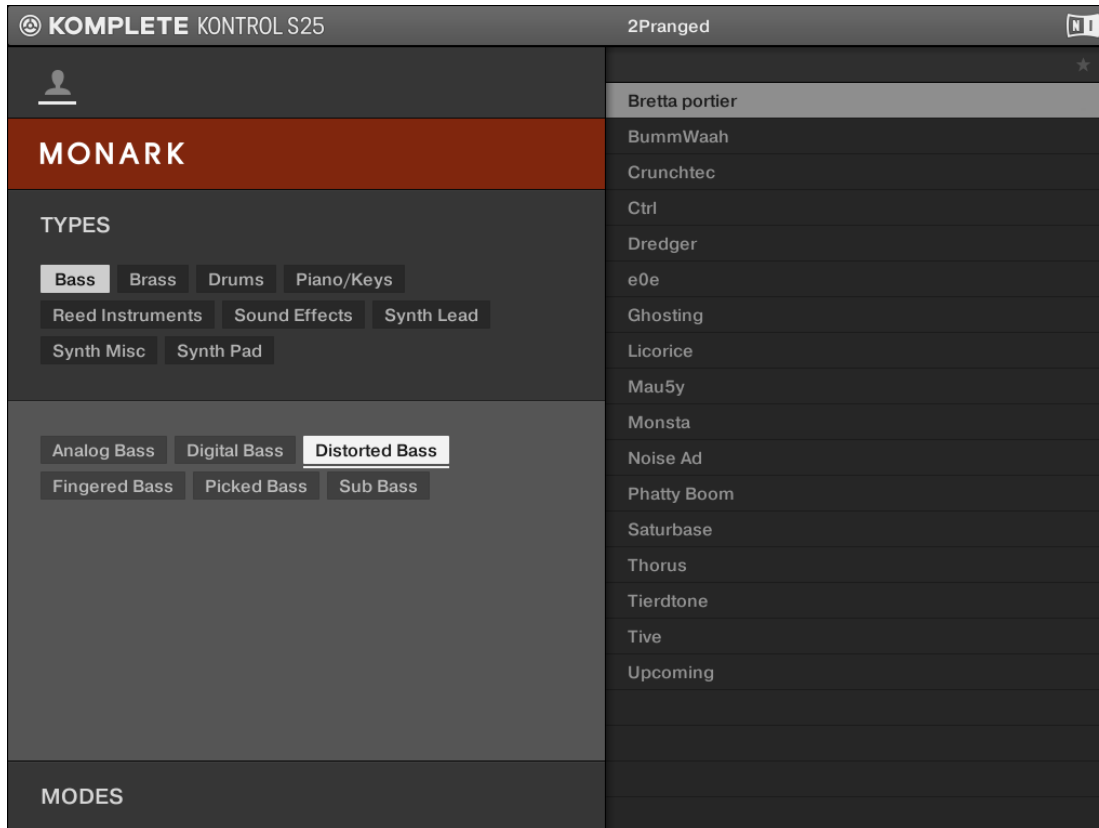


コントロールエンコーダーを押す、または下 NAVIGATE ボタンを押してタグの次の階層にフォーカスを移動します。この 2 番目の階層で、理想のベースがありうるサブタイプを選択します。

ここでは [Picked Bass](#) を選択することにし、これでベースのサブタイプによる絞り込み検索ができます。



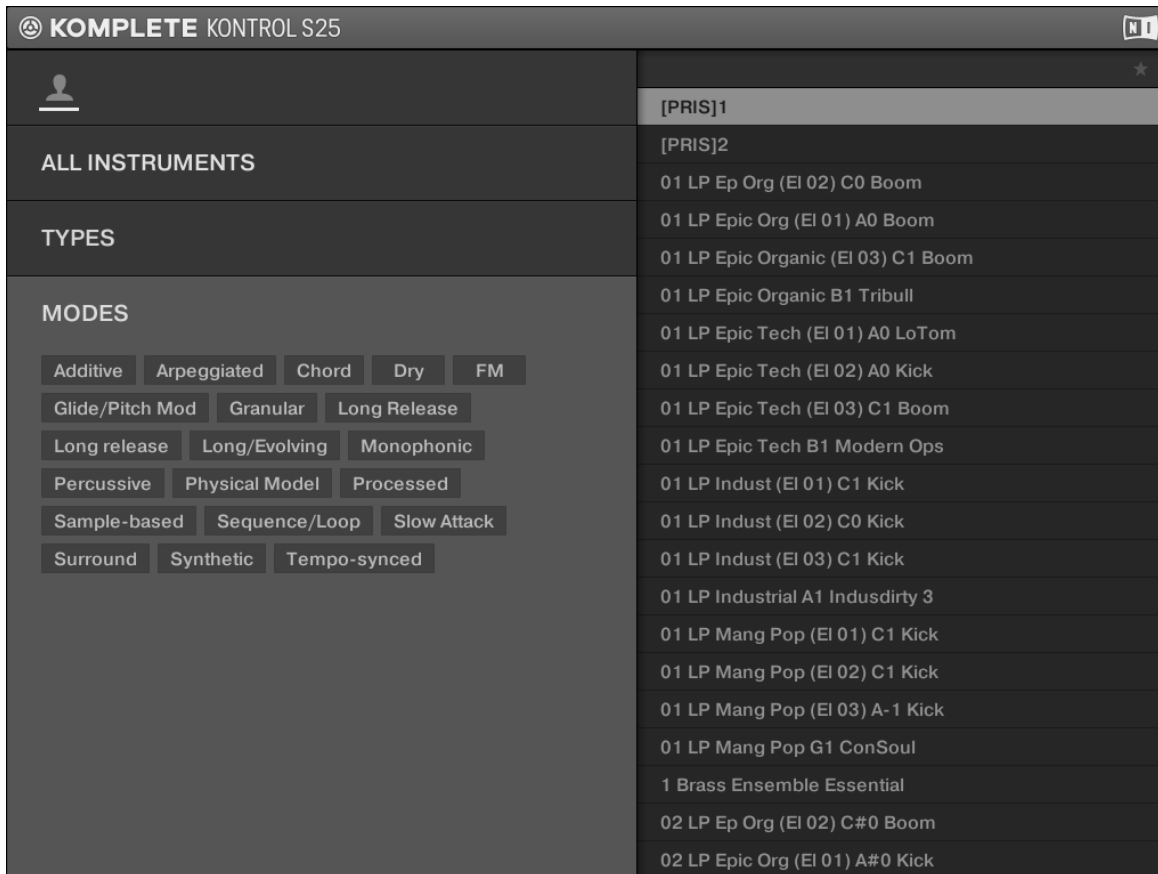
3. ではこのベースサウンドをロードしたとして、このサウンドが気に入らず、更に際立った音が必要だと感じたとしましょう。TYPES フィルターの Bass タグはそのままにしておき、ナビゲート矢印を使用して次の階層に移動し、コントロールエンコーダーを回して [Picked Bass](#) の代わりに [Distorted Bass](#) を選択します。Distorted Bass を選択すると、検索結果が絞り込まれます。



これで似たような特徴を持つ各プリセットを（ここでは歪んだベースサウンドを）、素早く検索することが可能となります。

6.6.8 オンスクリーンオーバーレイでモードによる絞り込み検索を行う

MODES インストゥルメントセレクトの下のこのフィルターで異なるサウンドキャラクター数による絞り込み検索を行います。



MODES フィルターです。

- ▶ 有効なタグを表示するには、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでナビゲート用矢印を押して **MODES** を選択します。

以下が **MODES** フィルターの任意のタグを選択し、絞り込み検索を行う方法です。

- ▶ コントロールエンコーダーを回し、使用したいタグまでスクロールして選択します。コントロールエンコーダーを押す、または下 **NAVIGATE** ボタンを押し、次のフィルターにフォーカスを移動します。

- ▶ タグの選択を解除して選択範囲を広くするには、コントロールエンコーダーを左に回してリストの最初のタグを通過します。

MODES フィルターには **TYPES** (↑6.6.7, **オンスクリーンオーバーレイでタイプによる絞り込み検索を行う**)とは異なる絞り込み検索方法があります。

- 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています(例、**Arpeggiated**、**Percussive**、**Synthetic** 等)。
- **MODES** フィルターは常に有効です。**TYPES** フィルターを使用する前に **MODES** フィルター (あるいは **MODES** フィルターのみを用いて) を用いて検索を開始することができます。
- **MODES** フィルター内の有効なタグのリストは **TYPES** フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。



インストゥルメントセレクトターでまったくインストゥルメントの選択を行わずに、KOMPLETE KONTROL ライブラリーの全インストゥルメントを検索することも可能です。この場合、**TYPES** と **MODES** フィルターのみを使った検索を行います。

6.6.9 オンスクリーンオーバーレイでリザルトリストを使用する

サーチリザルトリスト (RESULTS) では検索内容に合う全てのファイルを表示します。

KOMPLETE KONTROL S25		5th Bass
		★
ALL INSTRUMENTS		3 Octave Sub
		3step 908
		5 Dirty Steps
TYPES		5Th
		75 Lead Highnoise
		75 Lead Noisy
MODES Dry		75 Lead Soft
		80S Bass
		90's Organic
		99 Reese (Smooth)

リザルトリストです。

- ▶ リザルトリストでプリセットを選択するには、コントロールエンコーダーでスクロールし、コントロールエンコーダーまたは **ENTER** ボタンを押してロードします。



インストールメントプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションの右上にある上下 **PRESET** ボタンを押すことで、リザルトリストのインストールメントプリセットを自動的にロードします。



インストールメントプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

6.6.10 オンスクリーンオーバーレイでフェイバリット (Favorites) による絞り込み検索を行う

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを使用してオンスクリーンオーバーレイで Favorites を表示、追加することも可能です。これで頻繁に使用するプリセットをコンピューターのマウスやキーボードを用いることなくアクセスできるようになります。

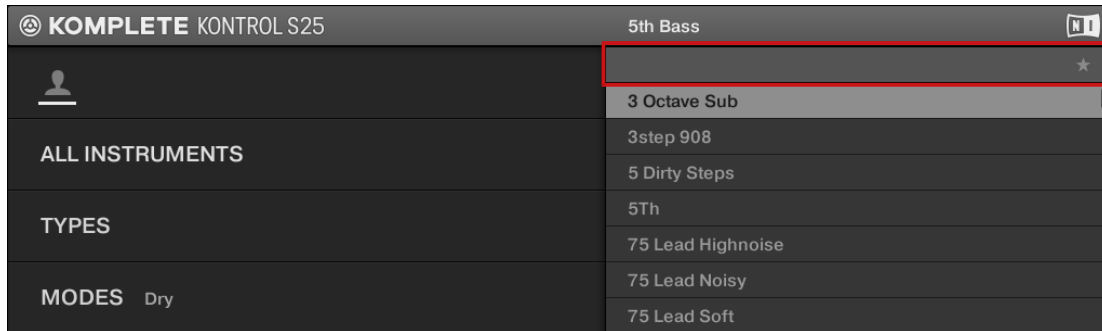


KOMLETE KONTROL ソフトウェアを使用した Favorites の表示方法は [↑6.2.7, ライブラリ](#) ペイン内で Favorites を使用する に記載しています。

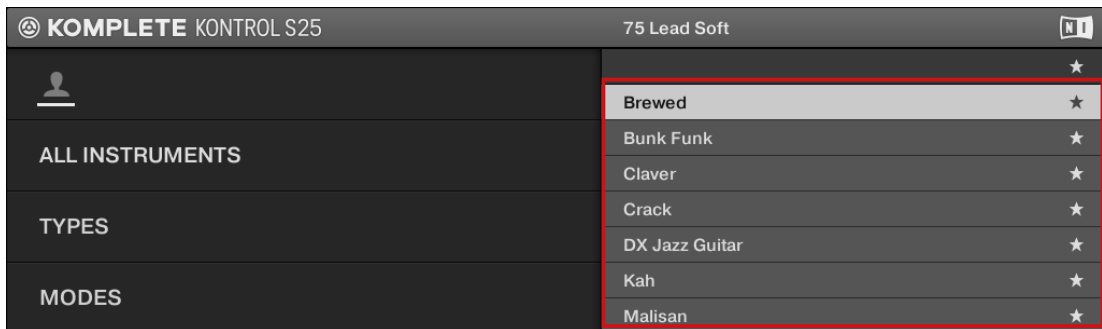
KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで Favorites フィルターを起動する方法は以下となります。

1. **BROWSE** ボタン押し、オンスクリーンオーバーレイを表示します。

2. **NAVIGATE** セクションの矢印を使用してオンスクリーンオーバーレイの右上隅の Favorites フィルターを選択します。



3. コントロールエンコーダーまたは、**NAVIGATE** セクションの **ENTER** ボタンを押して Favorites フィルターを起動します。
- Favorites フィルターが起動し、リザルトリストでは現在の検索内容に沿った検索結果を表示します。



関連項目

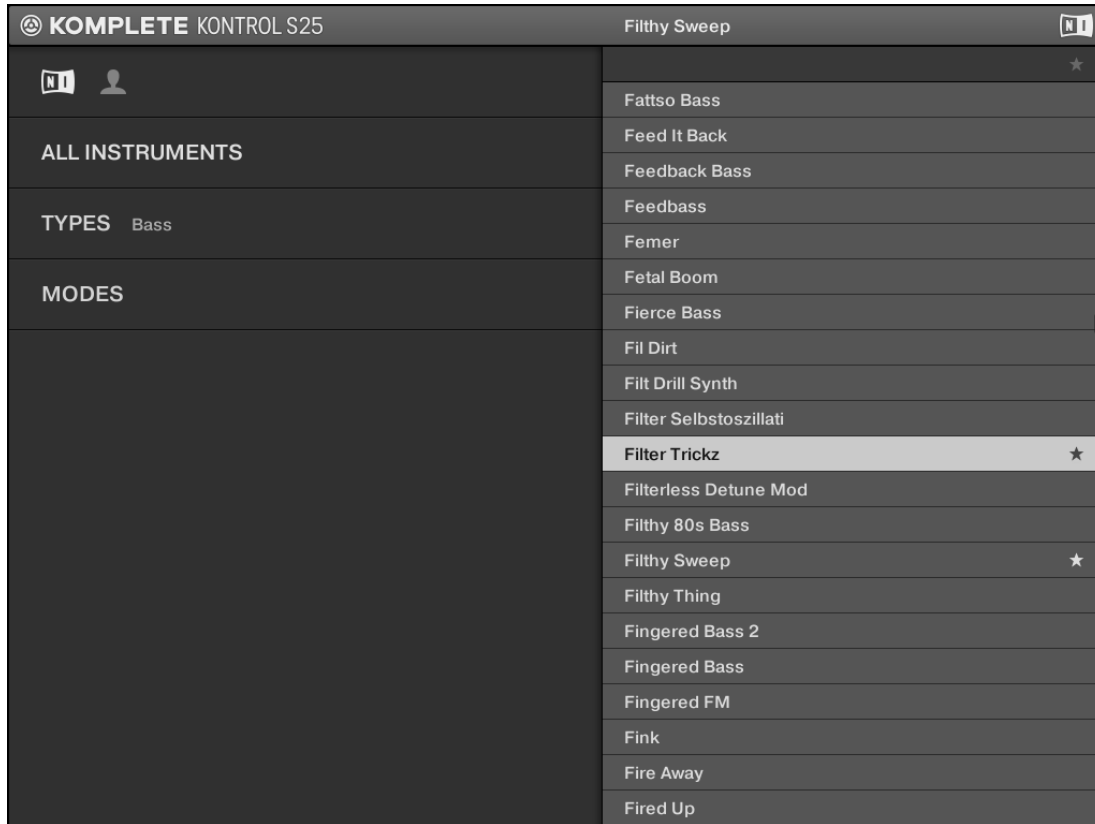
- 📖 ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択 [→ 139]

6.6.11 Favorites の追加と削除

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードオンスクリーンオーバーレイを使用してプリセットを Favorites に追加する方法は以下です。

1. コントロールエンコーダーを回して Favorite に追加したいプリセットを選択します。

2. [SHIFT]+[コントロールエンコーダー] を押して現在選択しているプリセットを Favorite に設定します。
- プリセットが Favorites に追加されると、名称横に Favorite アイコンが表示されるようになります。



- ▶ Favorites からプリセットを削除するには、プリセットを選択し、[SHIFT]+[コントロールエンコーダー] をもう一度押します。

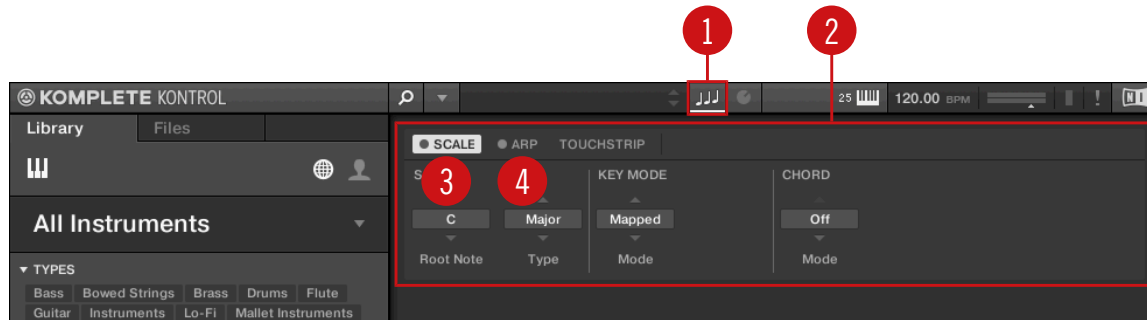
7 KOMLETE KONTROL Smart Play

KOMLETE KONTROL のもっとも強力な機能のひとつが、Smart Play です。ここで幅広いスケールと他のパラメーターによる設定を行い、コードとアルペジオ演奏を行います。演奏ノートにハーモニーを設定し、鍵盤一つで効果的にコードを生成することもできます。Smart Play 機能は KOMLETE KONTROL の Perform Panel または KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの左端にある **PERFORM** セクションからアクセスでき、中央の Control セクション (↑7.2, キーボードの **PERFORM** セクション概要 参照) で編集することができます。更にキーボード上の Light Guide (↑5.6, Light Guide (ライトガイド)) では選択したスケール、コードモードが有効か視覚的に判別することができます。



PERFORM セクション、コントロールセクション、Light Guide がある鍵盤部です。

7.1 ソフトウェアのパフォーマンスパネル概観



パフォーマンスパネルのデフォルトビューで Scale パラメーターを表示しています。

(1) **パフォーマンスパネルボタン**: 全パラメーターを備えたパフォーマンスパネルを表示、最小化します。SCALE または ARP の各機能が起動すると、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。

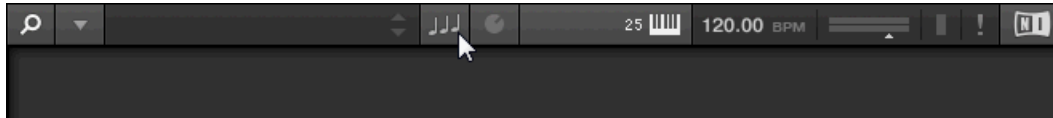
(2) **パフォーマンスパネル**: 全パフォーマンス機能とパラメーターを含んでいます。パフォーマンスメニューで Scale と Arp の各メニューにアクセス、編集します。SCALE をクリックすると、スケール用全パラメーターを表示します。ARP をクリックするとアルペジオ用パラメーターが表示されます。

(3) **SCALE**: SCALE スイッチの左のチェックボックスをクリックすることで、スケール用エンジンが有効、無効の状態となります。SCALE ラベルをクリックするとスケールパラメーターが表示されます。Scale と各パラメーターの詳細はセクション [↑7.4, スケールエンジン](#) と [↑7.5, スケールパラメーター](#) を参照してください。

(4) **ARP**: ARP スイッチの左のチェックボックスをクリックすることで、アルペジオ用エンジンが有効、無効の状態となります。ARP ラベルをクリックするとアルペジオ用パラメーターが表示されます。Arp と各パラメーターの詳細はセクション [↑7.5.4, Chord Type](#) と [↑7.7, Arp パラメーター](#) を参照してください。

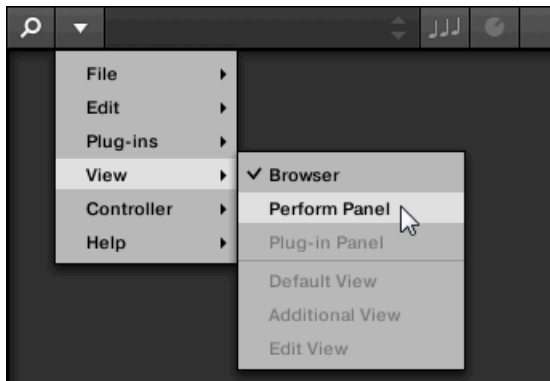
パフォーマンスパネルの表示と最小化

- ▶ パフォーマンスパネルを開き、Scale と Arp パラメーターを表示するには、ヘッダのパフォーマンスパネルボタンをクリックします。

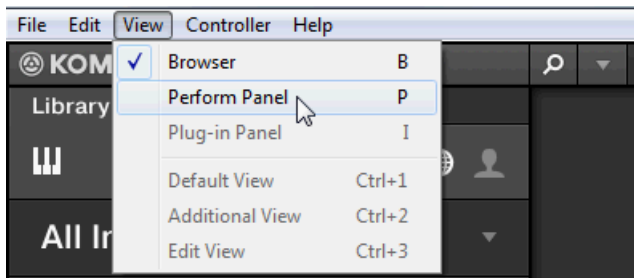


もう一度クリックするとパフォーマンスパネルが最小化します。

- ▶ KOMplete KONTROL メニューでパフォーマンスパネルを表示、非表示するには、下向きの矢印をクリックし、表示されるドロップダウンメニューの **View** サブメニューで *Perform Panel* を選択します。



- ▶ アプリケーションメニューバーでパフォーマンスパネルを表示、非表示するには、**View** をクリックし、表示されるドロップダウンメニューで *Perform Panel* を選択します。





スタンドアロンモードでは、[P] キーを使用して、コンピューターのキーボードからパフォーマンスパネルを表示/非表示することができます。

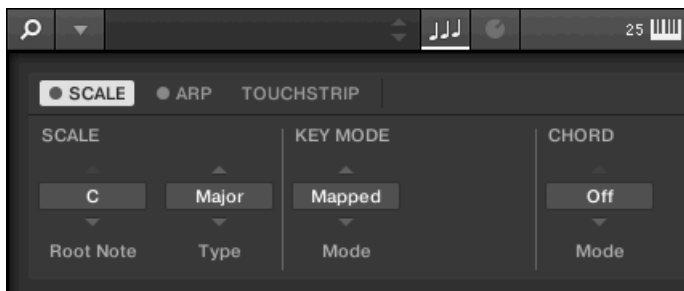
パフォーマンスパネルボタンの状態

パフォーマンスパネルボタンの 4 つの状態でご各エンジンが有効、無効であるか、あるいはパフォーマンスパネルが開いた状態か、そうでないか確認することができます。

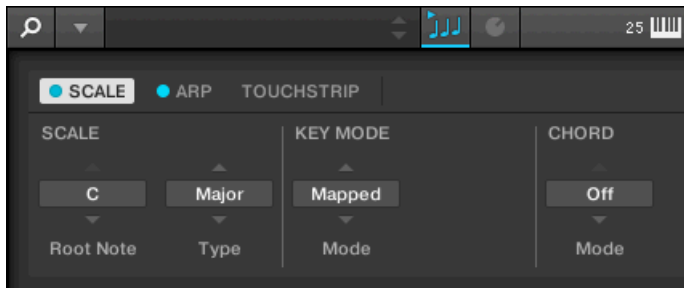
- パフォーマンスパネルが表示されておらず、無効の場合、パネルは灰色表示となります。



- パフォーマンスパネルが開いているが無効の場合は、パフォーマンスパネルが白く点灯し、ボタンの下に白いパネルが表示されます。



- パフォーマンスパネルが開いておりエンジンのどちらかが起動している場合は、パフォーマンスパネルが青く点灯し、プレイシymbolが表示され、ボタンの下のパネルも青くなります。



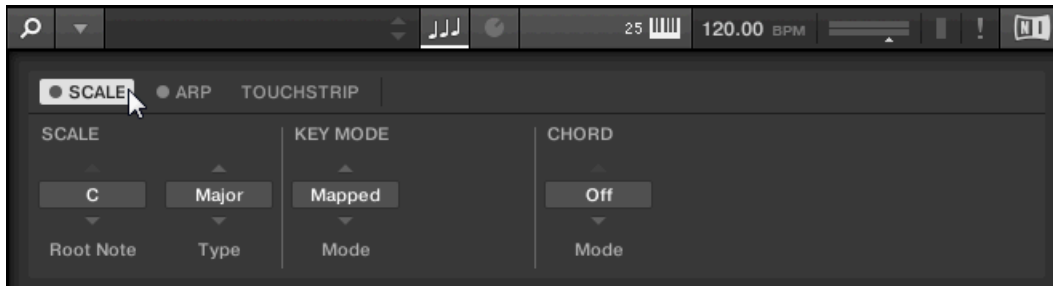
- パフォーマンスパネルが非表示であるが有効な場合は、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。パネルは表示されません。



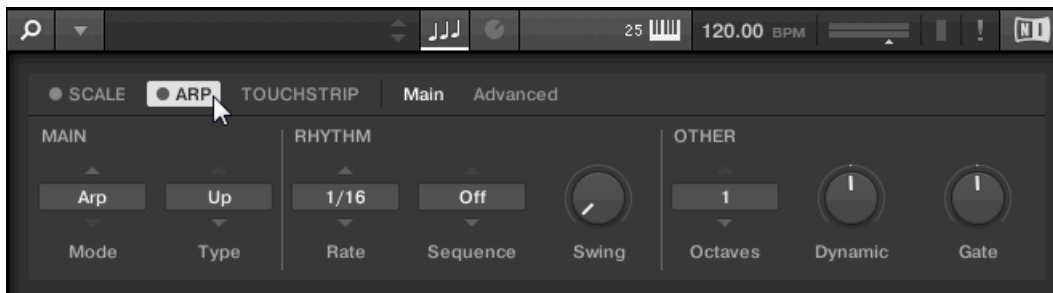
パフォーマンス機能は編集可能で、編集はドロップダウンメニュー、またはクリックアンドドラッグによって行います。

ページの切り替え

- Scale ページを表示するには、SCALE ラベルをクリックします。



- Arp ページを表示するには、ARP ラベルをクリックします。

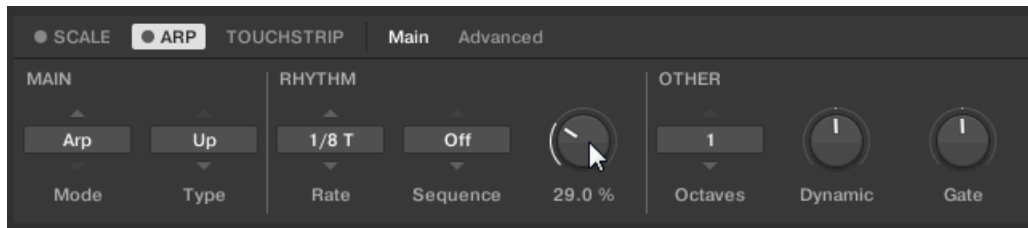


パラメーター値の設定

- ▶ ドロップダウンメニューパラメーターの値を設定するには、クリックして表示されるメニュー内の値を選択します。



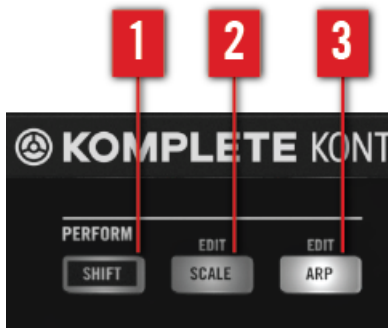
- ▶ ノブパラメーター値を設定するには、マウスでノブをクリック、ドラッグします。



編集値を有効にするには、編集するパラメーターがあるエンジンを起動する必要があります (チェックボックスを青の状態にします)。

7.2 キーボードの PERFORM セクション概要

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの左端にある **PERFORM** セクションの各ボタンで you switch the scale engine and the arpe スケールエンジンとアルペジエーターを起動、編集用各パラメーターにアクセスします。コントロールセクションのディスプレイとノブにパラメーターが表示され、それらで編集することも可能です (↑5.4, コントロールセクション参照)。



PERFORM セクションです。

(1) **SHIFT**: **SHIFT** ボタンを押したままにすることで各コントロール部の 2 次機能にアクセスできるようになります (**SCALE** (2) と **ARP** (3) ボタンの **EDIT** 機能にアクセス可能になります)。コントロールセクションで **SHIFT** を押しながらノブを回すことで、値の詳細設定が可能となります。

(2) **SCALE**: **SCALE** ボタンを押すことでスケールエンジンをオン、オフ切り替えます。**SHIFT** を押しながら **SCALE** を押すことで、コントロールセクションのノブとディスプレイを用いてスケールパラメーターの設定ができるようになります。

(3) **ARP**: **ARP** ボタンを押すことでアルペジオ機能をオン、オフ切り替えます。**SHIFT** を押しながら **ARP** を押すことで、コントロールセクションのノブとディスプレイを用いてアルペジオ用パラメーターの設定ができるようになります。

7.2.1 SCALE ボタンの機能

- ▶ スケールパラメーターを編集するには、**SHIFT** + **SCALE** を押します。
- **SCALE** パラメーター (↑7.5, **スケールパラメーター**) が表示され、コントロールセクションのノブで編集できるようになります。



- ▶ 選択したスケールエンジンをオン、オフ切り替えるには、**SCALE** ボタンを押します。
- **SCALE** パラメーターの選択内容が Light Guide に反映されます。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + SCALE** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。

7.2.2 ARP ボタンの機能

- ▶ アルペジエーターパラメーターを編集するには、**SHIFT + ARP** を押します。
- ARP パラメーター (↑7.7, [Arp パラメーター](#)) が表示され、コントロールセクションのノブで編集することができるようになります。



- ▶ アルペジオをオン、オフ切り替えするには **ARP** ボタンを押します。
- ARP パラメーターの選択内容が Light Guide に反映されます。
- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + ARP** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。アルペジエーターは起動したままとなります。

7.3 音楽理論について

KOMLETE KONTROL はスケールとハーモニー用機能を装備しており、インストゥルメントのコード演奏、またはアルペジオ演奏が可能となります。以下ではその内容を解説しています。パフォーマンスモードのより具体的な解説に関しては、[↑7.4, スケールエンジン](#) と [↑7.5.4, Chord Type](#) を参照してください。

7.3.1 スケール

音楽は通常リズムとハーモニーによって構成されます。例外も多くありますが、ここではスケール、コード、アルペジオを理解するための解説を進めます。

全ノートとキーはピッチに対応します。鍵盤で各キーはセミトーンのピッチに対応し、隣り合うキーの音程は半音分異なります (チューニングによっては異なる場合があります)。ハーモニーが濁ることなくメロディーやコードを奏でるには、通常ノートはスケールとして大別された中から演奏します。西洋音楽ではスケールはピアノの 7 つの白鍵盤、5 つの黒鍵盤上で表現され、このまとまりをオクターブと呼びます。オクターブと

称される所以は 8 番目（ラテン語、オクタブス）のキーが連続する 7 つの白鍵盤の後に繰り返され、また同じキーを発音することによるものです。このキーはルートノートと呼ばれます。スケールは、オクターブとして機能する白、黒鍵盤の特定の組み合わせのことを指します。スケール内のキーのみを演奏することで、「キーが合っている」ということになります。スケールはノートの絶対値によって定義されるものではなく、ピッチの変異の過程での関連性によって定義されるということを強調しておく必要があるでしょう。例えばメジャースケールは「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」で構成され、鍵盤上下に変調することでルートノートを変更し、この規則にしたがって演奏することでスケールが保たれる、ということになります。

7.3.2 コード

ポリフォニックインストゥルメントで 複数ノートを同時に演奏する、これをコード演奏といいます。では、スケール上の各ノートを複数選択してコードがどのように構成されるか検証してみましょう。ここでは C メジャースケールを使用します。↑7.3.1, スケール で解説したように、メジャースケールは 2 つの全音、その後半音を通過し、3 つの全音を通過した後、半音に到達します。ではこの規則を踏まえれば、ルートノート C を起点に C メジャーコードを演奏するには、C、E、D、のキーを同時に押す、という事になります。この C メジャーコードは、ルートノート(C)、3 度 (E) 5 度 (G) で構成され、3 和音（メジャートライアド）と呼ばれます。音楽的ハーモニーを踏まえたこの和音を演奏することで、複数のノートを同時に演奏し、コードとして成り立たせることができます。

7.3.3 アルペジオ

上のセクション ↑7.3.2, コード ではコード演奏について解説しました。これらのコードを分離してリズムカルに演奏することをアルペジオ演奏といいます。コードがノートにハーモニーを追加する役割として考えるなら、アルペジオはそのコードに時間とリズムを追加する役割、と考えることができます。3 つのノートを同時に押すことでコード演奏する代わりに、この 3 つのノートを様々な順序と、様々なリズムで演奏します。この方法でモノフォニックインストゥルメントを、コードに基づいて演奏することが可能となります。

7.4 スケールエンジン

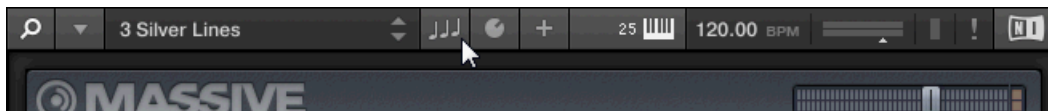
KOMLETE KONTROL はインストゥルメントを用いて演奏可能なスケールを複数用意しています。この機能でピアノ等のインストゥルメントを演奏ミスなく、例えばマイナーペンタトニックスケールで演奏することができるようになります。Chord Mode で用意されたスケールを用いて、ノートをコード演奏することが可能となります。更にアルペジエーター（↑7.6, Arpeggiator(アルペジエーター)参照）を使用することで、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの一つの鍵盤を押す、または受信した MIDI ノート入力によってスケールを自動演奏することができます。

Perform Panel でスケールを選択し、Scale エンジンを起動すると、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードにスケールがマッピングされ、Light Guide もそのスケールを示すようになります。これでキーボードのどの鍵盤を押しても、またはホストアプリケーションを介してどの MIDI ノートが送信されても、ノートが設定したスケールを発音するようになります。

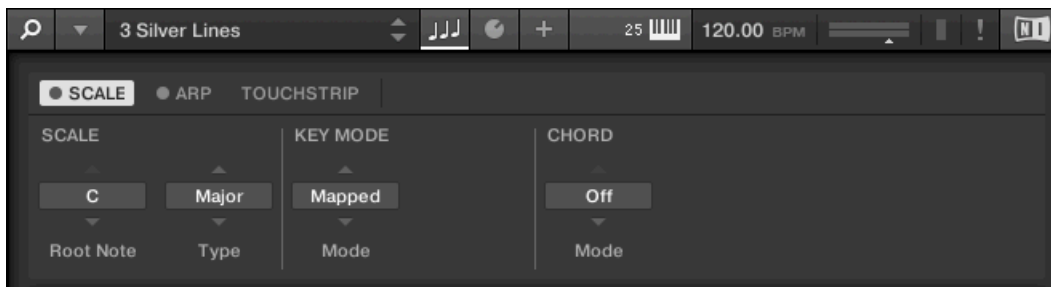
各 Scale パラメーターについては [↑7.5, スケールパラメーター](#) で解説しています。

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでスケール機能を起動する

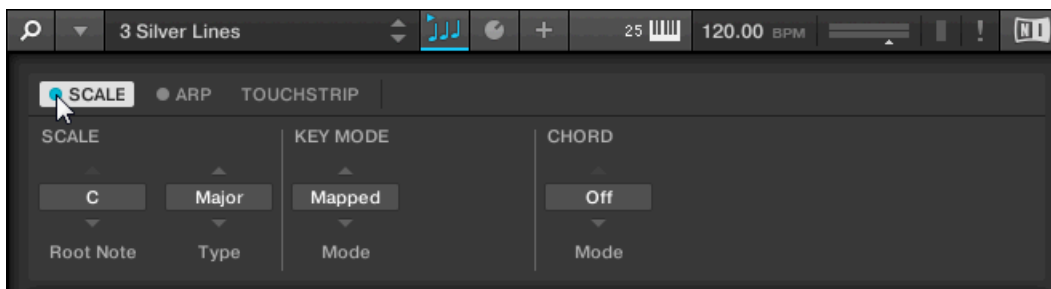
- ▶ KOMPLETE KONTROL ヘッダのパフォーマンスパネルボタンをクリックしてパフォーマンスパネルを表示します。



- パフォーマンスパネルが KOMPLETE KONTROL に表示されます。

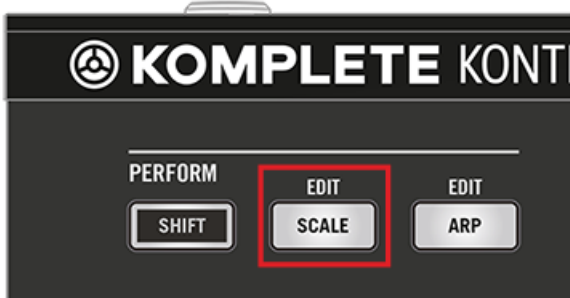


- ▶ Scale エンジンを起動するには、パフォーマンスセクションの SCALE の隣のチェックボックスをクリックします。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでスケール機能を起動する

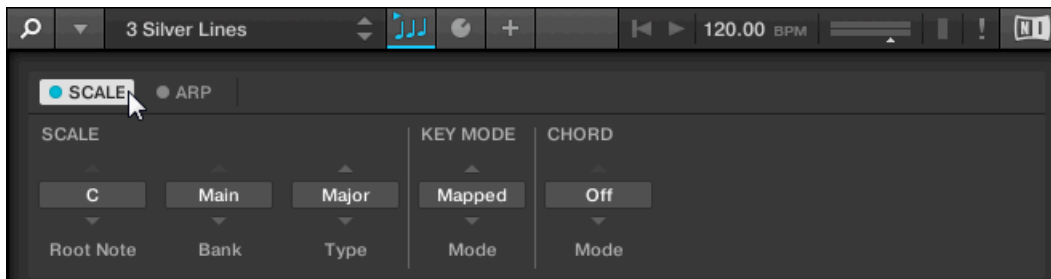
- ▶ Scale エンジンを起動するには、キーボードの **PERFORM** セクションで **SCALE** を押します。



7.5 スケールパラメーター

Scale パラメーターを使用してスケールとコードを任意に編集することができます。

- ▶ KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでスケールパラメーターを編集するには、パフォーマンスパネルの **SCALE** をクリックしてハイライト表示させます。



- ▶ KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロールセクションのスケールパラメーターを編集するには、**SHIFT + SCALE** を押します。
- キーボードのコントロールセクションの **PAGE** ディスプレイが **SCALE** となり、スケールパラメーターを編集できるようになります。



各スケールパラメーターの内容

- 鍵盤にマッピングされるスケールを選択し、ルートノートを選択するには、**SCALE** パラメーター **Root Note** と **Bank**、**Type** を使用します。詳細は [↑7.5.1, スケール](#) を参照してください。
- キーボード上に選択したスケールがどのようにマッピングされるか設定するには、**KEY MODE** パラメーターを使用します。詳細は [↑7.5.2, Key Mode](#) を参照してください。
- 鍵盤使用の際に自動的にコード演奏を行うようにするには、**CHORD** パラメーター **Mode** と **Type Position** を使用します。詳細は [↑7.5.3, Chord Mode](#) とを参照してください。



Arp パラメーターに関してはセクション [↑7.7, Arp パラメーター](#) を参照してください。

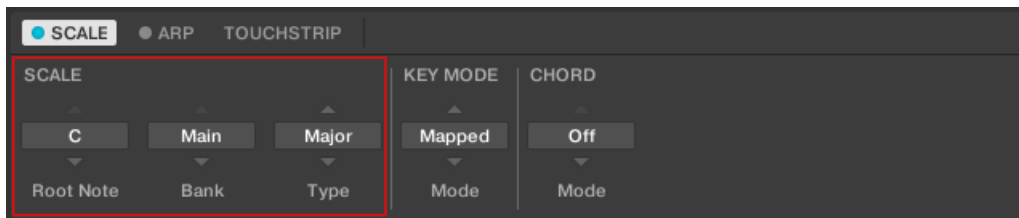
関連項目

📖 Chord Type [[→ 233](#)]

📖 Chord Position [[→ 237](#)]

7.5.1 スケール

SCALE パラメーター **Root Note** と **Bank**、**Type** で鍵盤にマッピングされるスケールを選択し、ルートノートを選択します。



SCALE パラメーターの **Root Note**、**Bank**、**Type** です。



キーボードの **SCALE** パラメーターです。

Root Note

最初の **SCALE** パラメーターは **Root Note** です。**SCALEEDIT** モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。スケールのルートノートを設定することでスケールの起点が設定されます。それ以降のスケールノートは、**SCALE** パラメーターで選択するスケールの種類によって異なります (以下参照)。異なる **Root Note** を選択することで上下にスケールを変化させることもできます。



Light Guide キーボードは完全点灯した LED で **Root Note** を表示し、その他の有効なキーは全点灯より暗い状態となります。

Root Note セットアップには以下の値があります。

- C
- C#
- D
- D#
- E
- F
- F#
- G
- G#
- A
- A#
- B

バンクとタイプ

左から 2、3 番目の **SCALE** パラメーターは **Bank** と **Type** です。**SCALEEDIT** モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 2 とノブ 3 にマッピングされます。これらを使用して KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードにマッピングされるスケールを選択します。各 **Bank** には 15 のテーマごとに分類したスケール群があり、**Type** コントロールで選択することができます。

例えば **Root Note** を C にし、**Bank** の *Main* から **Type** をデフォルトの *Major* にした場合は、スケールは C メジャーとなり、C、D、E、F、G、A、B (その後、オクターブ上の C が続きます) のノートがマッピングされます。**Root Note** を G にすると、G、A、B、C、D、E、F# (G が続きます) ノートを含んだ G メジャースケールとなります。発音されるノート間隔は「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」となり、これが *Major* スケールの法則として機能します。

ホストソフトウェアから MIDI 入力でインストゥルメントを演奏する場合は、MIDI のノートは **Type** で選択したスケールに基づいて演奏されます。例えば (Root Note を C に設定し、) **C-D-D#** ノートを含んだ MIDI パターンが演奏された場合、**Type** が *Chromatic* (キーボードでは **CHROM** と表示されます) であればそのまま演奏されますが、**Bank** が *Main*、**Type** が *Major* となっている場合は **C-D-E** のノートを演奏します。



Light Guide は選択した **Type** を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。

各スケールは以下となっています。

スケール	Bank	Type	スケール内容
Chromatic	<i>Main</i>	<i>Chrom</i>	1 ♭2 2 ♭3 3 4 ♭5 5 ♭6 6 ♭7 7
Major	<i>Main</i>	<i>Major</i>	1 2 3 4 5 6 7
Minor	<i>Main</i>	<i>Minor</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Harm Min	<i>Main</i>	<i>Harm Min</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 7
Maj Pent	<i>Main</i>	<i>Maj Pent</i>	1 2 3 5 6
Min Pent	<i>Main</i>	<i>Min Pent</i>	1 ♭3 4 5 ♭7
Blues	<i>Main</i>	<i>Blues</i>	1 ♭3 4 #4 5 ♭7
Japanese	<i>Main</i>	<i>Japanese</i>	1 2 ♭3 5 ♭6
Freygish	<i>Main</i>	<i>Freygish</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 ♭7
Gypsy	<i>Main</i>	<i>Gypsy</i>	1 2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Arabic	<i>Main</i>	<i>Arabic</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Altered	<i>Main</i>	<i>Altered</i>	1 ♭2 #2 3 #4 ♭6 ♭7
Whole Tone	<i>Main</i>	<i>WH Tone</i>	1 2 3 #4 #5 ♭7
H-W Dim	<i>Main</i>	<i>H-W Dim</i>	1 ♭2 #2 3 #4 5 6 ♭7
W-H Dim	<i>Main</i>	<i>W-H Dim</i>	1 2 ♭3 4 #4 #5 6 7
Ionian	<i>Modes</i>	<i>Ionian</i>	1 2 3 4 5 6 7
Dorian	<i>Modes</i>	<i>Dorian</i>	1 2 ♭3 4 5 6 ♭7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Phrygian	<i>Modes</i>	<i>Phrygian</i>	1 b2 b3 4 5 b6 b7
Lydian	<i>Modes</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 #4 5 6 7
Mixolydian	<i>Modes</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 b7
Aeolian	<i>Modes</i>	<i>Aeolian</i>	1 2 b3 4 5 b6 b7
Locrian	<i>Modes</i>	<i>Locrian</i>	1 b2 b3 4 b5 b6 b7
Ionian b2	<i>Modes</i>	<i>Ion b2</i>	1 b2 3 4 5 6 7
Dorian b5	<i>Modes</i>	<i>Dor b5</i>	1 2 b3 4 b5 6 b7
Harm Phryg	<i>Modes</i>	<i>Har Phry</i>	1 b2 b3 4 5 b6 7
Phryg Major	<i>Modes</i>	<i>Phry Maj</i>	1 b2 b3 4 5 6 7
Lydian b3	<i>Modes</i>	<i>Lyd b3</i>	1 2 b3 #4 5 6 7
Major Locrian	<i>Modes</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 b5 b6 b7
Minor Locrian	<i>Modes</i>	<i>Min Loc</i>	1 2 b3 4 b5 b6 b7
Super Locrian	<i>Modes</i>	<i>Sup Loc</i>	1 b2 b3 b4 b5 b6 b7
Lydian b7	<i>Jazz</i>	<i>Lyd b7</i>	1 2 3 #4 5 6 b7
Altered	<i>Jazz</i>	<i>Altered</i>	1 b2 #2 3 #4 b6 b7
Diminished	<i>Jazz</i>	<i>Diminshd</i>	1 b2 #2 3 #4 5 6 b7
Mixo b13	<i>Jazz</i>	<i>Mix b13</i>	1 2 3 4 5 b6 b7
Mixo b9 b13	<i>Jazz</i>	<i>Mixb9b13</i>	1 b2 3 4 5 b6 b7
Lydian b7 b2	<i>Jazz</i>	<i>Lyd b7b2</i>	1 b2 3 #4 5 6 b7
Bebop	<i>Jazz</i>	<i>Bebop</i>	1 2 3 4 5 6 b7 7
Whole Tone	<i>Jazz</i>	<i>Whole Tn</i>	1 2 3 #4 #5 b7
Blues Maj	<i>Jazz</i>	<i>Blues Ma</i>	1 2 b3 3 5 6
Blues Min	<i>Jazz</i>	<i>Blues Mi</i>	1 b3 4 #4 5 b7
Blues Combined	<i>Jazz</i>	<i>BluesCmb</i>	1 2 b3 3 4 #4 5 6 b7

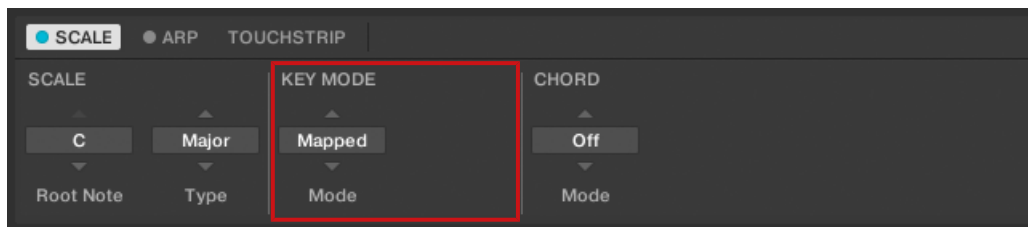
スケール	Bank	Type	スケール内容
Lydian #5	Jazz	Lyd #5	1 2 3 #4 #5 6 7
Jazz Minor	Jazz	Jazz Mi	1 2 b3 4 5 6 7
Half Dim	Jazz	Half Dim	1 2 b3 4 b5 b6 b7
Augmented	Jazz	Augmentd	1 b3 3 5 #5 7
Hungarian Min	World	Hung Min	1 2 b3 #4 5 b6 7
Hungarian Maj	World	Hung Maj	1 #2 3 #4 5 6 b7
Neapolitan	World	Neapoltn	1 b2 b3 4 5 b6 7
Spanish	World	Spanish	1 b2 b3 3 4 5 b6 b7
Greek	World	Greek	1 2 b3 b4 5 b6 b7
Jewish 1	World	Jewish 1	1 b2 3 4 5 b6 b7
Jewish 2	World	Jewish 2	1 2 b3 #4 5 6 b7
Indian 1	World	Indian 1	1 b2 b3 #4 5 b6 7
Indian 2	World	Indian 2	1 2 b3 #4 5 6 7
Indian 3	World	Indian 3	1 b2 2 4 5 b6 6
Indian 4	World	Indian 4	1 #2 3 4 5 #6 7
Mid East 1	World	M East 1	1 b2 3 4 5 b6 7
Mid East 2	World	M East 2	1 b2 3 4 b5 b6 7
Mid East 3	World	M East 3	1 b2 b3 4 b5 6 b7
Mid East 4	World	M East 4	1 b2 3 4 b5 6 b7
Penta I	5-Tone	Pent I	1 2 3 5 6
Penta II	5-Tone	Pent II	1 2 4 5 b7
Penta III	5-Tone	Pent III	1 b3 4 b6 b7
Penta IV	5-Tone	Pent IV	1 2 4 5 6
Penta V	5-Tone	Pent V	1 b3 4 5 b7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Hirajoshi	5-Tone	Hira	1 2 ♭3 5 b6
Insen	5-Tone	Insen	1 ♭2 4 5 ♭7
Kokin Joshi	5-Tone	Kokin	1 2 4 5 b6
Akebono	5-Tone	Akebono	1 2 ♭3 5 6
Ryukuan	5-Tone	Ryukuan	1 3 4 5 7
Abhogi	5-Tone	Abhogi	1 2 ♭3 4 6
Bhupkali	5-Tone	Bhupkali	1 2 3 5 b6
Hindolam	5-Tone	Hindolam	1 ♭3 4 ♭6 ♭7
Bhupalam	5-Tone	Bhupalam	1 ♭2 ♭3 5 b6
Amritavarshini	5-Tone	Amrita	1 3 #4 5 7
Octatonic	Modern	Octatonic	1 2 ♭3 4 #4 #5 6 7
Acoustic	Modern	Acoustic	1 2 3 #4 5 6 ♭7
Augmented	Modern	Augmented	1 ♭3 3 5 #5 7
Tritone	Modern	Tritone	1 ♭2 3 ♭5 5 ♭7
Leading Wh Tone	Modern	Lead Wh	1 2 3 #4 #5 #6 7
Enigmatic	Modern	Enigmatic	1 ♭2 3 #4 #5 #6 7
Scriabin	Modern	Scriabin	1 2 3 #4 6 ♭7
Tcherepnin	Modern	Tcherepnin	1 #1 #2 3 4 5 #5 6 7
Messiaen I	Modern	Mes I	1 2 3 #4 #5 #6
Messiaen II	Modern	Mes II	1 ♭2 #2 3 #4 5 6 ♭7
Messiaen III	Modern	Mes III	1 2 ♭3 3 #4 5 ♭6 ♭7 7
Messiaen IV	Modern	Mes IV	1 ♭2 2 4 #4 5 ♭6 7
Messiaen V	Modern	Mes V	1 ♭2 4 #4 5 7
Messiaen VI	Modern	Mes VI	1 2 3 4 #4 #5 #6 7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Messiaen VII	<i>Modern</i>	<i>Mes VII</i>	1 ♭2 2 ♭3 4 #4 5 ♭6 6 7
Natural	<i>Major</i>	<i>Natural</i>	1 2 3 4 5 6 7
Lydian	<i>Major</i>	<i>Lydian</i>	1 2 3 #4 5 6 7
Mixolydian	<i>Major</i>	<i>Mixolyd</i>	1 2 3 4 5 6 ♭7
Major Minor	<i>Major</i>	<i>Maj Min</i>	1 2 3 4 5 ♭6 ♭7
Harmonic Major	<i>Major</i>	<i>Har Maj</i>	1 2 3 4 5 ♭6 7
Dbl Har Major	<i>Major</i>	<i>Dbl Maj</i>	1 ♭2 3 4 5 ♭6 7
Neapolitan Maj	<i>Major</i>	<i>Nea Maj</i>	1 ♭2 3 4 5 6 7
Major Locrian	<i>Major</i>	<i>Maj Loc</i>	1 2 3 4 ♭5 ♭6 ♭7
Blues Major	<i>Major</i>	<i>Blues Ma</i>	1 2 ♭3 3 5 6
Bebop Major	<i>Major</i>	<i>Bebop Ma</i>	1 2 3 4 5 #5 6 7
Hexa 1	<i>Major</i>	<i>Hexa 1</i>	1 2 3 5 6 7
Hexa 2	<i>Major</i>	<i>Hexa 2</i>	1 2 3 4 5 6
Penta 1	<i>Major</i>	<i>Penta 1</i>	1 2 3 5 6
Penta 2	<i>Major</i>	<i>Penta 2</i>	1 3 4 5 7
Penta 3	<i>Major</i>	<i>Penta 3</i>	1 3 5 6 7
Natural	<i>Minor</i>	<i>Natural</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Dorian	<i>Minor</i>	<i>Dorian</i>	1 2 ♭3 4 5 6 ♭7
Phrygian	<i>Minor</i>	<i>Phrygian</i>	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7
Minor Major	<i>Minor</i>	<i>Min Maj</i>	1 2 ♭3 4 5 6 7
Harmonic Minor	<i>Minor</i>	<i>Har Min</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 7
Dbl Har Minor	<i>Minor</i>	<i>Dbl Min</i>	1 2 ♭3 #4 5 ♭6 7
Neapolitan Min	<i>Minor</i>	<i>Nea Min</i>	1 ♭2 ♭3 4 5 ♭6 7
Minor Locrian	<i>Minor</i>	<i>Min Loc</i>	1 2 ♭3 4 ♭5 ♭6 ♭7

スケール	Bank	Type	スケール内容
Blues Min	<i>Minor</i>	<i>Blues Mi</i>	1 ♭3 4 #4 5 ♭7
Bebop Minor	<i>Minor</i>	<i>Bebop Mi</i>	1 2 ♭3 4 5 ♭6 ♭7 7
Hexa 1	<i>Minor</i>	<i>Hexa 1</i>	1 2 ♭3 5 ♭6 ♭7
Hexa 2	<i>Minor</i>	<i>Hexa 2</i>	1 2 ♭3 4 5 b6
Penta 1	<i>Minor</i>	<i>Penta 1</i>	1 2 ♭3 5 b6
Penta 2	<i>Minor</i>	<i>Penta 2</i>	1 ♭3 4 5 ♭7
Penta 3	<i>Minor</i>	<i>Penta 3</i>	1 ♭3 5 ♭6 ♭7

7.5.2 Key Mode



KEY MODE パラメーター、Mode です。



キーボードの KEY MODE パラメーターです。

KEY MODE パラメーターは Mode だけです。SCALEEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。ここで選択したスケールをキーボードの鍵盤にマッピングします (↑7.5.1, スケール)。この設定は Light Guide (↑5.6, Light Guide (ライトガイド)) にも反映します。3 つのモードを配した KEY MODE メニューの詳細は、以下で解説します。

- Guide
- Mapped (デフォルト)

- *Easy*

Guide モード

Guide モードで、選択したスケールのノートは *Mapped* モードと同様にキーボードにマッピングされますが、選択したスケール以外のノートも有効な状態となります。マッピングは Light Guide 上で有効なスケールを示します。

Mapped モード(デフォルト)

Mapped モードでは選択したスケールはセクション↑7.5.1, [スケール](#)の表で記載したとおりにキーボード上にマッピングされます。選択したスケール以外のノートは無効の状態となります。対応するキーを押すと選択したスケールを発音します。Light Guide は有効なキーをフル点灯する LED で示します。[Root Note](#) は更に明るい LED で表示します。



各セクションでは Root Note と SCALE に間して [KEY MODE](#) がデフォルト値でマッピングしてある状態を前提に解説します。

Easy モード

Easy モードでは選択したスケールのノートはキーボードの白鍵盤部分のみにマッピングされます。黒鍵盤を演奏しても無効の状態なので他のノートを発音することはありません。



[KEY MODE](#) *Easy* で 12 ステップの Chromatic を選択した場合、マッピング内容は *Mapped* モードでの内容と同じになります。

[Root Note](#) (Root Note) は常に 中央の C (C3 と呼びます) にマッピングされます。選択したスケールが 7 つのノートを含む場合は、鍵盤の 1 オクターブ分の白鍵盤にマッピングされます。この場合、[Root Note](#) はキー C となります。選択したスケールが 7 つ以上、以下のノート数となる場合、7 つの白鍵盤とはマッチしないので、オクターブごとに [Root Note](#) の位置が変化します。

Light Guide はキーボードの白鍵盤全てをハイライト表示します。[Root Note](#) は更に明るい LED で表示します。

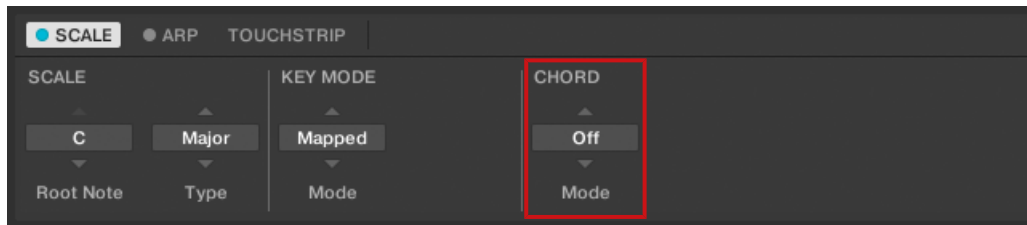
各スケールの *EASY*モードマッピング詳細は以下を確認してください。

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
白鍵盤	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	
<i>Major</i>								
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	
例 Root Note が C の場合	C	D	E	F	G	A	B	
<i>Minor</i>								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	Bb	
<i>Harm Min (ハーモニックマイナー)</i>								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	7	
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	B	
<i>Maj Pent (メジャーペンタトニック)</i>								
マッピング内容	R	2	3	5	6			
例 Root Note が C の場合	C	D	E	G	A			
<i>Min Pent (マイナーペンタトニック)</i>								
マッピング内容	R	b3	4	5	b7			
例 Root Note が C の場合	C	Eb	F	G	Bb			

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
<i>Blues</i>								
マッピング内容	R	b3	4	#4	5	b7		
例 Root Note が C の場合	C	Eb	F	F#	G	Bb		
<i>Japanese</i>								
マッピング内容	R	2	b3	5	b6			
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	G	Ab			
<i>Freygish</i>								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	Bb	
<i>Gypsy</i>								
マッピング内容	R	2	b3	#4	5	b6	7	
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	F#	G	Ab	B	
<i>Flamenco</i>								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	B	
<i>Altered</i>								
マッピング内容	R	b2	b3	b4	b5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	Eb	Fb	Gb	Ab	Bb	

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
<i>Wh Tone</i> (ホールドトーン)								
マッピング内容	R	2	3	#4	#5	#6		
例 Root Note が C の場合	C	D	E	F#	G#	A#		
<i>H-W Dim</i> (ハーフホールドミニッシュド)								
マッピング内容	R	b2	#2	3	#4	5	6	b7
例 Root Note が C の場合	C	Db	D#	E	F#	G	A	Bb
<i>W-H Dim</i> (ホールハーフデミニッシュド)								
マッピング内容	R	2	b3	#3	#4	#5	6	7
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	E#	F#	G#	A	B

7.5.3 Chord Mode



CHORD パラメーター、Mode です。



キーボードの CHORD パラメーター、Mode モードです。

CHORD 最初のコードパラメーターは Mode です。SCALEEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。KOMLETE KONTROL S-SERIES またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノートを用いて単一ノートによりコードを生成します。



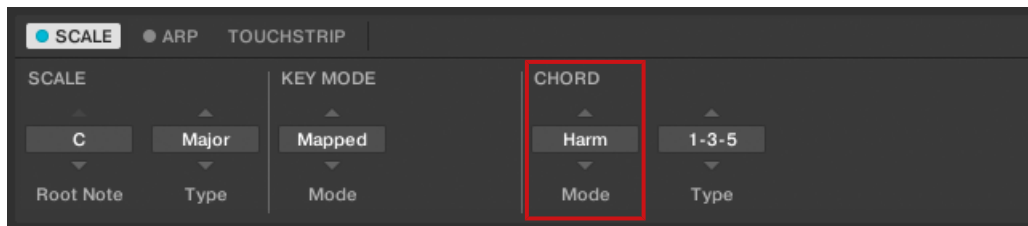
Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

CHORD Mode は一つの無効(Off) の状態と、2 つの起動した状態があります (以下参照)。

- Off
- Harm
- Chd Set

Harm

CHORD Mode を Harm にすると、CHORD Type メニュー (↑ 7.5.4, Chord Type) で選択した SCALE Type (↑ 7.5.1, スケール) によりノートが設定され、コードを構成する基本となります。例えばトライアドはルートノート、3 度、5 度となります (CHORD Type 1-3-5)。



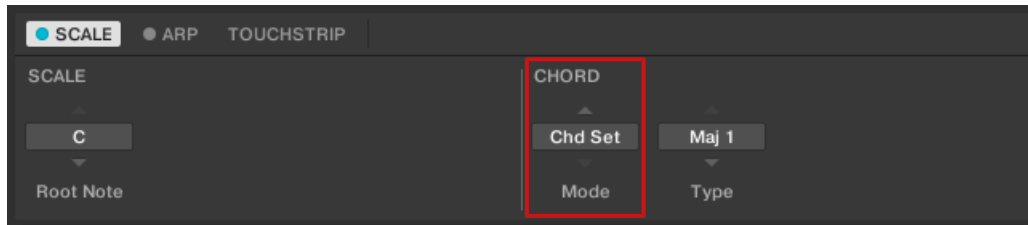
CHORD パラメーター Mode を Harm にしています。



キーボードで CHORD パラメーター Mode を、HARM にしています。

Chd Set

CHORD Mode を *Chd Set* にすると、CHORD Type (↑ 7.5.4, Chord Type) メニューで現在の Root Note によりメジャー/マイナーコードを選択できるようになります(Root Note)。



CHORD パラメーター Mode の値を *Chd Set* にしています。

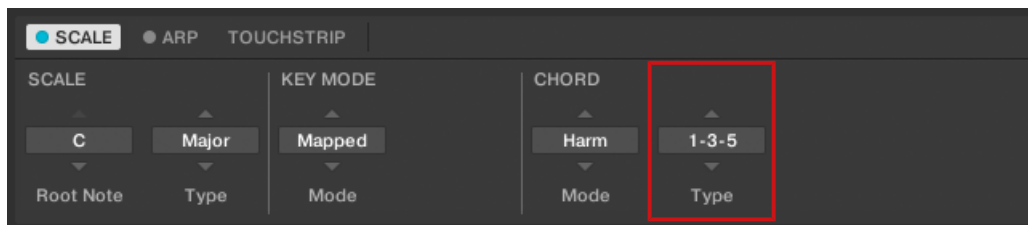


キーボードの CHORD パラメーター Mode の値を CHD SET にしています。



SCALE Type と KEY MODE パラメーターは CHORD Mode を *Chd Set* にした場合機能しなくなります。

7.5.4 Chord Type



CHORD パラメーター Type です。

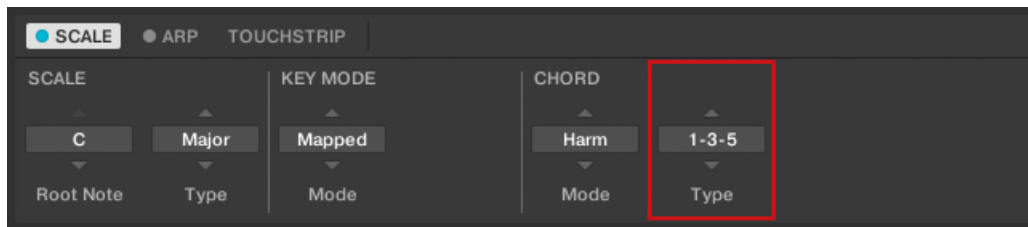
次の **CHORD** パラメーターは **Type** です。SCALEEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここで単一ノート入力によって生成されるコードを設定します。



Light Guide はコードを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半分点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。

有効な **CHORD Type** 値は **CHORD Mode** を *Harm* または *Chd Set* にするかで異なります。

Chord Type、Chord Mode を Harmonizer にした場合



CHORD パラメーター **Type** で値を *1-3-5* (**CHORD Mode** を *Harm* にした状態です) にします。



キーボードで **CHORD** パラメーター **Type** の値を *1-3-5* (**CHORD Mode** を *HARM* にした状態です) にします。

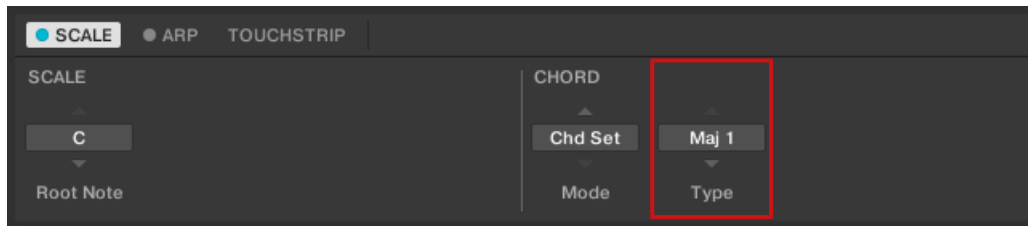
CHORD Mode を *Harm* にした場合は、**CHORD Type** では選択した **SCALE Type** による各ノートを表示します (↑7.5.1, **スケール**)。これで *Chrom* スケール以外の全スケールで、コードを構成するノート間隔を選択することができるようになります。

ノート間隔は **KOMPLETE KONTROL S-SERIES**、またはホストソフトウェアから送信された単一の MIDI ノートに適用されます。例えば **Root Note** を *C*、**SCALE Type** を *Minor*、**CHORD Mode** を *Harm* にし、**CHORD Type** を *1-3-5* にすることで *C* マイナートライアドが生成されます。ここまでの解説が難解であれば、任意の値を設定して **KOMPLETE KONTROL S-SERIES** の **Light Guide** を確認して、どのキーが有効、無効であるか、どのノートが再生されるか試してみてください。

CHORD Mode を Harm にすると、CHORD Type セットィングには以下の値が表示されます。

Chord Type	演奏ノートに追加されるノート
オクターブ	オクターブ
1-3	3rd
1-5	5th
1-3-5	3rd と 5th
1-4-5	4th と 5th
1-3-5-7	3rd、5th、7th
1-4-7	4th と 7th

Chord Type、Chord Mode を Chord Set にした場合



CHORD パラメーター Type で値を Maj 1 (CHORD Mode を Chd Set にした状態です)にします。



キーボードで CHORD パラメーター Type の値を MAJ 1 (CHORD Mode を CHD SET にした状態です)にします。

CHORD Mode (↑7.5.3, Chord Mode) を *Chord Set* にし、例えば *Root Note* (Root Note) を *C* にすると、CHORD Type メニューに選択可能なコードがリストアップされます。例えば選択肢は *Maj 4* や *Min 7* となり、これらがルートノート *C* を使用した場合メジャー、マイナーコードを生成します。

CHORD Mode を *Chd Set* にすると、CHORD Type には以下の値が含まれるようになります。

- *Maj 1*
- *Maj 2*
- *Maj 3*
- *Maj 4*
- *Maj 5*
- *Maj 6*
- *Maj 7*
- *Maj 8*
- *Min 1*
- *Min 2*
- *Min 3*
- *Min 4*
- *Min 5*
- *Min 6*
- *Min 7*
- *Min 8*

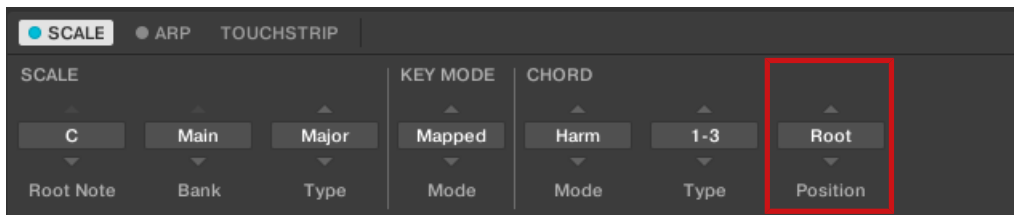
Chord Type と Chromatic Scale

Chrom スケールではオクターブの全セミトーンが含まれます。これは全白鍵盤、黒鍵盤をオクターブ全域に渡って 12 ステップの *Chrom* スケールを演奏している、ということになります。スケール内で全てのセミトーンを使用でき、これらのキーでコードを演奏できます。SCALE TYPE として *Chrom* (↑7.5.1, スケール) を選択すると、自由に CHORD Type を選択することが可能となります。以下は生成可能な有効なコードです。

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
オクターブ	12
<i>Perf 4</i> (Perfect 4)	5
<i>Perf 5</i> (Perfect 5)	7
<i>Major</i>	4 と 7

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
<i>Minor</i>	3 と 7
<i>Sus 4</i> (Suspended 4)	5 と 7
<i>Maj 7</i> (Major 7)	4、7 と 11
<i>Min 7</i> (Minor 7)	3、7 と 10
<i>Dom 7</i> (Dominant 7)	4、7 と 10
<i>Dom 7⁹</i> (Dominant 9)	4、7、10、 と 14
<i>Min 7 b5</i> (Minor 7 b5)	3、6 と 10
<i>Dim 7</i> (Diminished 7)	3、6 と 9
<i>Aug</i> (Augmented)	4 と 8
<i>Quartal</i>	5、10 と 15
<i>Trichd</i> (Trichord)	5 と 11

7.5.5 Chord Position



CHORD パラメーター、Position です。

三番目の CHORD パラメーターは Position です。SCALEEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。この機能で単音から生成されるコードのノートを各位置で発音、コード変移をより音楽的にします。

Position パラメーターは CHORD Type を Harm または Chd Set にすることで使用でき、以下の設定値を使用できるようになります。

Position(ポジション)	内容
Root	選択したコードのルートポジションが常に発音されます。
-1 から -8	Position をマイナス値にすることで現在のコードの最高ノート値がオクターブ下に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
+1 から +8	Position をプラス値にすることで現在のコードの最低ノート値がオクターブ上に移動し、コードが選択したスケールに合わせて反転します。
Auto	コード変更の際に、より人が演奏したような発音内容となります。各コードで使用したノートが自動的に使用されるようになります。

関連項目

- 📖 スケール [→ 220]
- 📖 Chord Mode [→ 231]

7.6 Arpeggiator(アルペジエーター)

Smart Play 機能の柔軟なアルペジエーターで、鍵盤を押すことでインストゥルメントを演奏することができます。Scale エンジン(↑7.4, スケールエンジン) で作成したスケールとコードを用いたアルペジオ演奏も可能です。アルペジオ演奏では KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード鍵盤のいずれかを押すか、ホストソフトウェアから MIDI ノートを送信するのみとなります。

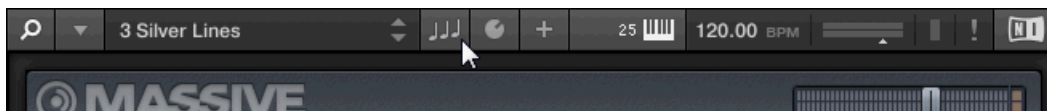


ポリフォニックアフタータッチつきコントローラー (MIDI モードの MASCHINE コントローラー等) を使用することで、パッドに力を加えることで演奏中のシーケンスにペロシティー効果を追加することもできます。

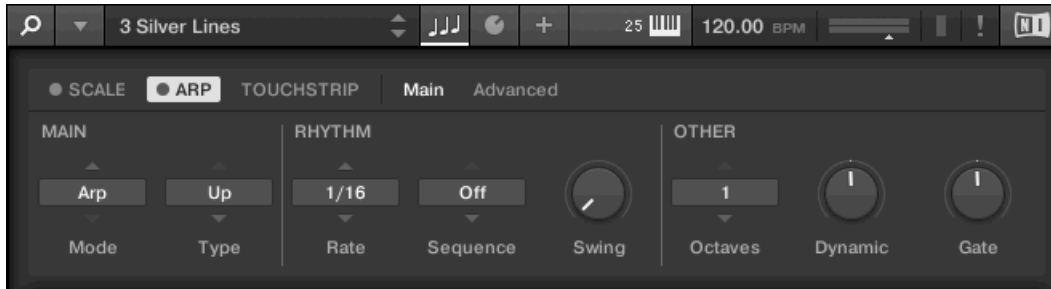
各 Arp パラメーターについては↑7.7, Arp パラメーターで解説しています。

KOMLETE KONTROL ソフトウェアで Arp 機能を起動する

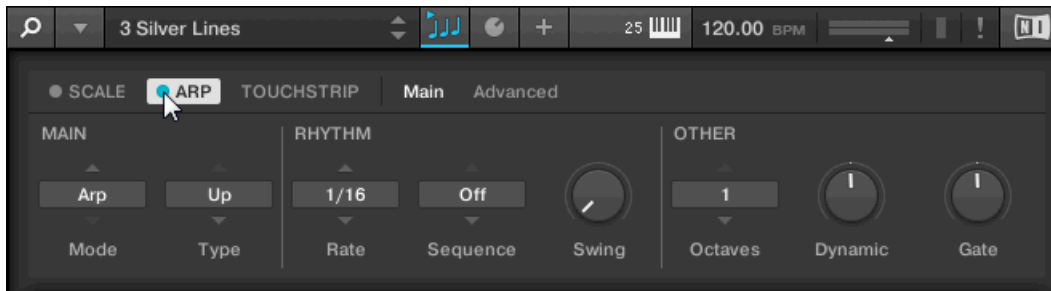
- ▶ KOMLETE KONTROL ヘッダのパフォームパネルボタンをクリックしてパフォームパネルを表示します。



→ パフォーマンスパネルが KOMLETE KONTROL に表示されます。

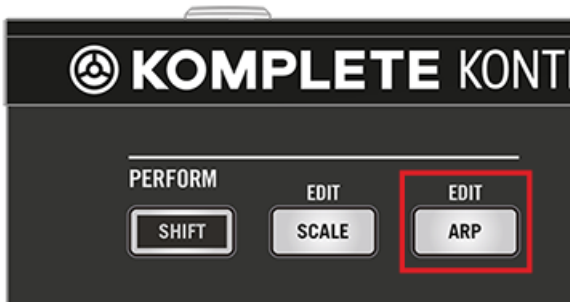


▶ アルペジエーターエンジンを起動するには、パフォーマンスパネルの ARP の隣のチェックボックスをクリックします。



KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで Arp 機能を起動する

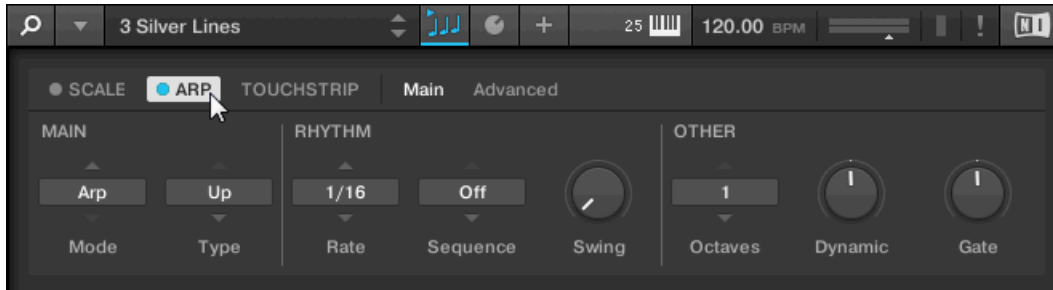
▶ アルペジエーターを起動するには、キーボードの PERFORM セクションで ARP を押します。



7.7 Arp パラメーター

アルペジエーターには 9 つの異なるパラメーターがあり、ノートシーケンスに多彩な表現力を与えます。

- ▶ KOMLETE KONTROL ソフトウェアで Arp パラメーターを編集するには、パフォーマンスパネルの **ARP** をクリックしてハイライト表示させます。



- ▶ KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロールセクションの Arp パラメーターを編集するには、**SHIFT + ARP** を押します。
- キーボードのコントロールセクションの **PAGE** ディスプレイが **ARP** となり、Arp パラメーターを編集できるようになります。Arp セッティングはコントロールセクションの 2 つのパラメーターページから成り立っています。



有効な Arp パラメーター

- *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジオの再生順序を切り替えるには **MAIN** パラメーター **Mode** と **Type** を使用します。詳細は [↑ 7.7.1, Main](#) を参照してください。
- アルペジオの再生順序をかえ、様々なリズムを生成するには、**RHYTHM** パラメーターの **Rate**、**Sequence**、**Swing** を使用します。詳細は [↑ 7.7.2, Rhythm](#) を参照してください。
- アルペジオ用のノートレンジやベロシティ、レングスを変更するには、**OTHER** パラメーターの **Octaves**、**Dynamic**、**Gate** を使用します。詳細は [↑ 7.7.3, Other](#) を参照してください。
- 気に入ったアルペジオシーケンスのバージョンを作る場合は、**ADVANCED** パラメーターの **Retrigger**、**Repeat**、**Offset**、**Inversion** を使用します。詳細は [↑ 7.7.4, Advanced](#) を参照してください。

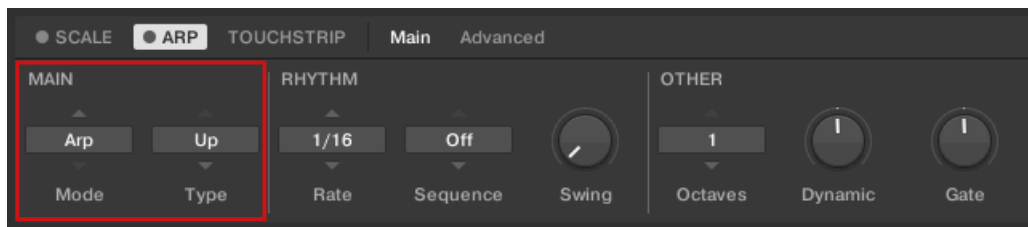
- アルペジオを起動するキーレンジを変更するには、**RANGE** パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** を使用します。詳細は [↑7.7.5, Range](#) を参照してください。
- アルペジオを持続再生するには、**HOLD** パラメーターを使用します。詳細は [↑7.7.6, Hold\(ホールド\)](#) を参照してください。



Scale パラメーターに関してはセクション [↑7.5, スケールパラメーター](#) を参照してください。

7.7.1 Main

MAIN パラメーター **Mode** と **Type** で *Arp* と *Note Repeat* モードの切り替え、アルペジオの再生順序を変更します。



MAIN パラメーター **Mode** と **Type** です。



キーボードの **MAIN** パラメーターです。

Mode

最初の **MAIN** パラメーターは **Mode** です。キーボードでは **ARP EDIT** モードを選択するとコントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。ここでは *Arp* または *Note Repeat* を選択することができます。選択内容によって **Arp** パラメーターの異なるセットが編集用に表示されます。

Mode 設定時には以下のモードがあります。

- *Arp* モードで鍵盤演奏によりコードを生成、または Scale エンジンのアウトプットを用いて生成します。*ARP* 起動し、*Mode* を *Arp* にすると、Scale エンジンを用いて生成したコードでアルペジオ演奏します。この場合、選択したスケールによるアルペジオ演奏を行うには、鍵盤の一つを押さえるだけとなります。
- *Note Repeat* モードで、アルペジエーター機能が解除され、KOMLETE KONTROL が MIDI ノートオフメッセージを受信するまでノートが連続再生されます。パラメーター *Rate*、*Swing*、*Gate* を使用して連続再生のリズムを変更します (↑7.7.2, *Rhythm* と ↑7.7.3, *Other* 参照)。

Type

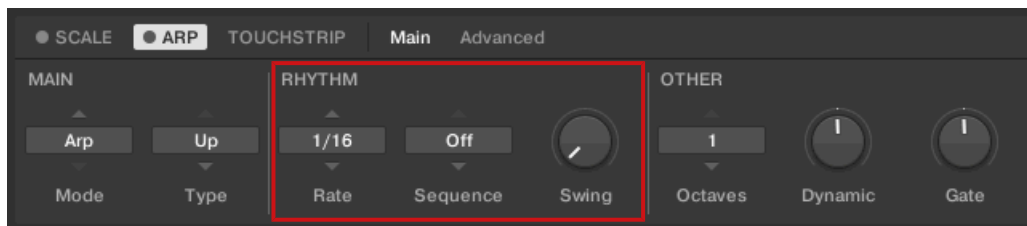
次の *MAIN* パラメーター、*Type* は *Arp* モードのみで有効な機能です。*ARPEDIT* モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。アルペジオノートの演奏順序を設定します。ルートノートを基点にコードがどのように演奏されるか設定します。*Order Played* を選択すると、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで鍵盤に触れた順番でアルペジオ演奏されます。ホストソフトウェアで *Type* パラメーターをオートメーションすることでアルペジオ演奏に変化をつけることができるでしょう。

Type セッティングには以下の値があります。

- *Up*
- *Down*
- *Up & Down* (キーボードでは UP-DOWN と表示されます)
- *Order Played* (キーボードでは PLAYED と表示されます)
- *Chord*

7.7.2 Rhythm

RHYTHM パラメーター *Rate*、*Sequence*、*Swing* で様々なアルペジオを生成することができます。



RHYTHM パラメーター *Rate*、*Sequence*、*Swing* です。



キーボードの RHYTHM パラメーターです。

Rate

最初の RHYTHM パラメーター Rate は、Arp と Note Repeat モードの両方にあります。ARPEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 3 にマッピングされます。Arp エンジンのビートはグローバルテンポと同調し、設定値幅は 1/1 から 1/128 となります。(1/1 と 1/128 以外) 全ノート値には通常音符、付点音符、三連符があります。付点音符は通常の音符より 1.5 倍の長さとなります。三連符は通常ノートの 2/3 の長さとなります。

Rate セットアップには以下の値があります。

- 1/1
- 1/2 Dotted (1/2 D)
- 1/1 Triplet (1/1 T)
- 1/2
- 1/4 Dotted (1/4 D)
- 1/2 Triplet (1/2 T)
- 1/4
- 1/8 Dotted (1/8 D)
- 1/4 Triplet (1/4 T)
- 1/8
- 1/16 Dotted (1/16 D)
- 1/8 Triplet (1/8 T)
- 1/16
- 1/32 Dotted (1/32 D)
- 1/16 Triplet (1/16 T)
- 1/32
- 1/64 Dotted (1/64 D)
- 1/32 Triplet (1/32 T)
- 1/64
- 1/128 Dotted (1/128 D)
- 1/64 Triplet (1/64 T)

- 1/128

Sequence

次の RHYTHM パラメーター **Sequence** は *Arp* モードのみにあります。ARPEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 4 にマッピングされます。アルペジオノートにリズムによる変化を与えます。選択肢は 8 つです。**Sequence** 使用時に **Rate** パラメーター (↑7.7.2, Rhythm 参照) を編集することで異なるテンポによるリズムのバリエーションを生成することが可能となります。**Rate** を通常値、または付点音符による値にすると、**Sequence** は 16 ステップのノートシーケンスを生成します。**Rate** を三連符による値にすると、**Sequence** は 12 ステップのノートシーケンスを生成します。再生中にシーケンスリズムを変更することも可能です。例えばシーケンス 1 を使用中にシーケンス 2 を選択すると、MIDI ノートの 4 番目以降がシーケンス 2 の内容に切り替わります。

Sequence セットアップには以下の値があります。

- Off
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



SEQUENCE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 4 をタップします。

Swing

3 番目の RHYTHM パラメーター **Swing** は、*Arp* と *Note Repeat* モードの両方にあります。ARPEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。**Swing** をノートシーケンスに追加し、より自然な「ノリ」を与えることができます。**Swing** を追加することでシーケンス上の各二番目のノートの再生位置が絶妙にずれます。これで音楽にグルーブを追加することができます。

Swing はドラッグコントロールで、設定値は 0% から 100% までです。

- ▶ 0% でノートシーケンスに何の変化も起きません。

- ▶ **Swing** 値を上げることで毎2個目のノートの発音タイミングを遅らせます。この遅れ度合いは現在のステップサイズと同調して設定されます (↑7.7.2, Rhythm)。

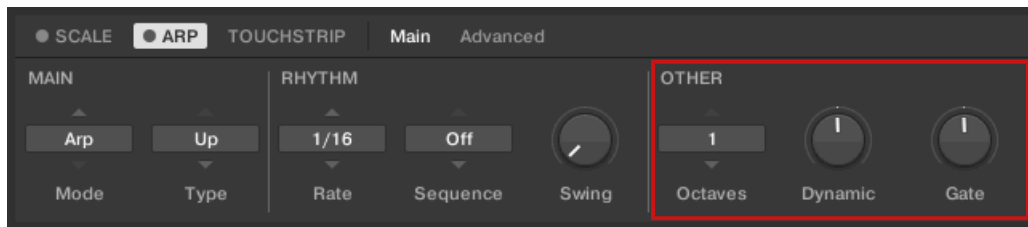


SWING パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 5 をタップします。

Swing 設定時に **Gate** パラメーターを設定することで (↑7.7.3, Other 参照) グループにバリエーションをつけることが可能となります。例えば **Gate** を 100% にすると、KOMLETE KONTROL が各ノートを発音する前に MIDI ノートオフメッセージを送信し、シーケンスをレガート再生します。**Gate** 値が 100% 以下の場合、**Swing** 値が適用された後にノートサイズが変化します。

7.7.3 Other

OTHER パラメーター **Octaves**、**Dynamic**、**Gate** でアルペジオのノートレンジ、ベロシティー、レンジを変更します。



OTHER パラメーター **Octaves**、**Dynamic**、**Gate** です。



キーボードの **OTHER** パラメーターです。

Octaves

最初の **OTHER** パラメーター **Octaves** は *Arp* モードのみで使用できます。**ARPEDIT** モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。ここでアルペジオのオクターブレンジを設定します。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでシーケンスの再生範囲となるオクターブを選択することができ、また、最高 8 オクターブ分までの再生幅を設定、コードやスケールの演奏域が行き届く範囲を設定します。

Type パラメーター (↑7.7.1, Main) での設定内容によって、再生オクターブ範囲は押した鍵盤以上のオクターブ域 (*Up*) または以下 (*Down*) そして上下 (*Up & Down*) となります。

Octaves セットアップには以下の値があります。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8



OCTAVES パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 6 をタップします。

Dynamic

次の **OTHER** パラメーター **Dynamic** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは **ARP EDIT** モードを選択するとコントロールセクションのノブ 7 にマッピングされます。この機能はインプットペロシティー設定機能で、例えば KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを押す、またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノート値を **Dynamic** パラメーターで編集します。各ノートに対して値を適用できます。各ノートのペロシティー値は **Dynamic** パラメーター値での設定によって変化します。

Dynamic はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。



DYNAMIC パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 7 をタップします。

Gate

3 番目の OTHER パラメーター Gate は Arp と Note Repeat モードの両方で使用できます。ARPEDIT モードを選択すると、キーボードでこの機能はコントロールセクションのノブ 8 にマッピングされます。ここでシーケンスのノートレングスを設定します。1% から 99% まで値を変更することでノートの長さが短くなります。101% から 200% まで値を変更することでノートの長さが長くなります。

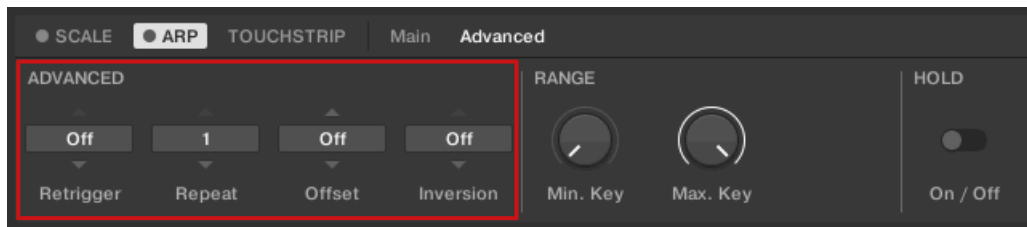
Gate はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。



GATE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 8 をタップします。

7.7.4 Advanced

ADVANCED パラメーター Retrigger、Repeat、Offset、Inversion で気に入ったアルペジオのバージョンを作成することができます。



ADVANCED パラメーター Retrigger、Repeat、Offset、Inversion です。



キーボードの ADVANCED パラメーターです。

Retrigger

最初の **ADVANCED** パラメーター **Retrigger** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは **ARP EDIT** モードの **PAGE 2** を選択すると、コントロールセクションのノブ 1 にマッピングされます。**Retrigger** でシーケンス内の音数とは関係なくアルペジオが最初の地点にいつ戻るか設定することができます。

以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Retrigger** を 3 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 をリピートします。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Retrigger** を 8 にするとアルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - 2 - 3 - をリピートします。

Sequence のその他のノートはステップとして扱われます。

- 例えばアルペジオの音数が 6 の場合、**Sequence** は 1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - 5 - 6 - 休符 となり、**Retrigger** を 5 にすると、1 - 2 - 3 - 休符 - 4 - とリピート再生されます。

Repeat

次の **ADVANCED** パラメーター **Repeat** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは **ARP EDIT** モードの **PAGE 2** を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。**Repeat** でアルペジオの各ノートがリピートされる回数を設定します。

以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Repeat** を 3 にすると、アルペジオは 1 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 3 - 3 - 3 - と再生されます。

Offset

3 番目の **ADVANCED** パラメーター **Offset** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは **ARP EDIT** モードの **PAGE 3** を選択すると、コントロールセクションのノブ 2 にマッピングされます。**Offset** でアルペジオ順が移動するステップ数を設定します。

以下はその例です。

- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を 0 にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 4 - 5 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を +1 にすると、アルペジオは 2 - 3 - 4 - 5 - 1 - と再生されます。
- アルペジオが 5 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3 - 4 - 5) で **Offset** を -1 にすると、アルペジオは 5 - 1 - 2 - 3 - 4 - と再生されます。

Inversion

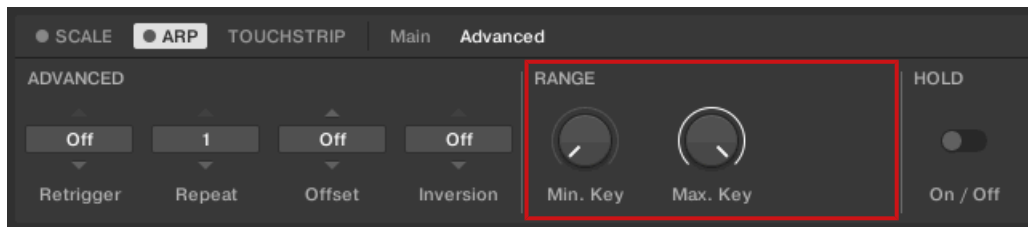
4 番目の **ADVANCED** パラメーター **Inversion** は *Arp* モードのみで使用できます。キーボードでは **ARP EDIT** モードの **PAGE 2** を選択すると、コントロールセクションのノブ 4 にマッピングされます。**Inversion** でアルペジオの順序が逆になります。

以下はその例です。

- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を *0* にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を *1* にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - 2 - 3 - と再生されます。
- アルペジオが 3 つの音数で構成されている状態 (1 - 2 - 3) で **Type** を *Up* にし、**Inversion** を *2* にすると、アルペジオは 1 - 2 - 3 - (2 - 3 - 1 オクターブ上) - (3 - 1 - 2 オクターブ上) と再生されます。

7.7.5 Range

RANGE パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** でアルペジオをトリガーするキーレンジを設定します。



RANGE パラメーター **Min. Key** と **Max. Key** です。



キーボードの **RANGE** パラメーターです。

Min. Key

最初の **RANGE** パラメーターは **Min. Key** で、*Arp* モードのみで使用することができます。キーボードでは **ARP** の **PAGE 2** で **EDIT** モードを選択するとコントロールセクションのノブ 5 にマッピングされます。**Min. Key** で *Arp* シーケンスで使用できるノートの下限を設定します。



この設定を行っても Min. Key の設置値よりも下にある音程はアルペジオ再生されます。

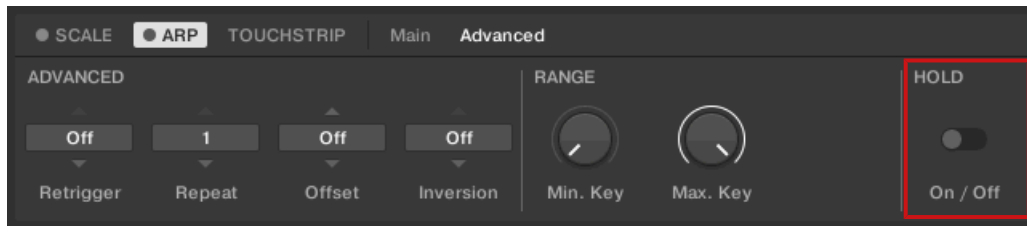
Max.Key

二番目は RANGE パラメーター Max. Key で、Arp モードのみで使用できます。キーボードでは ARP の PAGE 2 で EDIT モードを選択するとコントロールセクションのノブ 6 にマッピングされます。Max. Key で Arp シーケンスで使用できるノートの上限を設定します。



この設定を行っても Max. Key の設置値よりも上にある音程はアルペジオ再生されます。

7.7.6 Hold(ホールド)



HOLD パラメーター On / Off です。



キーボードの HOLD パラメーターです。

HOLD パラメーター On / Off は Arp と Note Repeat モード両方で使用できます。キーボードではコントロールセクションのノブ 8 にマッピングされますが、ARP EDIT の PAGE 2 を選択する必要があります。HOLD 機能でアルペジエーターによるノート演奏をラッチ演奏します。On に設定すると、アルペジエーターはキーボードで押した鍵盤によるシーケンスを持続的に演奏します。

HOLD はスイッチコントロールで、On / Off On と Off のどちらかを選択できます。

- ▶ HOLD が On の状態で他の鍵盤を押すと、新シーケンスが演奏されます。
- ▶ アルペジエーターの再生をとめるには HOLD パラメーターを Off にします。



さらにキーボードの PERFORM セクションで ARP を押すことでアルペジエーターを完全に停止することもできます。もう一度アルペジエーターのスイッチを入れると、HOLD が再び起動し、ラッチ演奏を続けることができます。

7.8 サステインペダルによる ARP の使用

アルペジエーターの性質を変える際にサステインペダルを使用することもできます。サステインペダルは KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのリアパネルの 1/4" 端子に接続することができます。



キーボードのリアパネルのペダルインプットです。

ARP 起動時にサステインペダルを押した場合

- 鍵盤を押している間にサステインペダルを押し、鍵盤を放すと、アルペジオ演奏が継続されます。これでフットスイッチがアルペジオトリガーとして機能します。
- 鍵盤を演奏すると、現在のシーケンスに新規ノートが追加されます。

ARP 起動時にサステインペダルを放した場合

- 鍵盤を押していない状態でサステインペダルを放すと、シーケンスと全演奏ノートが停止します。
- 鍵盤を押している状態でサステインペダルを放すと、押している鍵盤以外の全ノートが演奏を停止し、押している鍵盤の演奏を継続します。

7.9 Scale と Arp の MIDI アウトプット

KOMLETE KONTROL は スケールエンジンとアルペジエーターで生成した MIDI ノートを KOMLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーション及び、KOMLETE KONTROL プラグインの MIDI アウトプットからアウトプットします。MIDI ノートを他の MIDI インストゥルメントにルーティング、またはホストアプリケーションで MIDI パターンとして録音することもできます。



MIDI アウトプットはスタンドアローンアプリケーションと VST と AAX バージョンのプラグイン使用時に使用できます。AU (Audio Unit) バージョンのプラグインで MIDI アウトプット機能は使用できません。

7.9.1 KOMLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーションによる MIDI アウトプット

KOMLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーションはスケールエンジンとアルペジエーターで生成した MIDI ノートを有効な全 MIDI アウトプットに出力します。

- ▶ [Audio and MIDI Settings](#) パネルの [MIDI](#) ページの [Outputs](#) で KOMLETE KONTROL スタンドアローンアプリケーションの MIDI アウトプットを起動します。

7.9.2 KOMLETE KONTROL スタンドアローンプラグインの MIDI アウトプット

KOMLETE KONTROL プラグインにはスケールエンジンとアルペジエーターで生成された MIDI ノートを送信する MIDI アウトプット機能があり、ホスト上の各所に出力することができます。



MIDI アウトプット機能は VST と AAX プラグイン使用時に使用できます。AU (Audio Unit) バージョンのプラグインで MIDI アウトプット機能は使用できません。

MIDI ノートを KOMLETE KONTROL から以下の各所に送信できます。

- **MIDIトラック**: スケールエンジンとアルペジエーターで生成した MIDI ノートを録音し、録音した MIDI パターンを編集できます。
- **Instrument プラグイン**: スケールエンジンとアルペジエーターを用いてホストアプリケーション内のインストゥルメントプラグインをコントロールします。

- **MIDI outputs:** スケールエンジンとアルペジエーターで生成された MIDI ノートを外部 MIDI インストゥルメントに送信します。

MIDI 出力先の多様性はホストアプリケーションの MIDI ルーティング機能内容によって異なります。KOMPLETE KONTROL プラグインからホストアプリケーション内の各 MIDI 出力先への MIDI アウトプットルーティング方法の詳細は、以下のナレッジベースの記事を参照してください。

- Ableton Live: <https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557689>
- Steinberg Cubase Pro / Artist、Nuendo:
<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209557849>
- Digidesign Pro Tools: <https://support.native-instruments.com/hc/articles/209558309>

8 トラブルシューティング-ヘルプ

この章では KOMPLETE KONTROL に関連した一般的な問題の解決方法と、サポート情報に関する内容を記載しています。ヘルプを参照する前に、Native Access で KOMPLETE KONTROL ソフトウェアと、全 KOMPLETE 11、KOMPLETE 10、KOMPLETE 9 を最新の内容にアップデートしてください。

8.1 トラブルシューティング

このセクションでは KOMPLETE KONTROL 使用中に起こりうる一般的な問題の解決方法を紹介します。

8.1.1 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが起動しない

- KOMPLETE KONTROL の動作環境を確認してください。ここで必要最低条件を満たしている場合でも、各機能の使用の際に支障をきたす場合があります。コンピューターの RAM を増強することで性能を向上させることができます。
- 最新バージョンの KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用しているか確認してください。最新バージョンは以下のリンクにあります。
<http://www.native-instruments.com/updates>
- クリックしたアプリケーションのエイリアス、またはショートカットが有効なものか確認してください。
- コンピューターを再起動してください。他のオーディオインターフェイスとコンピューターで使用している周辺機器等の接続をはずしてください。

8.1.2 KOMPLETE インストゥルメントが発音しない

KONTAKT、BATTERY、REAKTOR を KOMPLETE KONTROL ロードしてもアウトプット 3 以降から発音しない場合は、ホストで Multi Output (16 x Stereo) 仕様の KOMPLETE KONTROL を使用しているか確認してください。ステレオバージョンの KOMPLETE KONTROL を使用している場合は、アウトプット 1 と 2 のみから音声が出力されます。

8.1.3 レイテンシーの問題

- 始めに、使用しているコンピュータにオーディオドロップアウトがなく、リアルタイムオーディオ処理に適しているかを確認してください。一般的に共有メモリグラフィックカードをラップトップに使用することは推奨されていません。オーディオソフトウェアの処理を円滑に行うには十分なメモリと的確な処理精度が必要です。

- ラップトップをバッテリーのみで使用すると電源管理システムがバッテリー省エネモードとなり CPU のクロックレートを下げることがあるのでバッテリーのみの使用は推奨しません。
- 演奏中に使用しない機器は外して下さい (例、プリンター、スキャナー等)。使用しない機器を外すことで音楽ソフトに対する処理能力が向上します。
- ラップトップにはオーディオ処理を妨げる Bluetooth、イーサネット ネットワークアダプターや、ワイヤレス LAN カード等の内蔵デバイスが装備されていることが多々あります。これらの機器も KOMPLETE KONTROL を使用している時は、無効にしておく必要があります。

Windows ユーザー: 以下ナレッジベースに、オペレーションシステムに対応した各ヒントを記載しています。

<https://support.native-instruments.com/hc/articles/209571729>

8.1.4 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアがクラッシュする

ランタイム中にクラッシュする場合は、Native Instruments テクニカルサポートチームにセクション ↑ 8.2.3, [テクニカルサポート](#)で紹介する手順でクラッシュログを提出、提出時にはクラッシュが起きる直前まで行っていた作業について詳しく詳細を知らせてください。クラッシュログは以下のフォルダにあります。

- Windows: *My Documents\Native Instruments\Komplete Kontrol\Crashlogs*
- Mac OS X: *Users/~/.Library/Logs/CrashReporter*

8.1.5 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは問題の解消、オペレーションシステムのアップデートへの対応、またはソフトウェアの品質向上の度にリリースされます。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの上右隅の NI ロゴをクリック、上左隅の KOMPLETE KONTROL ロゴをクリック、アプリケーションメニューバーの [Help](#) の *About Komplete Kontrol* を選択、KOMPLETE KONTROL メニューの *Help* サブメニューを選択することで開くことができます。更に Native Access の [Installed Products](#) ページで既にインストールしている全ての Native Instruments アプリケーションのバージョン番号を確認することができます。各アップデートは Native Access の [Available Updates](#) ページに表示されます。

8.2 ヘルプ

NATIVE INSTRUMENTS 製品に問題が生じ、既存の資料で問題が解決できない場合は、次のヘルプを有効利用してください。

8.2.1 ナレッジベース

オンラインナレッジベースには Native Instruments 製品の各情報をまとめており、また問題解決のヒントとなる情報を用意しています。ナレッジベースには以下からアクセスします。

www.native-instruments.com/knowledge

- ▶ COMPLETE KONTROL のアプリケーションメニューバーの **Help** メニューから *Visit Online Knowledge Base* を選択、または COMPLETE KONTROL メニューの *Help* サブメニューを選択することでナレッジベースにアクセスすることができます。

サポートビデオ

ナレッジベースには、製品の使用の際に便利な各動画を用意しています。検索フィルターを **Video** にすると、検索結果には動画のみが表示されます。

YouTube の公式 Native Instruments サポートチャンネルの動画もご覧ください。

www.youtube.com/NISupportEN

これらのインストラクションの内容に沿って該当するアプリケーションをコンピューター上で起動し、解説内容を実際に行ってみることを推奨します。

8.2.2 ユーザーフォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラムでは他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。テクニカルサポートチームはフォーラムに参加することはありません。他のユーザーと話し合っても問題が解決しない場合は、上記のコンタクト先を用いて Native Instruments のテクニカルサポートチームにコンタクトを取ってください。ユーザーフォーラムは以下にあります。

www.native-instruments.com/forum

8.2.3 テクニカルサポート

問題をナレッジベースで解決できない場合は、オンラインサポートフォーラムを使用して Native Instruments のテクニカルサポートチームに相談することも可能です。オンラインサポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。以下のオンライン・サポートにご連絡いただけます。

www.native-instruments.com/supform

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。

情報として提示すべき情報は以下となっています。

- 問題に到達するまでの操作手順
- 問題解決するために自分で試した解決策
- ソフトウェアバージョン、ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- 使用しているコンピュータの機種を含む正確な情報

新規ソフトウェア、またはソフトウェアをインストールした場合、Readme ファイルに資料に含まれていない最新情報を書き添えてある場合があります。テクニカルサポートにコンタクトする前に Readme をお読みください。

8.2.4 レジストレーションサポート

製品アクティベーション作業中に問題が生じた場合は、レジストレーションサポートチームに連絡を取ってください。

www.native-instruments.com/regsuppfrm

索引

A

ユーザー補助 [16]

音声補助機能の起動 [17]

Arp [240]

Advanced [247]

Dynamic [246]

Gate [247]

Groove [244]

Hold [250]

Inversion [249]

Main [241]

Max. Key [250]

MIDI output [252]

Min. Key [249]

Mode [241]

Note Value [243]

Octaves [246]

Offset [248]

Other [245]

Range [246] [249]

Rate [243]

Repeat [248]

Retrigger [248]

Rhythm [242] [244]

Sequence [244]

Swing [244]

Tempo [243]

Type [242]

Velocity [246]

ARP ボタン [215]

Arp Mode

Note Repeat [242]

ARP ページ [110]

アルペジエーター [240]

アルペジオ [217] [240]

ASIO ドライバ [45]

パラメーターのアサイン [110]

Attribute Editor [178]

オーディオドライバ(選択) [44]

オーディオインターフェイス

選択とアウトプット [43]

設定 [43]

自動トラックフォーカス [104]

自動アサインされるコントロール [110]

B

BACK ボタン [186]

Ball

Modulation Strip [124]

BROWSE ボタン [185] [189]

ブラウズモード [186]

Hardware [186]

ハードウェア [187]

オンスクリーンオーバーレイ [186]

Browser

詳細 [130]

On-Screen Overlay [189]

表示と非表示

ブラウザの [30]

C

コードモード [232]

コードポジション [237]

Chord Type

Chromatic Scale [236]

コードタイプ [234]

コード [217]

コードセット [232]

生成 [232] [234] [237]

ハーモナイザー [232]

Chromatic Scale [236]

設定

ホストアプリケーション [38]

コンテンツセレクター

オンスクリーンオーバーレイ [190]

Control エンコーダー [186]

NAVIGATE セクション [186]

Control セクション [111]

コントロールセクション

ページボタン [110]

Controller settings [56]

コントロール

キーボード [96]

D

ディスプレイ

Control セクション [110]

Driver

オーディオドライバの選択 [44]

Dynamic [246]

E

ENTER ボタン [186]

F

Favorites [158] [206]

追加 [158] [206]

オンスクリーンオーバーレイ [191]

表示 [158] [206]

FILES ペイン [162]

ファイル

ライブラリへの保存 [170]

G

Gate [247]

H

ハードウェアブラウジング [187]

ヘルプ [254]

Hold [250]

ホストアプリケーション

設定 [38]

ホストオートメーション [60]

ホスト設定 [38]

ホストコントロール [102] [104]

設定 [101]

ホストナビゲーション [104]

ホストトランスポートコントロール [102]

ホスト

録音準備 [104]

I

IMPORT ボタン [169]

ライブラリに自身のファイルをインポートする
[169]

INSTANCE

ボタン [42]

INSTANCE ボタン [99] [186]

ホストコントロール [107]

インスタンスセレクション [107]

切り替え

インスタンスの [37]

インストゥルメントセレクター

オンスクリーンオーバーレイ [190]

Inversion [249]

K

key switch [110]

Key velocity [56]

Keyboard LEDs [127]

キーボード

コントロール [96]

概要 [96]

ノブ

Control セクション [110]

KOMPLETE KONTROL

キーボード概要 [96]

KOMPLETE KONTROL S-SERIES

キーボード概要 [96]

KOMPLETE KONTROL ソフトウェア

スタンドアローン、またはプラグイン [34]

L

Latching the arpeggiator

Hold [250]

Latency [45]

LEDs

Keybed [127]

Light Guide [127]

Library [131]

Library ペイン [136]

ライブラリ

自身のファイルのインポート [169]

ファイルの保存 [170]

Light Guide [127]

LEDs [127]

M

Master Volume [87]

Max. Key [250]

MIDI

設定 [45]

外部機器の接続 [57]

モード [42]

Native Map [60]

MIDI モード [42]

MIDI output [252]

オートメーション

MIDI [60]

を用いたパラメーターのコントロール

MIDI [60]

Min. Key [249]

Mode [241]

MODES Filter [138]

Modes フィルター

使用 [203]

MODES フィルター

オンスクリーンオーバーレイ [190]

Modulation Control

Touch Strips [117]

Modulation Strip [123]

音楽理論

アルペジオ [217]

コード [217]

スケール [216]

N

Native Kontrol Standard [132]

Native Map [60]

コントロールのアサイン [60]

Navigate 矢印 [186]

ナビゲートコントロール [35]

NAVIGATE section [184]

NAVIGATE セクション [104]

概要 [184]

NKS [132]

Note Repeat [242]

Mode [242]

O

OCT- ボタン [97]

OCT+ ボタン [97]

Octaves [246]

Offset [248]

On-Screen Overlay

Browser [189]

オンスクリーンオーバーレイ [107]

ブラウザワークフロー [191]

MODES [203]

TYPES [198]

概要

キーボード [96]

P

ページボタン [110]

ページのスキップ [110]

PAGE ディスプレイ [110]

パラメーターページ [110]

パフォーマンスパネル

スケール [217]

表示、非表示

パフォーマンスパネルの [30]

PERFORM セクション

ARP ボタン [215]

SCALE ボタン [215]

SHIFT ボタン [215]

Pitch Controll

Touch Strips [117]

Pitch Strip [120]

プラグインパネル [87]

Edit モード [88]

表示、非表示

プラグインパネルの [31]

プラグイン [34]

Preferences [43]

Audio ページ [43]

Hardware ページ [56]

Library ページ [47]

MIDI ページ [45]

Plug-ins ページ [51]

Audio と MIDI の設定

オーディオルーティング [43]

PRESET ボタン [186] [206]

PRESET ディスプレイ [110]

PRESET 下 [206]

PRESET 上 [206]

PRESS BROWSE [67]

R

Rate [243]

録音準備 [104]

Repeat [248]

Result リスト

ライブラリペイン [138]

リザルトリスト

Files ペイン [164]

Library ペイン [155]

オンスクリーンオーバーレイ [191] [205]

検索結果

Files ペイン [167]

Retrigger [248]

Root Note [221]

S**選択**

サンプルレートの [45]

ファイルの保存

ライブラリ [170]

SCALE

コードポジション [237]

コードタイプ [234]

キーモード [227]

MIDI output [252]

SCALE ボタン [215]**スケールエンジン [217]****SCALE ページ [110]****Scale Type [221]**

Chromatic [236]

スケール [216]**スケール [217]**

コードモード [232]

コード [234] [237]

Root Note [221]

Scale Type [221]

スケール [220]

スケール y

コード [232]

サーチフィールド [138]**検索結果 [155] [205]****ホストトラックの選択 [104]****Sequence [244]****セットアップ**

ホストアプリケーション設定 [38]

SHIFT ボタン [215]**サウンドカード**

アウトプットルーティング [43]

設定 [43]

Spring

SpringModulation Strip [124]

スタンドアロンアプリケーション [34]**Standard**

Modulation Strip [124]

Stepped

Modulation Strip [126]

Swing [244]**インスタンスの切り替え [37]****T****の使用**

タグフィルター [148]

タグ

Types と Subtypes のアサイン [182]

作成

タグ [183]

Tempo

Modulation Strip [125]

テキスト検索

ブラウザの使用 [155]

Touch Strips [117]

Modulation Strip [123]

Pitch Strip [120]

Preferences [56]

トラックセレクション [104]**トランスポート機能 [35]****TRANSPORT セクション [102]****TRANSPPOSE ボタン [97]****トラブルシューティング [254]****Type [242]****Types フィルター [137]**

オンスクリーンオーバーレイ [190]

使用 [198]

V**Velocity scaling** [56]

音声補助 [16]

Volume Control [87]**VST plug-ins** [32]

loading [32]

VST プラグイン [52]

管理 [52]